座間市こども計画策定に係る
ニーズ調査結果報告書

令和７年３月

座間市

目次

Ⅰ　調査の概要 1
　１　調査の目的 1
　２　調査の対象と実施方法等 1
　３　調査の回収結果 1
　４　集計結果の見方 2
　５　標本誤差 2

Ⅱ　集計結果のポイントまとめ 5
　１　未就学児の保護者調査 5
　２　就学児（小学校１～３年生）の保護者及び本人調査 5
　３　若者（15 歳～29 歳）調査 6
　４　小学５年生調査 6
　５　小学５年生の保護者調査 6

Ⅲ　集計結果 7
　１　未就学児の保護者調査 7
　　お子さんと家族の状況について 7
　　お子さんの保護者の就労状況について 14
　　お子さんの平日の幼稚園、保育園、認定こども園などの利用状況について 20
　　お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について 29
　　お子さんの日曜日、祝日、夏休みなどの幼稚園、保育園、認定こども園などの定期的な利用希望について 34
　　お子さんの病気やケガの際の対応について 37
　　幼稚園、保育園、認定こども園などの不定期の利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について 41
　　お子さんについて、将来、小学校に就学した時の放課後の過ごし方について 45
　　子育てや生活の状況、必要な支援について 48
　２　就学児（小学校１～３年生）の保護者及び本人調査 56
　　お子さんと家族の状況について 56
　　お子さんの保護者の就労状況について 61
　　お子さんの病気やケガの際の対応について 67
　　お子さんの放課後の過ごし方について 71
　　子育てや生活の状況、必要な支援について 75
　　座間市の子育ての環境や支援などについて 77
　　放課後の過ごし方について（小学生本人への質問） 83
　３　若者（15 歳～29 歳）調査 85
　４　小学５年生調査 104
　５　小学５年生の保護者調査 120

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

本調査は、こども基本法第 10 条に基づく市町村こども計画として「座間市こども計画（令和７～11 年度）」の策定を行うにあたり、こども・子育て支援、若者育成支援、こどもの貧困対策に関する市民の現状や今後に対する要望・意見などを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

２　調査の対象と実施方法等

本調査は、次の３種類、５つの対象に実施しました。

種類	対象	調査方法	期間
子ども・子育て支援事業計画のニーズ調査	未就学児の保護者	郵送案内・ＷＥＢ回答（e-kanagawa）	令和６年５月 30 日(木)～６月 12 日(水)
	就学児(小学校１～３年生)の保護者及び本人		
若者の意識及び実態の調査	若者(15 歳～29 歳)		
こどもの貧困の実態調査	小学５年生	郵送案内・ＷＥＢ回答（google フォーム）	令和６年６月７日(金)～17 日(月)
	小学５年生の保護者	郵送案内・ＷＥＢ回答（e-kanagawa）	

３　調査の回収結果

調査の回収結果（回答結果）は、次のとおりです。

種類	対象	配布数	回答数	回答率
子ども・子育て支援事業計画のニーズ調査	未就学児の保護者	1,800	362	20.1%
	就学児(小学校１～３年生)の保護者及び本人	1,500	416	27.7%
若者の意識及び実態の調査	若者(15 歳～29 歳)	1,500	191	12.7%
こどもの貧困の実態調査	小学５年生	1,023	233	22.8%
	小学５年生の保護者	1,023	274	26.8%
合計		6,846	1,476	21.6%

４　集計結果の見方

- 図の「n=○○○」の数字は、各設問の総回答者数です。
- 図表は、原則として各設問の総回答者数に対する比率を表示しています。
- 各回答の比率は、小数点以下の四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合があります。
- 複数回答（あてはまるものすべてに○）の設問の集計結果は、各回答の比率を合計すると100%を超える場合があります。
- 図の凡例で「前回」とあるのは、平成30年実施の調査のことです（未就学児の保護者調査、就学児（小学校１～３年生）の保護者及び本人調査のみ）。
- 図の凡例で「【参考】全国調査」とあるのは、内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和４年度）」の15歳～39歳対象調査のことです。
- こどもの貧困の実態調査については、厚生労働省「国民生活基礎調査」による貧困率算出の考え方に準じて、本調査の回答者の家庭における貧困率等を算出し、集計を行っています。また、一部の設問については、小学５年生本人とその保護者の回答を紐付けし、家庭における貧困の状況別に集計を行っています。

５　標本誤差

全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを標本誤差といい、その誤差を数学的に計算したのが、次の表です。

この表の見方としては、例えば、「ある設問中の選択肢の回答率が 50%であった場合、その回答率の誤差の範囲は最高でも±4.2%以内（45.8%～54.2%）である」とみることができます。

◆　信頼度90%（同一の調査を100回行えば90回まではこの結果になるであろうという推定）における標本誤差算出式

$$\varepsilon = 1.64 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{p(1-p)}{n}}$$

◆　母数は、令和６年４月１日住民基本台帳人口（小学５年生は10歳人口）

未就学児の保護者調査

母数	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間 の1/2幅	信頼区間	
5,054人	362	50%	4.20	50%		±4.2%	45.8% ～ 54.2%	
		45%	4.10	45%	55%	±4.1%	40.9% ～ 49.1%	50.9% ～ 59.1%
		40%	4.10	40%	60%	±4.1%	35.9% ～ 44.1%	55.9% ～ 64.1%
		35%	4.00	35%	65%	±4.0%	31.0% ～ 39.0%	61.0% ～ 69.0%
		30%	3.80	30%	70%	±3.8%	26.2% ～ 33.8%	66.2% ～ 73.8%
		25%	3.60	25%	75%	±3.6%	21.4% ～ 28.6%	71.4% ～ 78.6%
		20%	3.30	20%	80%	±3.3%	16.7% ～ 23.3%	76.7% ～ 83.3%
		15%	3.00	15%	85%	±3.0%	12.0% ～ 18.0%	82.0% ～ 88.0%
		10%	2.50	10%	90%	±2.5%	7.5% ～ 12.5%	87.5% ～ 92.5%
		5%	1.80	5%	95%	±1.8%	3.2% ～ 6.8%	93.2% ～ 96.8%

就学児(小学校１～３年生）の保護者及び本人調査

母数	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間 の1/2幅	信頼区間	
3,005人	416	50%	3.70	50%		±3.7%	46.3% ～ 53.7%	
		45%	3.70	45%	55%	±3.7%	41.3% ～ 48.7%	51.3% ～ 58.7%
		40%	3.70	40%	60%	±3.7%	36.3% ～ 43.7%	56.3% ～ 63.7%
		35%	3.60	35%	65%	±3.6%	31.4% ～ 38.6%	61.4% ～ 68.6%
		30%	3.40	30%	70%	±3.4%	26.6% ～ 33.4%	66.6% ～ 73.4%
		25%	3.20	25%	75%	±3.2%	21.8% ～ 28.2%	71.8% ～ 78.2%
		20%	3.00	20%	80%	±3.0%	17.0% ～ 23.0%	77.0% ～ 83.0%
		15%	2.70	15%	85%	±2.7%	12.3% ～ 17.7%	82.3% ～ 87.7%
		10%	2.20	10%	90%	±2.2%	7.8% ～ 12.2%	87.8% ～ 92.2%
		5%	1.60	5%	95%	±1.6%	3.4% ～ 6.6%	93.4% ～ 96.6%

若者(15 歳～29 歳）調査

母数	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間 の1/2幅	信頼区間	
19,218人	191	50%	5.90	50%		±5.9%	44.1% ～ 55.9%	
		45%	5.90	45%	55%	±5.9%	39.1% ～ 50.9%	49.1% ～ 60.9%
		40%	5.80	40%	60%	±5.8%	34.2% ～ 45.8%	54.2% ～ 65.8%
		35%	5.60	35%	65%	±5.6%	29.4% ～ 40.6%	59.4% ～ 70.6%
		30%	5.40	30%	70%	±5.4%	24.6% ～ 35.4%	64.6% ～ 75.4%
		25%	5.10	25%	75%	±5.1%	19.9% ～ 30.1%	69.9% ～ 80.1%
		20%	4.70	20%	80%	±4.7%	15.3% ～ 24.7%	75.3% ～ 84.7%
		15%	4.20	15%	85%	±4.2%	10.8% ～ 19.2%	80.8% ～ 89.2%
		10%	3.50	10%	90%	±3.5%	6.5% ～ 13.5%	86.5% ～ 93.5%
		5%	2.60	5%	95%	±2.6%	2.4% ～ 7.6%	92.4% ～ 97.6%

小学５年生調査

母数	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間 の1/2幅	信頼区間	
1,023人	233	50%	4.70	50%		±4.7%	45.3% ～ 54.7%	
		45%	4.70	45%	55%	±4.7%	40.3% ～ 49.7%	50.3% ～ 59.7%
		40%	4.60	40%	60%	±4.6%	35.4% ～ 44.6%	55.4% ～ 64.6%
		35%	4.50	35%	65%	±4.5%	30.5% ～ 39.5%	60.5% ～ 69.5%
		30%	4.30	30%	70%	±4.3%	25.7% ～ 34.3%	65.7% ～ 74.3%
		25%	4.10	25%	75%	±4.1%	20.9% ～ 29.1%	70.9% ～ 79.1%
		20%	3.80	20%	80%	±3.8%	16.2% ～ 23.8%	76.2% ～ 83.8%
		15%	3.40	15%	85%	±3.4%	11.6% ～ 18.4%	81.6% ～ 88.4%
		10%	2.80	10%	90%	±2.8%	7.2% ～ 12.8%	87.2% ～ 92.8%
		5%	2.10	5%	95%	±2.1%	2.9% ～ 7.1%	92.9% ～ 97.1%

小学５年生の保護者調査

母数	n 標本数	p 回答率	ε 標本誤差	測定値		信頼区間 の1/2幅	信頼区間	
1,023人	274	50%	4.20	50%		±4.2%	45.8% ～ 54.2%	
		45%	4.20	45%	55%	±4.2%	40.8% ～ 49.2%	50.8% ～ 59.2%
		40%	4.20	40%	60%	±4.2%	35.8% ～ 44.2%	55.8% ～ 64.2%
		35%	4.00	35%	65%	±4.0%	31.0% ～ 39.0%	61.0% ～ 69.0%
		30%	3.90	30%	70%	±3.9%	26.1% ～ 33.9%	66.1% ～ 73.9%
		25%	3.70	25%	75%	±3.7%	21.3% ～ 28.7%	71.3% ～ 78.7%
		20%	3.40	20%	80%	±3.4%	16.6% ～ 23.4%	76.6% ～ 83.4%
		15%	3.00	15%	85%	±3.0%	12.0% ～ 18.0%	82.0% ～ 88.0%
		10%	2.50	10%	90%	±2.5%	7.5% ～ 12.5%	87.5% ～ 92.5%
		5%	1.80	5%	95%	±1.8%	3.2% ～ 6.8%	93.2% ～ 96.8%

Ⅱ　集計結果のポイントまとめ

１　未就学児の保護者調査

- 子育てにおける男女共同参画（男性の参画）が進行しています。【10ページ問６】
- 子育てに関して気軽に相談できる人・場所が「いない／ない」と回答した保護者が増えています。【12ページ問10】
- フルタイムで就労している母親が増加しており、保育ニーズ拡大への対応や仕事と家庭の両立支援制度の充実が求められています。【14ページ問11】
- 「ネウボラざまりん（子育て世代包括支援センター）」の認知度が拡大しています。【29ページ問19】
- 病児・病後児保育のニーズが縮小しています。【38ページ問24-2】
- 放課後の過ごし方として、「児童ホーム」のニーズが拡大している一方、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」のニーズが縮小しています。【45ページ問28】
- 座間市の子育ての環境や支援への満足度はほぼ横ばいですが、「公園などこどもの遊び場が充実している」ことについての評価は上がっています。【51ページ問35、52ページ問35-1】
- 未就学児童の保護者における、座間市の子育ての環境や支援に満足していない理由の上位２つは、「子育て支援サービスが充実していない」、「幼稚園や保育園などが不足している」ことです。【53ページ問35-2】
- 今後力を入れていくべきこども・子育て支援策として、「子育てに関する経済的支援の充実」に対するニーズが拡大しています。【54ページ問37】

２　就学児（小学校１～３年生）の保護者及び本人調査

- 子育てにおける男女共同参画（男性の参画）が進行しています。【59ページ問６】
- 放課後の過ごし方として、「児童ホーム」や「放課後子ども教室」のニーズが拡大しています。【71ページ問14、74ページ問15】
- 座間市の子育ての環境や支援への満足度はほぼ横ばいですが、「公園などこどもの遊び場が充実している」ことについての評価は上がっています。【78ページ問20、79ページ問20-1】
- 今後力を入れていくべきこども・子育て支援策として、「子育てに関する経済的支援の充実」に対するニーズが拡大しています。【81ページ問22】
- 低学年（１～３年生）のこども本人の生活満足度について「とても楽しい」と「楽しい」と回答した割合は、児童ホームを利用しているこどもの場合は90.2%となっています。【83ページ問24】

３　若者(15 歳～29 歳）調査

- 15～29歳の若者のうち、自分の将来について「希望がある」と「どちらかといえば希望がある」と回答した人の割合は約７割（69.1%）です。【94ページ問12】
- 15～29歳の若者のうち、外出頻度が低い状態※にあるのは9.4%となっており、その状態になってからの期間は「６か月以上」が最も高く、その状態となった年齢は「25～29歳」が最も高くなっています。【95ページ問13・問13-1、96ページ問13-1-1】
- 15～29歳の若者が現在抱えている悩みや困りごとは、「今後の進路や将来に関すること」が62.7%と最上位です。【97ページ問14-1】
- 15～29歳の若者の座間市での生活の満足度は、「満足している」と「やや満足している」を合わせた肯定的な評価（44.0%）が、否定的な評価（14.1%）を上回っており、肯定的な評価の理由の最上位は「買い物などの日常生活が便利である」ことです。【101ページ問19、102ページ問19-1】

※問 13 で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」に〇をつけた方

４　小学５年生調査

- 小学５年生について、学校の授業がわからなくなった時期として最も多いのが「４年生のころ」です。【107ページ問６】
- 家庭の貧困の状況によって、将来の進学意向に差が見られます。【107ページ問７】
- 最近の生活の満足度は、小学５年生本人と保護者に大きな差（本人は比較的高く、保護者は本人よりも低い）があります。【109ページ問９】
- 小学５年生のうち、“自分のことが好きだ”に対して、「とてもそう思う」と「まあ、そう思う」を回答した割合は約７割（67.8%）です。【117ページ問20】
- 小学５年生のうち、逆境体験に関わる項目に１個以上あてはまる割合は11.6%となっています。【119ページ問22】

５　小学５年生の保護者調査

- 小学５年生の保護者のうち、“いざという時のお金の援助”について、頼れる人が「いない」割合が全体で23.7%となっており、この割合は現在の暮らしの状況が“苦しい”という家庭や貧困線（188万円）未満に該当する家庭などで高くなっています。【133・134ページ問20】
- 小学５年生の保護者のうち、過去１年の間に経済的な理由で未払いになった者の割合は、「水道料金」が2.9%、「電気料金」が2.6%、「ガス料金」が1.8%です。【138ページ問26】

Ⅲ　集計結果

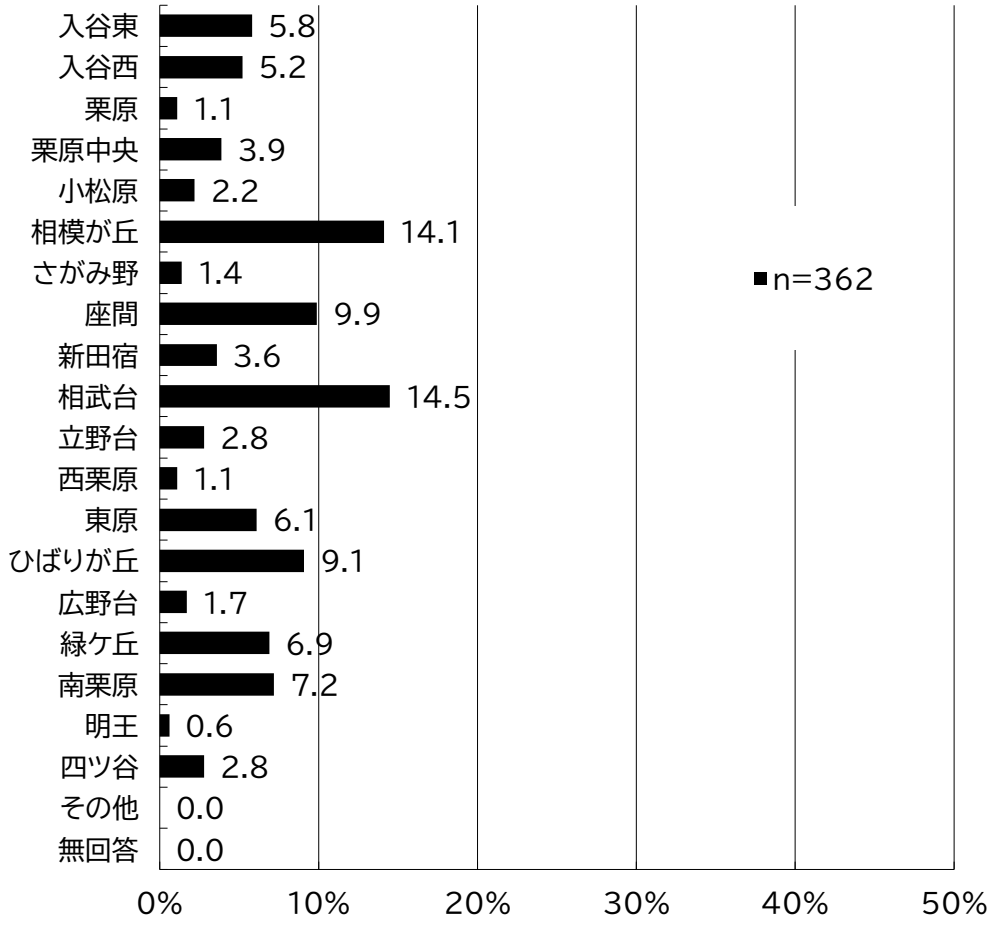
１　未就学児の保護者調査

お子さんと家族の状況について

問１　お住まいの地域と小学校区についてお答えください。

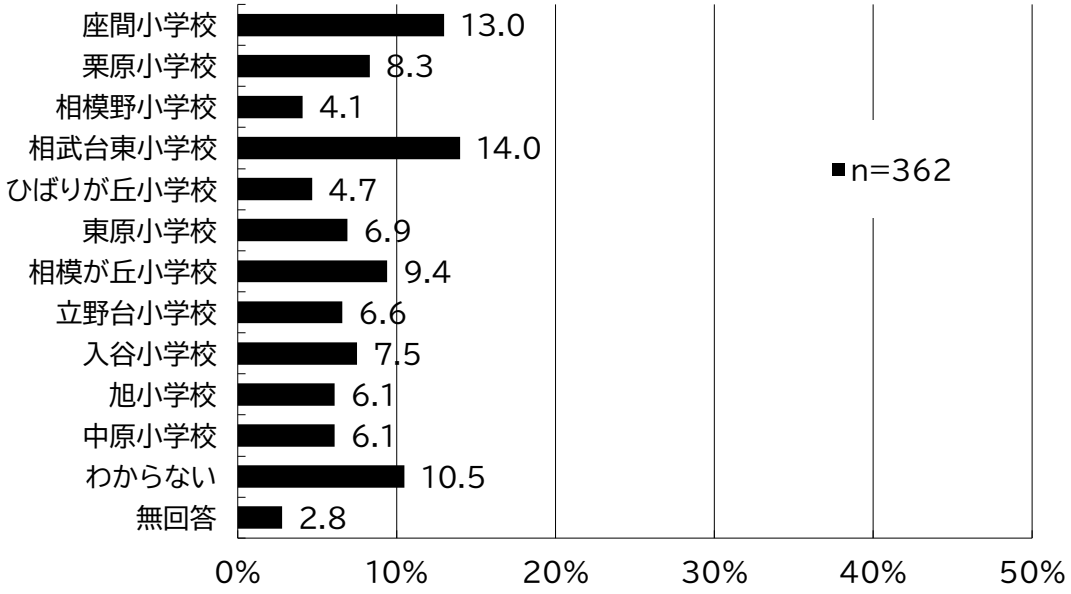
（１）お住まいの地域

「相武台」が 14.5%、「相模が丘」が 14.1%とこれらが上位２つで、次いで「座間」が 9.9%、「ひばりが丘」が 9.1%と続いています。



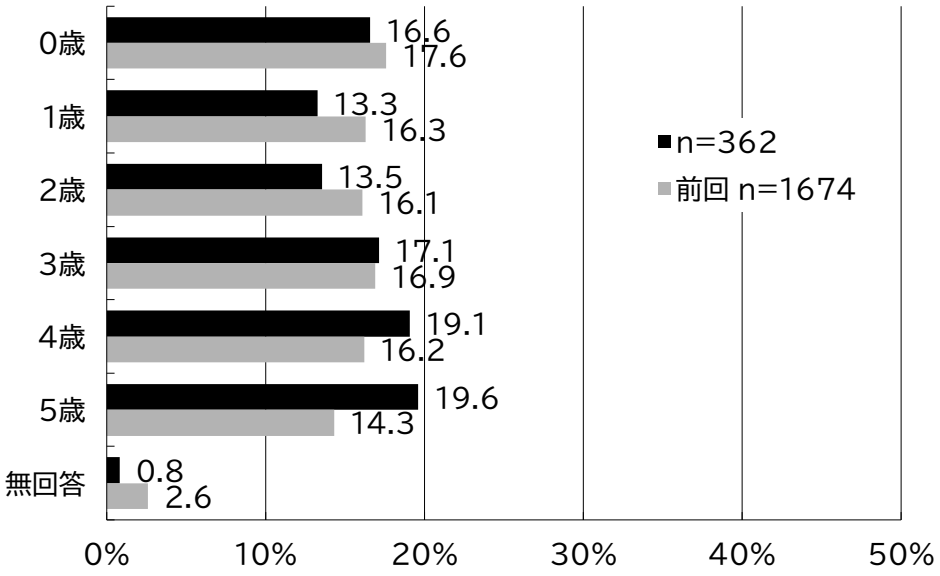
（２）お住まいの小学校区

「相武台東小学校」が 14.0%、「座間小学校」が 13.0%とこれらが上位２つで、次いで「わからない」が 10.5%、「相模が丘小学校」が 9.4%と続いています。



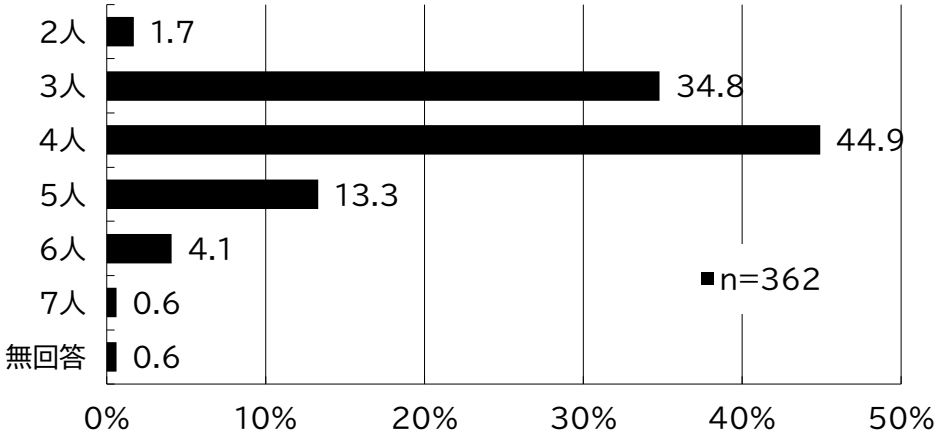
問２　お子さんの生年月をお答えください（年齢に変換）。

０歳～２歳が 43.4%、３歳～５歳が 55.8%となっています。



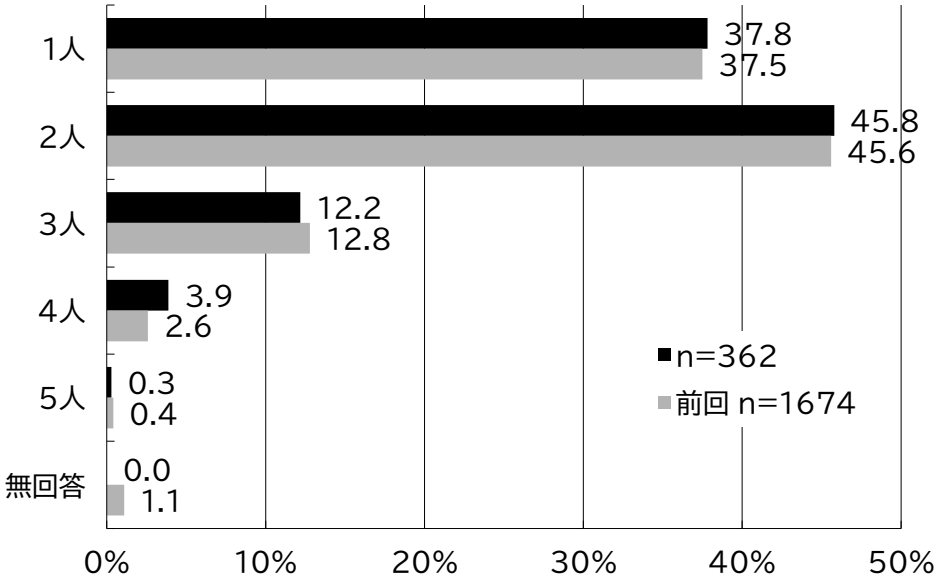
問３　あなたの世帯の人数（生計を共にしている人数。一時的に不在の方を含む）は全員で何人ですか。

「4 人」が 44.9%と最も高く、次いで「3 人」が 34.8%、「5 人」が 13.3%、「6 人」が 4.1%と続いています。



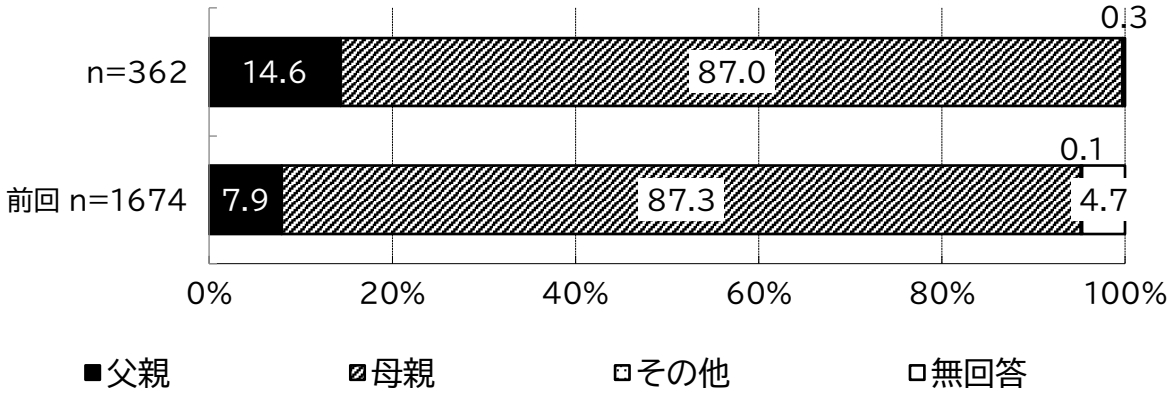
そのうち、今回送付したお子さんを含めてお子さんは何人ですか。

「2 人」が 45.8%と最も高く、次いで「1 人」が 37.8%、「3 人」が 12.2%、「4 人」が 3.9%と続いています。



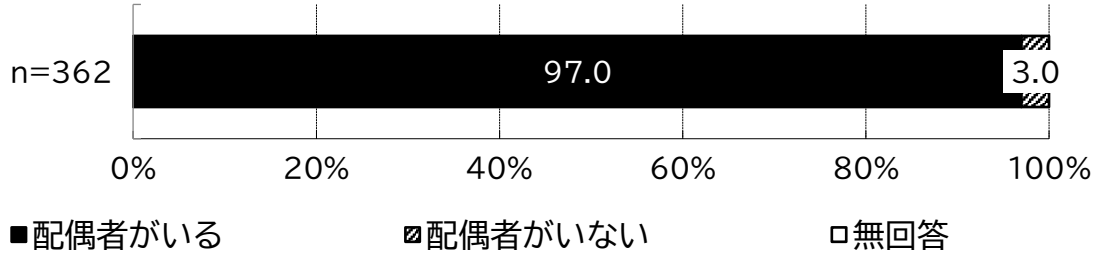
問４　この調査票に回答いただく方はどなたですか。（複数回答可）

「母親」が 87.0%、「父親」が 14.6%となっています。



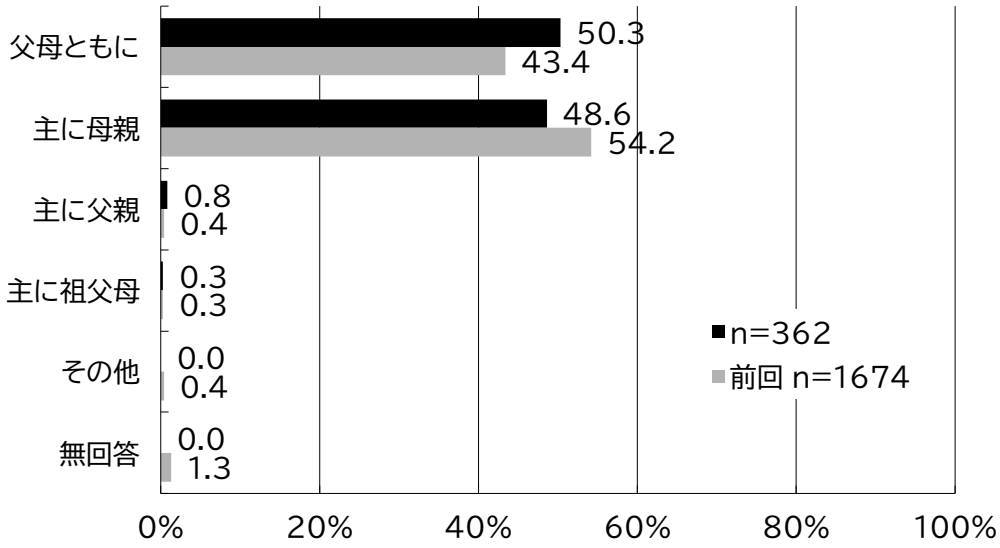
問５　この調査票に回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。

「配偶者がいる」が 97.0%、「配偶者がいない」が 3.0%となっています。



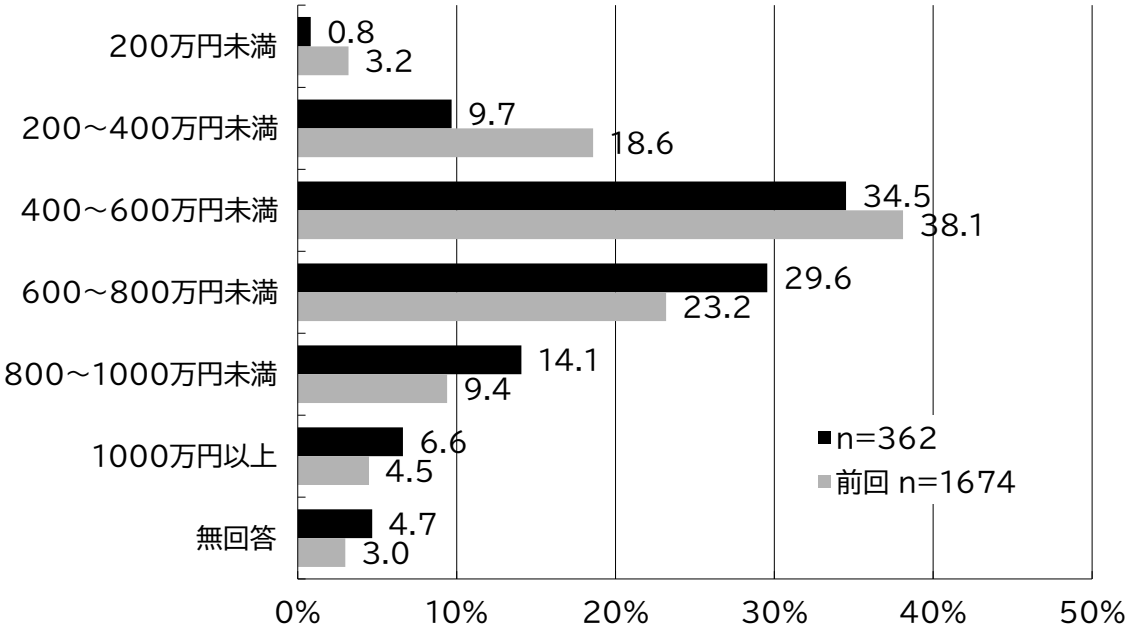
問６　お子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。

「父母ともに」が 50.3%、「主に母親」が 48.6%とこれらが上位２つで、次いで「主に父親」が 0.8%、「主に祖父母」が 0.3%と続いています。



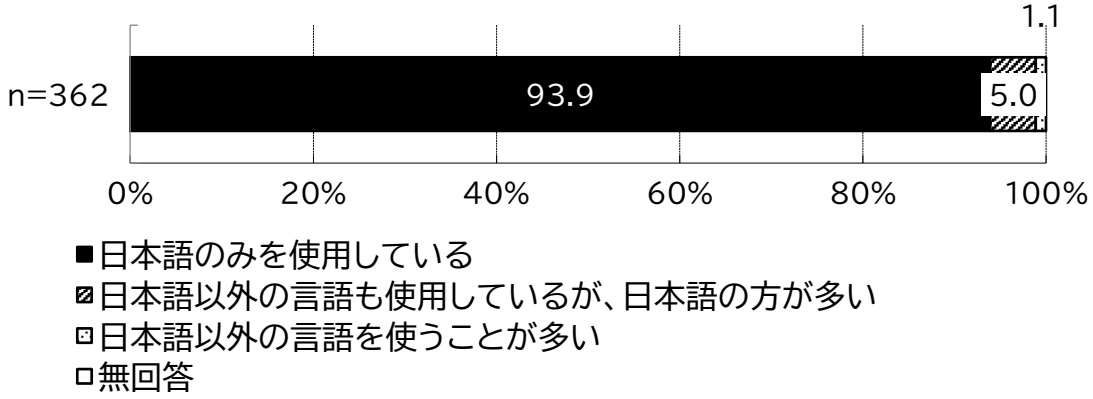
問７　あなたの家庭全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナスを含む手取額）」を教えてください。

「400～600 万円未満」が 34.5%、「600～800 万円」が 29.6%、「800～1000 万円」が 14.1%となっています。



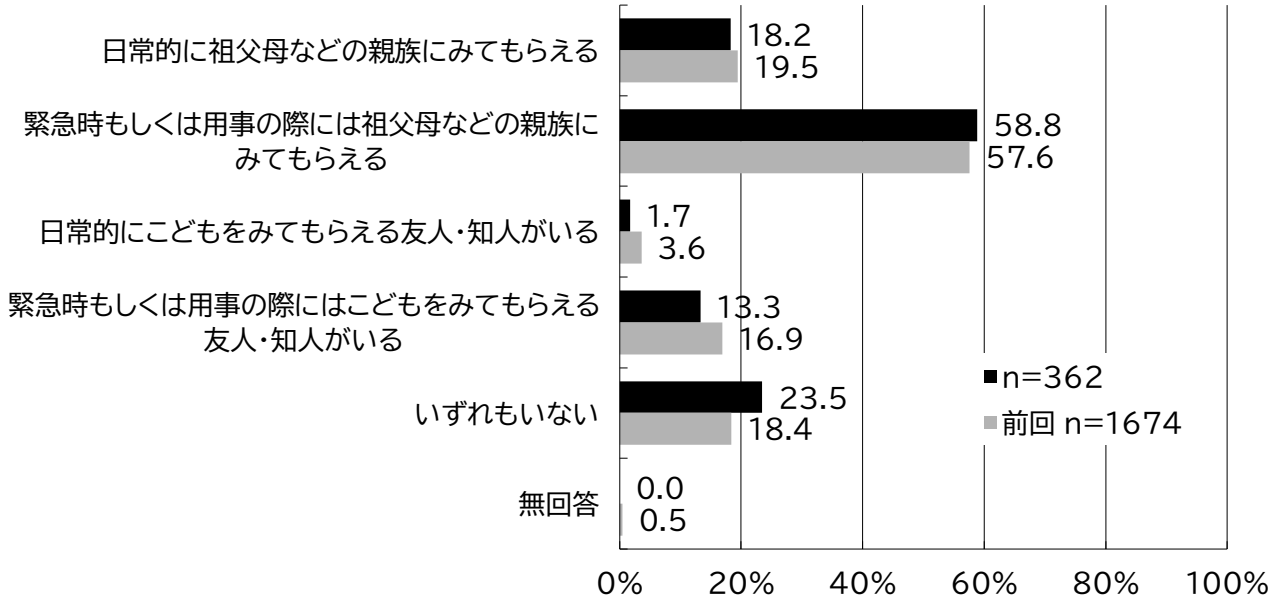
問８　家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

「日本語のみを使用している」が 93.9%と最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 5.0%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が 1.1%と続いています。



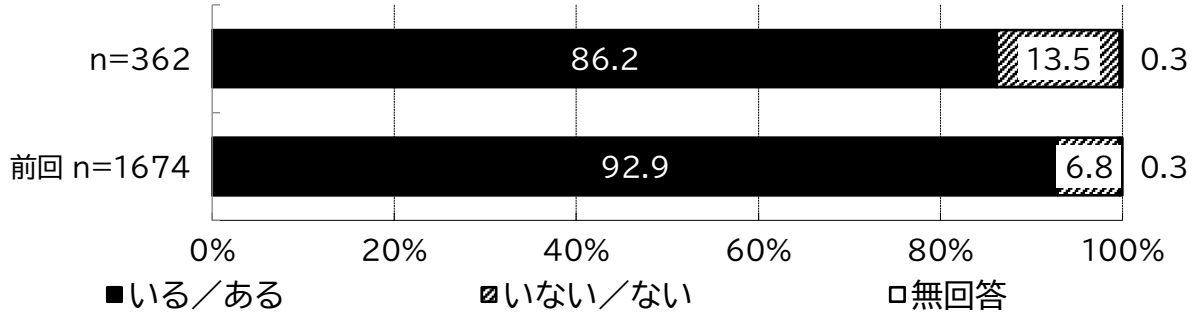
問９　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が 58.8%と最も高く、次いで「いずれもいない」が 23.5%、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が 18.2%、「緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる」が 13.3%と続いています。



問１０　お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。

「いる／ある」が 86.2%、「いない／ない」が 13.5%となっています。



〈子育てを主に行っている方別等〉

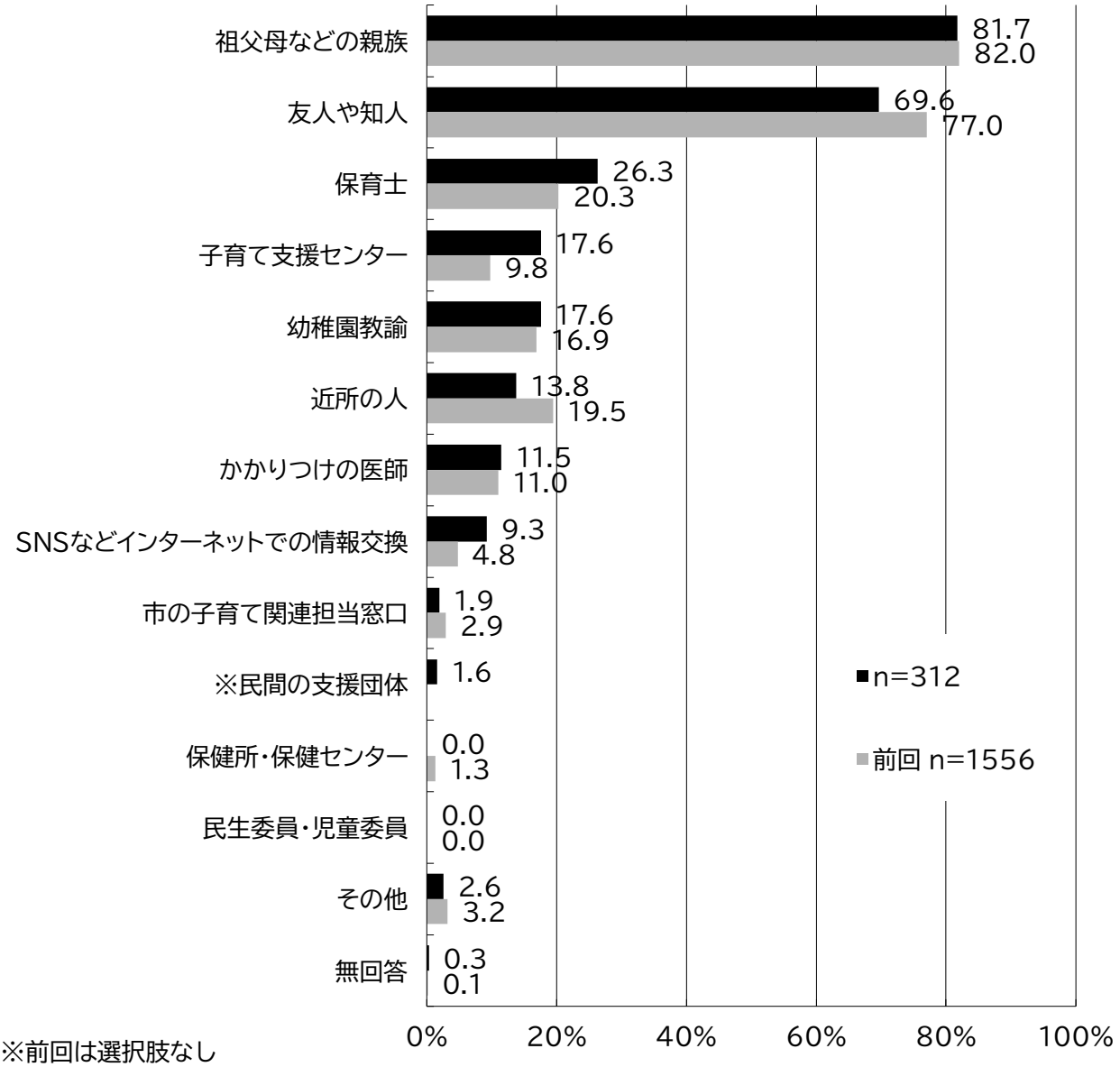
子育てを主に母親等（主に父親を含む）が行っている場合は、「いない／ない」が比較的高く、子育て環境や支援の満足度が低いほど、「いない／ない」が高くなっています。

		回答者数	いる／ある	いない／ない	無回答
全体		362	86.5%	13.5%	0.0%
子育てを主に行っている方	父母ともに	182	92.3%	7.7%	0.0%
	主に母親等	180	80.6%	19.4%	0.0%
子育て環境や支援の満足度	満足している	78	92.3%	7.7%	0.0%
	普通	129	86.8%	13.2%	0.0%
	満足していない	149	82.6%	17.4%	0.0%

※網掛けは、各状況等において最も割合の高い回答（以降の表も同様）

問１０－１　お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（複数回答可）

「祖父母などの親族」が 81.7%と最も高く、次いで「友人や知人」が 69.6%、「保育士」が 26.3%、「子育て支援センター」が 17.6%と続いています。



※前回は選択肢なし

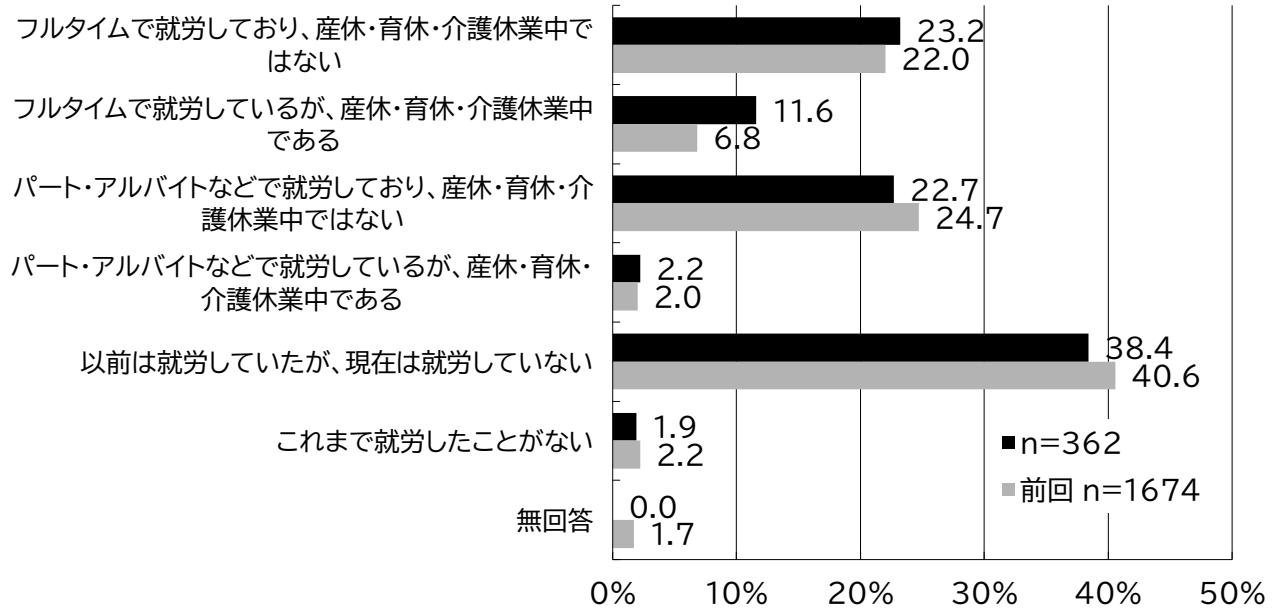
「その他」：療育施設の職員、スクールカウンセラー、職場の人　等

お子さんの保護者の就労状況について

問１１　お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

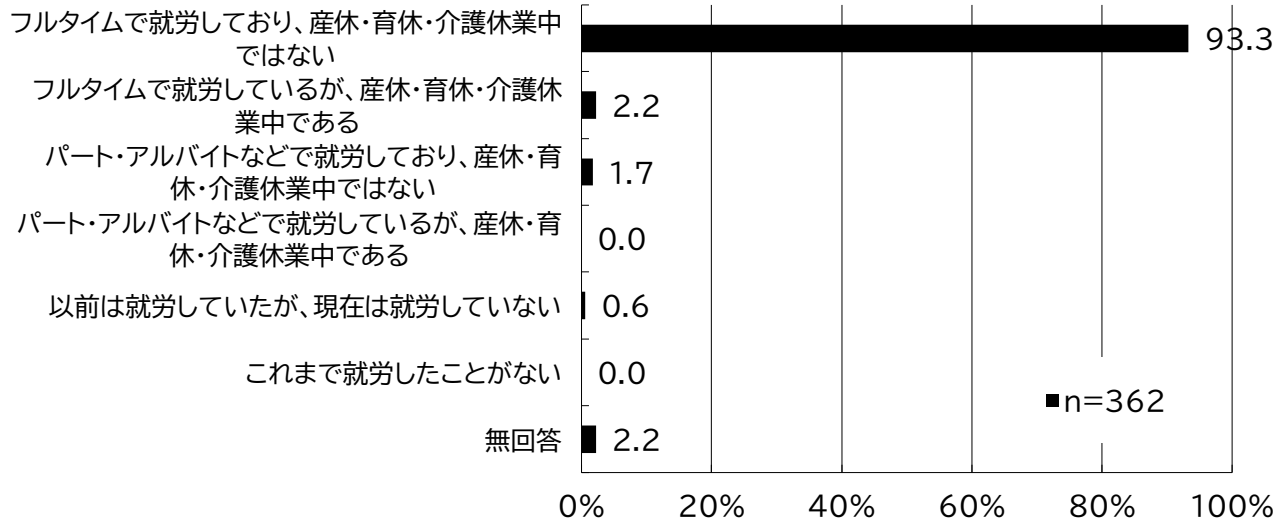
母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 38.4%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 23.2%、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 22.7%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 11.6%と続いています。



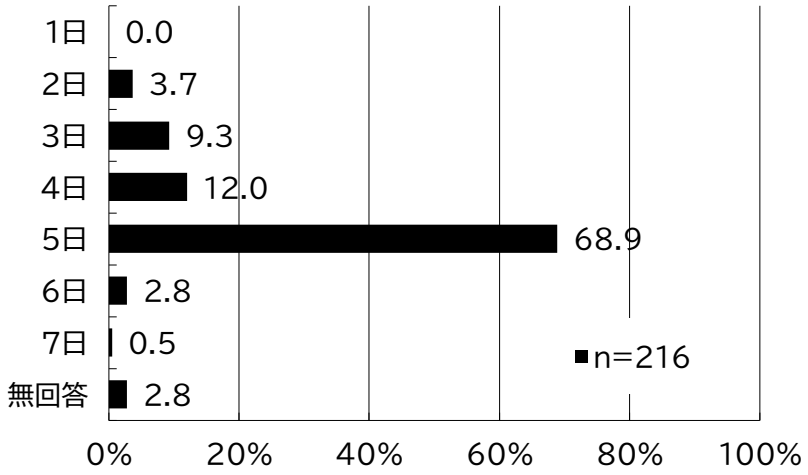
父親

「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 93.3%と最も高く、次いで「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 2.2%、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 1.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 0.6%と続いています。



問１１－１（１）　母親の１週当たりの就労日数を選択してください。

「５日」が 68.9%と最も高く、次いで「４日」が 12.0%、「３日」が 9.3%、「２日」が 3.7%と続いています。

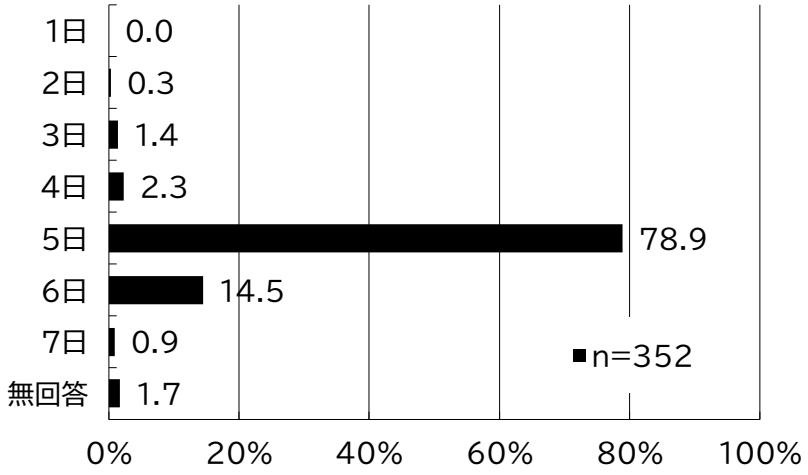


母親の１日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。

平均値	6.8 時間
最頻値	8.0 時間
中央値	7.0 時間

問１１－１（１）　父親の１週当たりの就労日数を選択してください。

「５日」が 78.9%と最も高く、次いで「６日」が 14.5%、「４日」が 2.3%、「３日」が 1.4%と続いています。



父親の１日当たりの就労時間（残業時間を含む）を、お答えください。

平均値	9.7 時間
最頻値	8.0 時間
中央値	9.0 時間

問１１－１（２）　母親の家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。

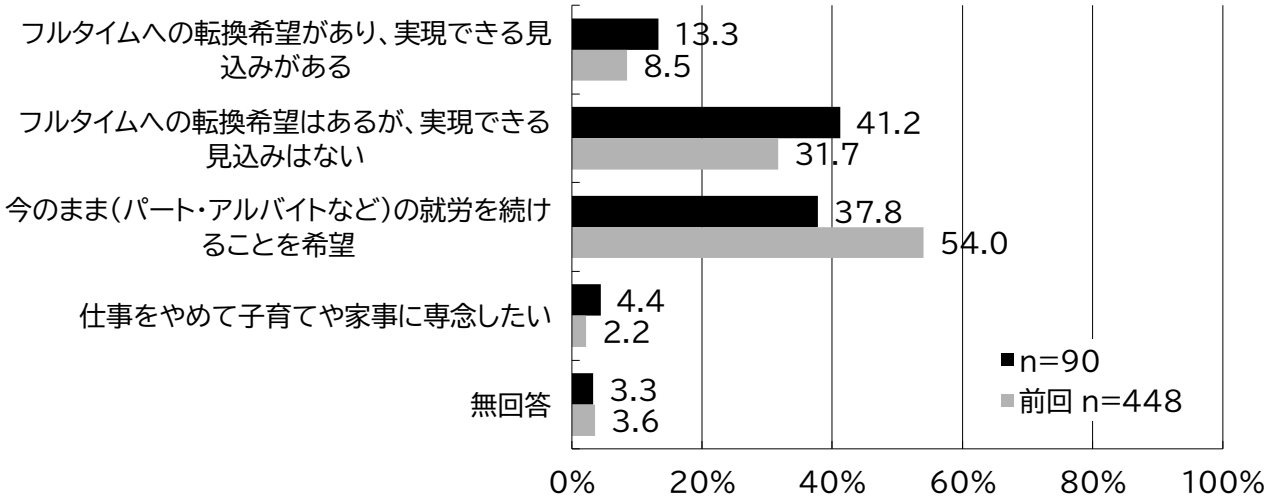
	家を出る時刻	帰宅時刻
平均値	8:09	16:58
最頻値	8:00	18:00
中央値	8:00	17:40

問１１－１（２）　父親の家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。

	家を出る時刻	帰宅時刻
平均値	7:17	18:53
最頻値	7:00	20:00
中央値	7:00	20:00

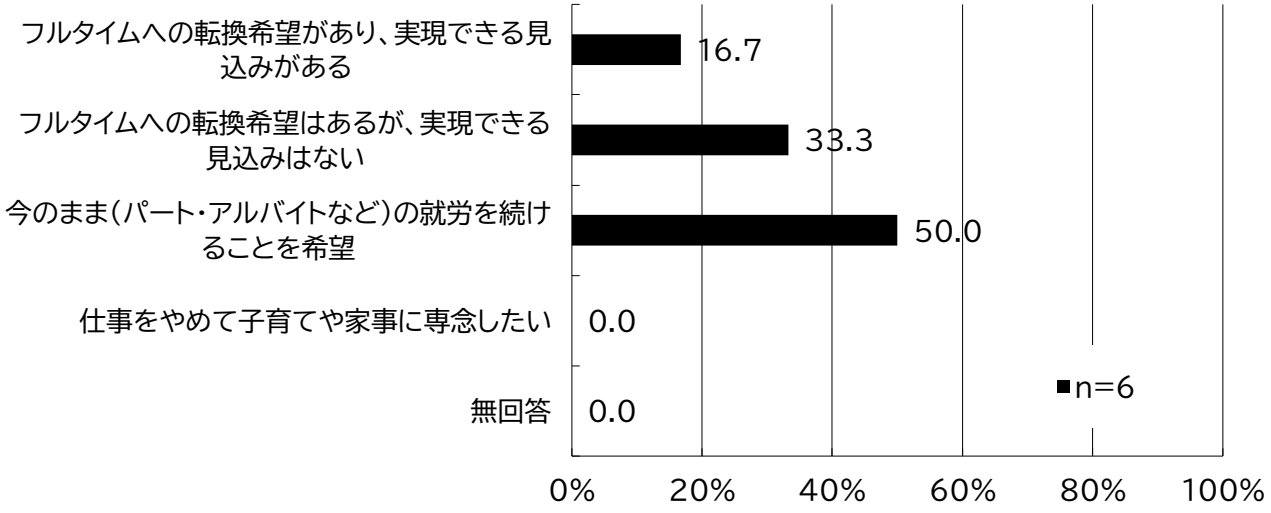
問１２　母親にフルタイムへの転換希望はありますか。

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 41.2%、「今のまま（パート・アルバイトなど）の就労を続けることを希望」が 37.8%とこれらが上位２つで、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 13.3%、「仕事をやめて子育てや家事に専念したい」が 4.4%と続いています。



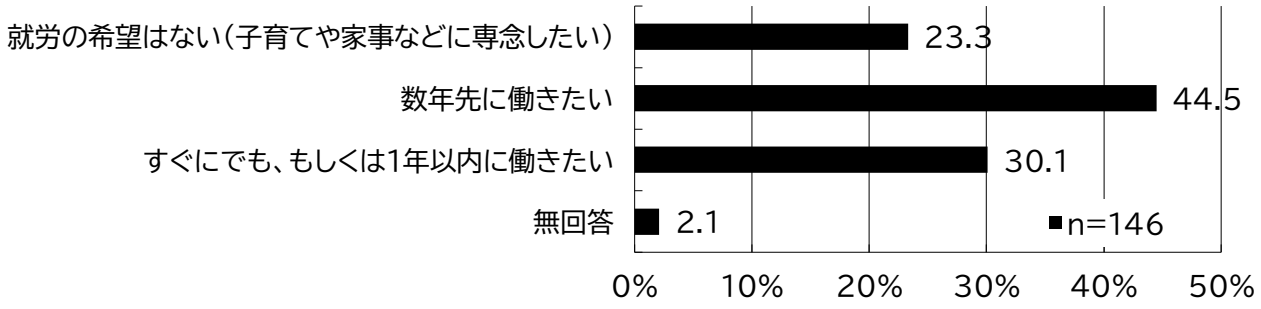
問１２　父親にフルタイムへの転換希望はありますか。

「今のまま（パート・アルバイトなど）の就労を続けることを希望」が 50.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 33.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 16.7%と続いています。



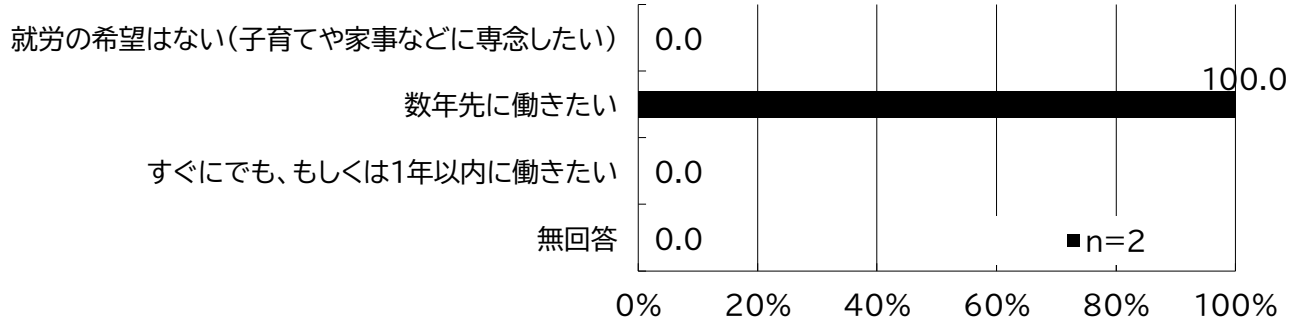
問１３　母親に就労したいという希望はありますか。

「数年先に働きたい」が 44.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい」が 30.1%、「就労の希望はない（子育てや家事などに専念したい）」が 23.3%、「無回答」が 2.1%と続いています。



問１３　父親に就労したいという希望はありますか。

「数年先に働きたい」が 100.0%となっています。



問１３－１　母親は何年先の就労を希望しますか。

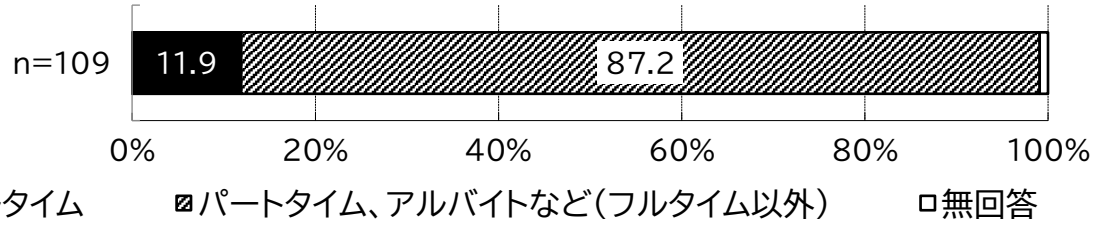
平均値	3 年先
最頻値	3 年先
中央値	3 年先

問１３－１　父親は何年先の就労を希望しますか。

平均値	1 年先
最頻値	1 年先
中央値	1 年先

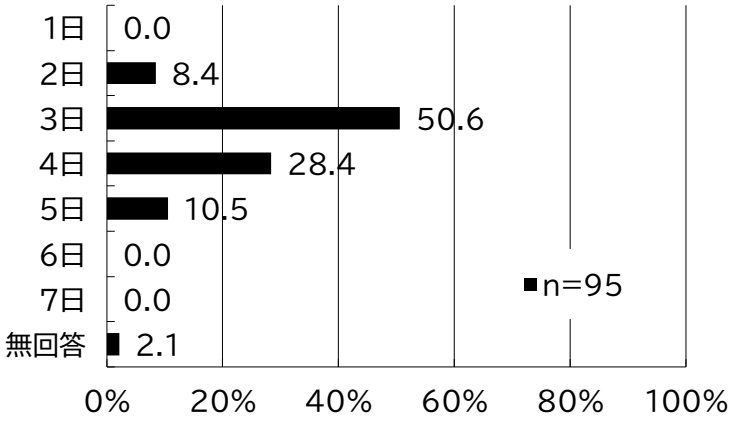
問１３－２　母親はいずれの就労形態を希望しますか。

「パートタイム、アルバイトなど（フルタイム以外）」が 87.2%、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が 11.9%となっています。



「パートタイム、アルバイトなど（フルタイム以外）」を選んだ場合、母親の１週当たりの就労日数の希望を選択してください。

「３日」が 50.6%と最も高く、次いで「４日」が 28.4%、「５日」が 10.5%、「２日」が 8.4%と続いています。

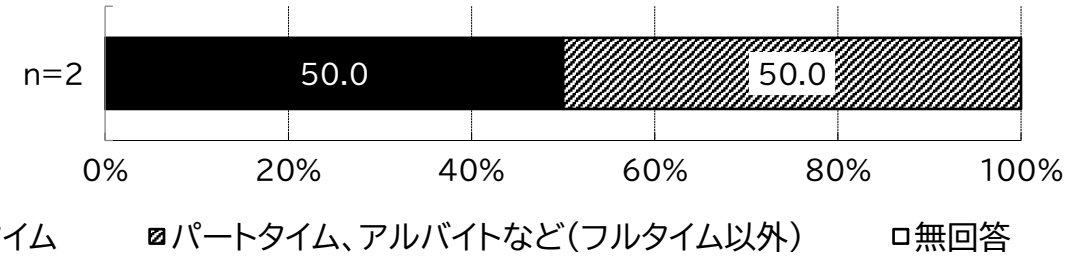


「パートタイム、アルバイトなど（フルタイム以外）」を選んだ場合、母親の１日当たりの就労時間の希望をお答えください。

平均値	4.4 時間
最頻値	4.0 時間
中央値	4.0 時間

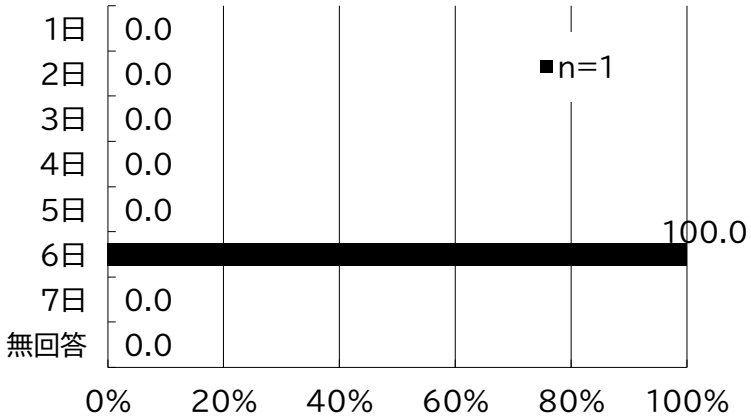
問１３－２　父親はいずれの就労形態を希望しますか。

「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が 50%、「パートタイム、アルバイトなど（フルタイム以外）」が 50%となっています。



「パートタイム、アルバイトなど（フルタイム以外）」を選んだ場合、父親の１週当たりの就労日数の希望を選択してください。

「６日」が 100.0%となっています。



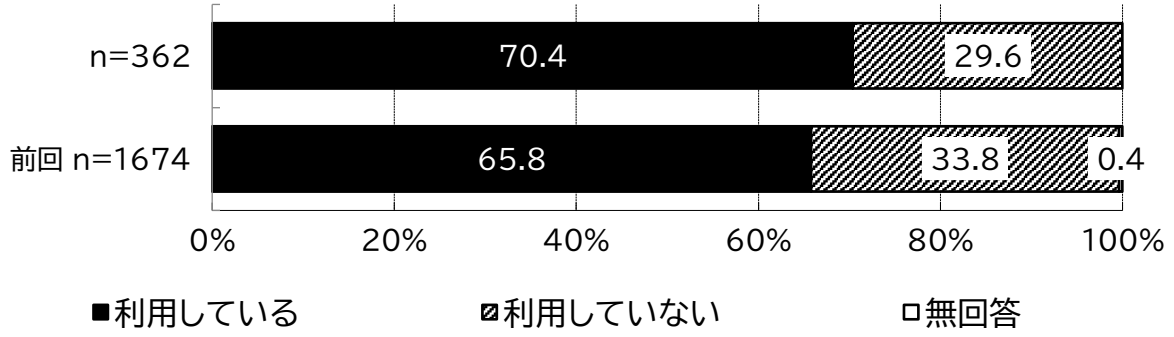
「パートタイム、アルバイトなど（フルタイム以外）」を選んだ場合、父親の１日当たりの就労時間の希望をお答えください。

平均値	7.0 時間
最頻値	7.0 時間
中央値	7.0 時間

お子さんの平日の幼稚園、保育園、認定こども園などの利用状況について

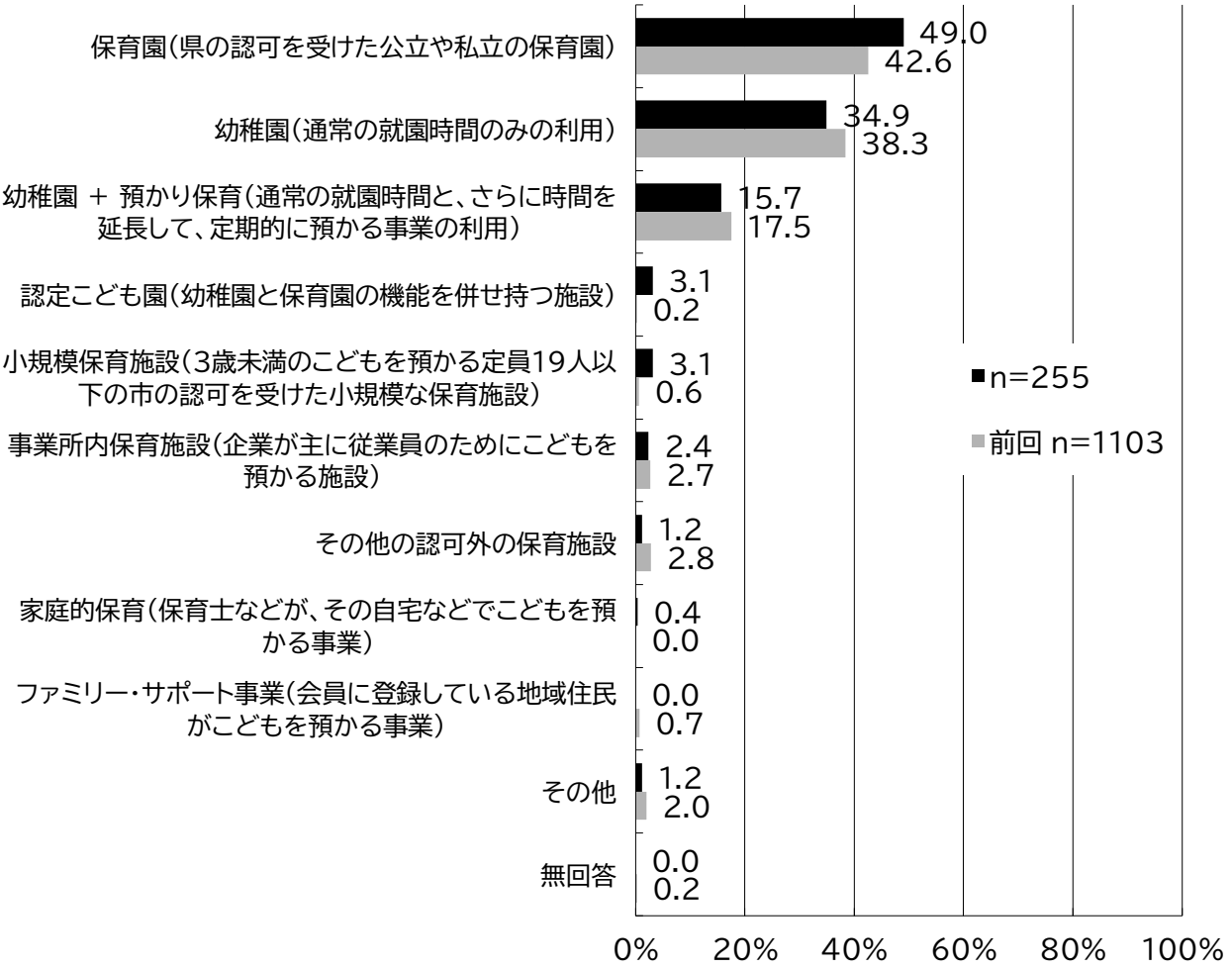
問１４　お子さんは現在、幼稚園、保育園、認定こども園などを「定期的」に利用していますか。

「利用している」が 70.4%、「利用していない」が 29.6%となっています。



問１４－１（１）　お子さんが、年間を通じて平日に「定期的に」利用している施設や事業をお答えください。（複数回答可）

「保育園（県の認可を受けた公立や私立の保育園）」が 49.0%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間のみの利用）」が 34.9%、「幼稚園 ＋ 預かり保育（通常の就園時間と、さらに時間を延長して、定期的に預かる事業の利用）」が 15.7%、「認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）」が 3.1%と続いています。



「その他」：児童発達支援センター、一時預かり　等

問１４－１（２）　平日に幼稚園、保育園、認定こども園などをどのくらい利用していますか。

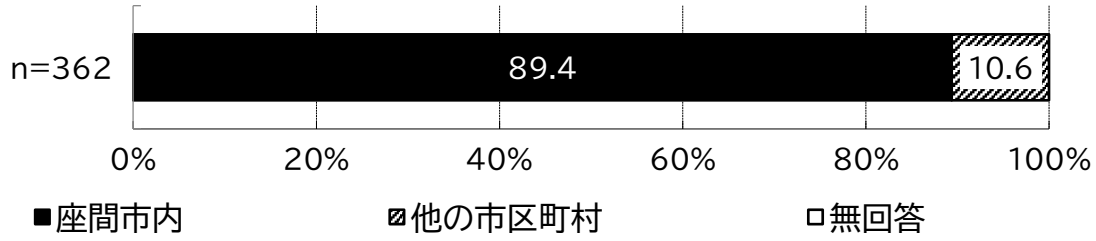
	日数	一日当たり時間	利用開始時刻	利用終了時刻
平均値	4.9 日	7.4 時間	8:22	16:12
最頻値	5.0 日	5.0 時間	9:00	14:00
中央値	5.0 日	7.0 時間	8:30	17:00

平日に幼稚園、保育園、認定こども園などをどのくらい利用したいですか。

	日数	一日当たり時間	利用開始時刻	利用終了時刻
平均値	4.9 日	7.8 時間	8:18	16:54
最頻値	5.0 日	7.0 時間	8:00	18:00
中央値	5.0 日	8.0 時間	8:00	17:00

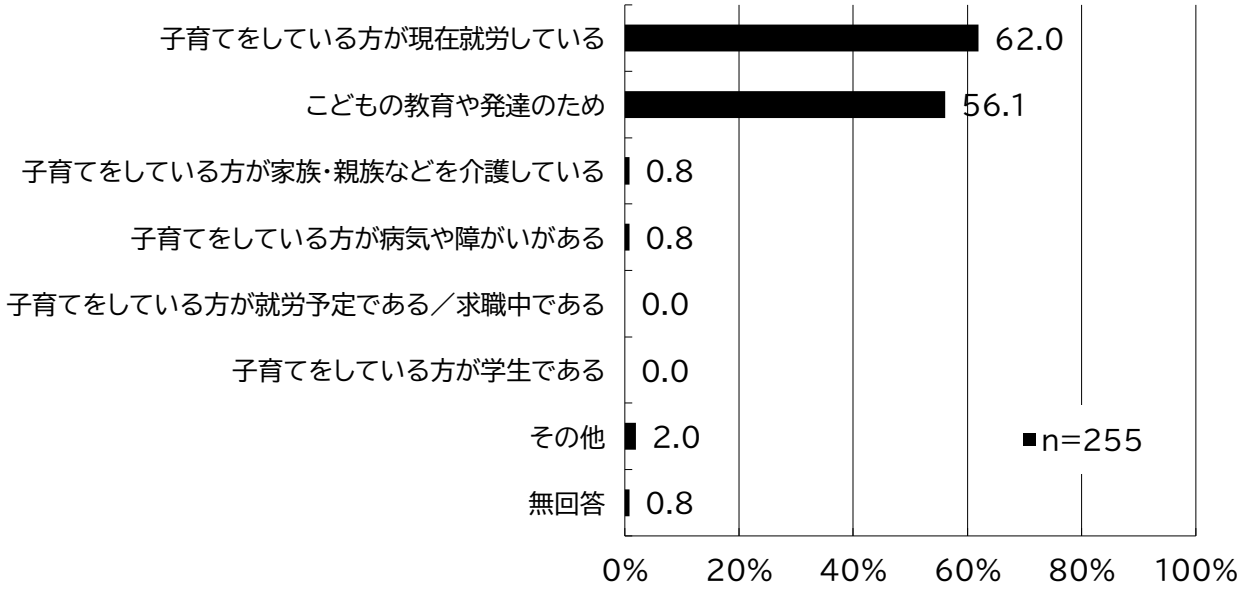
問１４－１（３）　現在、利用している幼稚園、保育園、認定こども園などの場所をお答えください。

「座間市内」が 89.4%、「他の市区町村」が 10.6%となっています。



問１４－１（４）　平日に定期的に幼稚園、保育園、認定こども園などを利用している理由をお答えください。（複数回答可）

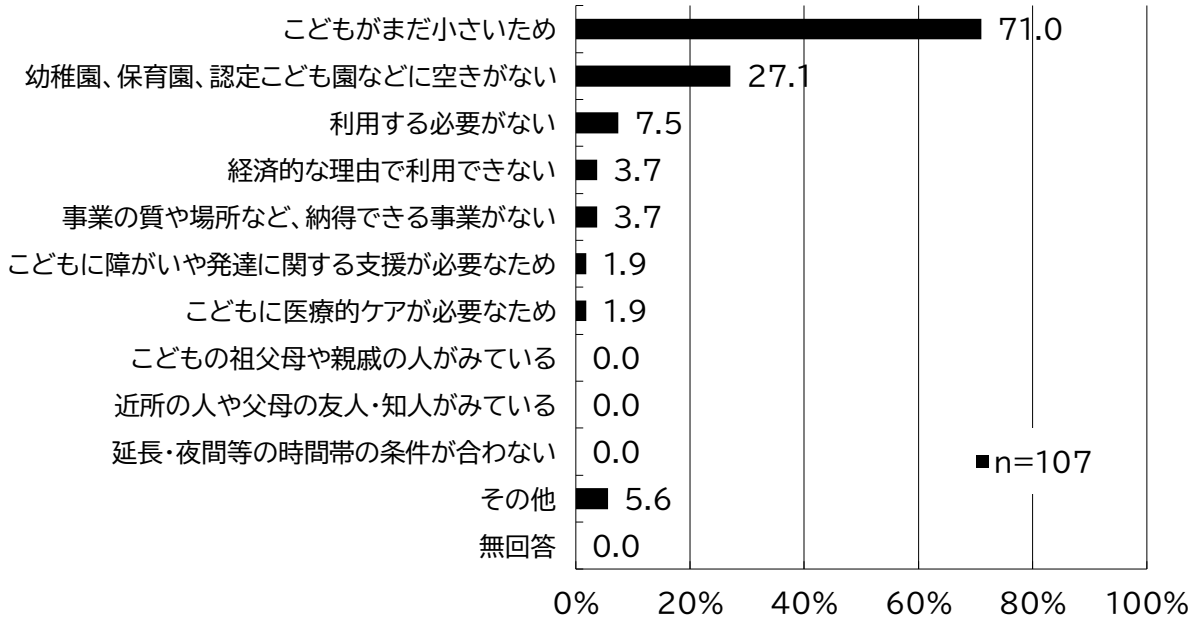
「子育てをしている方が現在就労している」が 62.0%と最も高く、次いで「こどもの教育や発達のため」が 56.1%、「その他」が 2.0%、「子育てをしている方が家族・親族などを介護している」が 0.8%と続いています。



「その他」：きょうだいがまだ小さい、24 時間私が中心で子育てするのは辛い　等

問１４－２　利用していない理由は何ですか。（複数回答可）

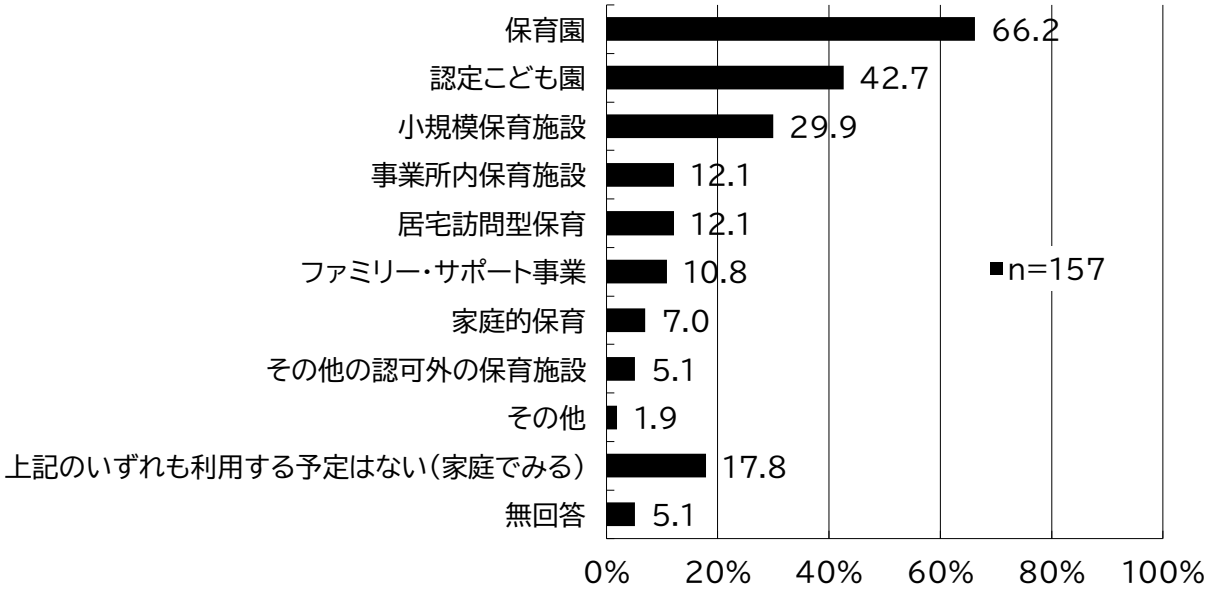
「こどもがまだ小さいため」が 71.0%と最も高く、次いで「幼稚園、保育園、認定こども園などに空きがない」が 27.1%、「利用する必要がない」が 7.5%、「その他」が 5.6%と続いています。



「その他」：育児休業中、求職中では希望の保育園に入るのが難しい　等

問１５　お子さんが２歳以下の方のみ、うかがいます。現在、利用している、利用していないに関わらず、お子さんが２歳以下のとき、平日に定期的に利用したい（利用を続けたい）事業は何ですか。（複数回答可）

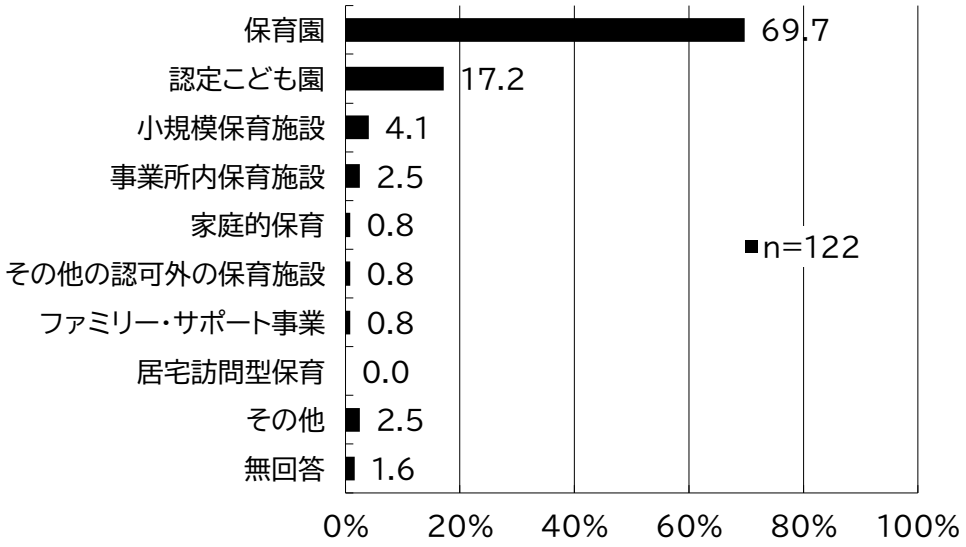
「保育園（県の認可を受けた公立や私立の保育園）」が 66.2%と最も高く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）」が 42.7%、「小規模保育施設（３歳未満のこどもを預かる定員１９人以下の市の認可を受けた小規模な保育施設）」が 29.9%、「上記のいずれも利用する予定はない（家庭でみる）」が 17.8%と続いています。



「その他」：医療的ケア児のためのデイサービス、一時保育、プレ幼稚園　等

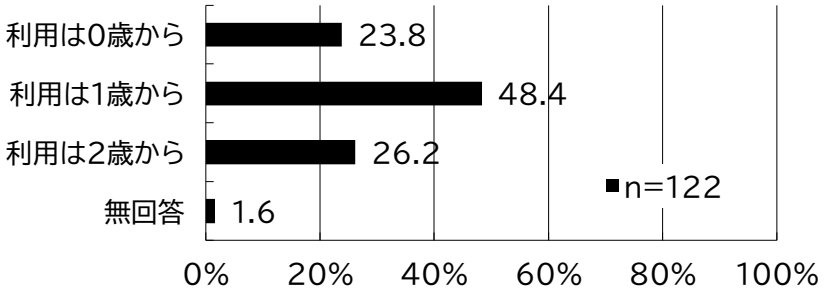
先ほどの回答の中で最も利用したい事業を選択してください。

「保育園（県の認可を受けた公立や私立の保育園）」が 69.7%と最も高く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）」が 17.2%、「小規模保育施設（３歳未満のこどもを預かる定員１９人以下の市の認可を受けた小規模な保育施設）」が 4.1%、「事業所内保育施設（企業が主に従業員のためにこどもを預かる施設）」が 2.5%と続いています。



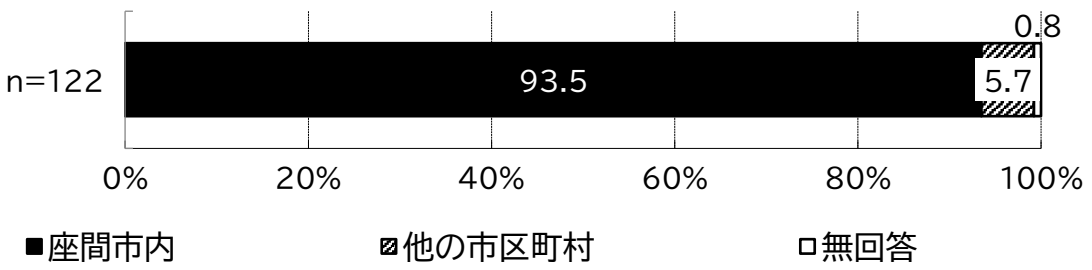
問１５－１（１）　最も利用したい事業の利用希望開始年齢（既に利用中の方は開始年齢）をお答えください。

「利用は１歳から」が 48.4%と最も高く、次いで「利用は２歳から」が 26.2%、「利用は０歳から」が 23.8%と続いています。



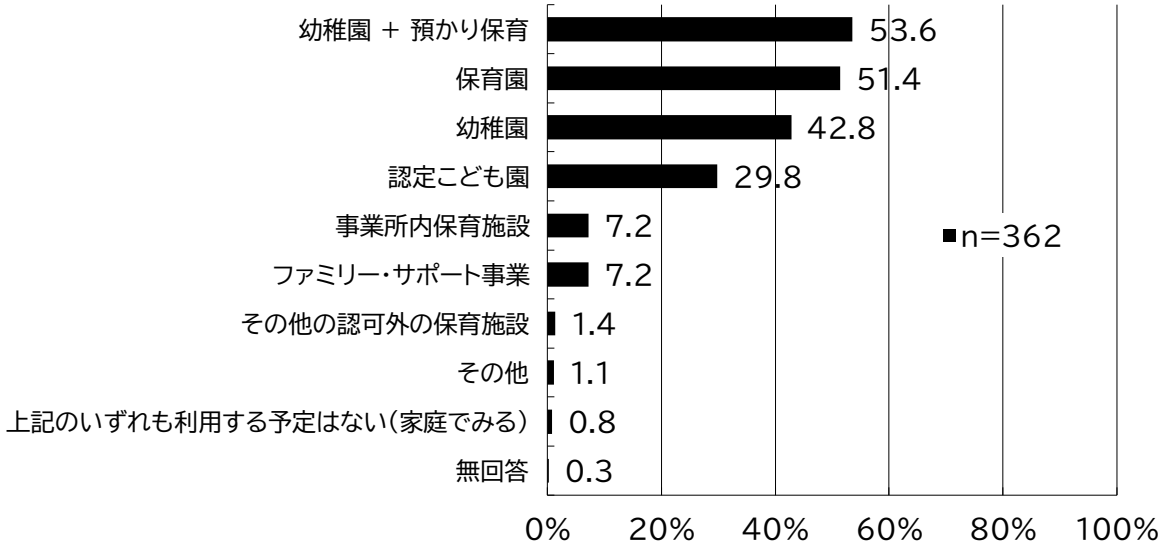
問１５－１（２）　利用したい保育園、認定こども園などの場所をお答えください。

「座間市内」が 93.5%、「他の市区町村」が 5.7%となっています。



問１６　すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないに関わらず、お子さんが３歳以上のとき、平日に定期的に利用したい（利用を続けたい）事業は何ですか。（複数回答可）

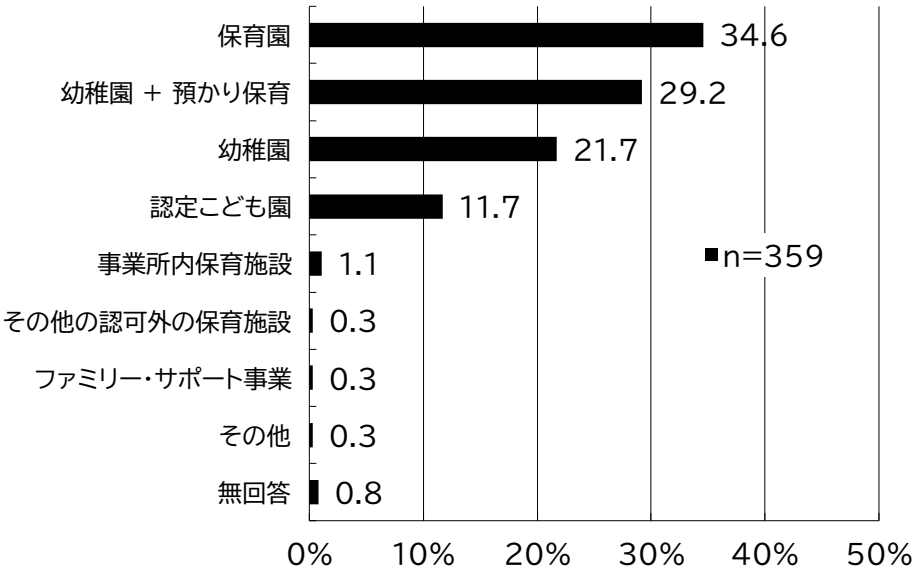
「幼稚園 ＋ 預かり保育」が 53.6%、「保育園」が 51.4%とこれらが上位２つで、次いで「幼稚園」が 42.8%、「認定こども園」が 29.8%と続いています。



「その他」：医療的ケア児のためのデイサービス、ベビーシッター、もっと気軽に預かってもらえる場所　等

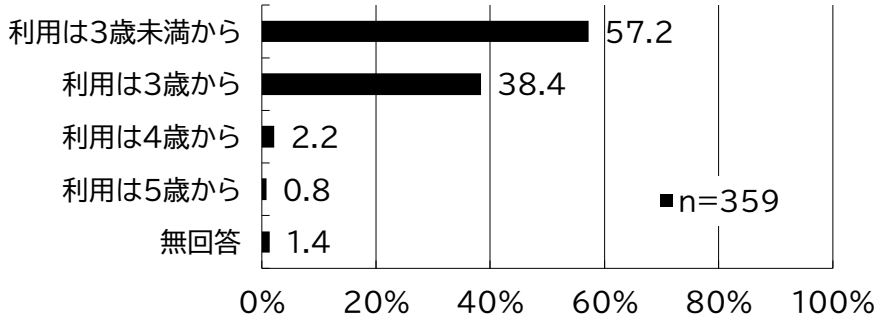
先ほどの回答の中で最も利用したい事業を選択してください。

「保育園」が 34.6%と最も高く、次いで「幼稚園 ＋ 預かり保育」が 29.2%、「幼稚園」が 21.7%、「認定こども園」が 11.7%と続いています。



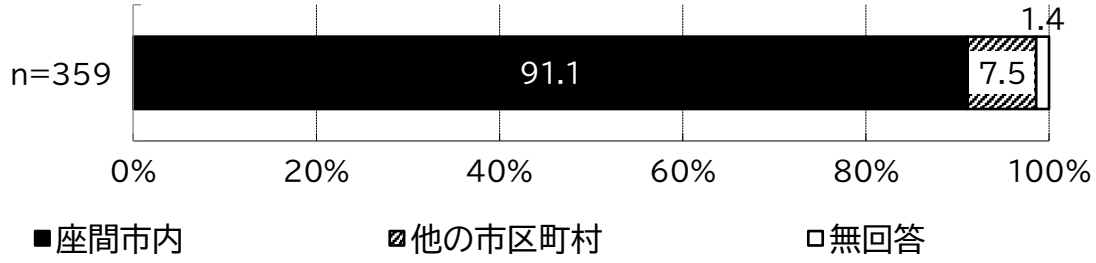
問１６－１（１）　最も利用したい事業の利用希望開始年齢（既に利用中の方は開始年齢）をお答えください。

「利用は３歳未満から」が 57.2%と最も高く、次いで「利用は３歳から」が 38.4%、「利用は４歳から」が 2.2%、「利用は５歳から」が 0.8%と続いています。



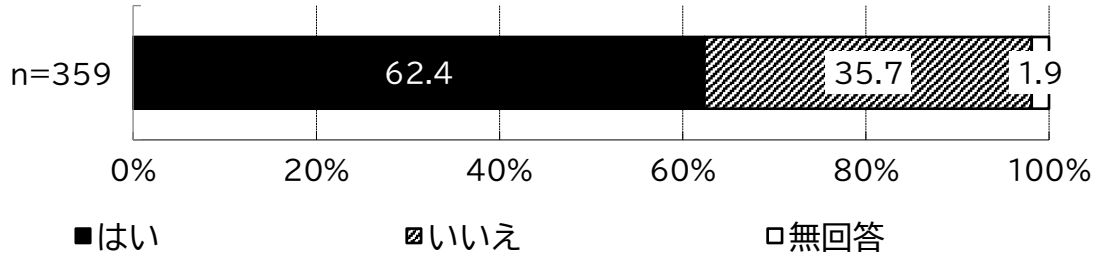
問１６－１（２）　利用したい幼稚園、保育園、認定こども園などの場所をお答えください。

「座間市内」が 91.1%、「他の市区町村」が 7.5%となっています。



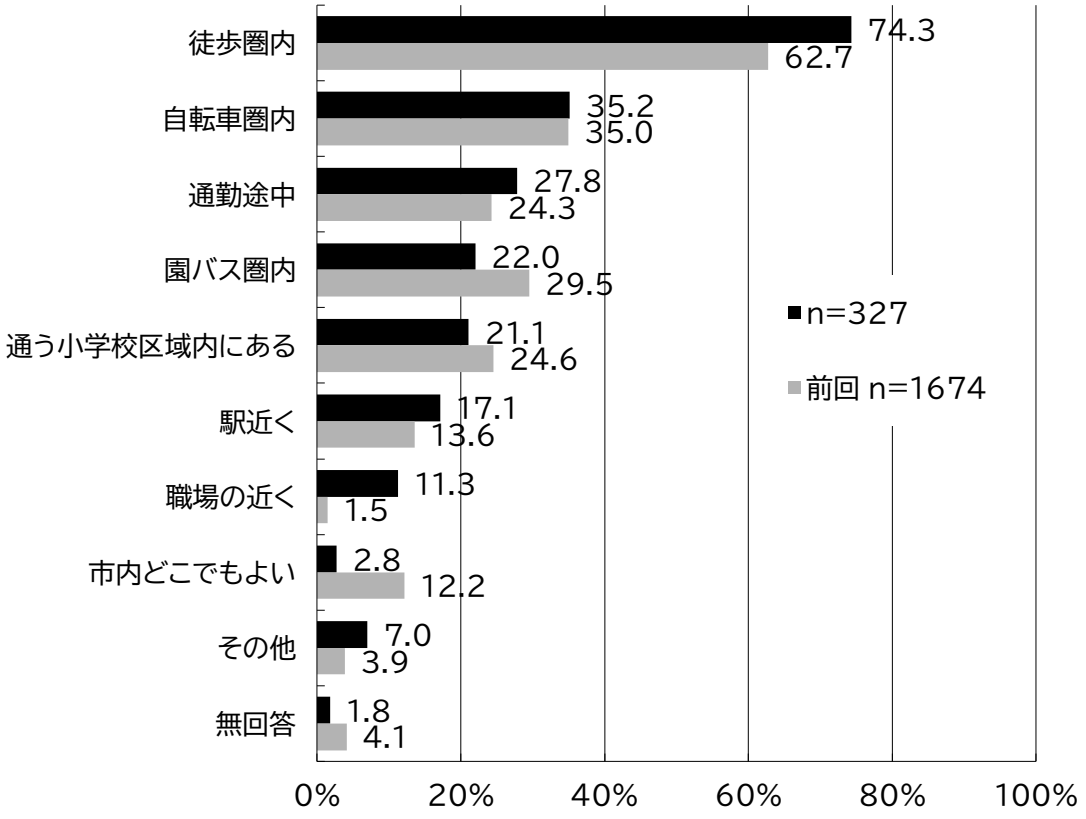
問１６－２　特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

「はい」が 62.4%、「いいえ」が 35.7%となっています。



問１７　平日の幼稚園、保育園、認定こども園などを市内で選ぶ際に、重視する条件や通園手段は何ですか。（複数回答可）

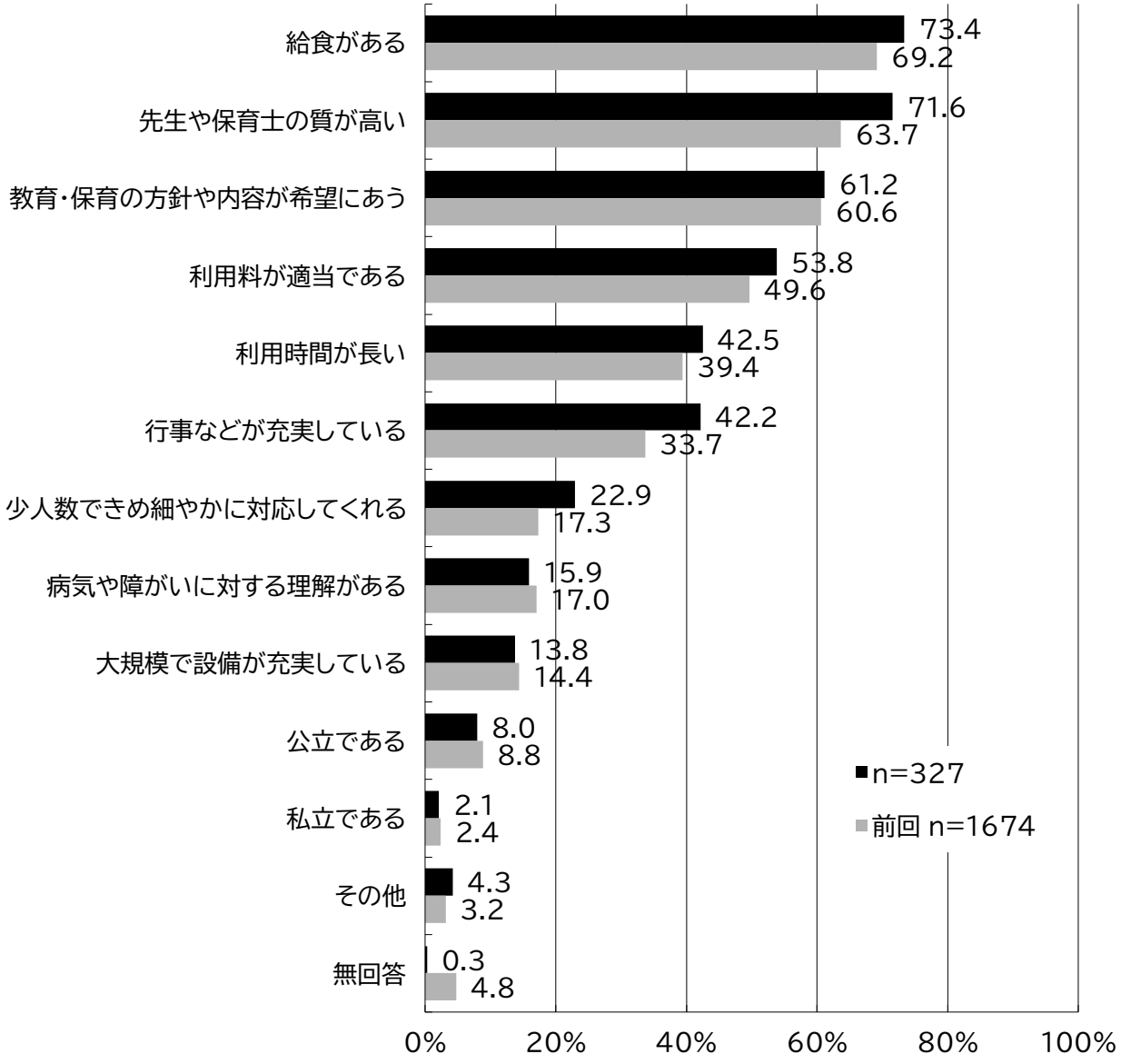
「徒歩圏内」が 74.3%と最も高く、次いで「自転車圏内」が 35.2%、「通勤途中」が 27.8%、「園バス圏内」が 22.0%と続いています。



「その他」：駐車場があること、こどもに合う園ならどんな通園手段でも良い　等

問１７（２）　園などの方針や内容で重視する条件をお答えください。（複数回答可）

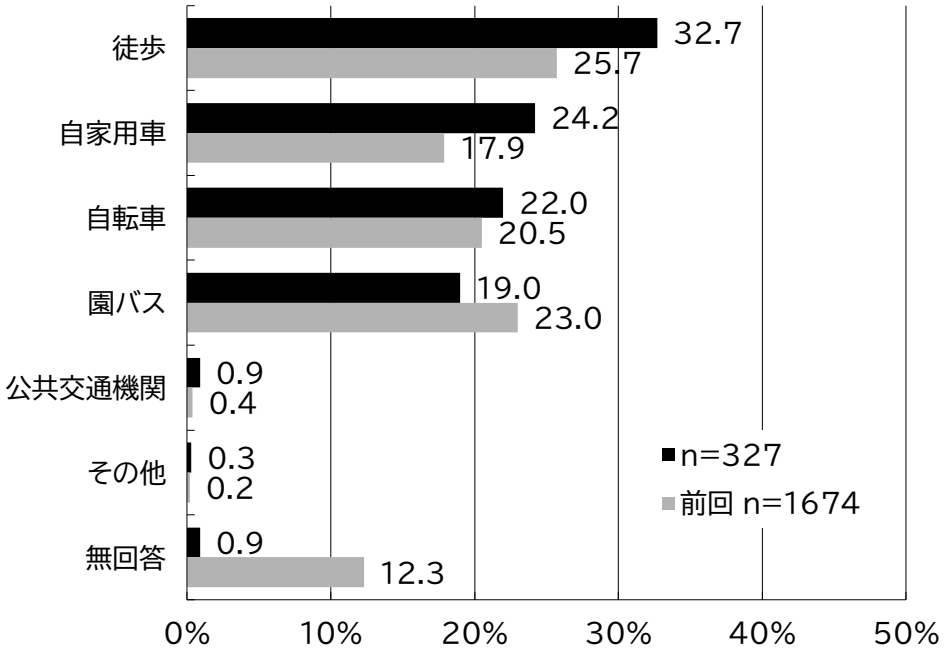
「給食がある」が 73.4%、「先生や保育士の質が高い」が 71.6%とこれらが上位２つで、次いで「教育・保育の方針や内容が希望にあう」が 61.2%、「利用料が適当である」が 53.8%と続いています。



「その他」：看護師の配置、危機管理、清潔、朝の保育、親の希望でなくこどもの性格に合う　等

問１７（３）　園などへの主な通園手段をお答えください。

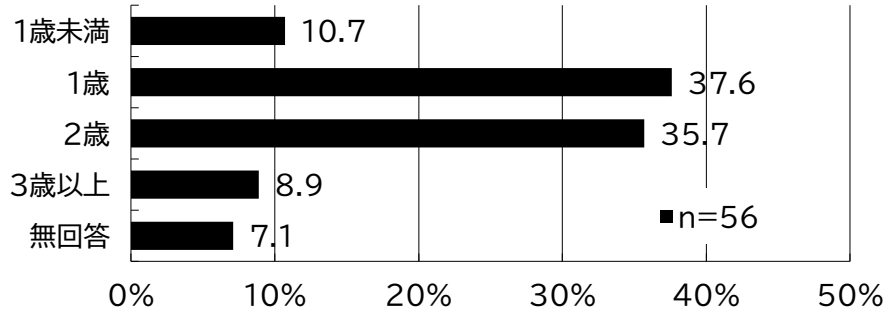
「徒歩」が 32.7%と最も高く、次いで「自家用車」が 24.2%、「自転車」が 22.0%、「園バス」が 19.0%と続いています。



「その他」：記入なし

問１８　現在、育児休業中の方にうかがいます。必ず利用できる園などがあれば、何歳まで育児休業を取得しますか。

「１歳」が 37.6%、「２歳」が 35.7%とこれらが上位２つで、次いで「１歳未満」が 10.7%、「３歳以上」が 8.9%と続いています。

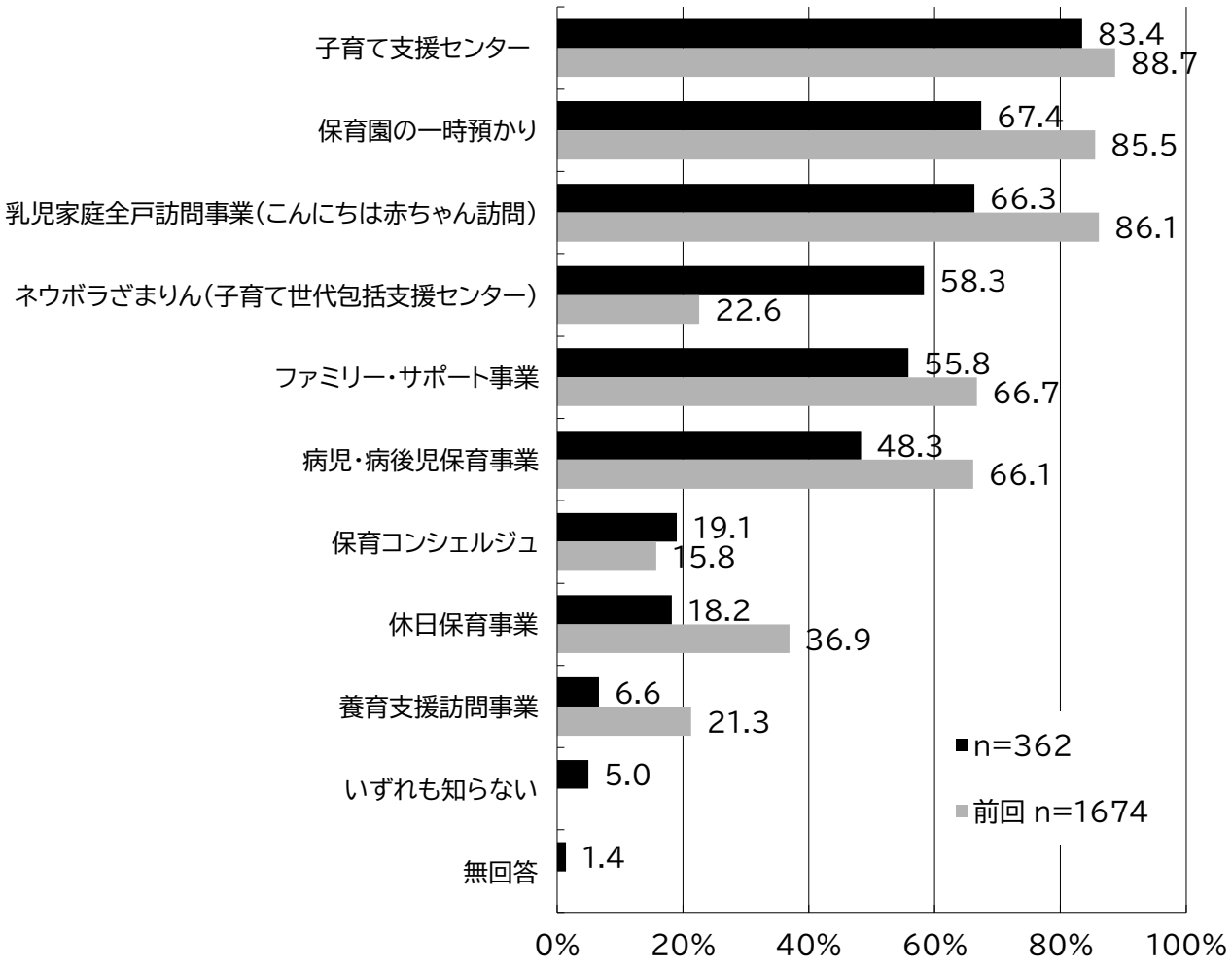


お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問１９　次の市の事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

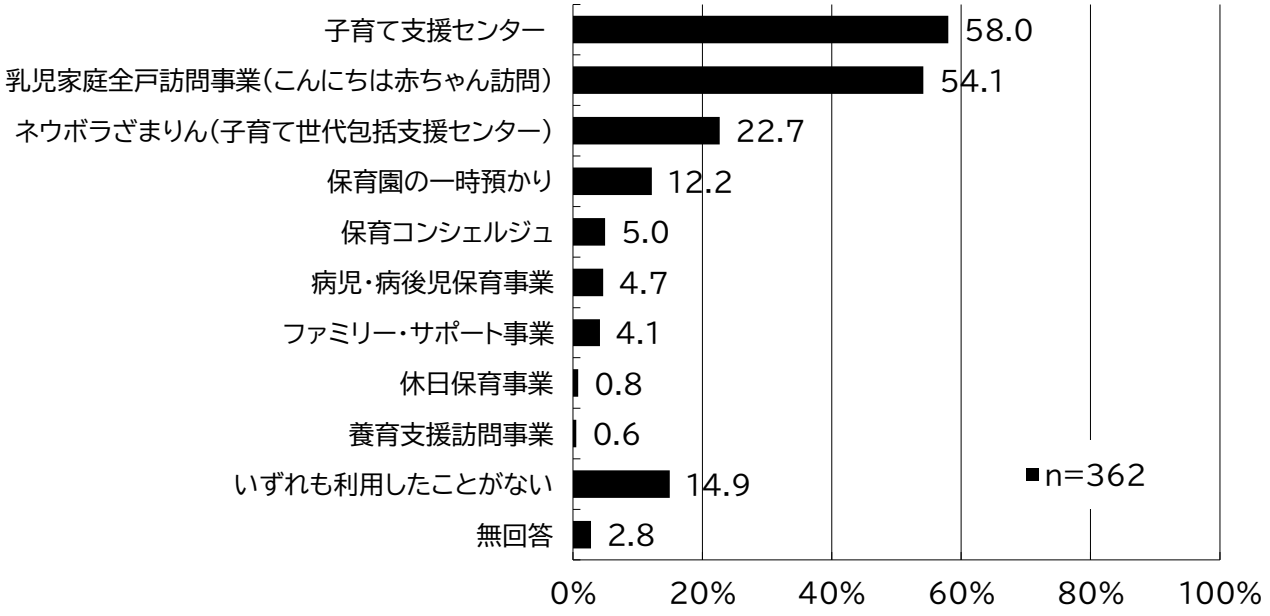
知っているものをお答えください。（複数回答可）

「子育て支援センター」が 83.4%と最も高く、次いで「保育園の一時預かり 」が 67.4%、「乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）」が 66.3%、「ネウボラざまりん（子育て世代包括支援センター）」が 58.3%と続いています。



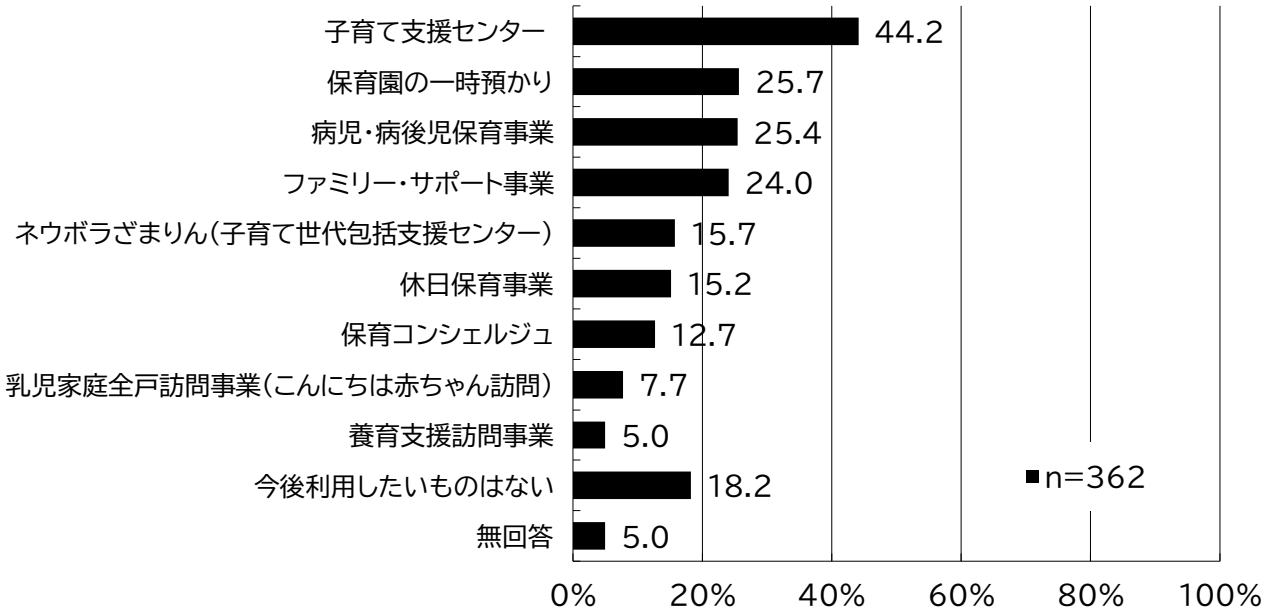
利用したことがあるものをお答えください。（複数回答可）

「子育て支援センター」が 58.0%、「乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）」が 54.1%とこれらが上位２つで、次いで「ネウボラざまりん（子育て世代包括支援センター）」が 22.7%、「いずれも利用したことがない」が 14.9%と続いています。



今後利用したいものをお答えください。（複数回答可）

「子育て支援センター」が 44.2%と最も高く、次いで「保育園の一時預かり」が 25.7%、「病児・病後児保育事業」が 25.4%、「ファミリー・サポート事業」が 24.0%と続いています。



問２０　ここ３か月の間で、利用している施設をお答えください。（複数回答可）

「いずれも利用していない」が 73.2%と最も高く、次いで「ざまりんのおうち　ゆめ」が 8.8%、「ざまりんのおうち　ひまわり」が 8.6%、「ざまりんのおうち　かがやき」が 7.7%と続いています。

〈幼稚園、保育園等の定期利用の状況別〉

現在、幼稚園、保育園、認定こども園などを“利用していない”場合は、回答者の約 40%（「いずれも利用していない」、「無回答」を除いた割合）がいずれかの施設を利用しています。

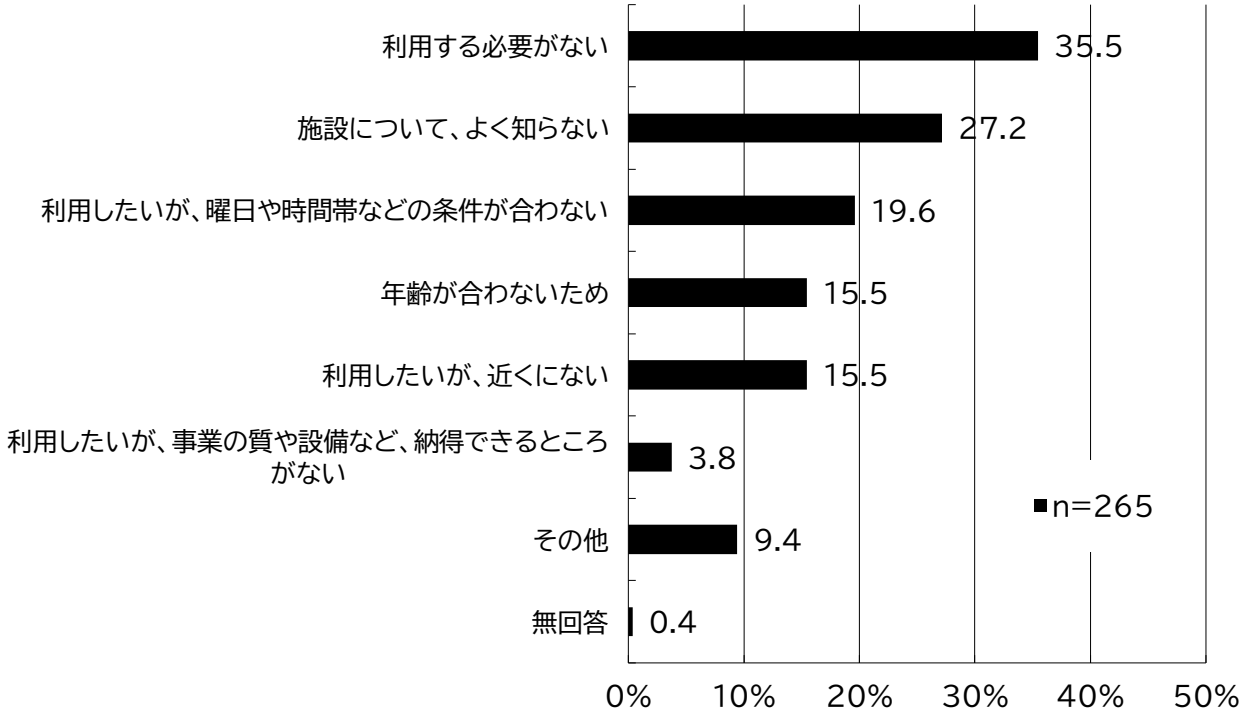
		回答者数	ざまりんのおうちゆめ	ざまりんのおうちひまわり	ざまりんのおうちかがやき	いずれも利用していない	無回答
全体		362	8.8%	8.6%	7.7%	73.2%	7.5%
幼稚園、保育園等の定期利用の状況	利用している	255	5.9%	3.1%	3.9%	80.8%	9.0%
	利用していない	107	15.9%	21.5%	16.8%	55.1%	3.7%

利用している場合は選択した施設の１か月当たりのおおよその利用回数をそれぞれ記入してください。

	平均値	最頻値	中央値
ざまりんのおうち　ゆめ	3.2 回	1.0 回	2.0 回
ざまりんのおうち　ひまわり	2.9 回	1.0 回	2.0 回
ざまりんのおうち　かがやき	4.1 回	1.0 回	2.0 回

問２０－１　利用していない理由は何ですか。（複数回答可）

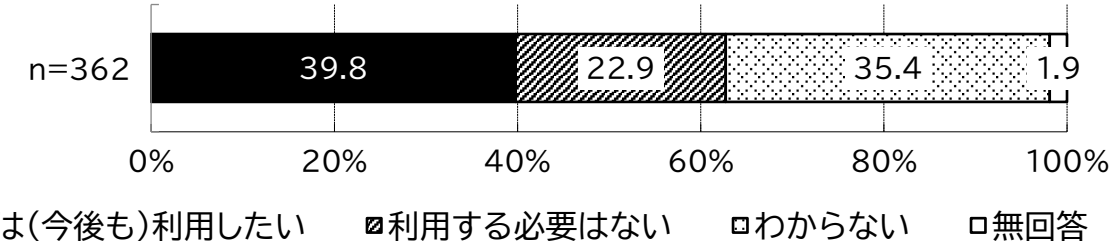
「利用する必要がない」が 35.5%と最も高く、次いで「施設について、よく知らない」が 27.2%、「利用したいが、曜日や時間帯などの条件が合わない」が 19.6%、「年齢が合わないため」が 15.5%と続いています。



「その他」：働いているため、まだ小さいため、時間が制限されて使いづらい、騒がしい　等

問２１　子育て支援センターについて、今後は（今後も）利用したいと思いますか。

「今後は（今後も）利用したい」が 39.8%、「わからない」が 35.4%とこれらが上位２つで、次いで「利用する必要はない」が 22.9%と続いています。



〈お子さんの年齢区分別〉

お子さんが０歳の場合は、「今後は（今後も）利用したい」が 60.0%、１・２歳の場合は 48.5%となっています。

		回答者数	今後は（今後も）利用したい	利用する必要はない	わからない	無回答
全体		362	39.8%	22.9%	35.4%	1.9%
お子さんの年齢区分	０歳	60	60.0%	10.0%	30.0%	0.0%
	１・２歳	97	48.5%	20.6%	29.9%	1.0%

問２１－１　１週当たりのおおよその利用希望回数（頻度）を枠内に記入してください。

平均値	1.5 回
最頻値	1.0 回
中央値	1.0 回

１か月当たりのおおよその利用希望回数（頻度）を枠内に記入してください。

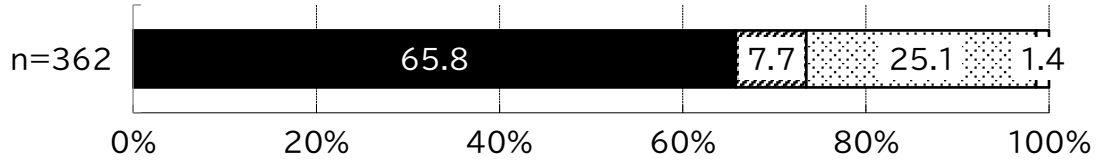
平均値	3.6 回
最頻値	4.0 回
中央値	3.0 回

お子さんの日曜日、祝日、夏休みなどの幼稚園、保育園、認定こども園などの定期的な利用希望について

問２２　お子さんについて、次の場合に、幼稚園、保育園、認定こども園などの定期的な利用希望はありますか。

（１）　土曜日の利用について

「利用する必要はない」が 65.8%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 25.1%、「ほぼ毎週利用したい」が 7.7%と続いています。



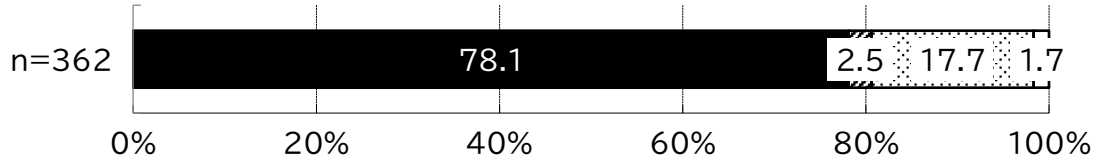
■利用する必要はない　▨ほぼ毎週利用したい　▣月に1～2回は利用したい　□無回答

〈利用希望時間帯〉

	利用希望開始時刻	利用希望終了時刻
平均値	8:17	16:24
最頻値	8:00	16:00
中央値	8:00	16:00

（２）　日曜日、祝日の利用について

「利用する必要はない」が 78.1%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 17.7%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.5%と続いています。



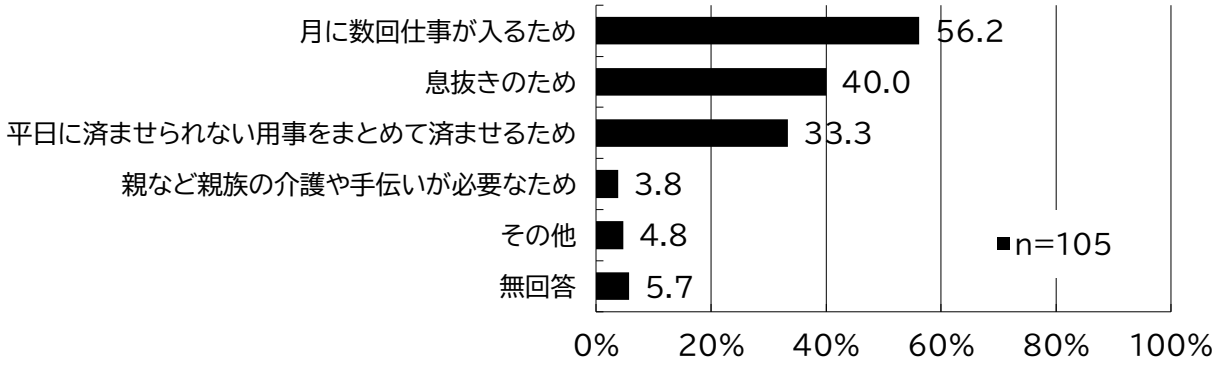
■利用する必要はない　▨ほぼ毎週利用したい　▣月に1～2回は利用したい　□無回答

〈利用希望時間帯〉

	利用希望開始時刻	利用希望終了時刻
平均値	8:25	16:41
最頻値	8:00	16:00
中央値	8:00	17:00

問２２－１　毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（複数回答可）

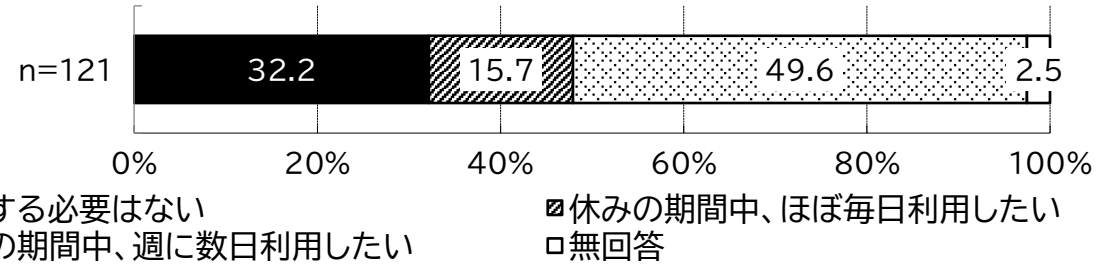
「月に数回仕事が入るため」が 56.2%と最も高く、次いで「息抜きのため」が 40.0%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 33.3%、「その他」が 4.8%と続いています。



「その他」：市内や近場でこどもが安心して遊べる場所が欲しい、会社が祝日勤務のため　等

問２３　「認定こども園」又は「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休みなどに認定こども園、幼稚園などの利用を希望しますか。

「休みの期間中、週に数日利用したい」が 49.6%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 32.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 15.7%と続いています。

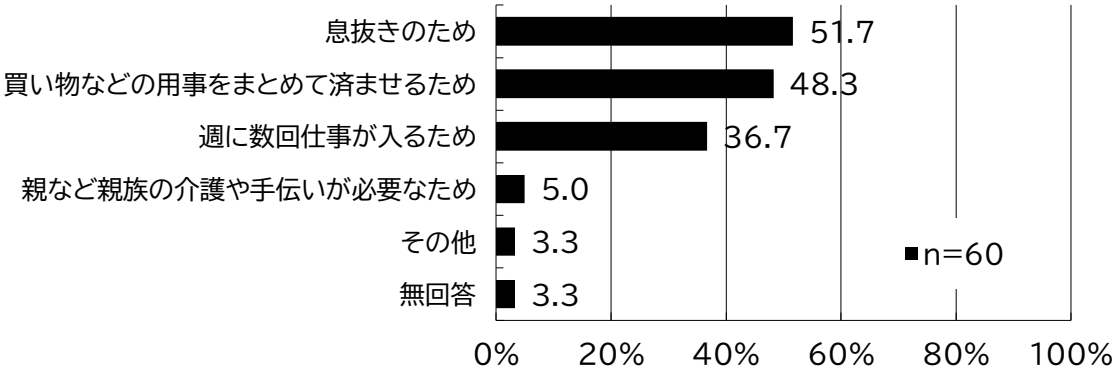


〈利用希望時間帯〉

	利用希望開始時刻	利用希望終了時刻
平均値	8:25	15:57
最頻値	8:00	16:00
中央値	8:00	16:00

問２３－１　毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（複数回答可）

「息抜きのため」が 51.7%、「買い物などの用事をまとめて済ませるため」が 48.3%とこれらが上位２つで、次いで「週に数回仕事が入るため」が 36.7%、「親など親族の介護や手伝いが必要なため」が 5.0%と続いています。

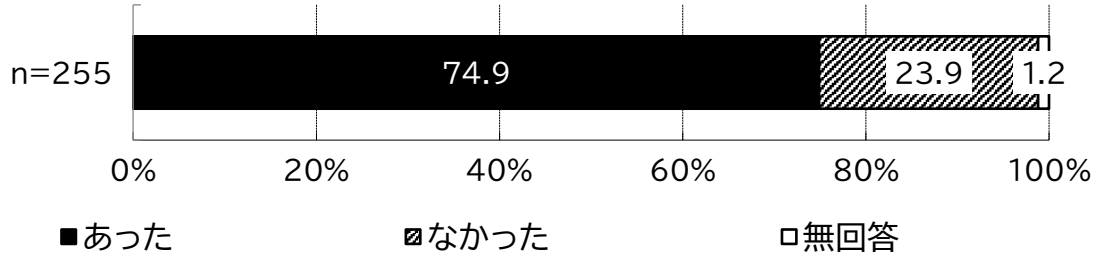


「その他」：こどもにお友達との交流をしてもらいたい、夏休み明けに行き渋らないよう慣れておきたい　等

お子さんの病気やケガの際の対応について

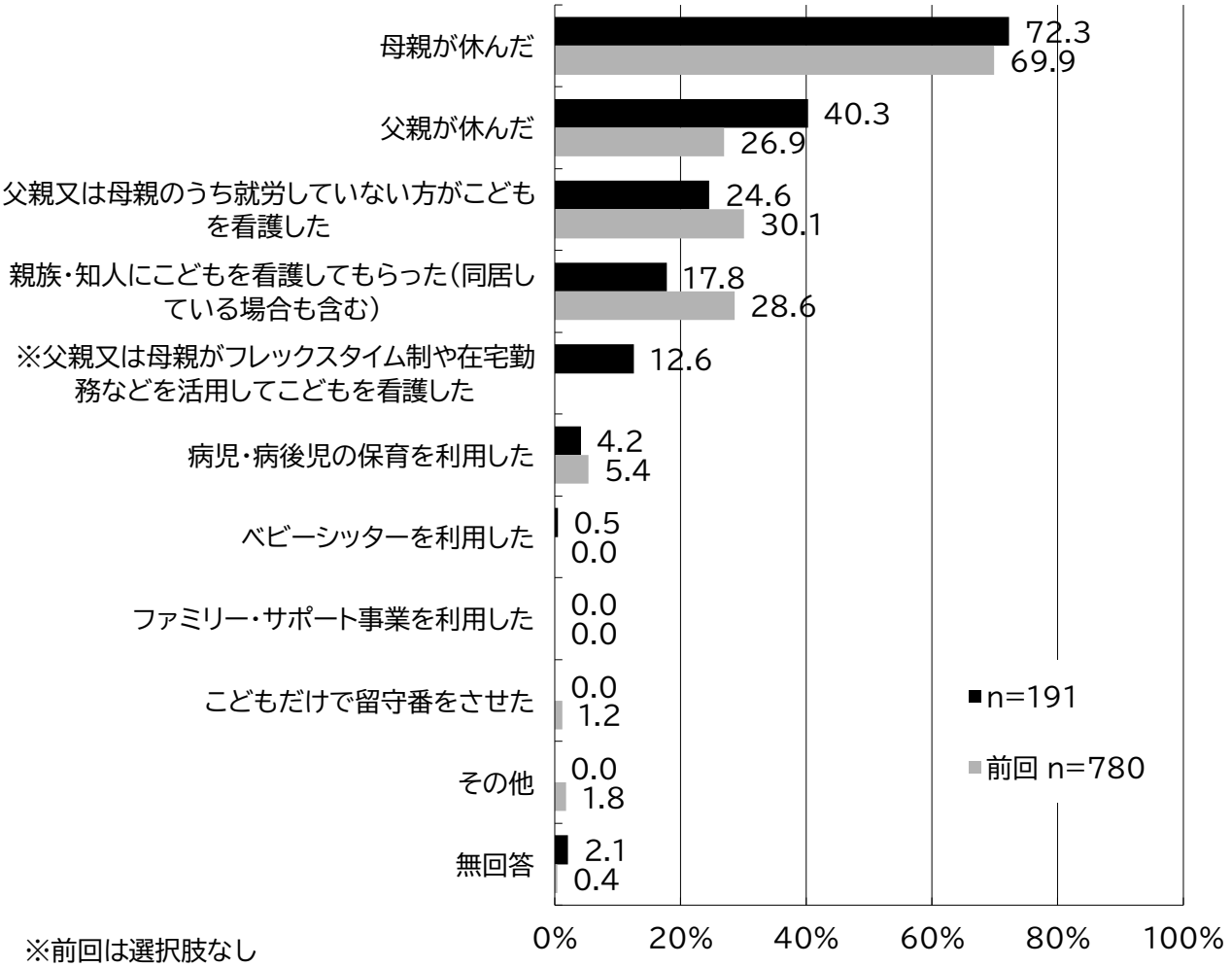
問２４　この１年間に、病気やケガで幼稚園、保育園、認定こども園などが利用できなかったことはありますか。

「あった」が 74.9%、「なかった」が 23.9%となっています。



問２４－１　利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法はどのようなことですか。（複数回答可）

「母親が休んだ」が 72.3%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が 40.3%、「父親又は母親のうち就労していない方がこどもを看護した」が 24.6%、「親族・知人にこどもを看護してもらった（同居している場合も含む）」が 17.8%と続いています。



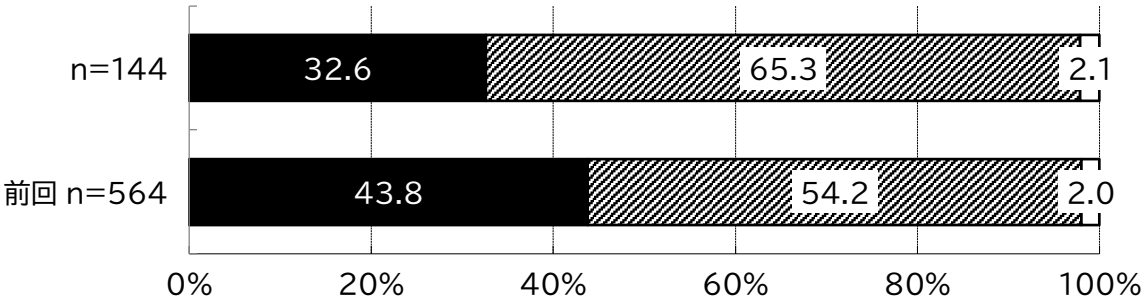
※前回は選択肢なし

〈年間対処日数〉

	平均値	最頻値	中央値
母親が休んだ	8.3日	10.0日	6.5日
父親が休んだ	5.6日	5.0日	5.0日
父親又は母親のうち就労していない方がこどもを看護した	8.2日	7.0日	7.0日
親族・知人にこどもを看護してもらった（同居している場合も含む）	5.4日	2.0日	5.0日
父親又は母親がフレックスタイム制や在宅勤務などを活用してこどもを看護した	11.1日	3.0日	5.0日
病児・病後児の保育を利用した	3.5日	3.0日	3.0日
ベビーシッターを利用した	3.0日	3.0日	3.0日
ファミリー・サポート事業を利用した	－	－	－
こどもだけで留守番をさせた	－	－	－
その他	－	－	－

問２４－２　問２４－１で「父親が休んだ」もしくは「母親が休んだ」を選択した方にうかがいます。お子さんの病気などで仕事を休んだとき、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。

「利用したいとは思わない」が 65.3%、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が 32.6%となっています。



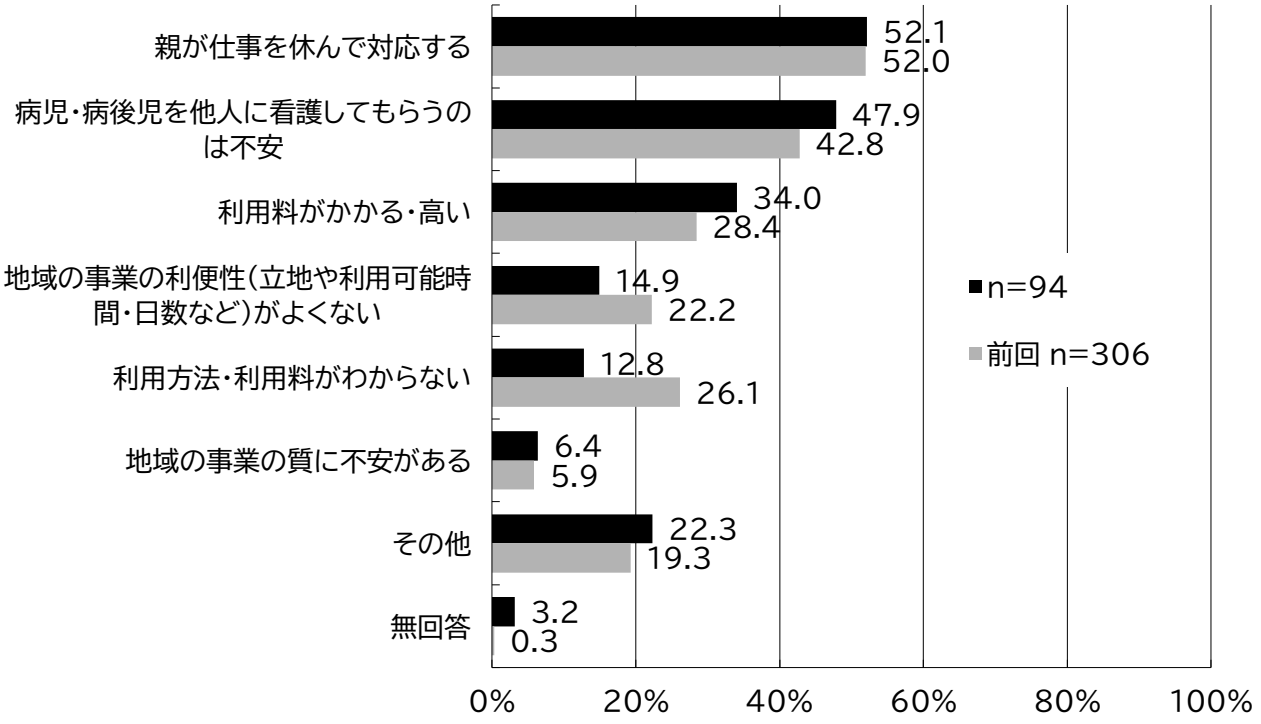
■できれば病児･病後児保育施設などを利用したい　▨利用したいとは思わない　□無回答

〈病児・病後児保育施設の年間利用希望日数〉

平均値	9.0日
最頻値	7.0日
中央値	7.0日

問２４－３　利用したいとは思わない理由は何ですか。（複数回答可）

「親が仕事を休んで対応する」が 52.1%、「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が 47.9%とこれらが上位２つで、次いで「利用料がかかる・高い」が 34.0%、「その他」が 22.3%と続いています。



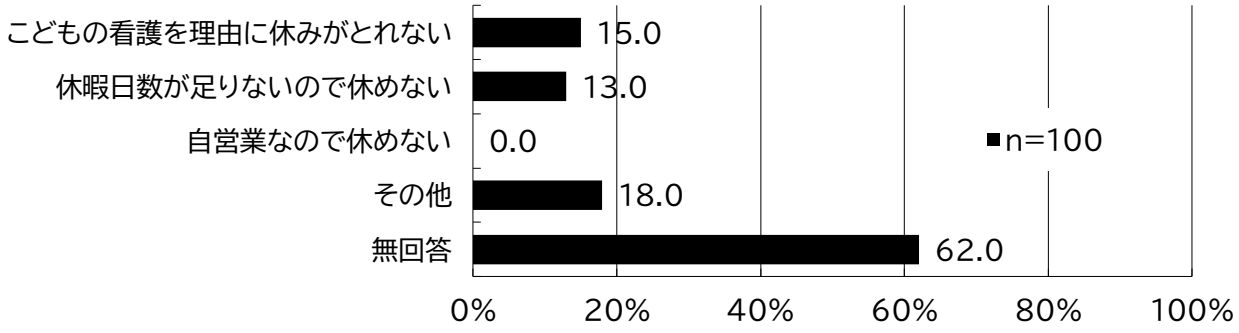
「その他」：利用前に受診が必要で仕事を休むのと変わらない、予約など手続きが面倒、こどもに負担がかかる、祖父母がみてくれる　等

問２４－４　問２４－１で「父親が休んだ」もしくは「母親が休んだ」以外を選択した方にうかがいます。仕事を休んで看護したかった日数についてお答えください。

平均値	8.2 日
最頻値	10.0 日
中央値	7.0 日

問２４－５　問２４－１で「父親が休んだ」もしくは「母親が休んだ」以外を選択した方にうかがいます。問２４－４で回答した希望の日数の休みをとれない理由は何ですか。（複数回答可）

「その他」が 18.0%、「こどもの看護を理由に休みがとれない」が 15.0%とこれらが上位２つで、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が 13.0%と続いています。

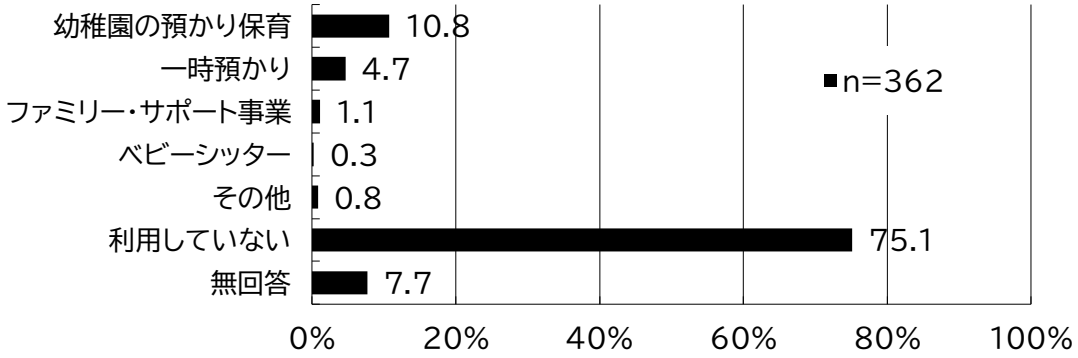


「その他」：母親が就労していないため、発熱などの症状があまりにも多すぎて毎回休むことは不可能、在宅勤務で対応可能なため　等

幼稚園、保育園、認定こども園などの不定期の利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問２５　お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用する事業はありますか。（複数回答可）

「利用していない」が 75.1%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 10.8%、「一時預かり」が 4.7%、「ファミリー・サポート事業」が 1.1%と続いています。



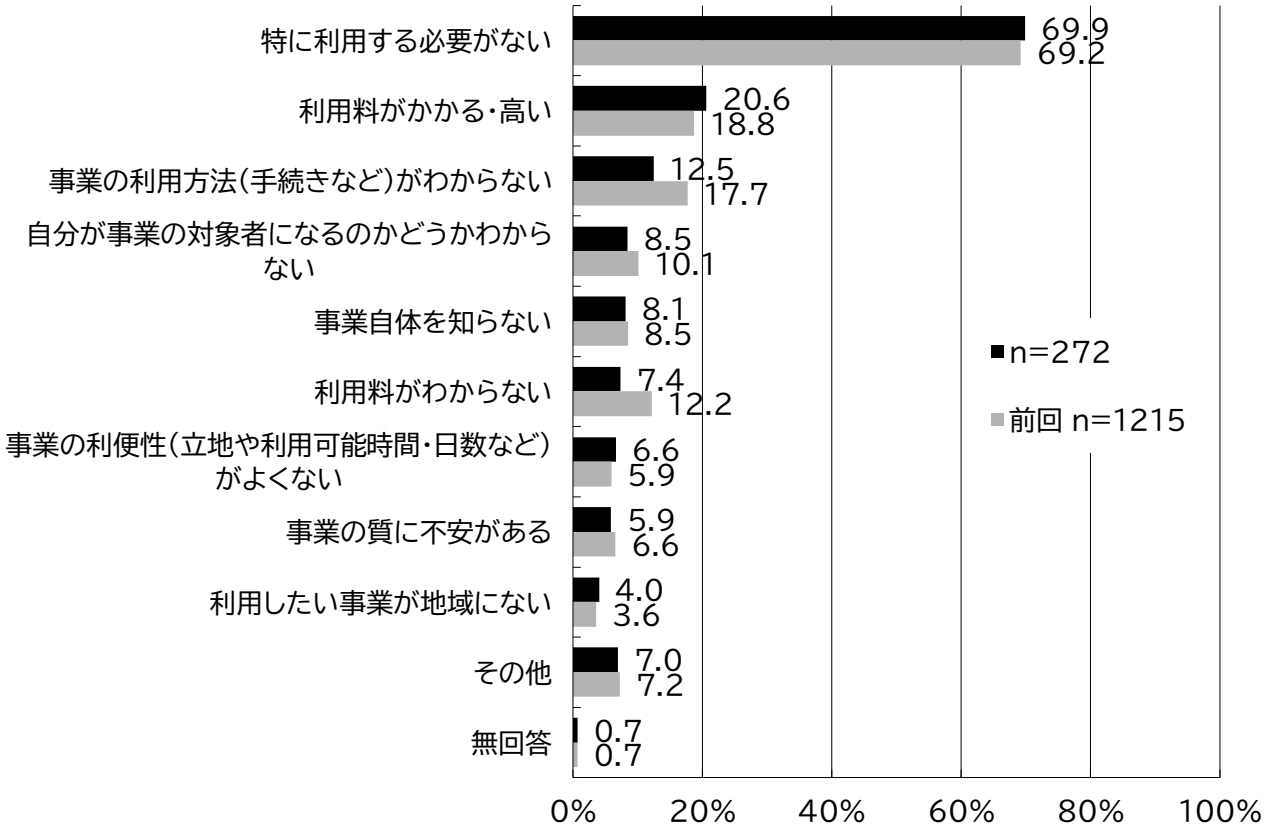
「その他」：職場の保育園、レスパイト施設　等

〈年間利用日数〉

	平均値	最頻値	中央値
幼稚園の預かり保育	9.1 日	1.0 日	7.0 日
一時預かり	8.1 日	3.0 日	5.0 日
ファミリー・サポート事業	6.0 日	2.0 日	2.0 日
ベビーシッター	50.0 日	50.0 日	50.0 日
その他	7.0 日	7.0 日	7.0 日

問２５－１　現在利用していない理由は何ですか。（複数回答可）

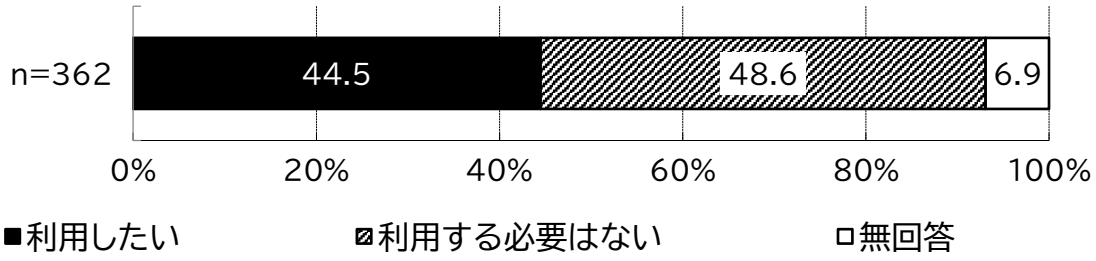
「特に利用する必要がない」が 69.9%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 20.6%、「事業の利用方法（手続きなど）がわからない」が 12.5%、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」が 8.5%と続いています。



「その他」：生後間もないため、近くの実家に預けられるため、手続きが困難　等

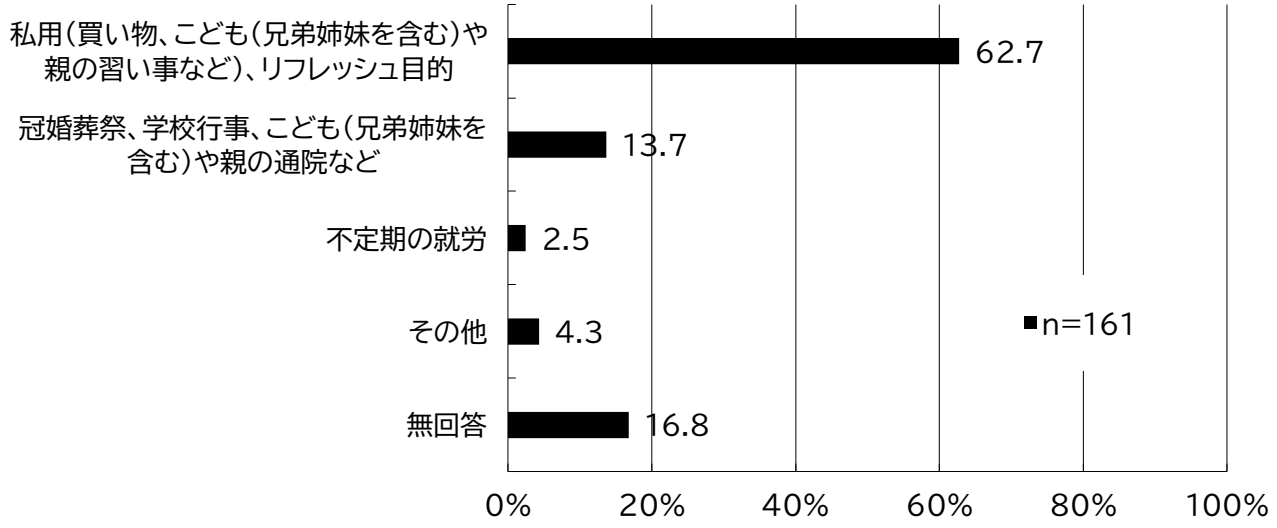
問２６　お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日事業を利用したいですか。

「利用する必要はない」が 48.6%、「利用したい」が 44.5%となっています。



利用したい理由（複数回答可）

「私用（買い物、こども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、リフレッシュ目的」が 62.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、こども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が 13.7%、「その他」が 4.3%、「不定期の就労」が 2.5%と続いています。



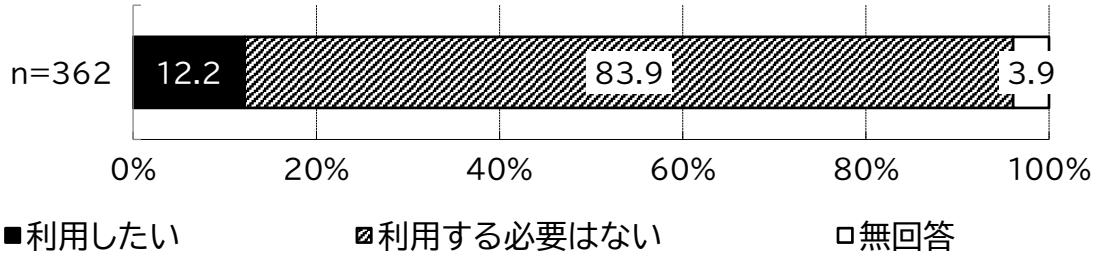
「その他」：親の体調不良、親の就職活動　等

〈年間利用希望日数〉

	平均値	最頻値	中央値
私用（買い物、こども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、リフレッシュ目的	10.0 日	12.0 日	7.0 日
冠婚葬祭、学校行事、こども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など	6.9 日	7.0 日	6.0 日
不定期の就労	16.0 日	5.0 日	5.0 日
その他	11.6 日	12.0 日	12.0 日

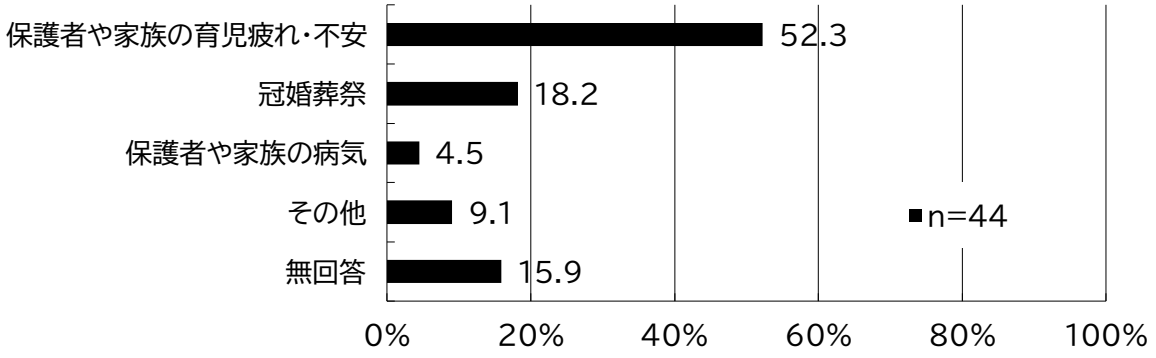
問２７　ショートステイ等を利用したいですか。

「利用する必要はない」が 83.9%、「利用したい」が 12.2%となっています。



利用したい理由（複数回答可）

「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 52.3%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」が 18.2%、「その他」が 9.1%、「保護者や家族の病気」が 4.5%と続いています。



「その他」：夜間の仕事のため、リフレッシュ　等

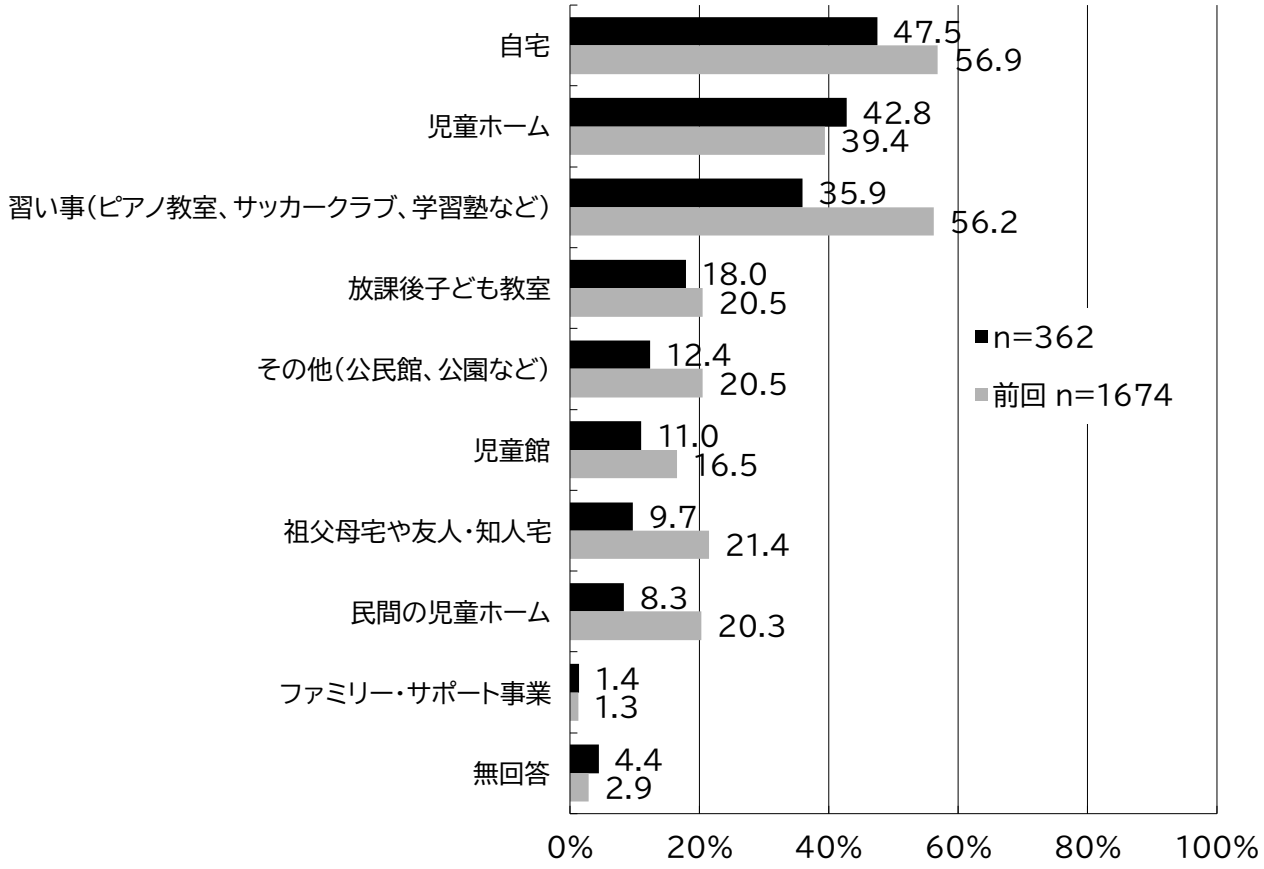
〈年間利用希望泊数〉

	平均値	最頻値	中央値
保護者や家族の育児疲れ・不安	1.9 泊	1.0 泊	2.0 泊
冠婚葬祭	4.3 泊	1.0 泊	3.0 泊
保護者や家族の病気	4.3 泊	7.0 泊	3.0 泊
その他	6.2 泊	12.0 泊	5.0 泊

お子さんについて、将来、小学校に就学した時の放課後の過ごし方について

問２８　小学校低学年（１～３年生）の間、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所や事業で過ごさせたいと思いますか。（複数回答可）

「自宅」が 47.5%、「児童ホーム」が 42.8%とこれらが上位２つで、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 35.9%、「放課後子ども教室」が 18.0%と続いています。



〈過ごさせたい週間日数〉

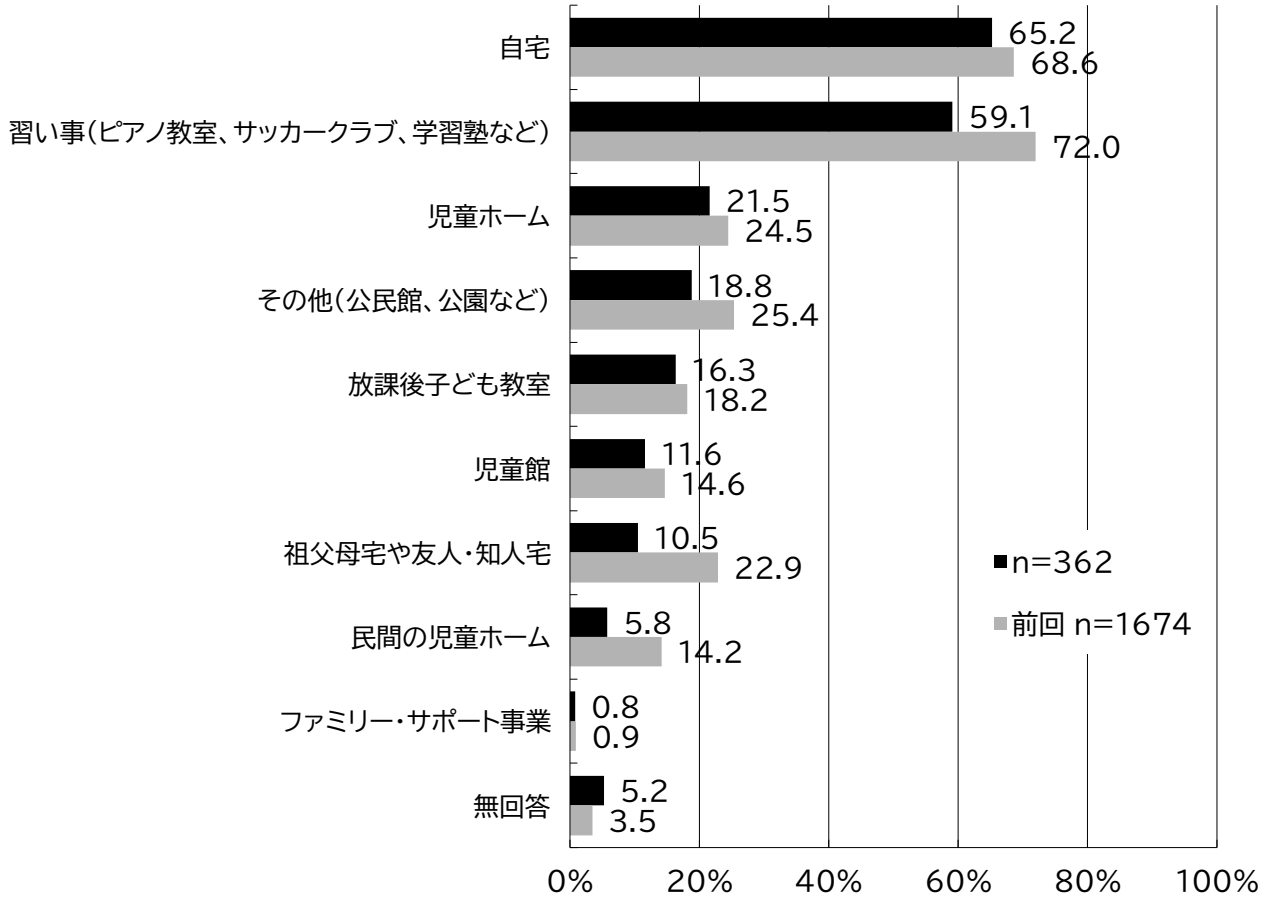
	平均値	最頻値	中央値
自宅	3.4日	3.0日	3.0日
児童ホーム	4.1日	5.0日	5.0日
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	1.8日	2.0日	2.0日
放課後子ども教室	2.8日	2.0日	3.0日
その他（公民館、公園など）	2.6日	3.0日	3.0日
児童館	3.1日	5.0日	3.0日
祖父母宅や友人・知人宅	2.2日	1.0日	2.0日
民間の児童ホーム	4.1日	5.0日	4.5日
ファミリー・サポート事業	2.8日	－	2.5日

〈児童ホームの希望終了時刻〉

	平均値	最頻値	中央値
児童ホーム	18:50	18:00	18:00

問２９　小学校高学年（４～６年生）の間、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所や事業で過ごさせたいと思いますか。（複数回答可）

「自宅」が 65.2%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 59.1%、「児童ホーム」が 21.5%、「その他（公民館、公園など）」が 18.8%と続いています。



〈過ごさせたい週間日数〉

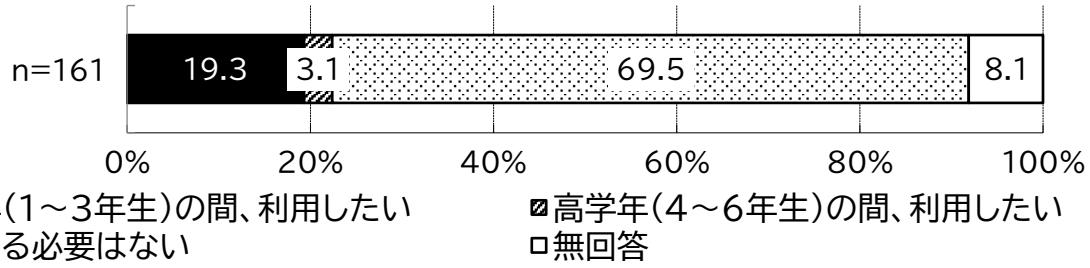
	平均値	最頻値	中央値
自宅	3.3日	3.0日	3.0日
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	2.1日	2.0日	2.0日
児童ホーム	3.6日	5.0日	3.0日
その他（公民館、公園など）	2.6日	3.0日	3.0日
放課後子ども教室	2.6日	2.0日	2.0日
児童館	2.8日	3.0日	3.0日
祖父母宅や友人・知人宅	2.2日	2.0日	2.0日
民間の児童ホーム	3.5日	3.0日	3.0日
ファミリー・サポート事業	2.7日		2.0日

〈児童ホームの希望終了時刻〉

	平均値	最頻値	中央値
児童ホーム	18:09	18:00	18:00

問３０　問２８又は問２９で「児童ホーム」を選択した方にうかがいます。お子さんの日曜日、祝日の児童ホームの利用希望はありますか。

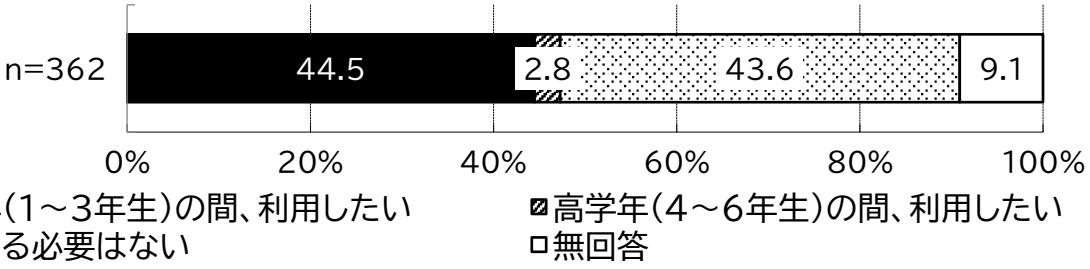
「利用する必要はない」が 69.5%と最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間、利用したい」が 19.3%、「高学年（４～６年生）の間、利用したい」が 3.1%と続いています。



	利用希望開始時刻	利用希望終了時刻
平均値	8:53	17:19
最頻値	8:00	18:00
中央値	8:00	18:00

問３１　すべての方にうかがいます。お子さんの夏休みなどの児童ホームの利用希望はありますか。

「低学年（１～３年生）の間、利用したい」が 44.5%、「利用する必要はない」が 43.6%とこれらが上位２つで、次いで「高学年（４～６年生）の間、利用したい」が 2.8%と続いています。

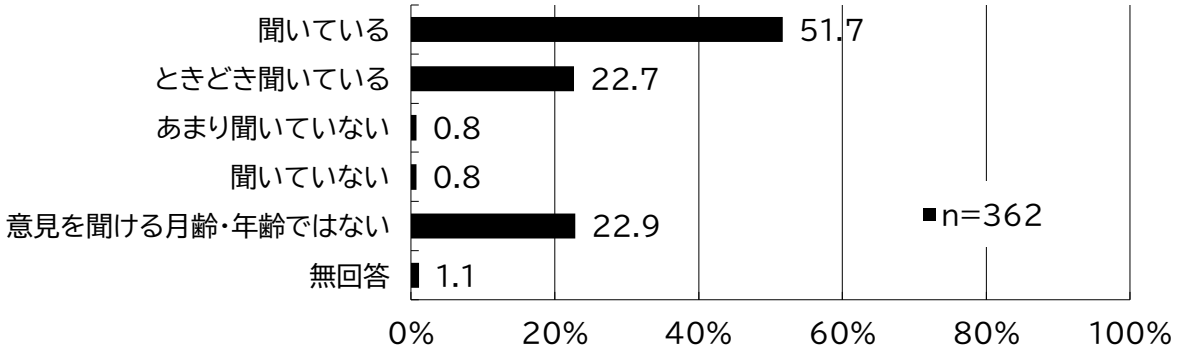


	利用希望開始時刻	利用希望終了時刻
平均値	8:14	17:14
最頻値	8:00	18:00
中央値	8:00	17:30

子育てや生活の状況、必要な支援について

問３２　あなたは普段、お子さんのことを決めるときにお子さんの意見を聞いていますか。

「聞いている」が 51.7%と最も高く、次いで「意見を聞ける月齢・年齢ではない」が 22.9%、「ときどき聞いている」が 22.7%、「あまり聞いていない」が 0.8%と続いています。



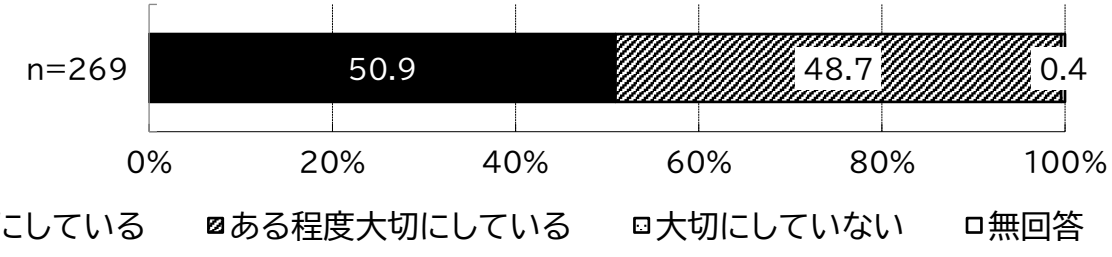
〈お子さんの年齢区分別〉

「聞いている」と「ときどき聞いている」を合わせた割合は、０歳で 28.3%、１・２歳で 58.8%、３～５歳で 95.5%となっています。

		回答者数	聞いている	ときどき聞いている	あまり聞いていない	聞いていない	意見を聞ける月齢・年齢ではない	無回答
全体		362	51.7%	22.7%	0.8%	0.8%	22.9%	1.1%
お子さんの年齢区分	０歳	60	23.3%	5.0%	0.0%	0.0%	70.0%	1.7%
	１・２歳	97	35.1%	23.7%	0.0%	2.1%	39.1%	0.0%
	３～５歳	202	67.8%	27.7%	1.5%	0.5%	1.0%	1.5%

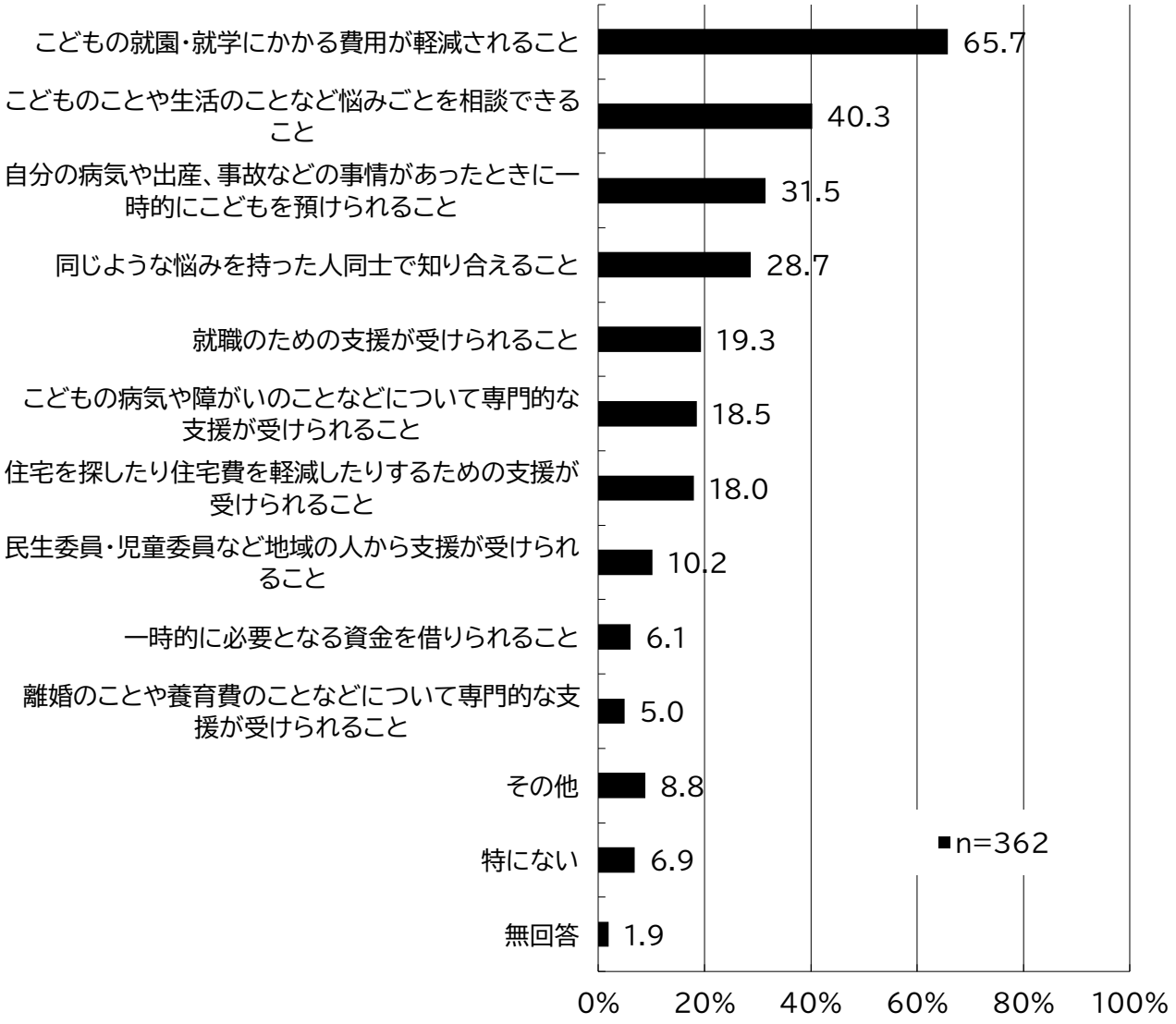
問３２－１　あなたは普段、お子さんのことを決めるときにお子さんの意見を大切にしていますか。

「大切にしている」が 50.9%、「ある程度大切にしている」が 48.7%とこれらが上位２つで、次いで「大切にしていない」が 0.4%と続いています。



問３３　あなたが現在必要としていること、あなたにとって重要だと思う支援はどのようなものですか。（複数回答可）

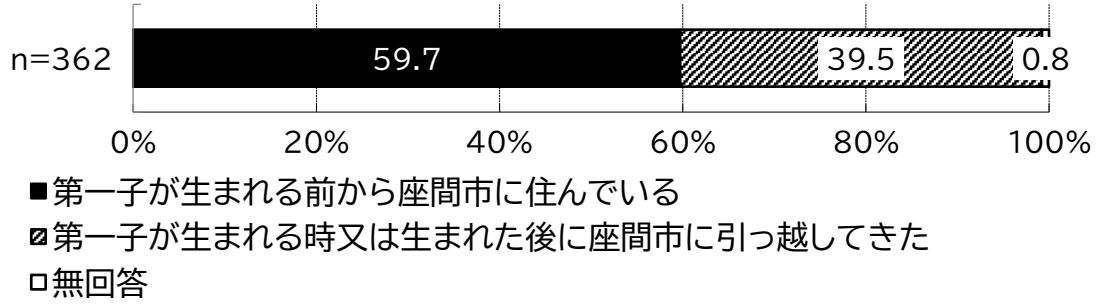
「こどもの就園・就学にかかる費用が軽減されること」が 65.7%と最も高く、次いで「こどものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」が 40.3%、「自分の病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にこどもを預けられること」が 31.5%、「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」が 28.7%と続いています。



「その他」：保育園に入れること、こどもを預けられる場所、ひとり親・外国人・病気など事情がある家庭への支援、家事の支援、こどもが安心安全にのびのび過ごせる居場所　等

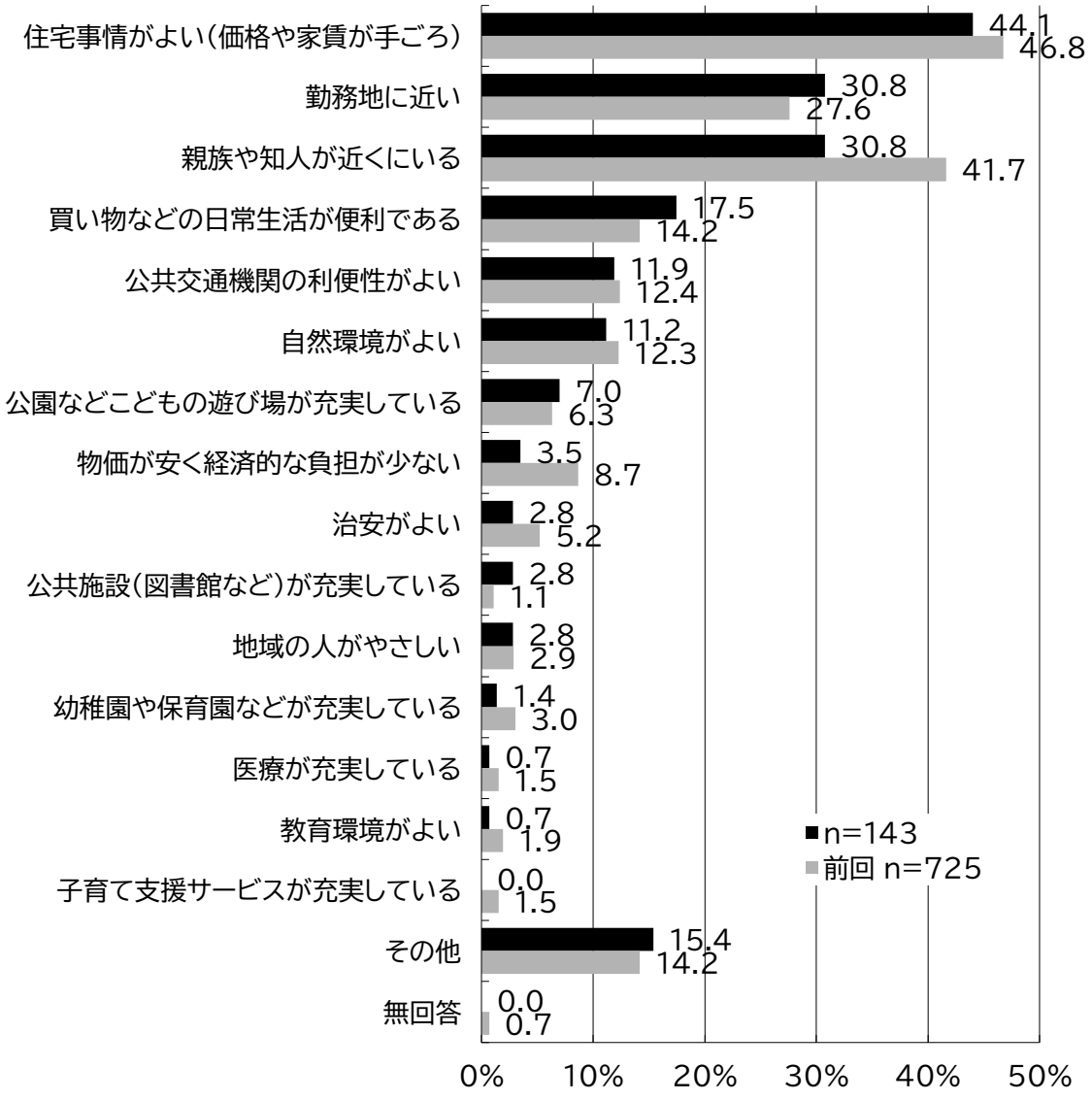
問３４　いつごろから座間市にお住まいですか。

「第一子が生まれる前から座間市に住んでいる」が 59.7%、「第一子が生まれる時又は生まれた後に座間市に引っ越してきた」が 39.5%となっています。



問３４－１　座間市への転入を決めた理由は何ですか。（複数回答可）

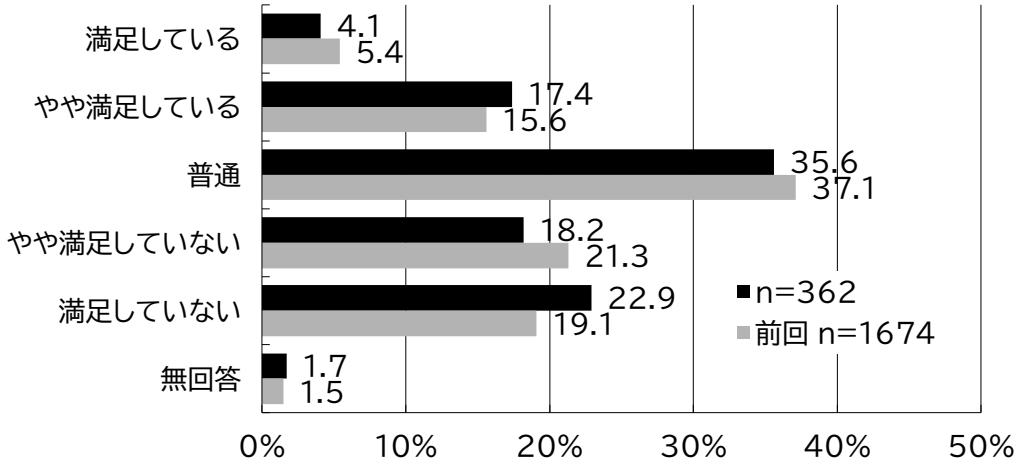
「住宅事情がよい（価格や家賃が手ごろ）」が 44.1%と最も高く、次いで「勤務地に近い」、「親族や知人が近くにいる」が 30.8%、「買い物などの日常生活が便利である」が 17.5%と続いています。



「その他」：結婚、配偶者の職場や実家、転勤　等

問３５　座間市の子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

「普通」が 35.6%と最も高く、次いで「満足していない」が 22.9%、「やや満足していない」が 18.2%、「やや満足している」が 17.4%と続いています。



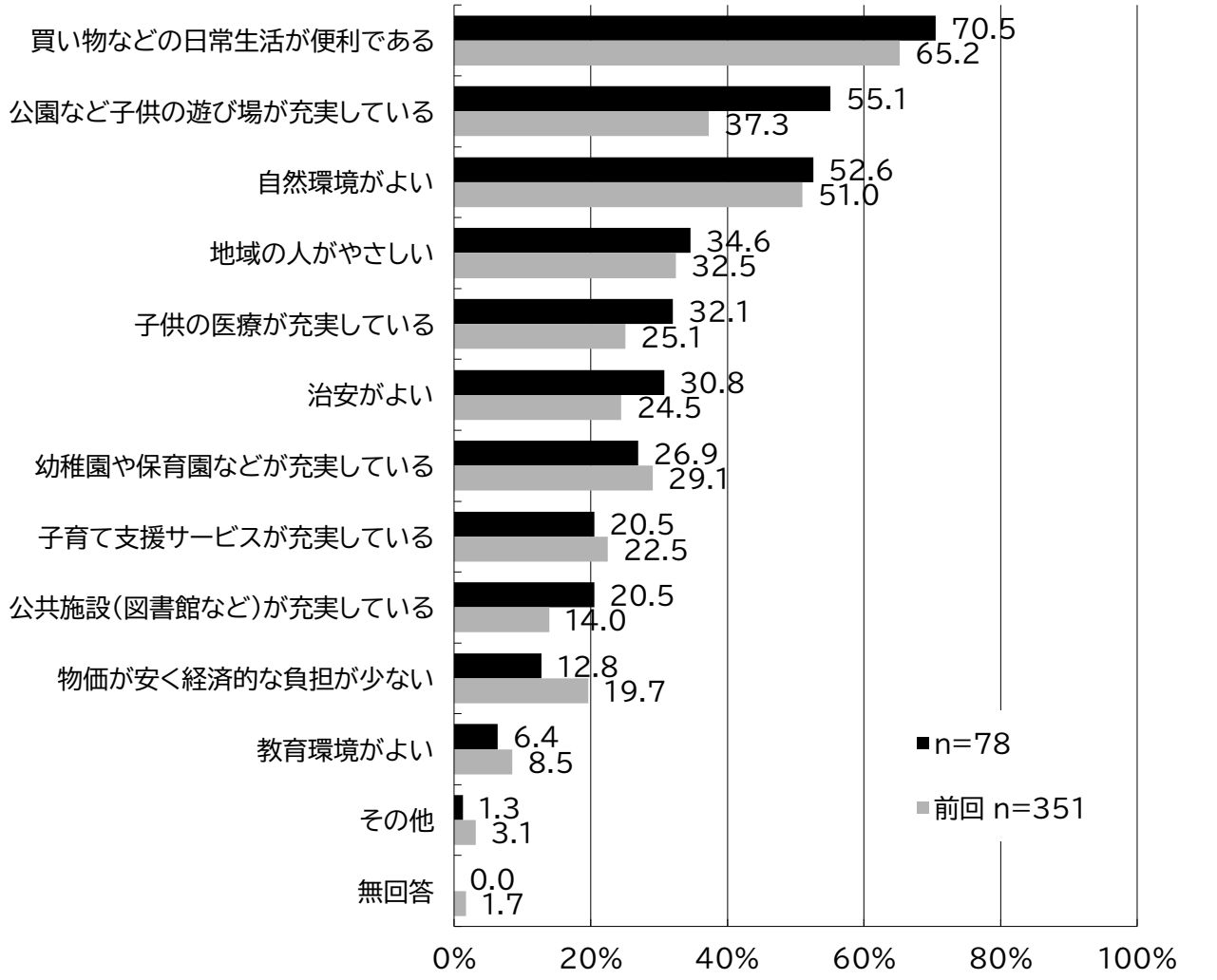
〈お子さんの年齢区分別等〉

お子さんが１・２歳の場合で、「やや満足していない」、「満足していない」という否定的な評価（49.5%）が比較的高くなっています。

		回答者数	満足している	やや満足している	普通	やや満足していない	満足していない	無回答
	全体	362	4.1%	17.4%	35.6%	18.2%	22.9%	1.7%
お子さんの年齢３区分	0歳	48	2.1%	14.6%	41.6%	14.6%	27.1%	0.0%
	1・2歳	111	3.6%	16.2%	28.0%	24.3%	25.2%	2.7%
	3～5歳	140	5.0%	16.4%	39.4%	16.4%	21.4%	1.4%
お住まいの小学校区	座間小学校	47	4.3%	21.3%	34.0%	6.4%	31.9%	2.1%
	栗原小学校	30	3.3%	23.3%	30.0%	20.0%	16.7%	6.7%
	相模野小学校	15	0.0%	6.7%	46.6%	26.7%	20.0%	0.0%
	相武台東小学校	51	2.0%	15.7%	39.1%	13.7%	27.5%	2.0%
	ひばりが丘小学校	17	5.9%	5.9%	41.2%	17.6%	29.4%	0.0%
	東原小学校	25	8.0%	12.0%	44.0%	28.0%	8.0%	0.0%
	相模が丘小学校	34	2.9%	20.6%	44.1%	11.8%	20.6%	0.0%
	立野台小学校	24	12.5%	25.0%	33.4%	20.8%	8.3%	0.0%
	入谷小学校	27	0.0%	3.7%	29.6%	29.6%	33.4%	3.7%
	旭小学校	22	4.5%	9.1%	22.7%	36.4%	27.3%	0.0%
	中原小学校	22	0.0%	31.8%	18.2%	13.6%	36.4%	0.0%
	わからない	38	5.3%	21.1%	39.4%	18.4%	15.8%	0.0%

問３５－１　満足している理由は何ですか。（複数回答可）

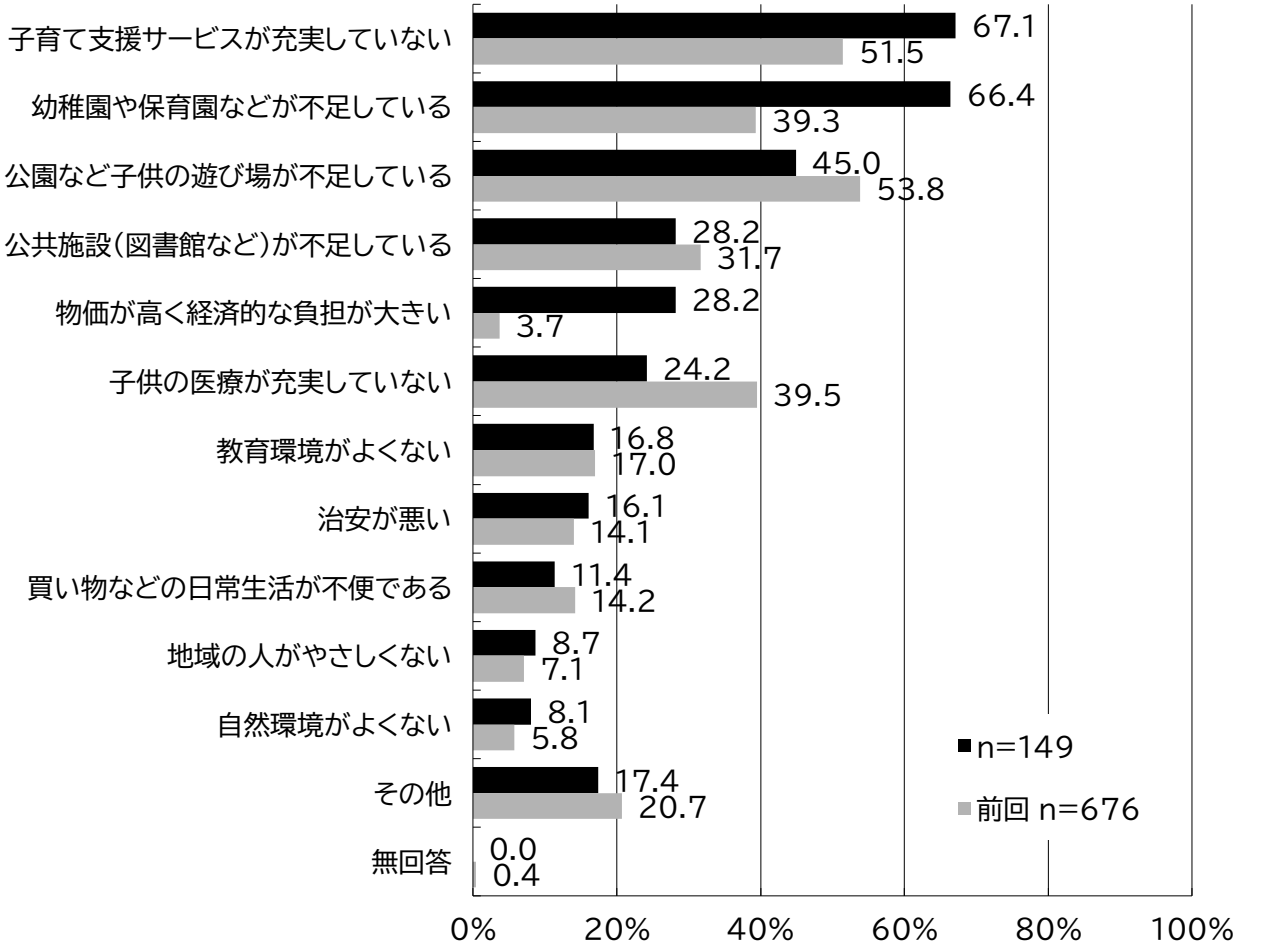
「買い物などの日常生活が便利である」が 69.2%と最も高く、次いで「公園などこどもの遊び場が充実している」が 53.8%、「自然環境がよい」が 51.3%、「こどもの医療が充実している」が 32.1%と続いています。



「その他」：育児相談やにこにこ教室などのサポートに助けられている

問３５－２　満足していない理由は何ですか。（複数回答可）

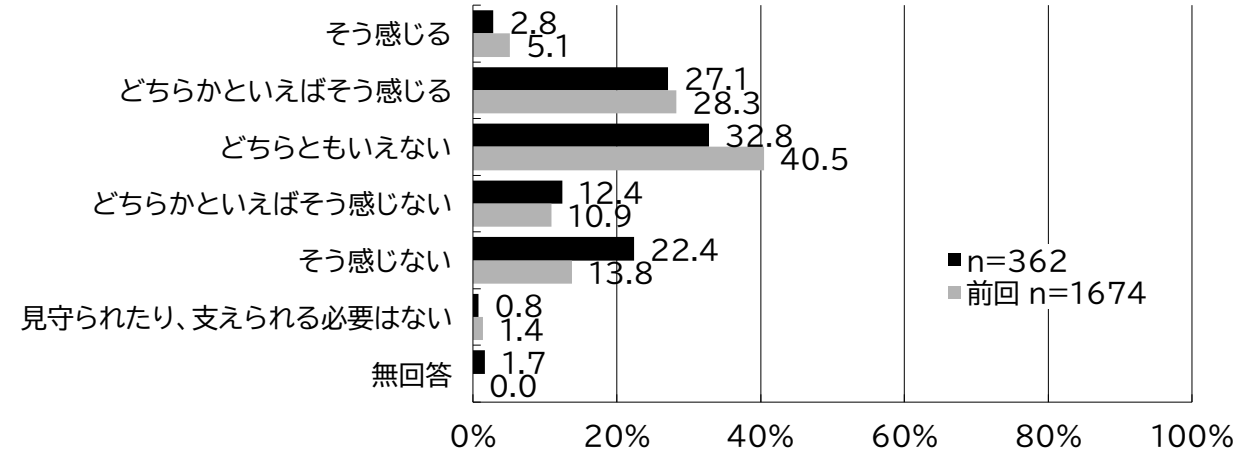
「子育て支援サービスが充実していない」が 67.1%、「幼稚園や保育園などが不足している」が 65.1%とこれらが上位２つで、次いで「公園などこどもの遊び場が不足している」が 45.0%、「公共施設（図書館など）が不足している」が 28.2%と続いています。



「その他」：学童が充実していない、道路や交通環境がよくない、医療的ケア児への配慮が欠けている、公園が利用しやすくない　等

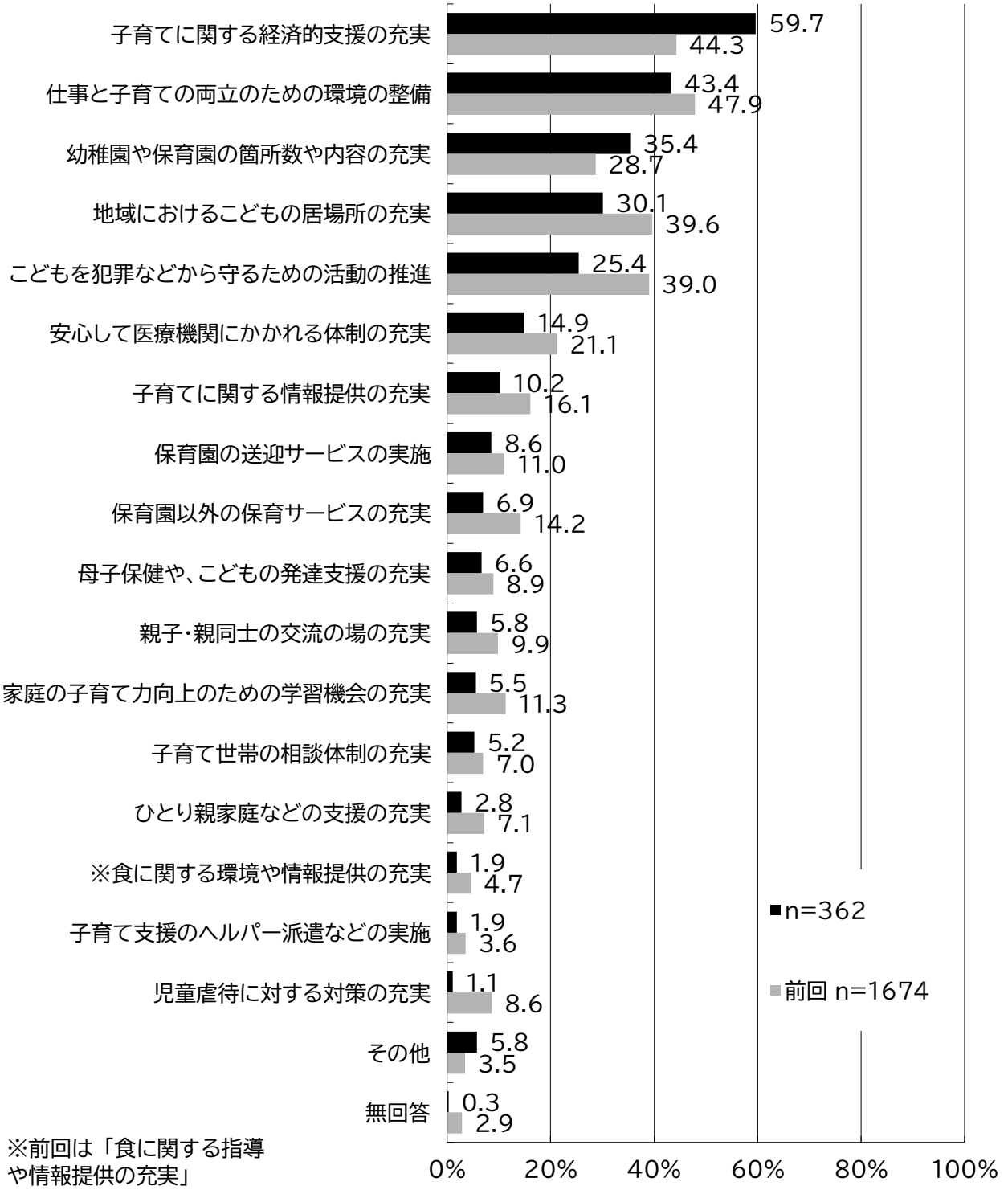
問３６　子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じますか。

「どちらともいえない」が 32.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう感じる」が 27.1%、「そう感じない」が 22.4%、「どちらかといえばそう感じない」が 12.4%と続いています。



問３７　市のこども・子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答可）

「子育てに関する経済的支援の充実」が 59.7%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立のための環境の整備」が 43.4%、「幼稚園や保育園の箇所数や内容の充実」が 35.4%、「地域におけるこどもの居場所の充実」が 30.1%と続いています。



「その他」：保育園や学童の拡充、医療的ケア児への支援、給食費を含む教育の無償化、一時預かりの人員確保　等

問３８　これまでの設問以外で子育てについて何か思うこと感じることがあれば、自由にお書きください。

主な意見要旨	件数
待機児童問題、保育園等の定員不足、保育園・幼稚園のサービスや質の向上	40 件
公園や遊び場の不足、居場所づくり	23 件
道路や公園の安全性への不安	19 件
子育て支援サービスの充実（周辺市と同様の支援の実施、一時預かり、家事支援、産後ケア等の充実）	16 件
経済的支援の充実	14 件
市の施策への肯定的な評価（小児医療費助成、子育て支援センター等）	13 件
放課後児童対策の充実（学童保育の定員拡大・利用時間の拡大、放課後子ども教室の充実）	10 件
公共施設の改善・更新（設備の更新、駐車場の確保等）	10 件
市の手続きや相談支援の充実、関係課同士の情報共有への要望	9 件
子育て支援に関する情報提供の充実	8 件
小児科等が混んでいる	7 件
中学校の給食実施	6 件
障がいや医療的ケアへの支援の充実	5 件
保育士の確保、待遇改善	2 件

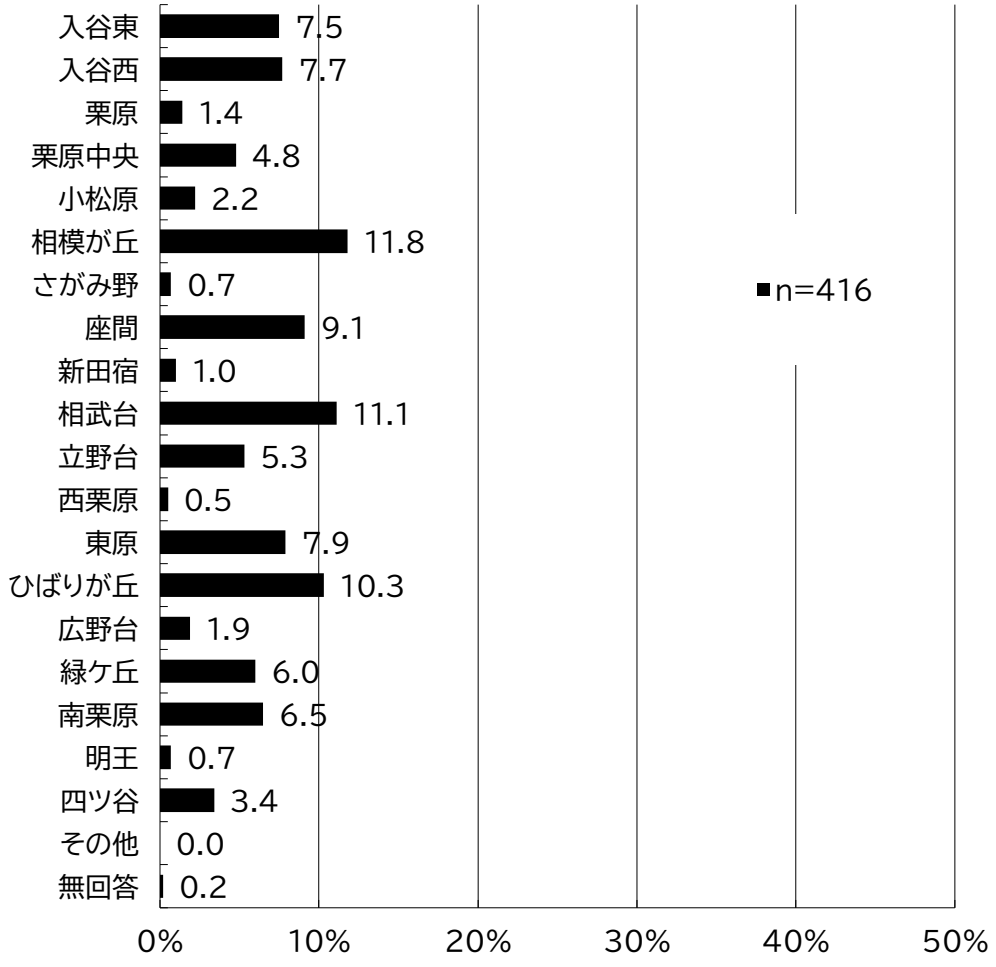
２　就学児（小学校１～３年生）の保護者及び本人調査

お子さんと家族の状況について

問１　お住まいの地域と小学校区についてお答えください。

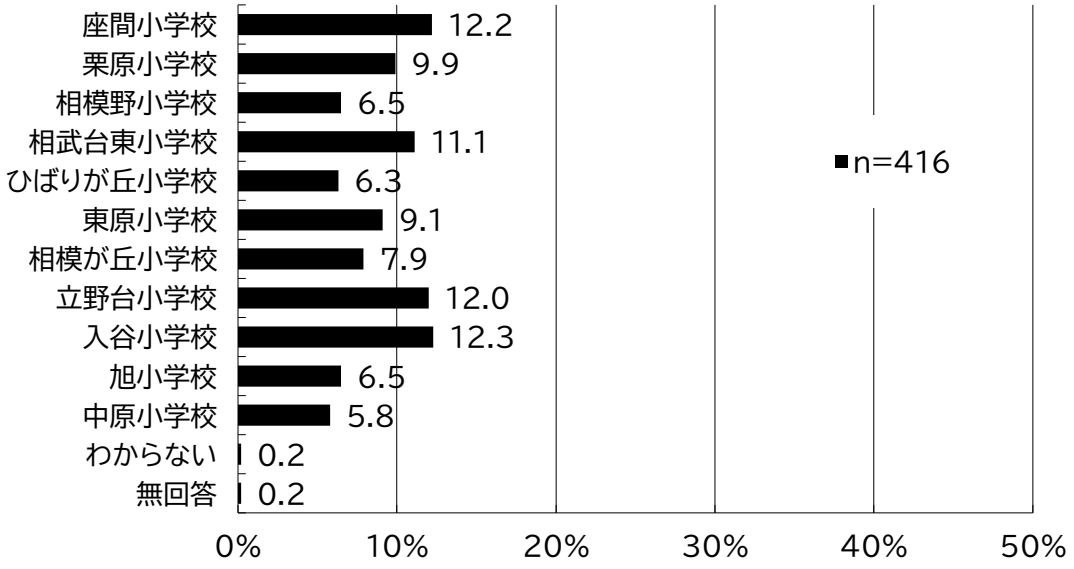
（１）お住まいの地域

「相模が丘」が 11.8%、「相武台」が 11.1%とこれらが上位２つで、次いで「ひばりが丘」が 10.3%、「座間」が 9.1%と続いています。



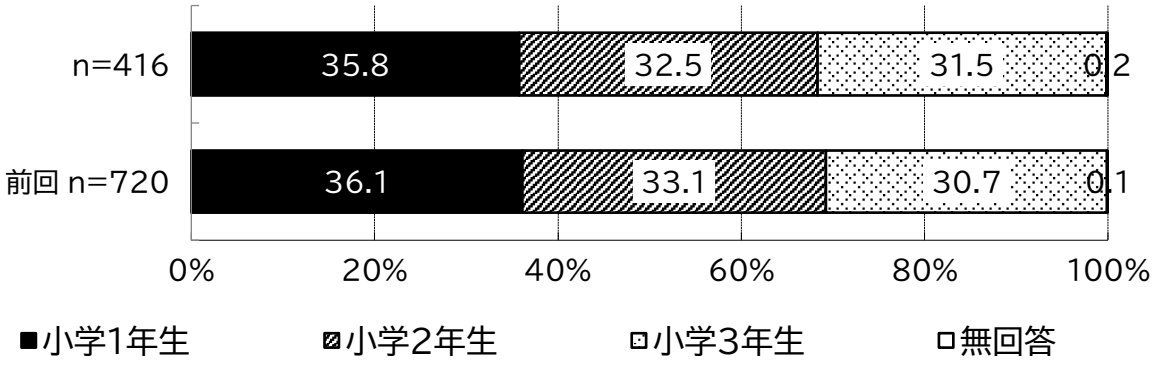
（２）お住まいの小学校区

「入谷小学校」が 12.3%、「座間小学校」が 12.2%とこれらが上位２つで、次いで「立野台小学校」が 12.0%、「相武台東小学校」が 11.1%と続いています。



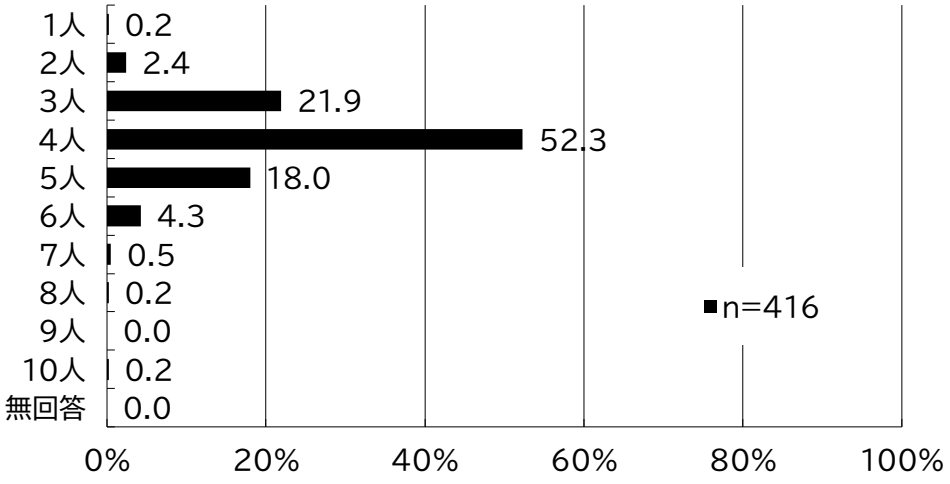
問２　お子さんの学年についてお答えください。

「小学１年生」が 35.8%、「小学２年生」が 32.5%とこれらが上位２つで、次いで「小学３年生」が 31.5%と続いています。



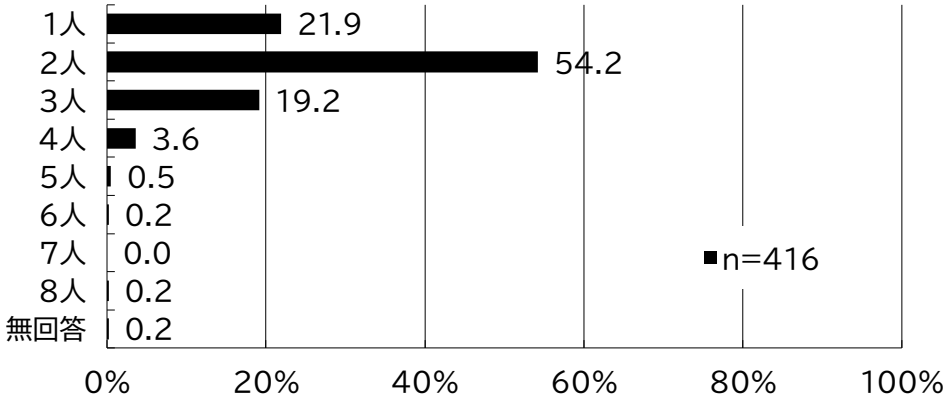
問３　あなたの世帯の人数（生計を共にしている人数。一時的に不在の方を含む）は全員で何人ですか。

「4 人」が 52.3%と最も高く、次いで「3 人」が 21.9%、「5 人」が 18.0%、「6 人」が 4.3%と続いています。



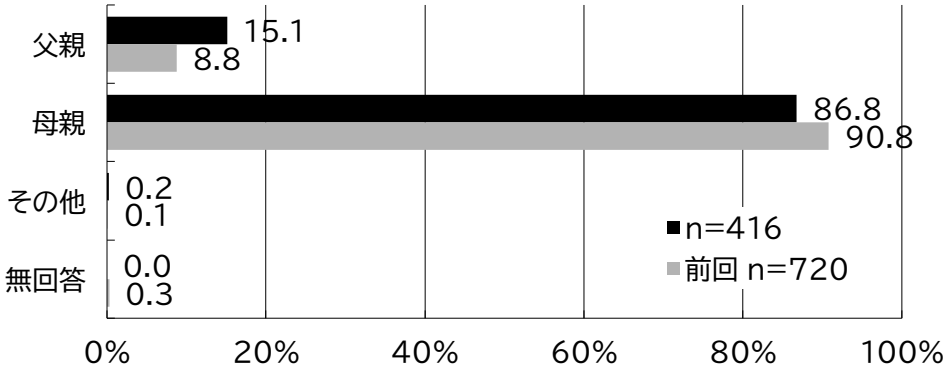
そのうち、今回送付したお子さんを含めてお子さんは何人ですか。

「2 人」が 54.2%と最も高く、次いで「1 人」が 21.9%、「3 人」が 19.2%、「4 人」が 3.6%と続いています。



問４　この調査票に回答いただく方はどなたですか。（複数回答可）

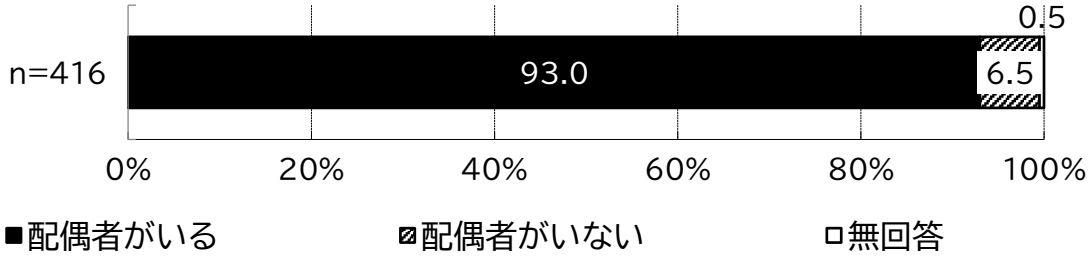
「母親」が 86.8%と最も高く、次いで「父親」が 15.1%、「その他」が 0.2%と続いています。



※前回は単数回答

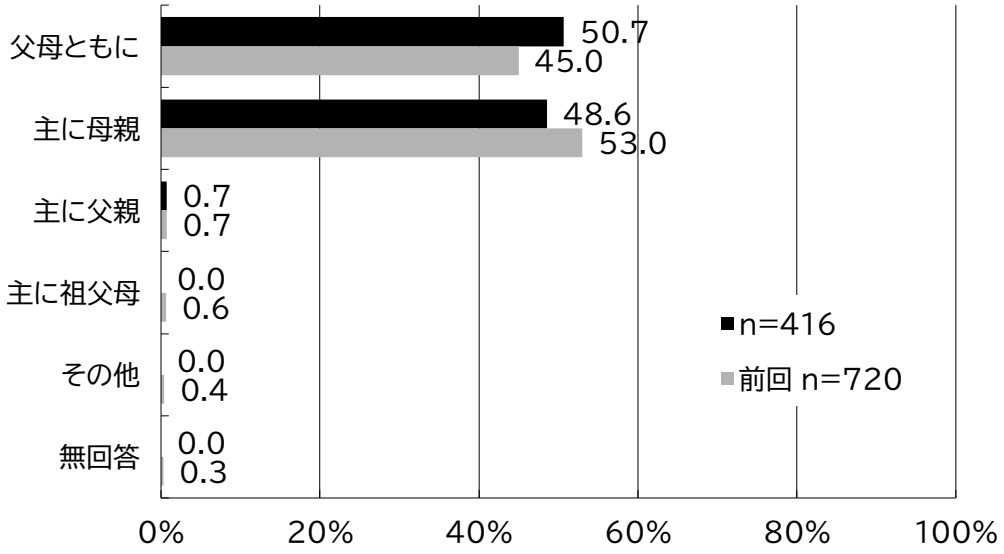
問５　この調査票に回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。

「配偶者がいる」が 93.0%、「配偶者がいない」が 6.5%となっています。



問６　お子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。

「父母ともに」が 50.7%、「主に母親」が 48.6%とこれらが上位２つで、次いで「主に父親」が 0.7%と続いています。



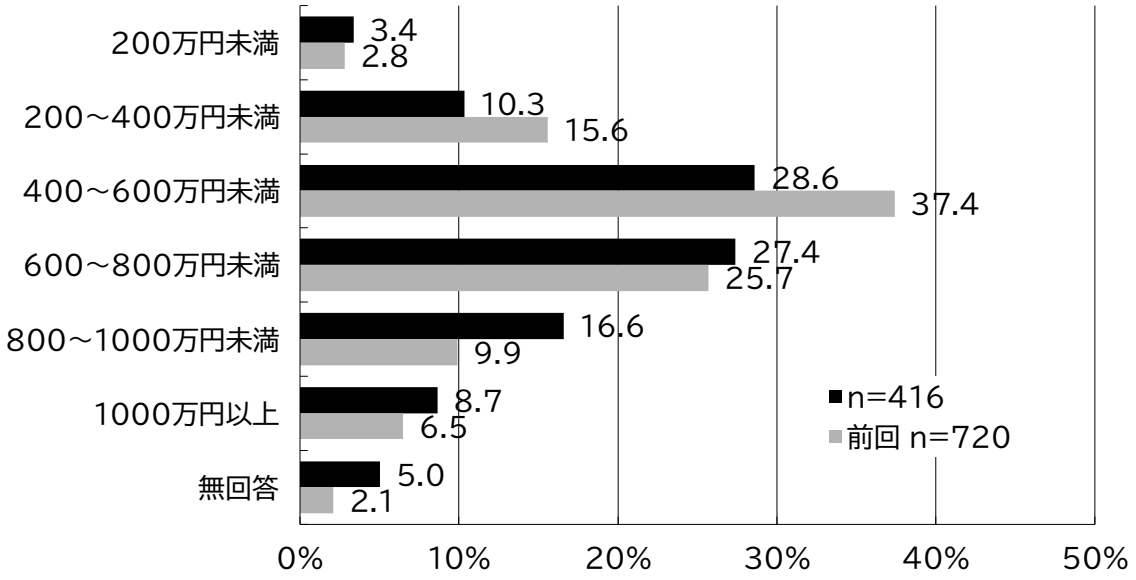
〈母親の就労状況別〉

母親がフルタイムの就労の場合は、「父母ともに」が 62.8%、「主に母親」が 37.2%となっており、パート・アルバイトの場合はこの２つの回答が概ね同率、働いていない場合は「主に母親」の方が高くなっています。

		回答者数	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体		416	50.7%	48.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
母親の就労状況	フルタイム	121	62.8%	37.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	パート・アルバイト	174	49.5%	49.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	働いていない	119	40.3%	59.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

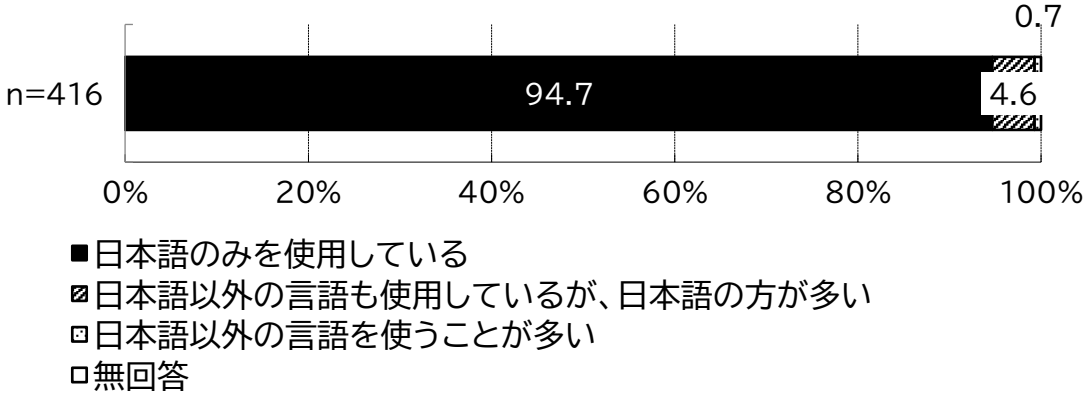
問７　あなたの家庭全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナスを含む手取額）」を教えてください。

「400～600 万円未満」が 28.6%、「600～800 万円」が 27.4%、「800～1000 万円」が 16.6%となっています。



問８　家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

「日本語のみを使用している」が 94.7%と最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 4.6%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が 0.7%と続いています。

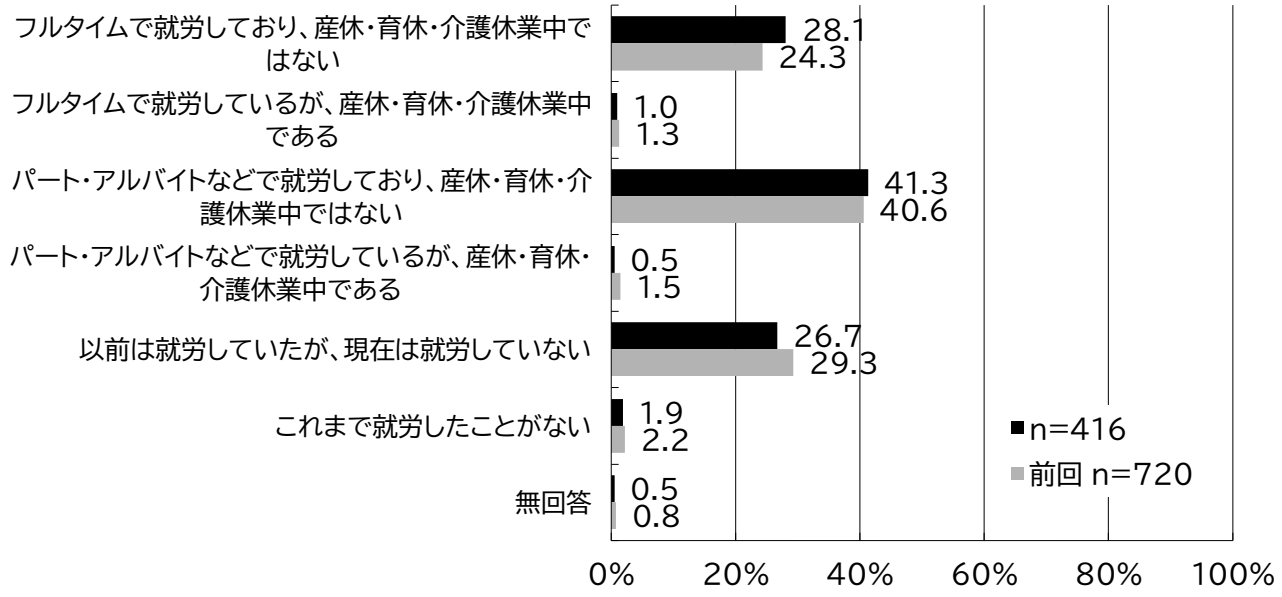


お子さんの保護者の就労状況について

問９　お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

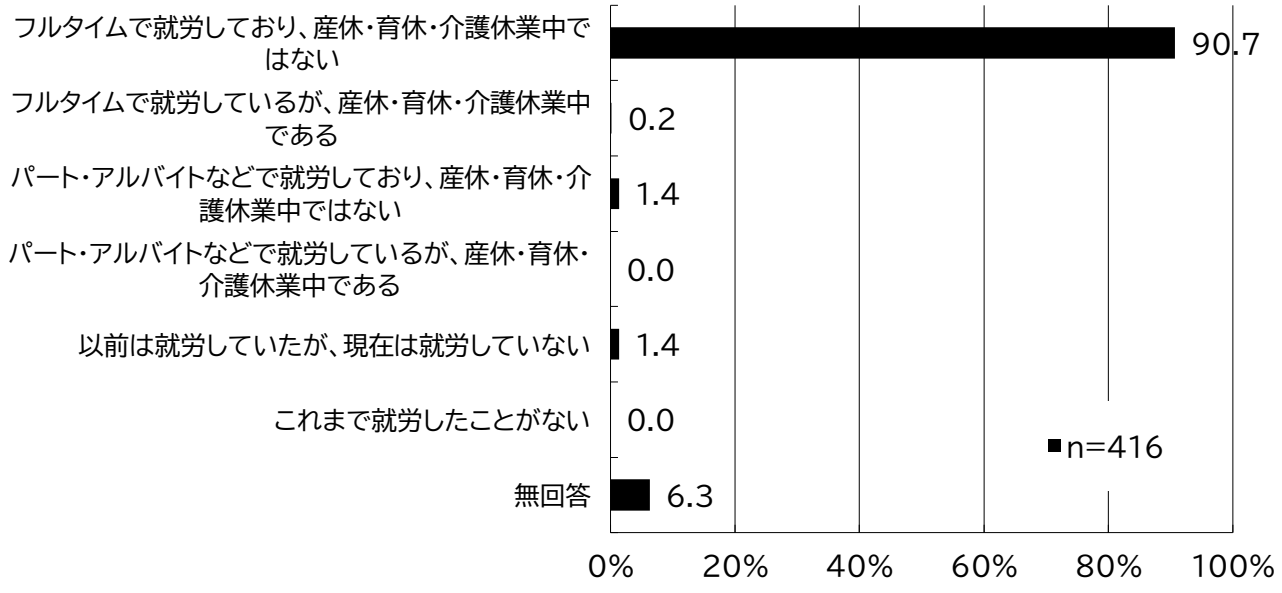
母親

「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 41.3%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 28.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 26.7%、「これまで就労したことがない」が 1.9%と続いています。



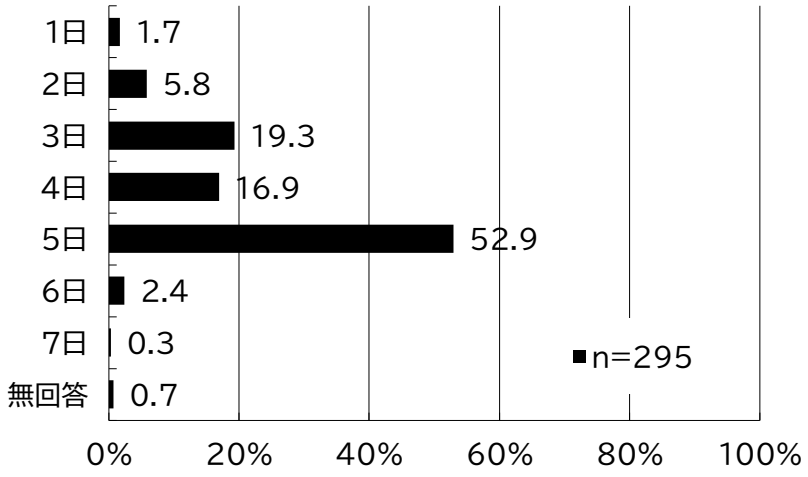
父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 90.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 1.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 1.4%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 0.2%と続いています。



問９－１（１）　母親の１週当たりの就労日数を選択してください。

「５日」が 52.9%と最も高く、次いで「３日」が 19.3%、「４日」が 16.9%、「２日」が 5.8%と続いています。

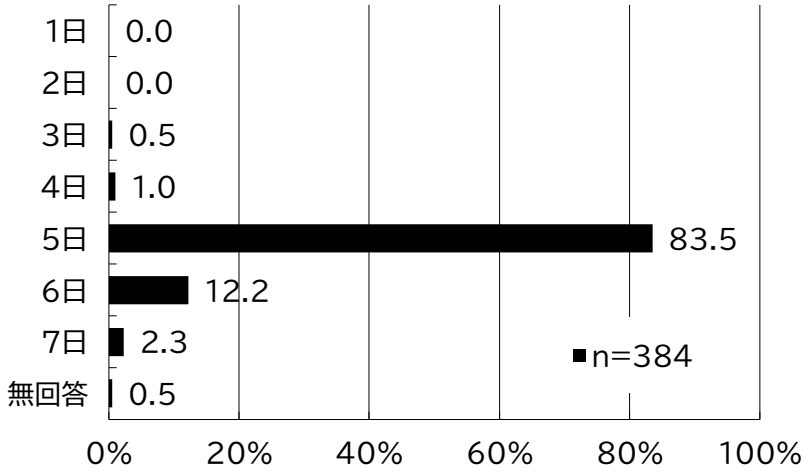


母親の１日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。

平均値	6.4 時間
最頻値	5.0 時間
中央値	6.5 時間

問９－１（１）　父親の１週当たりの就労日数を選択してください。

「５日」が 83.5%と最も高く、次いで「６日」が 12.2%、「７日」が 2.3%、「４日」が 1.0%と続いています。



父親の１日当たりの就労時間（残業時間を含む）を、お答えください。

平均値	9.2 時間
最頻値	8.0 時間
中央値	9.0 時間

問９－１（２）　母親の家を出る時刻、帰宅時刻お答えください。

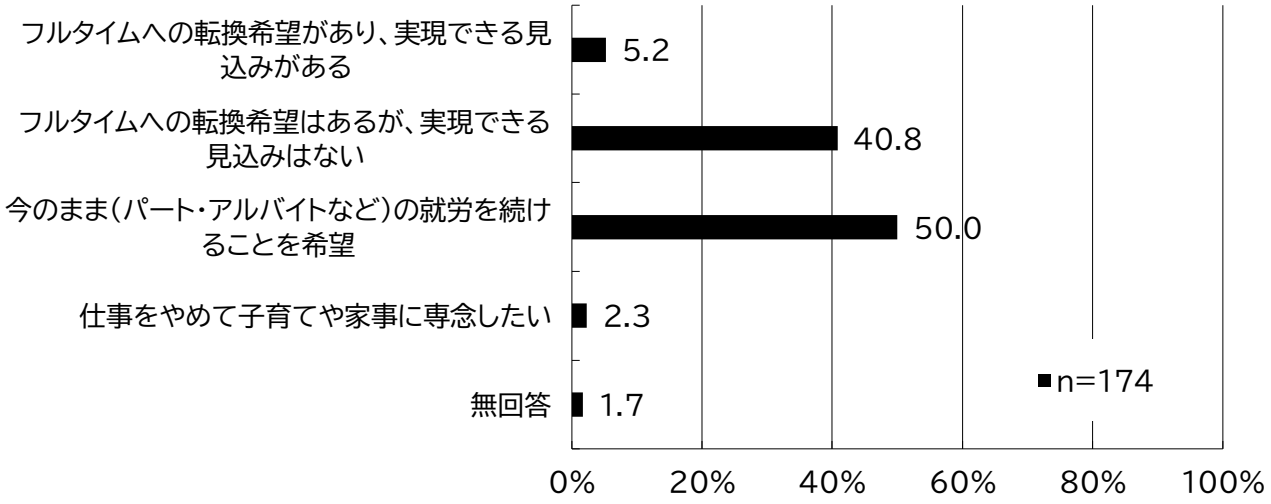
	家を出る時刻	帰宅時刻
平均値	8:18	16:25
最頻値	8:00	18:00
中央値	8:00	17:00

問９－１（２）　父親の家を出る時刻、帰宅時刻お答えください。

	家を出る時刻	帰宅時刻
平均値	7:14	18:57
最頻値	7:00	20:00
中央値	7:00	20:00

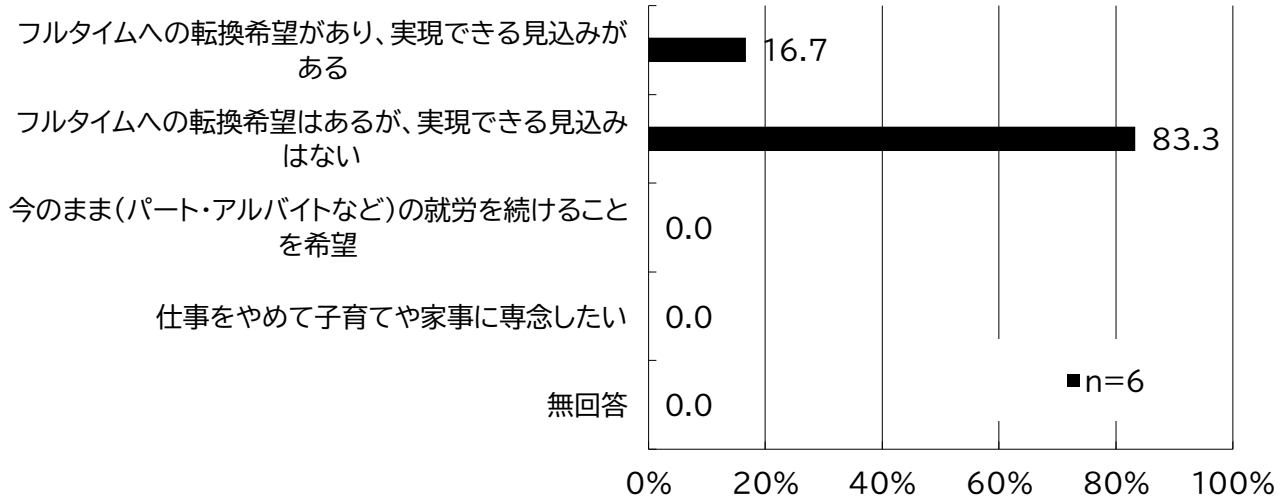
問１０　母親にフルタイムへの転換希望はありますか。

「今のまま（パート・アルバイトなど）の就労を続けることを希望」が 50.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 40.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 5.2%、「仕事をやめて子育てや家事に専念したい」が 2.3%と続いています。



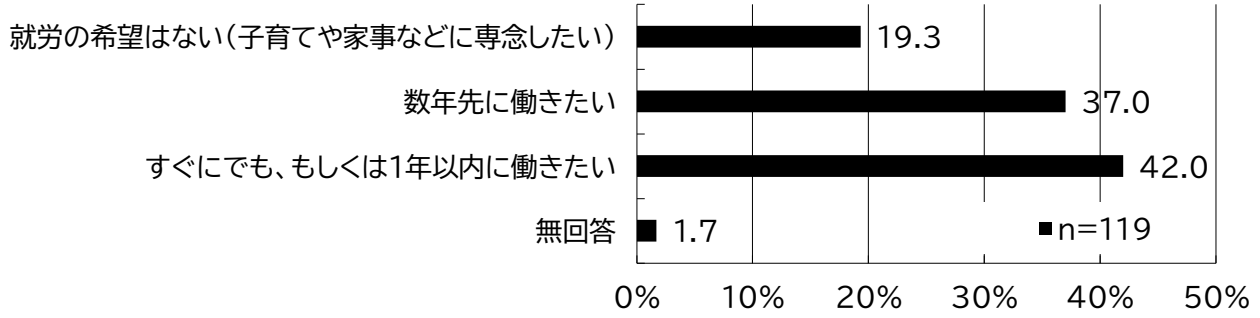
問１０　父親にフルタイムへの転換希望はありますか。

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 83.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 16.7%と続いています。



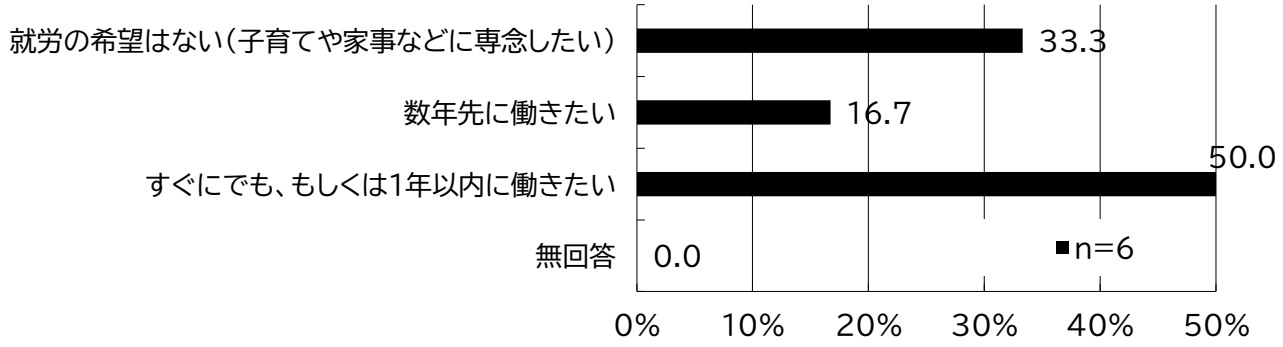
問１１　母親に就労したいという希望はありますか。

「すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい」が 42.0%、「数年先に働きたい」が 37.0%とこれらが上位２つで、次いで「就労の希望はない（子育てや家事などに専念したい）」が 19.3%と続いています。



問１１　父親に就労したいという希望はありますか。

「すぐにでも、もしくは１年以内に働きたい」が 50.0%と最も高く、次いで「就労の希望はない（子育てや家事などに専念したい）」が 33.3%、「数年先に働きたい」が 16.7%と続いています。



問１１－１　母親は何年先の就労を希望しますか。

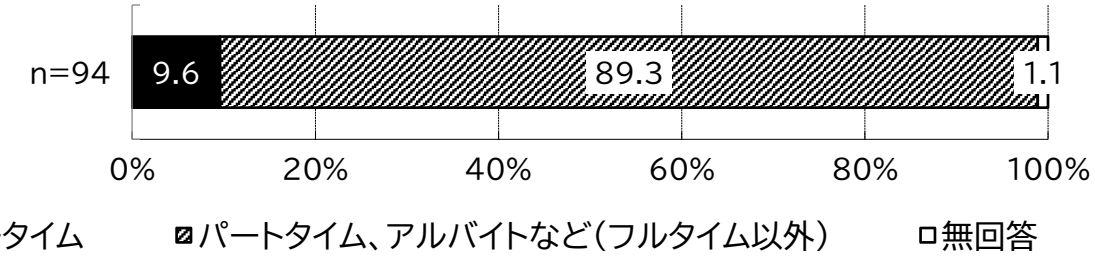
平均値	3 年先
最頻値	2 年先
中央値	2 年先

問１１－１　父親は何年先の就労を希望しますか。

〈回答者なし〉

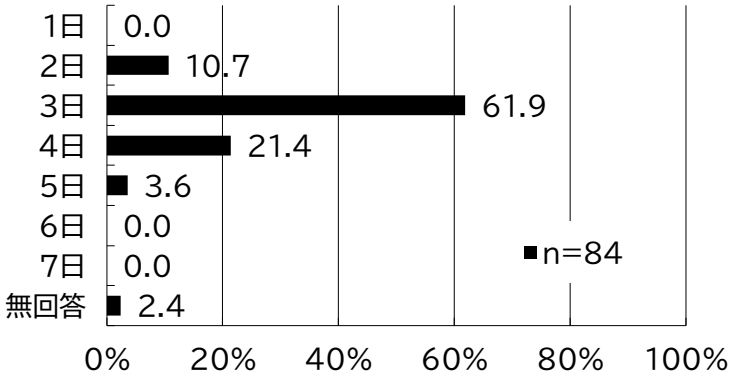
問１１－２　母親はいずれの就労形態を希望しますか。

「パートタイム、アルバイトなど（フルタイム以外）」が 89.3%、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が 9.6%となっています。



「パートタイム、アルバイトなど（フルタイム以外）」を選んだ場合、母親の１週当たりの就労日数の希望を選択してください。

「３日」が 61.9%と最も高く、次いで「４日」が 21.4%、「２日」が 10.7%、「５日」が 3.6%と続いています。

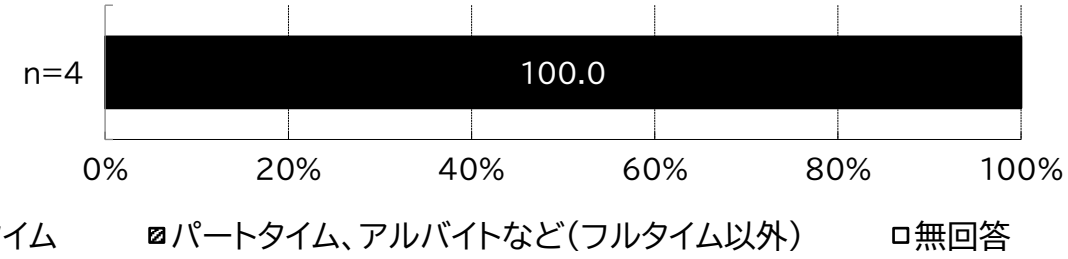


「パートタイム、アルバイトなど（フルタイム以外）」を選んだ場合、母親の１日当たりの就労時間の希望をお答えください。

平均値	4.4 時間
最頻値	4.0 時間
中央値	4.0 時間

問１１－２　父親はいずれの就労形態を希望しますか。

「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が 100.0%となっています。



父親の１週当たりの就労日数の希望を選択してください。

〈該当者なし〉

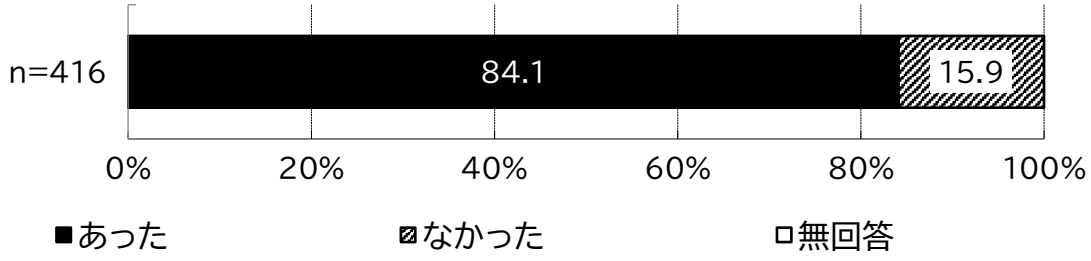
父親の１日当たりの就労時間の希望をお答えください。

〈該当者なし〉

お子さんの病気やケガの際の対応について

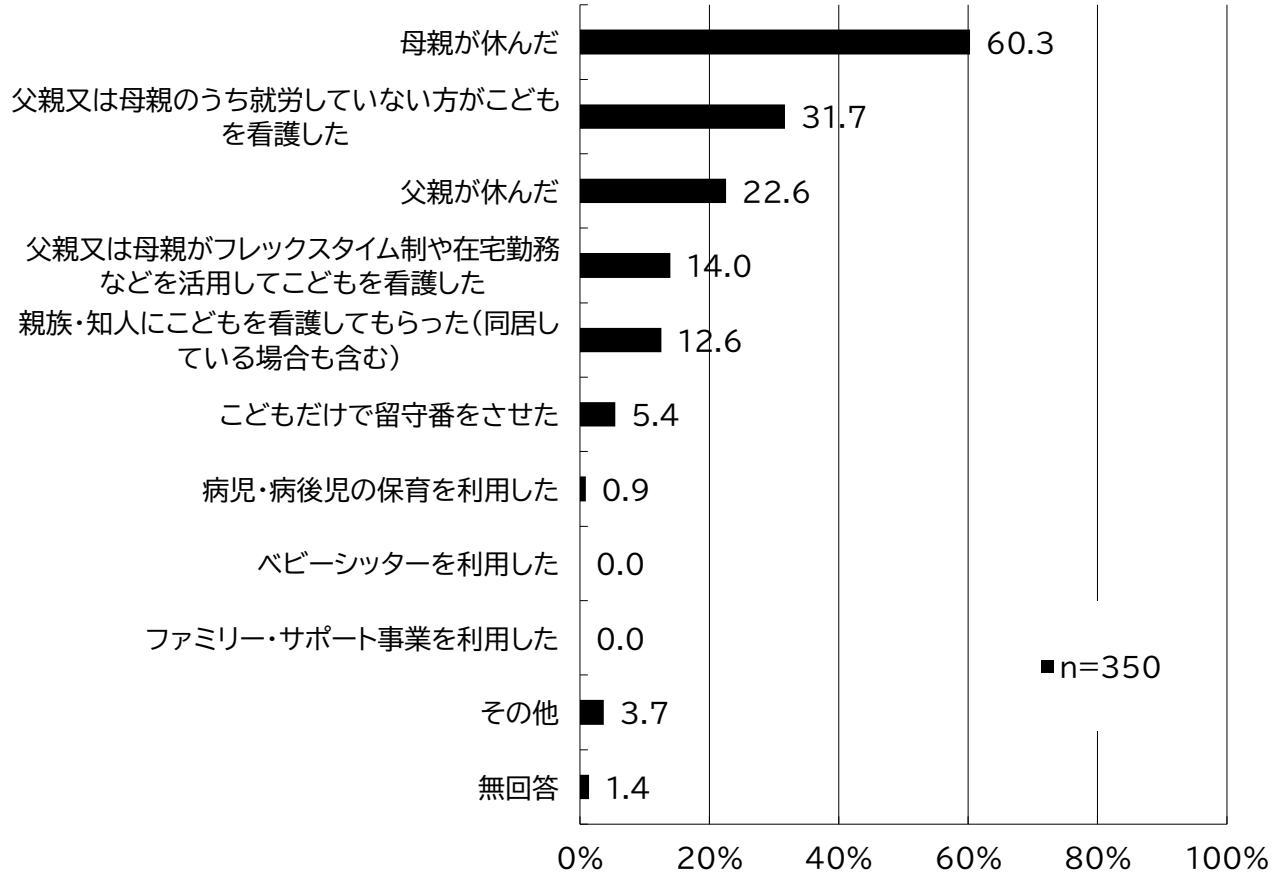
問１２　この１年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

「あった」が 84.1%、「なかった」が 15.9%となっています。



問１２－１　その際、この１年間に行った対処方法はどのようなことですか。（複数回答可）

「母親が休んだ」が 60.3%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方がこどもを看護した」が 31.7%、「父親が休んだ」が 22.6%、「父親又は母親がフレックスタイム制や在宅勤務などを活用してこどもを看護した」が 14.0%と続いています。



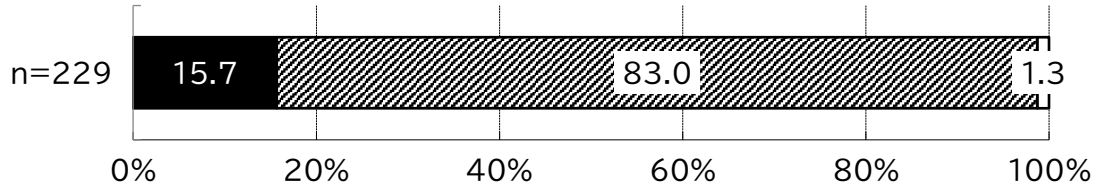
「その他」：自営のため休む必要がない、夜勤のため休む必要がなかった　等

〈年間対処日数〉

	平均値	最頻値	中央値
母親が休んだ	6.2日	2.0日	5.0日
父親又は母親のうち就労していない方がこどもを看護した	6.3日	7.0日	5.0日
父親が休んだ	3.5日	1.0日	3.0日
父親又は母親がフレックスタイム制や在宅勤務などを活用してこどもを看護した	5.1日	2.0日	4.0日
親族・知人にこどもを看護してもらった（同居している場合も含む）	3.6日	2.0日	2.0日
こどもだけで留守番をさせた	2.9日	2.0日	2.0日
病児・病後児の保育を利用した	5.0日	－	3.0日
ベビーシッターを利用した	－	－	－
ファミリー・サポート事業を利用した	－	－	－
その他	2.0日	2.0日	2.0日

問１２－２　問１２－１で「父親が休んだ」もしくは「母親が休んだ」を選択した方にうかがいます。お子さんの病気などで仕事を休んだとき、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。

「利用したいとは思わない」が 83.0%、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が 15.7%となっています。



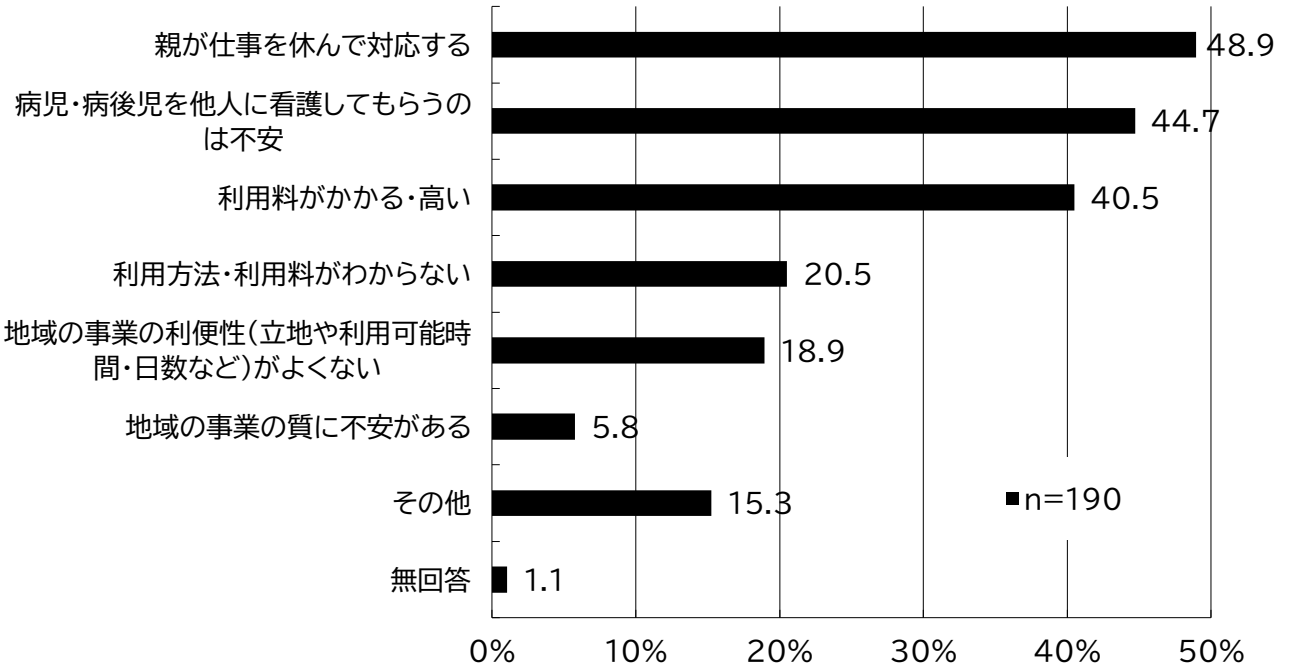
■できれば病児･病後児保育施設などを利用したい　▨利用したいとは思わない　□無回答

〈病児・病後児保育施設の年間利用希望日数〉

平均値	7.6日
最頻値	7.0日
中央値	6.0日

問１２－３　利用したいとは思わない理由は何ですか。（複数回答可）

「親が仕事を休んで対応する」が 48.9%、「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が 44.7%とこれらが上位２つで、次いで「利用料がかかる・高い」が 40.5%、「利用方法・利用料がわからない」が 20.5%と続いています。



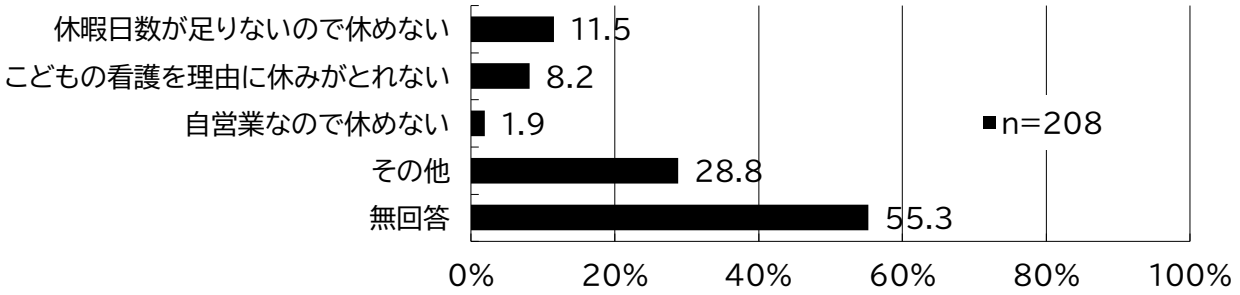
「その他」：送迎が大変、片親が家にいる、体調が悪い時は一緒にいてあげたい、別の病気にかかる心配がある、手続きが面倒　等

問１２－４　問１２－１で「父親が休んだ」もしくは「母親が休んだ」以外を選択した方にうかがいます。仕事を休んで看護したかった日数についてお答えください。

平均値	7.1日
最頻値	2.0日
中央値	3.0日

問１２－５　問１２－１で「父親が休んだ」もしくは「母親が休んだ」以外を選択した方にうかがいます。問１２－４で回答した希望の日数の休みをとれない理由は何ですか。（複数回答可）

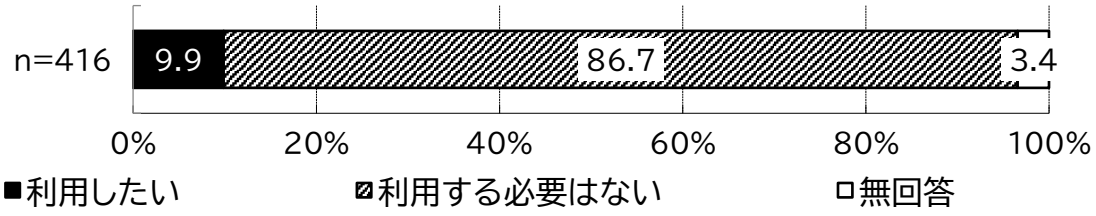
「その他」が 28.8%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が 11.5%、「こどもの看護を理由に休みがとれない」が 8.2%、「自営業なので休めない」が 1.9%と続いています。



「その他」：仕事が忙しい、収入が減るから、職場の人員不足、在宅勤務が可能　等

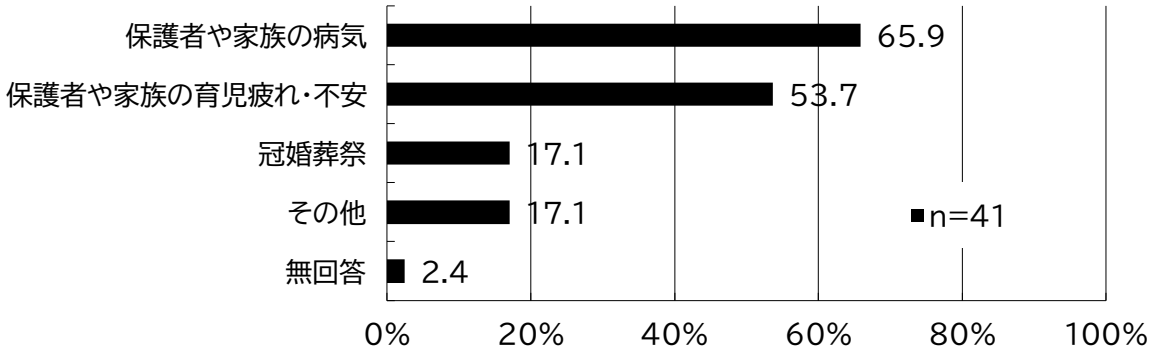
問１３　ショートステイ等を利用したいですか。

「利用する必要はない」が 86.7%、「利用したい」が 9.9%となっています。



利用したい理由（複数回答可）

「保護者や家族の病気」が 65.9%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 53.7%、「冠婚葬祭」、「その他」が 17.1%と続いています。



「その他」：出産に伴う入院、仕事　等

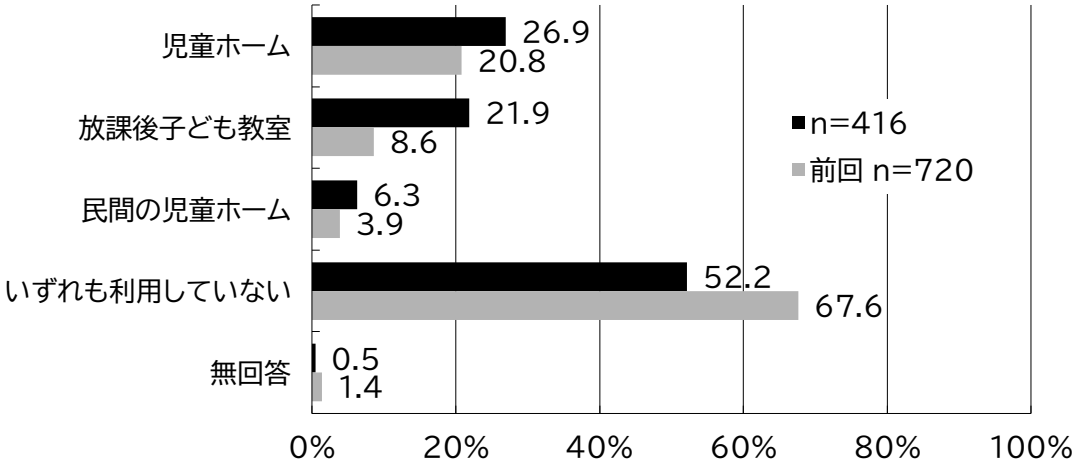
〈年間利用希望泊数〉

	平均値	最頻値	中央値
保護者や家族の病気	4.5 泊	7.0 泊	3.0 泊
保護者や家族の育児疲れ・不安	3.4 泊	2.0 泊	3.0 泊
冠婚葬祭	1.4 泊	1.0 泊	1.0 泊
その他	3.3 泊	1.0 泊	1.0 泊

お子さんの放課後の過ごし方について

問１４　お子さんは、次の放課後事業を利用していますか。（複数回答可）

「いずれも利用していない」が 52.2%と最も高く、次いで「児童ホーム」が 26.9%、「放課後子ども教室」が 21.9%、「民間の児童ホーム」が 6.3%と続いています。



〈お子さんの学年別等〉

学年別の「児童ホーム」の利用率は、小学１年生 41.6%、小学２年生 22.2%、小学３年生 15.3%となっています。いずれの学年も「いずれも利用していない」が 50%前後となっています。

「児童ホーム」の利用率は、東原小学校や相模が丘小学校の校区で比較的高く、「放課後子ども教室」の利用率は、相武台東小学校や入谷小学校の校区で比較的高くなっています。

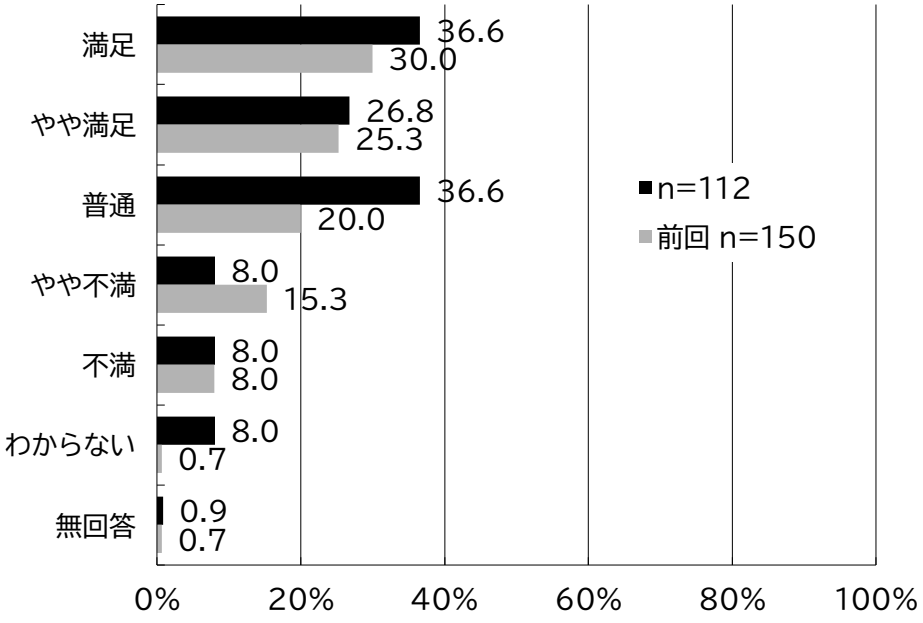
「民間の児童ホーム」の利用率は、座間小学校や中原小学校の校区で比較的高くなっています。

家庭で日本語以外の言語を使用している場合は、「児童ホーム」の利用率が 31.8%となっており、「いずれも利用していない」が 50.0%と、家庭で日本語のみ使用している場合との大きな差は見られません。

		回答者数	放課後子ども教室	児童ホーム	民間の児童ホーム	いずれも利用していない	無回答
全体		416	21.9%	26.9%	6.3%	52.2%	0.5%
お子さんの学年	小学１年生	149	6.7%	41.6%	6.0%	49.0%	0.7%
	小学２年生	135	31.9%	22.2%	4.4%	54.8%	0.0%
	小学３年生	131	29.0%	15.3%	7.6%	53.4%	0.8%
お住まいの小学校区	座間小学校	51	3.9%	19.6%	17.6%	62.7%	0.0%
	栗原小学校	41	12.2%	22.0%	4.9%	61.0%	4.9%
	相模野小学校	27	14.8%	29.6%	3.7%	55.6%	0.0%
	相武台東小学校	46	41.3%	26.1%	2.2%	45.7%	0.0%
	ひばりが丘小学校	26	19.2%	30.8%	0.0%	53.8%	0.0%
	東原小学校	38	23.7%	34.2%	2.6%	47.4%	0.0%
	相模が丘小学校	33	12.1%	33.3%	3.0%	57.6%	0.0%
	立野台小学校	50	26.0%	22.0%	8.0%	54.0%	0.0%
	入谷小学校	51	33.3%	31.4%	7.8%	35.3%	0.0%
	旭小学校	27	29.6%	25.9%	0.0%	51.9%	0.0%
	中原小学校	24	20.8%	29.2%	12.5%	50.0%	0.0%
家庭の使用言語	日本語のみ使用	394	21.6%	26.6%	6.1%	52.3%	0.5%
	日本語以外を使用	22	27.3%	31.8%	9.1%	50.0%	0.0%

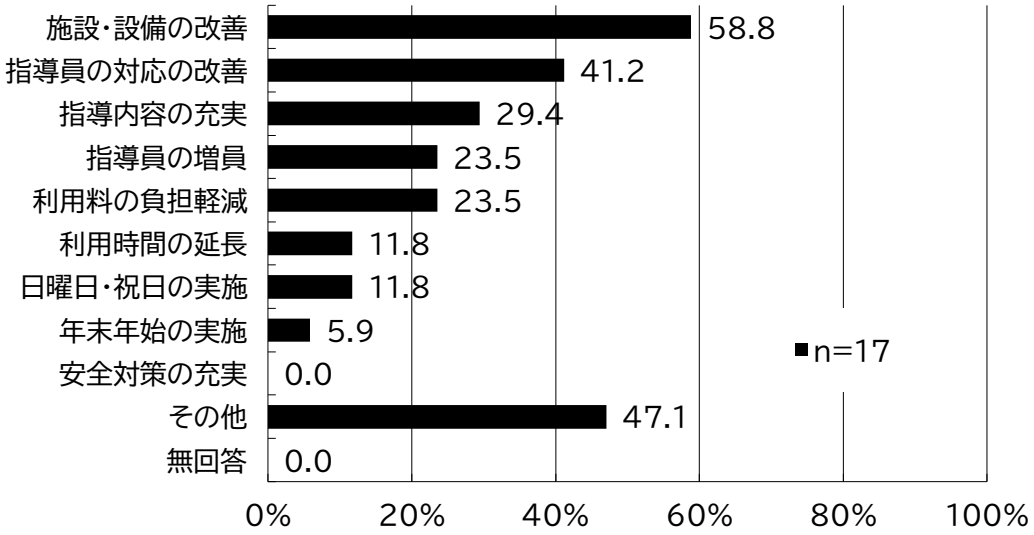
問１４－１　問１４で「児童ホーム」を選択した方にうかがいます。児童ホームに対する満足度を教えてください。

「満足」が 32.2%、「普通」が 29.5%とこれらが上位２つで、次いで「やや満足」が 21.4%、「やや不満」が 8.0%と続いています。



問１４－２　児童ホームの今後の利用にあたり、どのような要望がありますか。（複数回答可）

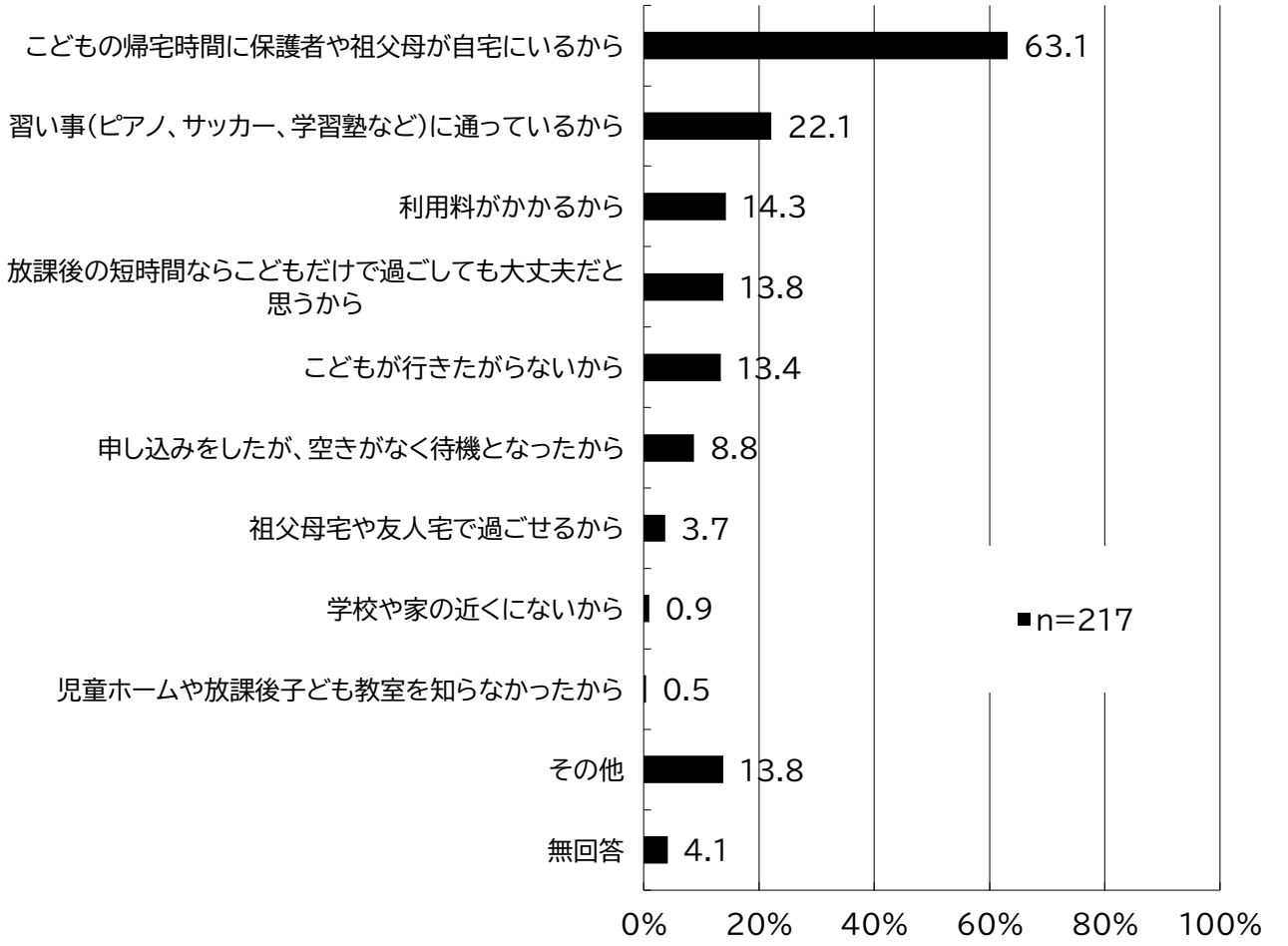
「施設・設備の改善」が 58.8%と最も高く、次いで「その他」が 47.1%、「指導員の対応の改善」が 41.2%、「指導内容の充実」が 29.4%と続いています。



「その他」：定員枠の増加、利用条件の緩和、学校の近くにあってほしい、有資格者の配置　等

問１４－３　放課後事業を利用していない理由は何ですか。（複数回答可）

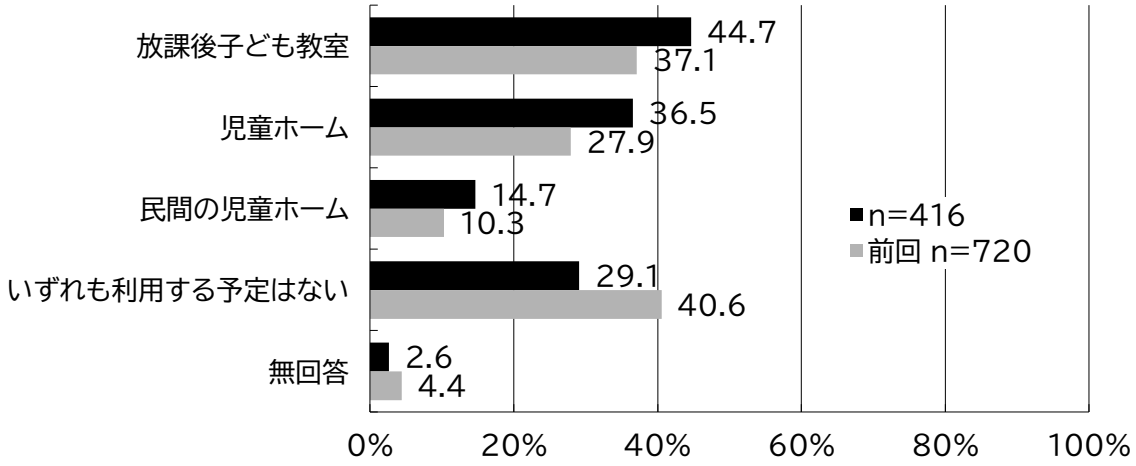
「こどもの帰宅時間に保護者や祖父母が自宅にいるから」が 63.1%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）に通っているから」が 22.1%、「利用料がかかるから」が 14.3%、「放課後の短時間ならこどもだけで過ごしても大丈夫だと思うから」が 13.8%と続いています。



「その他」：利用要件に当てはまらないから、きょうだいがみてくれるから、放課後等デイサービスを利用中、障がいがあり利用できないから　等

問１５　お子さんについて、今後（今後も）利用したいものはありますか。（複数回答可）

「放課後子ども教室」が 44.7%と最も高く、次いで「児童ホーム」が 36.5%、「いずれも利用する予定はない」が 29.1%、「民間の児童ホーム」が 14.7%と続いています。



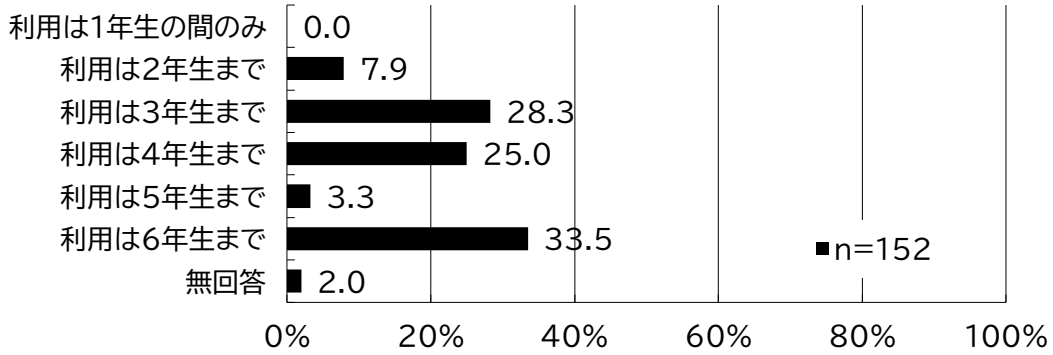
〈お子さんの学年別〉

小学１年生では、「児童ホーム」が 51.7%と最も高く、小学２年生及び小学３年生では、「放課後子ども教室」が最も高くなっています。

		回答者数	放課後子ども教室	児童ホーム	民間の児童ホーム	いずれも利用する予定はない	無回答
全体		416	44.7%	36.5%	14.7%	29.1%	2.6%
お子さんの学年	小学１年生	149	43.0%	51.7%	17.4%	18.8%	1.3%
	小学２年生	135	50.4%	31.9%	12.6%	32.6%	4.4%
	小学３年生	131	40.5%	23.7%	13.0%	37.4%	2.3%

問１５－１　問１５で「児童ホーム」を選択した方にうかがいます。何年生までの利用を希望しますか。

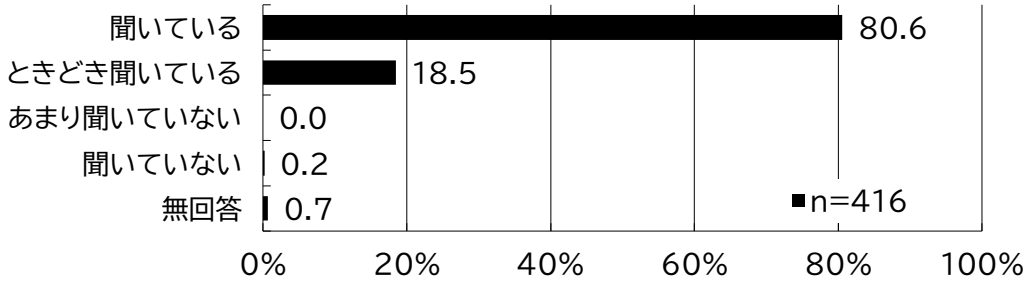
「利用は 6 年生まで」が 33.5%と最も高く、次いで「利用は 3 年生まで」が 28.3%、「利用は 4 年生まで」が 25.0%、「利用は 2 年生まで」が 7.9%と続いています。



子育てや生活の状況、必要な支援について

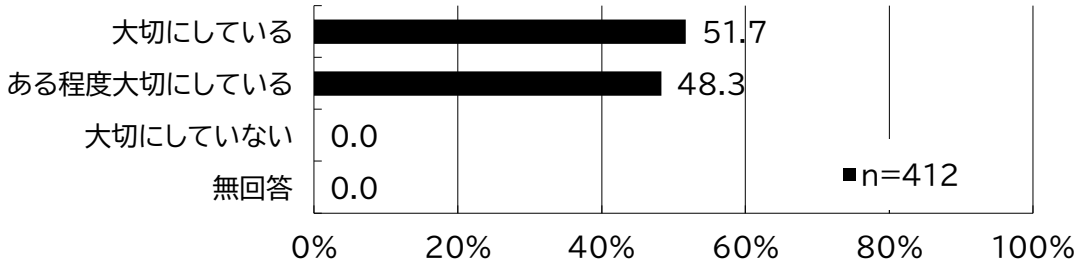
問１６　あなたは普段、お子さんのことを決めるときにお子さんの意見を聞いていますか。

「聞いている」が 80.6%と最も高く、次いで「ときどき聞いている」が 18.5%、「聞いていない」が 0.2%、「あまり聞いていない」が 0%と続いています。



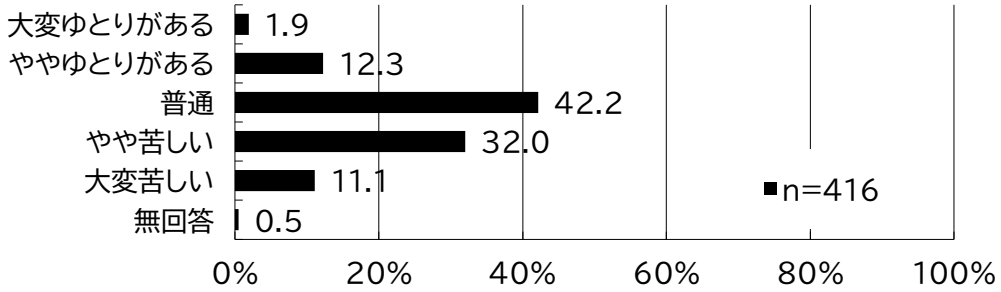
問１６－１　あなたは普段、お子さんのことを決めるときにお子さんの意見を大切にしていますか。

「大切にしている」が 51.7%、「ある程度大切にしている」が 48.3%となっています。



問１７　あなたは、家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

「普通」が 42.2%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 32.0%、「ややゆとりがある」が 12.3%、「大変苦しい」が 11.1%と続いています。



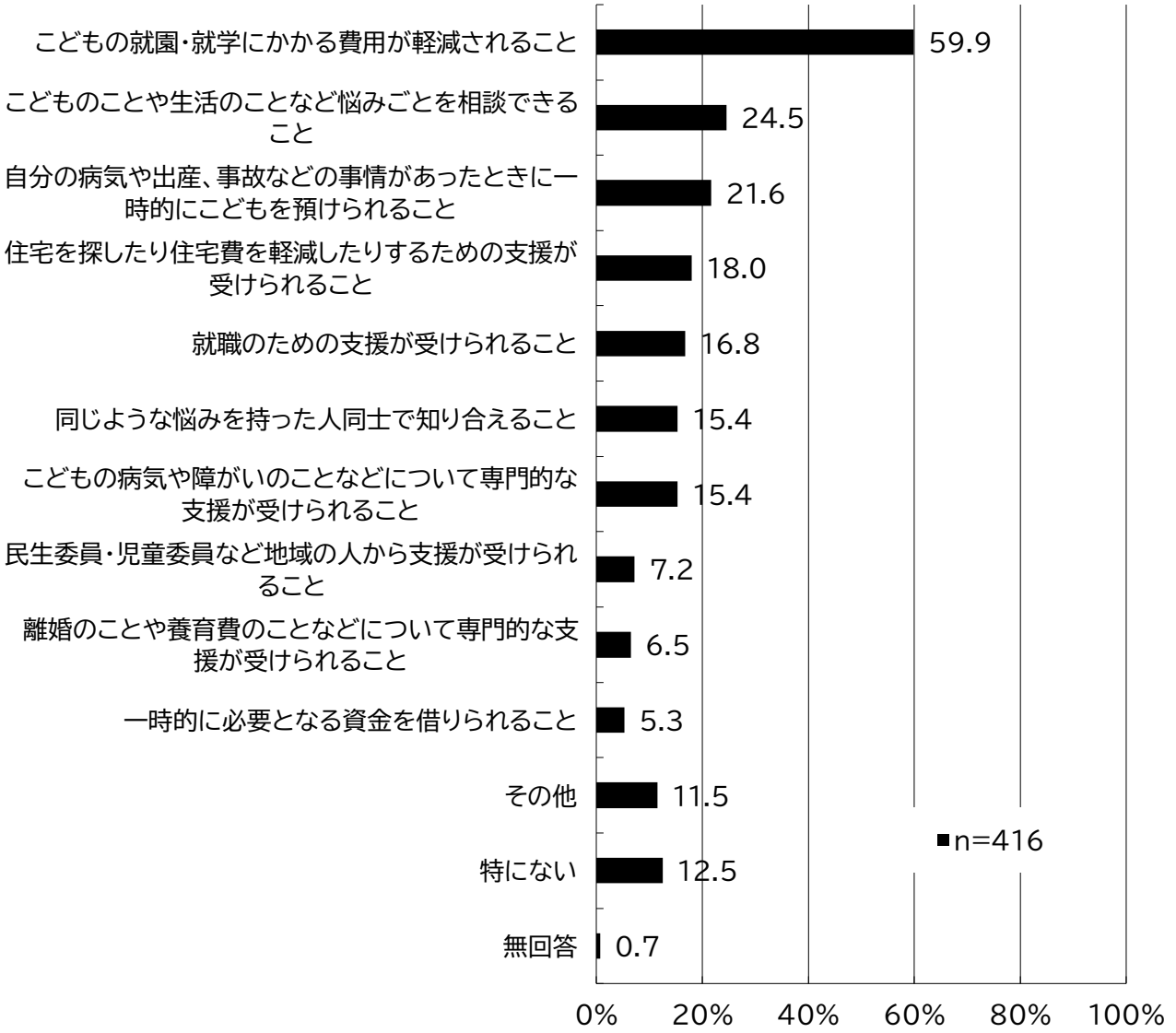
〈世帯収入別〉

世帯収入が 300 万円未満の場合は、「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合が 74.2%となっています。

		回答者数	大変ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい	無回答
全体		416	1.9%	12.3%	42.2%	32.0%	11.1%	0.5%
世帯収入	300万円未満	35	0.0%	2.9%	22.9%	48.5%	25.7%	0.0%
	300～600万円未満	141	1.4%	4.3%	39.7%	38.3%	15.6%	0.7%
	600～900万円未満	153	1.3%	15.7%	47.1%	29.4%	6.5%	0.0%
	900万円以上	66	6.1%	30.3%	40.8%	15.2%	7.6%	0.0%

問１８　あなたが現在必要としていること、あなたにとって重要だと思う支援はどのようなものですか。（複数回答可）

「こどもの就園・就学にかかる費用が軽減されること」が 59.9%と最も高く、次いで「こどものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」が 24.5%、「自分の病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にこどもを預けられること」が 21.6%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が 18.0%と続いています。

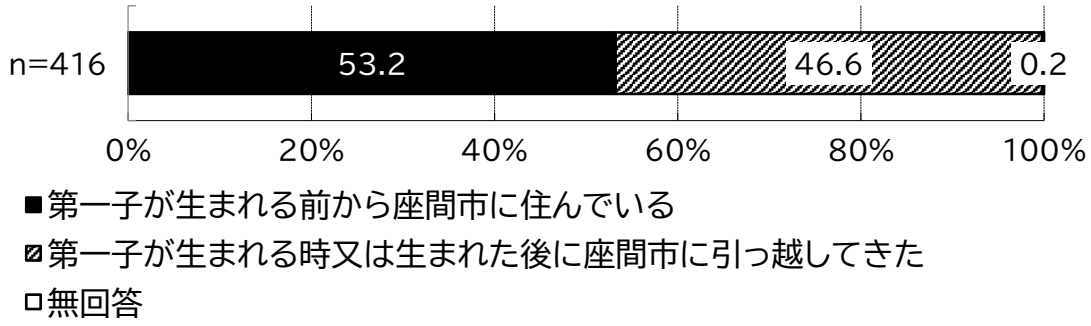


「その他」：教育・給食費の無償化、こどもが外遊びできる場所、児童ホーム等の放課後児童対策、早朝の預かり、長期休みの居場所、多子世帯への経済的支援　等

座間市の子育ての環境や支援などについて

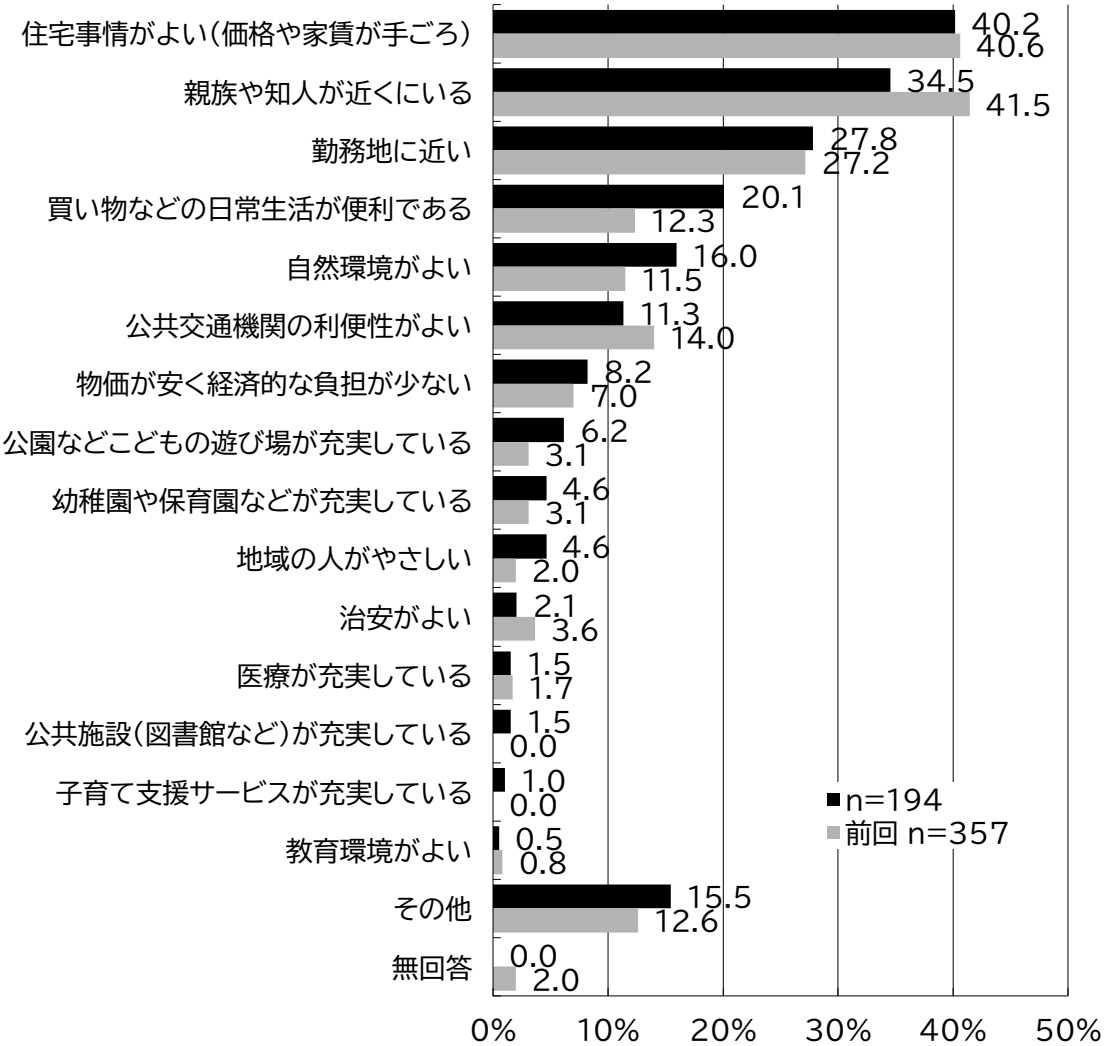
問１９　いつごろから座間市にお住まいですか。

「第一子が生まれる前から座間市に住んでいる」が 53.2%、「第一子が生まれる時又は生まれた後に座間市に引っ越してきた」が 46.6%となっています。



問１９－１　座間市への転入を決めた理由は何ですか。（複数回答可）

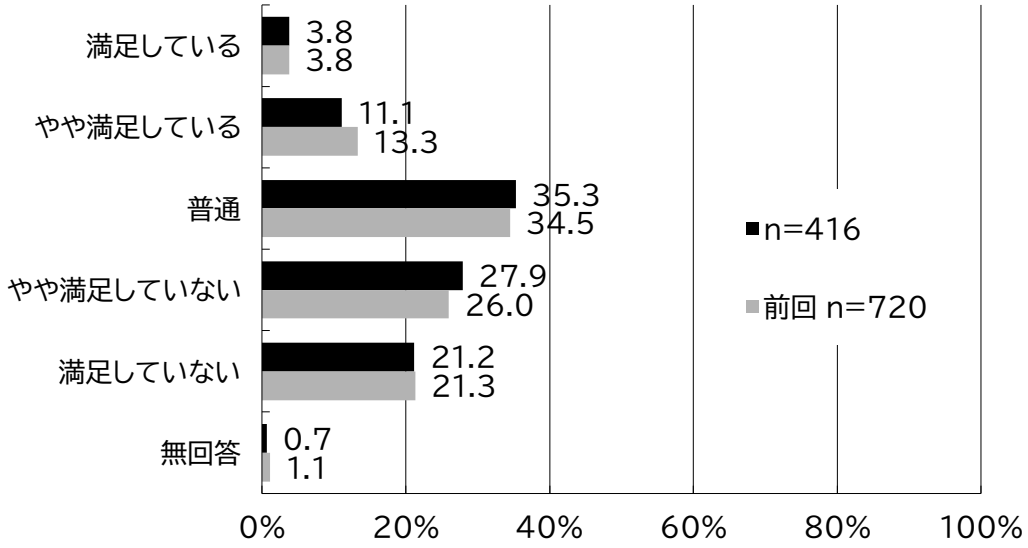
「住宅事情がよい（価格や家賃が手ごろ）」が 40.2%と最も高く、次いで「親族や知人が近くにいる」が 34.5%、「勤務地に近い」が 27.8%、「買い物などの日常生活が便利である」が 20.1%と続いています。



「その他」：配偶者の職場に近い、転勤、希望の土地やマンションがあったから　等

問２０　座間市の子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

「普通」が 35.3%と最も高く、次いで「やや満足していない」が 27.9%、「満足していない」が 21.2%、「やや満足している」が 11.1%と続いています。



〈お子さんの人数別等〉

お子さんの人数が多いほど、満足していない割合（「やや満足していない」と「満足していない」を合わせた割合）が高くなっています。

世帯収入が 900 万円以上の家庭では、満足していない割合が 57.5%と比較的高くなっています。

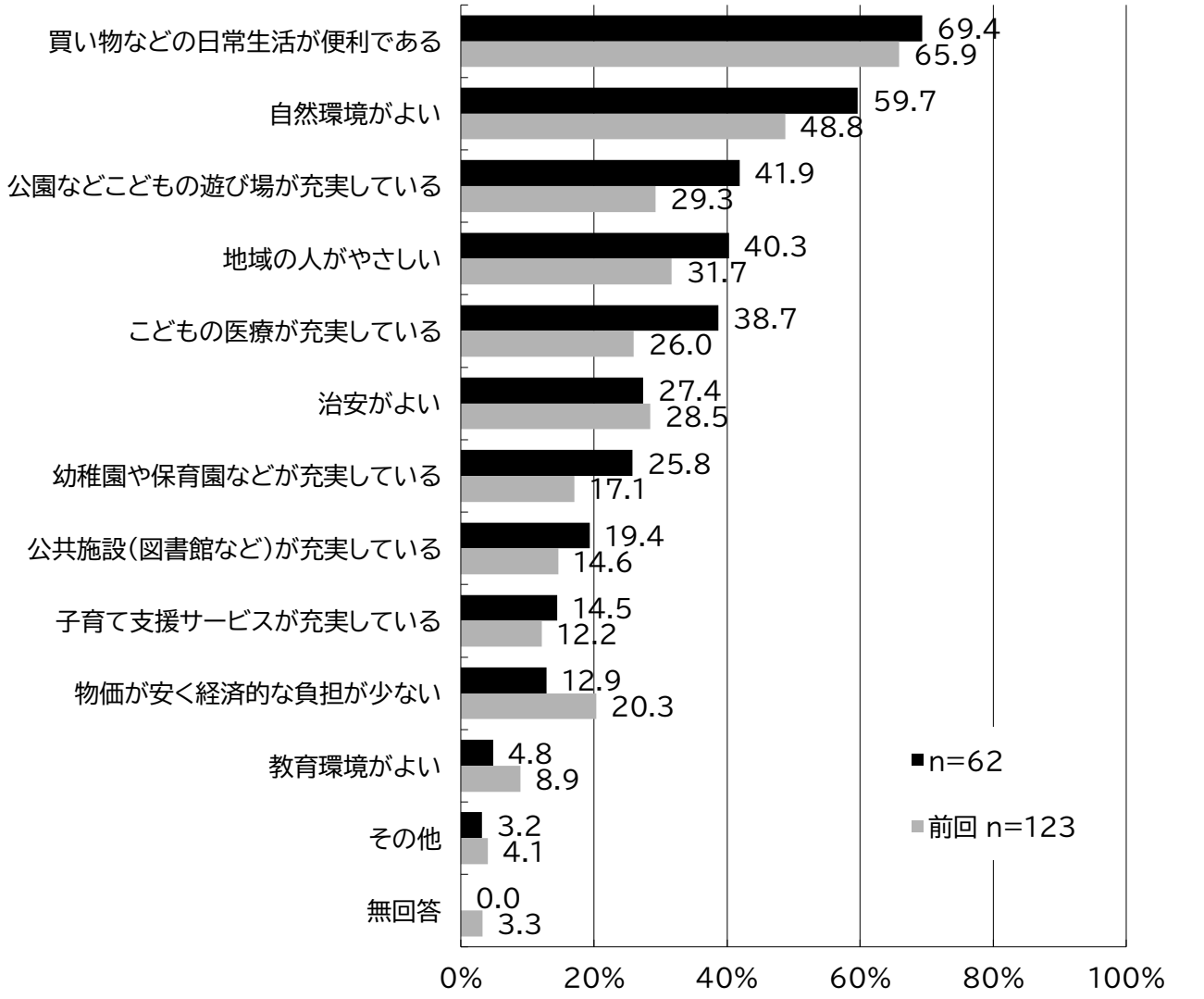
家庭で日本語以外の言語を使用している場合は、満足していない割合が 59.2%と比較的高くなっています。

座間市に住んだ時期が“第一子の出産前から”の場合と“第一子の出産時から”の場合で、満足度に大きな差は見られません。

		回答者数	満足している	やや満足している	普通	やや満足していない	満足していない	無回答
全体		416	3.8%	11.1%	35.3%	27.9%	21.2%	0.7%
お子さんの人数	１人	91	5.5%	9.9%	46.1%	22.0%	14.3%	2.2%
	２人	225	3.1%	14.2%	30.7%	29.8%	21.8%	0.4%
	３人以上	99	4.0%	5.1%	35.3%	29.3%	26.3%	0.0%
世帯収入	300万円未満	35	0.0%	17.1%	34.4%	31.4%	17.1%	0.0%
	300～600万円未満	141	4.3%	9.9%	36.1%	29.1%	20.6%	0.0%
	600～900万円未満	153	3.3%	13.7%	32.7%	30.7%	18.3%	1.3%
	900万円以上	66	7.6%	7.6%	27.3%	24.2%	33.3%	0.0%
家庭の使用言語	日本語のみ使用	394	3.6%	11.4%	36.0%	27.7%	20.8%	0.5%
	日本語以外を使用	22	9.1%	4.5%	22.7%	31.9%	27.3%	4.5%
座間市に住んだ時期	第一子の出産前から	221	2.7%	10.9%	37.1%	26.2%	22.6%	0.5%
	第一子の出産時から	194	5.2%	11.3%	33.5%	29.4%	19.6%	1.0%

問２０－１　満足している理由は何ですか。（複数回答可）

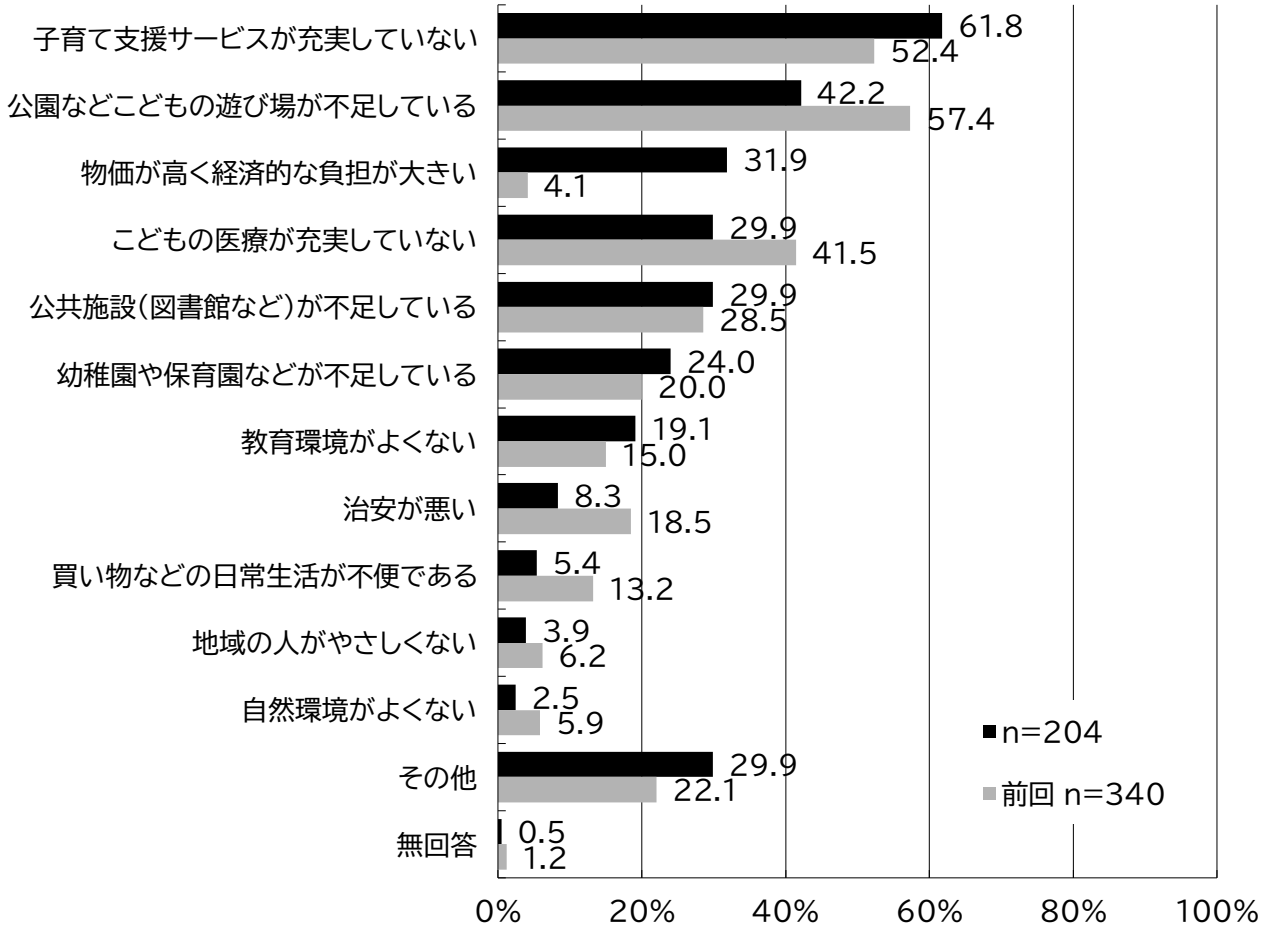
「買い物などの日常生活が便利である」が 69.4%と最も高く、次いで「自然環境がよい」が 59.7%、「公園などこどもの遊び場が充実している」が 41.9%、「地域の人がやさしい」が 40.3%と続いています。



「その他」：自宅近くに職場がある、実家からのサポートを受けやすい

問２０－２　満足していない理由は何ですか。（複数回答可）

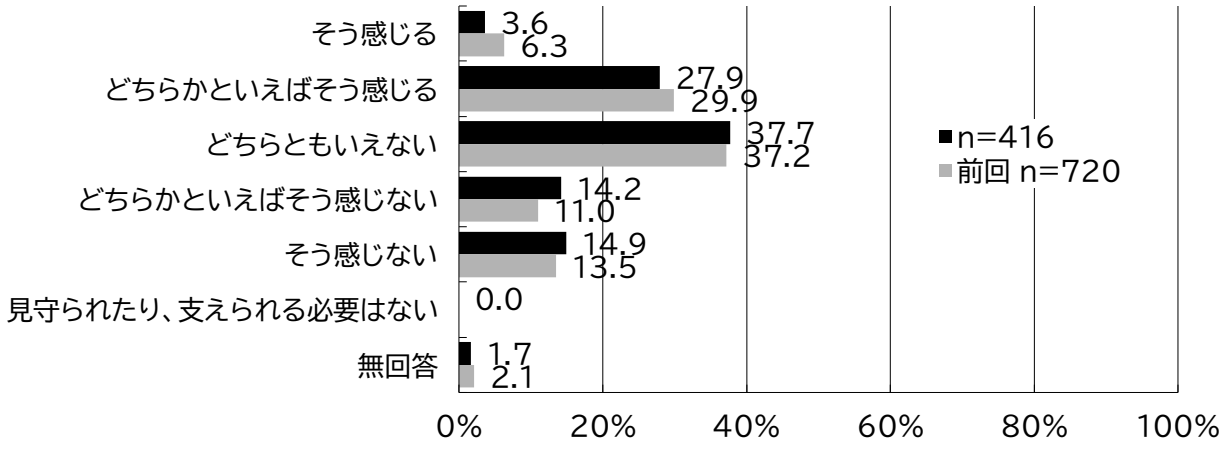
「子育て支援サービスが充実していない」が 61.8%と最も高く、次いで「公園などこどもの遊び場が不足している」が 42.2%、「物価が高く経済的な負担が大きい」が 31.9%、「こどもの医療が充実していない」が 29.9%と続いています。



「その他」：他市と比較して子育て環境がよくない、中学校の給食がない、経済的な支援が少ない、学童の定員が少ない、危険な道路が多い　等

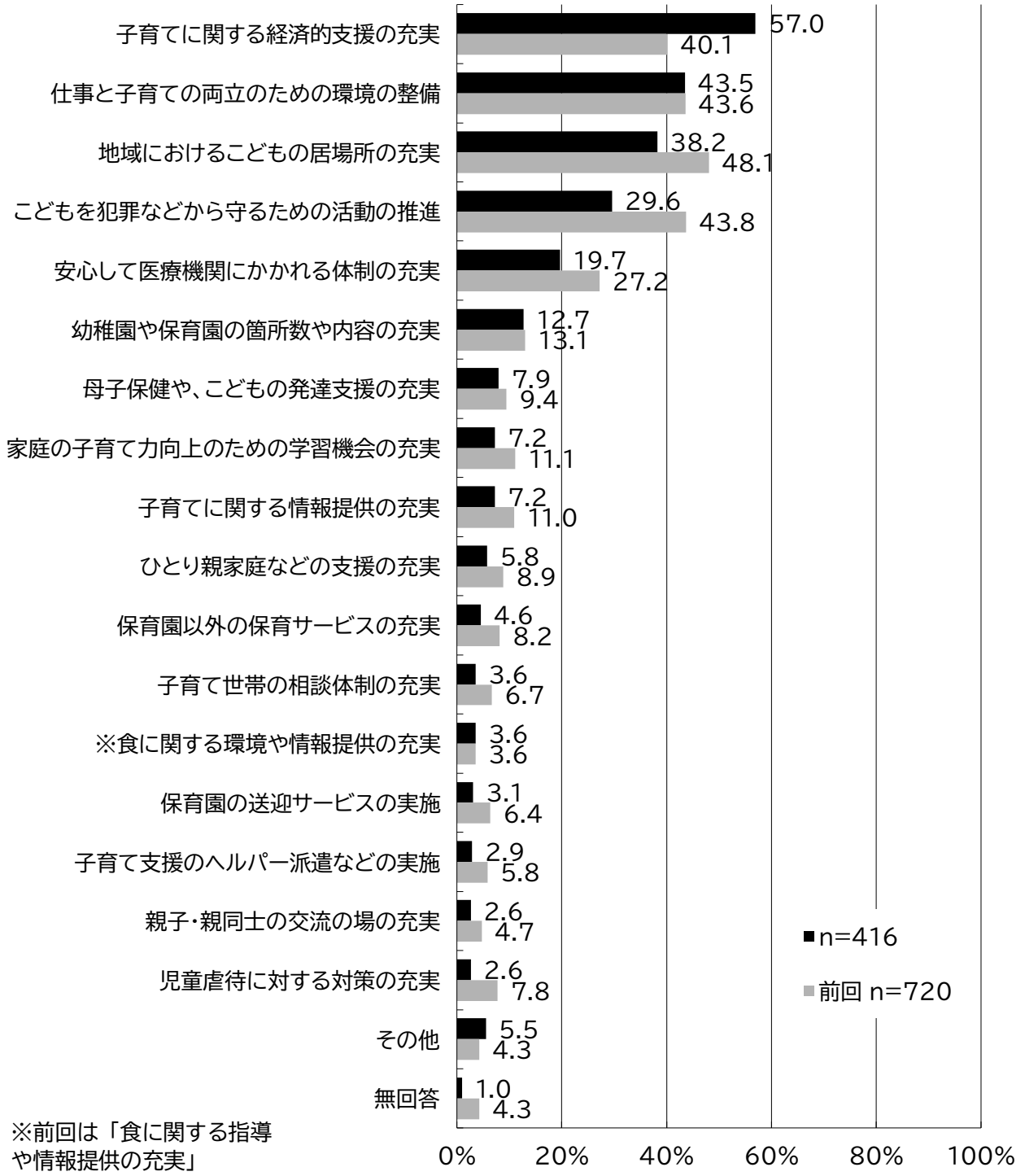
問２１　子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じますか。

「どちらともいえない」が 37.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう感じる」が 27.9%、「そう感じない」が 14.9%、「どちらかといえばそう感じない」が 14.2%と続いています。



問２２　市のこども・子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答可）

「子育てに関する経済的支援の充実」が 57%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立のための環境の整備」が 43.5%、「地域におけるこどもの居場所の充実」が 38.2%、「こどもを犯罪などから守るための活動の推進」が 29.6%と続いています。



「その他」：学童の充実、不登校対策、中学校までの給食の実施、公園や遊び場の充実　等

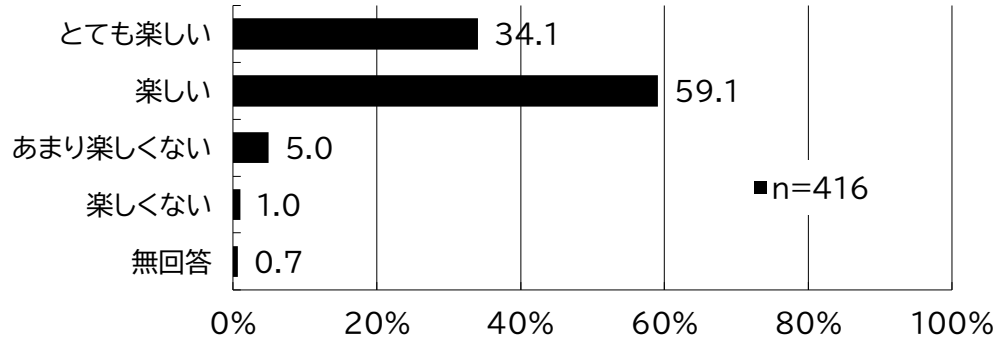
問２３　これまでの設問以外で子育てについて何か思うこと感じることがあれば、自由にお書きください。

主な意見要旨	件数
放課後児童対策の充実（学童保育の定員拡大・利用時間の拡大、放課後子ども教室の充実）	33 件
公園や遊び場の不足、居場所づくり	27 件
道路や公園の安全性への不安	19 件
公共施設の改善・更新（学校設備の更新、駐車場の確保等）	16 件
経済的支援の充実	16 件
子育て支援サービスの充実（周辺市と同様の支援、一時預かり、早朝の預け先等）	15 件
中学校の給食実施、給食の質の向上	14 件
ＰＴＡ活動の改善	10 件
待機児童問題・保育園等の定員不足、保育園・幼稚園のサービスや質の向上	9 件
市の施策への肯定的な評価（小児医療費助成等）	9 件
障がいや医療的ケアへの支援の充実	8 件
教育の質の向上	7 件
小児科等が混んでいる	5 件
市の手続きや相談支援の充実	5 件
不登校児童対策の充実	3 件
子育て支援に関する情報提供の充実	2 件
保育士の確保、待遇改善	1 件
世代間交流機会の充実	1 件

放課後の過ごし方について（小学生本人への質問）

問２４　あなたは、放課後の時間は楽しいですか。

「楽しい」が 59.1%と最も高く、次いで「とても楽しい」が 34.1%、「あまり楽しくない」が 5.0%、「楽しくない」が 1.0%と続いています。



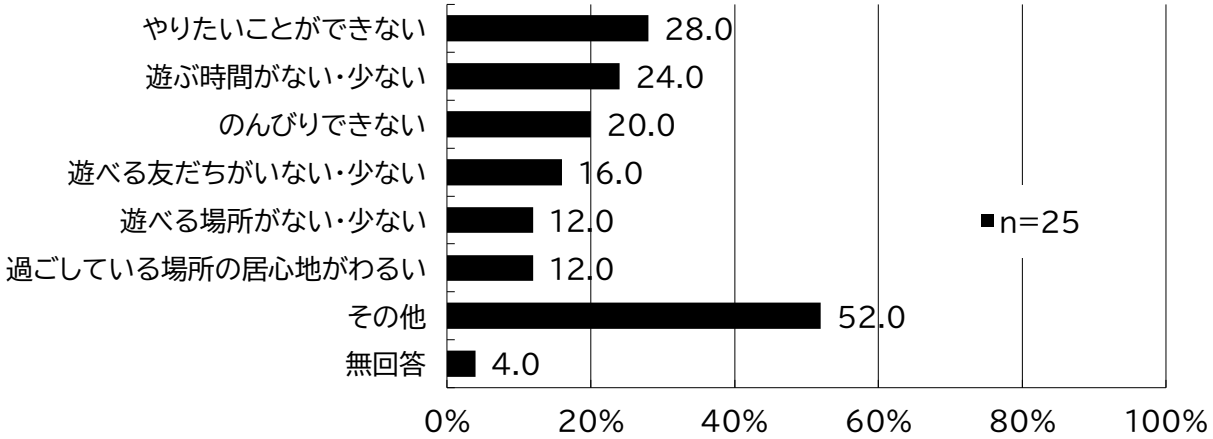
〈放課後事業の利用状況別〉

「楽しい」と「とても楽しい」を合わせた割合は、いずれかの放課後事業を利用している場合も利用していない場合も、90%台前半となっています。児童ホームを利用している場合は、「楽しい」と「とても楽しい」を合わせた割合が 90.2%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」を合わせた割合が 9.8%となっています。

		回答者数	とても楽しい	楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	無回答
全体		416	34.1%	59.1%	5.0%	1.0%	0.7%
放課後事業の利用状況	放課後子ども教室	91	40.7%	53.8%	5.5%	0.0%	0.0%
	児童ホーム	112	38.4%	51.8%	8.0%	1.8%	0.0%
	民間の児童ホーム	26	46.1%	46.2%	7.7%	0.0%	0.0%
	いずれも利用していない	217	30.4%	63.6%	3.7%	0.9%	1.4%

問２４－１　楽しくない理由を教えてください。（複数回答可）

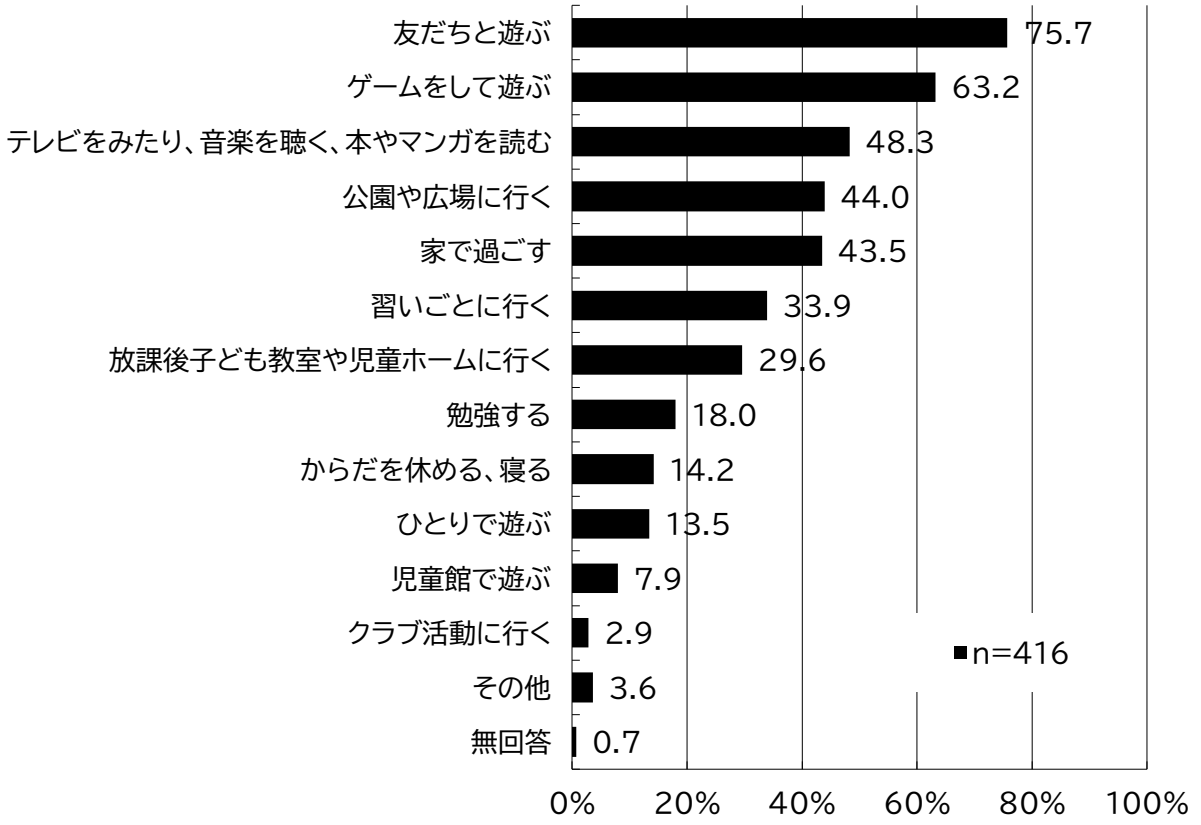
「その他」が 52.0%と最も高く、次いで「やりたいことができない」が 28.0%、「遊ぶ時間がない・少ない」が 24.0%、「のんびりできない」が 20.0%と続いています。



「その他」：宿題に時間をとられるから、外で遊べないから、児童ホームでの遊び方が自分にあわないから、楽しくもないしつまらなくもないから、兄に苛められてつまらないから、おもちゃが少ないから　等

問２５　あなたが楽しいと思うのはどれですか。（複数回答可）

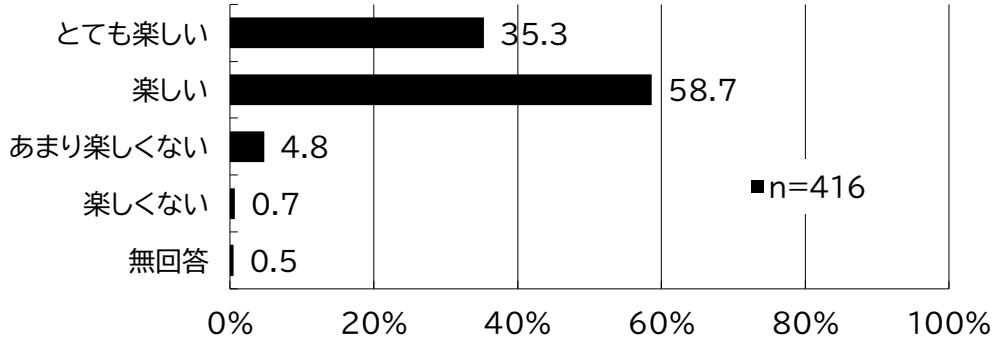
「友だちと遊ぶ」が 75.7%と最も高く、次いで「ゲームをして遊ぶ」が 63.2%、「テレビをみたり、音楽を聴く、本やマンガを読む」が 48.3%、「公園や広場に行く」が 44.0%と続いています。



「その他」：放課後等デイサービスに行くこと、動画を見ること、工作やおもちゃで遊ぶこと　等

問２６　あなたは、今の生活（遊びや勉強）が楽しいですか。

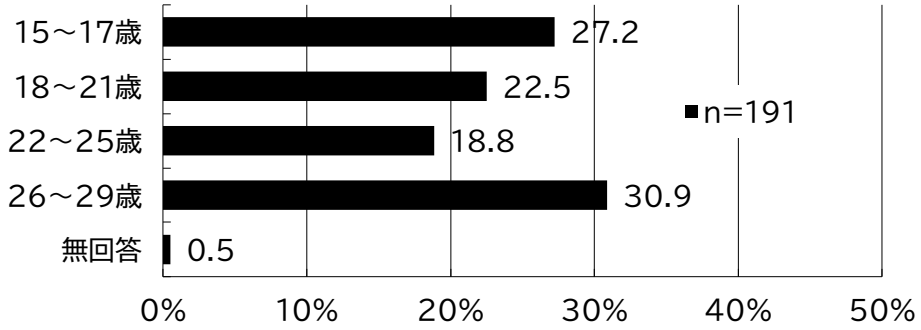
「楽しい」が 58.7%と最も高く、次いで「とても楽しい」が 35.3%、「あまり楽しくない」が 4.8%、「楽しくない」が 0.7%と続いています。



３　若者(15 歳～29 歳) 調査

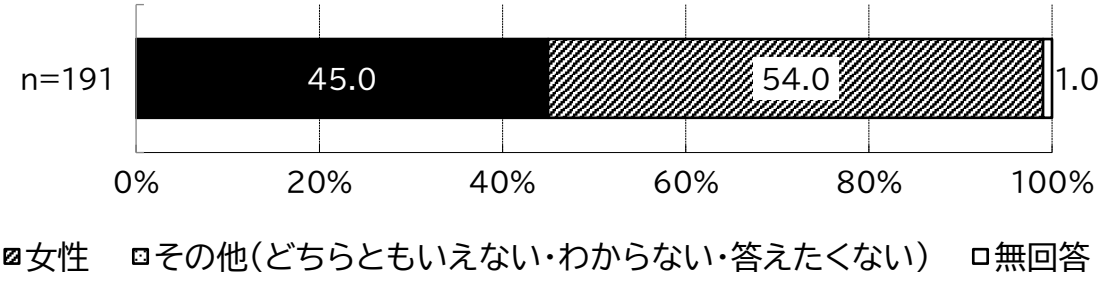
問１　あなたの年齢をお答えください。

「26～29 歳」が 30.9%、「15～17 歳」が 27.2%、「18～21 歳」が 22.5%、「22～25 歳」が 18.8%と続いています。



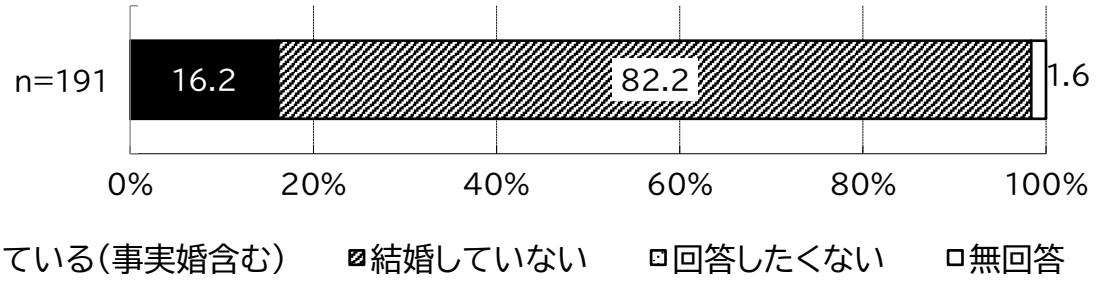
問２　あなたの性別をお答えください。

「女性」が 54.0%、「男性」が 45.0%となっています。



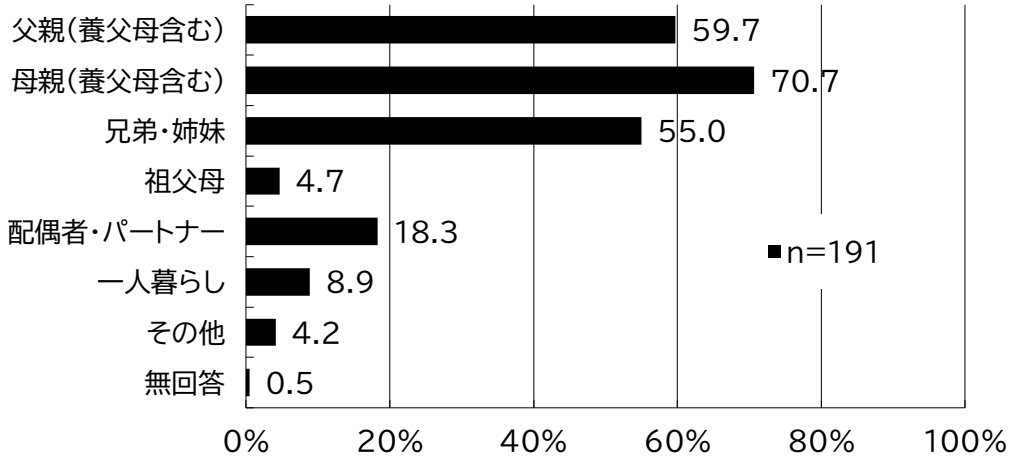
問３　あなたは結婚していますか。

「結婚していない」が 82.2%、「結婚している（事実婚含む)」が 16.2%となっています。



問４　一緒に住んでいる方はどなたですか。

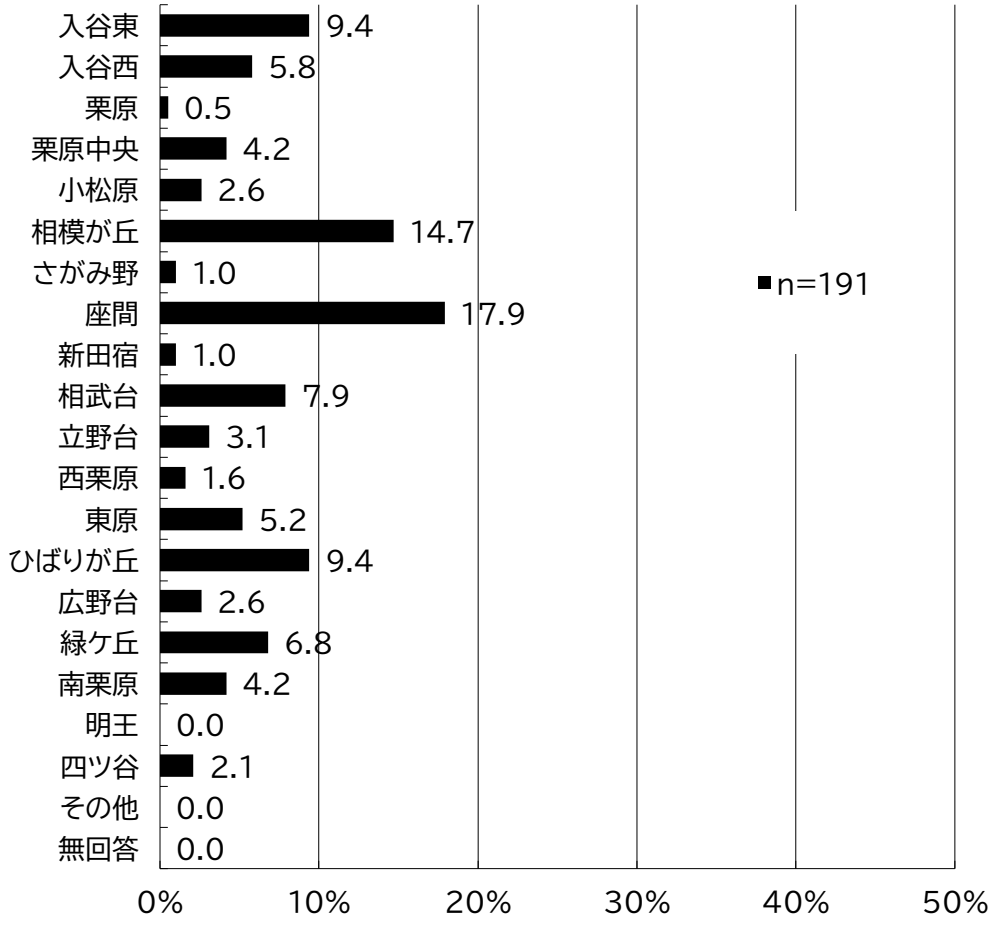
「母親（養父母含む）」が 70.7%と最も高く、次いで「父親（養父母含む）」が 59.7%、「兄弟・姉妹」が 55.0%、「配偶者・パートナー」が 18.3%と続いています。



「その他」：こども、甥、友人

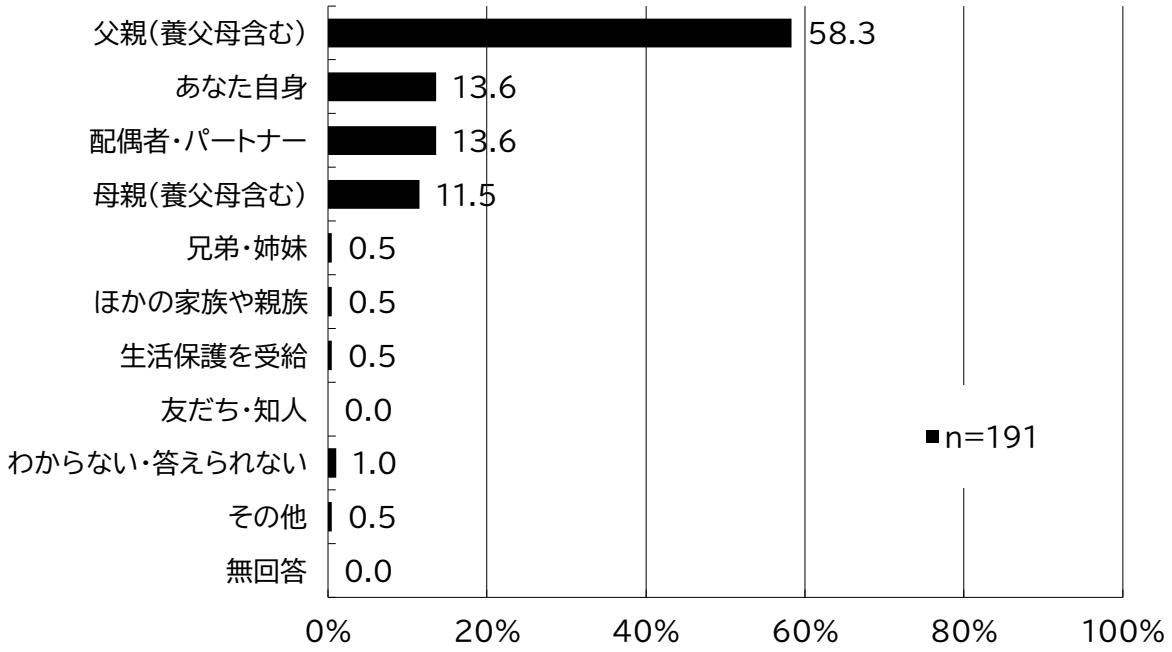
問５　お住まいの地域はどちらですか。

「座間」が 17.9%、「相模が丘」が 14.7%とこれらが上位２つで、次いで「入谷東」、「ひばりが丘」が 9.4%と続いています。



問６　あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。

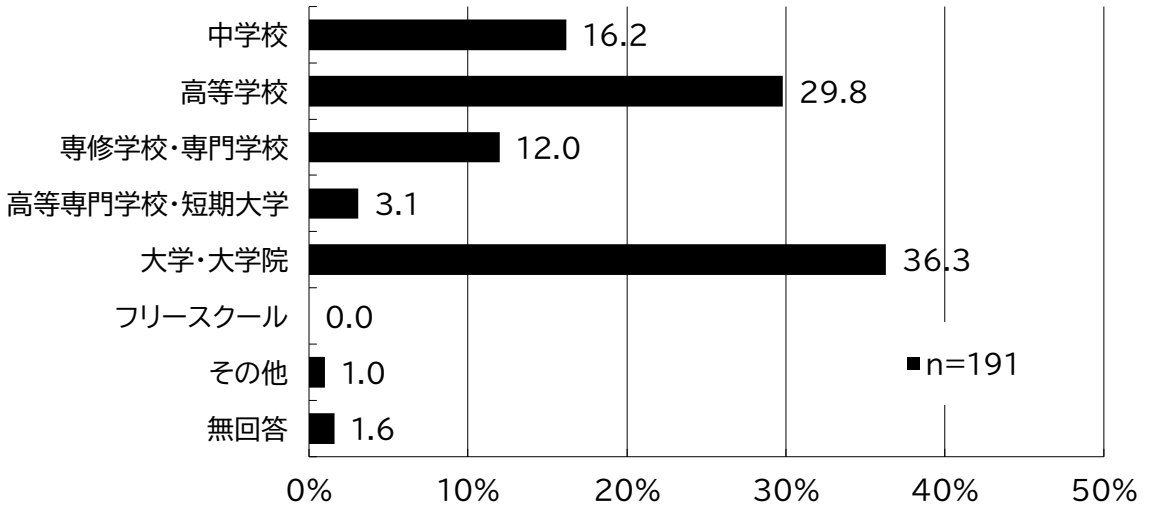
「父親（養父母含む）」が 58.3%と最も高く、次いで「あなた自身」、「配偶者・パートナー」が 13.6%、「母親（養父母含む）」が 11.5%と続いています。



「その他」：夫婦で半分ずつ

問７　あなたが最後に卒業した（中退など含む）学校などはどれですか。

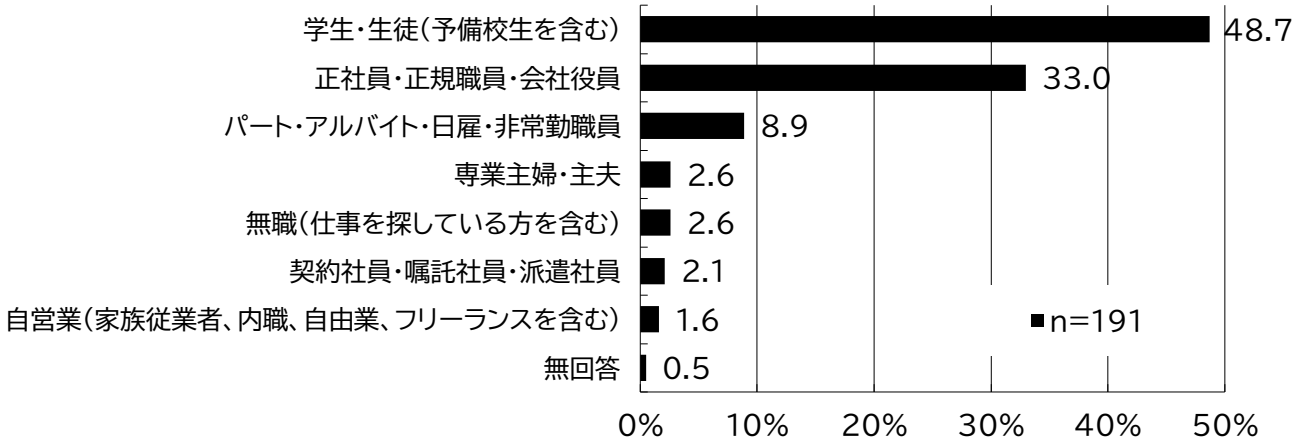
「大学・大学院」が 36.3%と最も高く、次いで「高等学校」が 29.8%、「中学校」が 16.2%、「専修学校・専門学校」が 12.0%と続いています。



「その他」：記入なし

問８　あなたの現在のお仕事をお答えください。

「学生・生徒（予備校生を含む）」が 48.7%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が 33.0%、「パート・アルバイト・日雇・非常勤職員」が 8.9%、「専業主婦・主夫」、「無職（仕事を探している方を含む）」が 2.6%と続いています。



〈年齢区分別等〉

15～19 歳では、「学生・生徒（予備校生を含む）」が 94.5%、20～24 歳では、「学生・生徒（予備校生を含む）」が 47.9%、「正社員・正規職員・会社役員」が 35.4%となっています。25～29 歳では、「正社員・正規職員・会社役員」が 66.9%となっています。

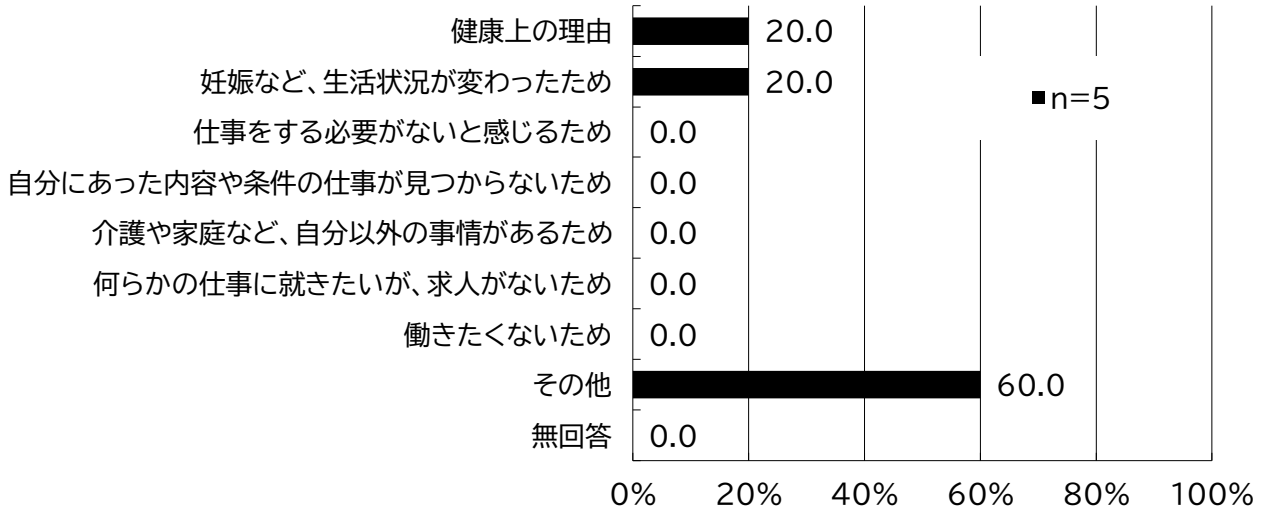
外出頻度が低めな場合では、「学生・生徒（予備校生を含む）」が 27.8%、「正社員・正規職員・会社役員」が 27.7%、「無職（仕事を探している方を含む）」が 22.2%となっています。

		回答者数	正社員・正規職員・会社役員	契約社員・嘱託社員・派遣社員	パート・アルバイト・日雇・非常勤職員	自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）	学生・生徒（予備校生を含む）	専業主婦・主夫	無職（仕事を探している方を含む）	無回答
全体		191	33.0%	2.1%	8.9%	1.6%	48.7%	2.6%	2.6%	0.5%
年齢３区分	15～19歳	73	0.0%	0.0%	4.1%	0.0%	94.5%	0.0%	1.4%	0.0%
	20～24歳	48	35.4%	4.2%	10.4%	0.0%	47.9%	0.0%	2.1%	0.0%
	25～29歳	69	66.9%	2.9%	11.6%	4.3%	1.4%	7.2%	4.3%	1.4%
ふだんの外出頻度	外出頻度高め	173	33.5%	2.3%	8.7%	1.2%	50.8%	2.3%	0.6%	0.6%
	外出頻度低め	18	27.7%	0.0%	11.1%	5.6%	27.8%	5.6%	22.2%	0.0%

※普段の外出頻度は、低めは問 13 で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」のいずれかを選択した場合で、高めはそれ以外

問８－１　あなたが現在働いていない理由は何ですか。（複数回答可）

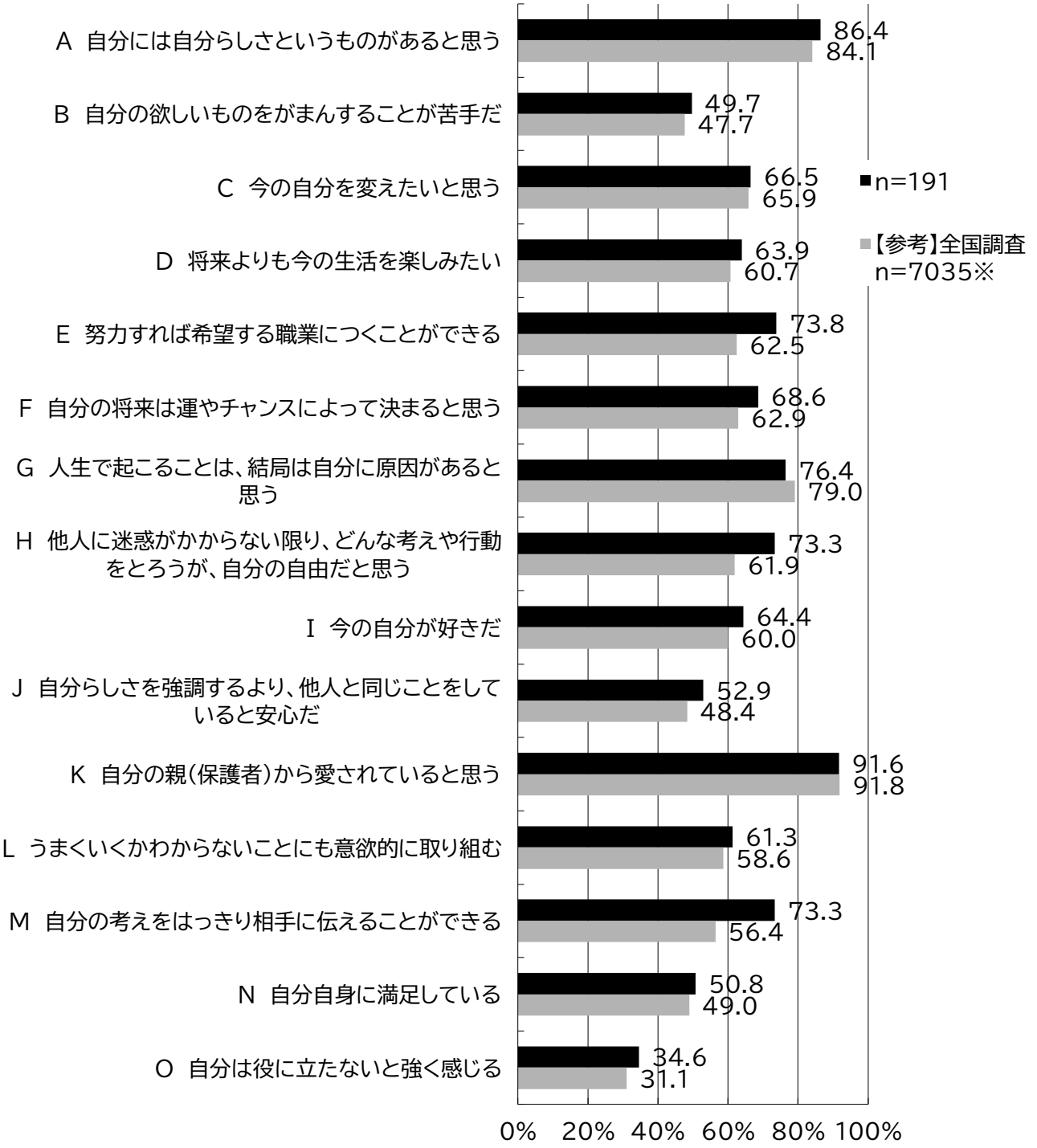
「その他」が 60.0%と最も高く、次いで「健康上の理由」、「妊娠など、生活状況が変わったため」が 20.0%と続いています。



「その他」：人が苦手で関われない、学びたいことを見つけて現在勉強しているため

問９　あなた自身について、次のことがどのくらい当てはまりますか。

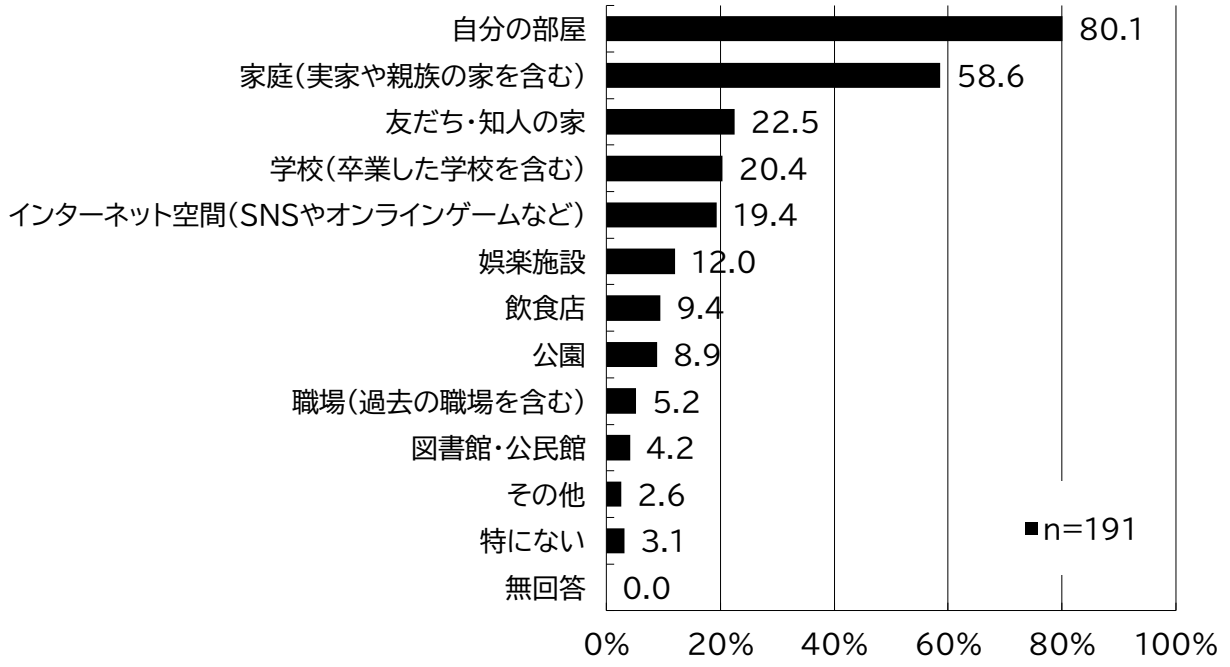
“K　自分の親（保護者）から愛されていると思う”、“A　自分には自分らしさというものがあると思う”は、「当てはまる」又は「どちらかといえば当てはまる」との回答が 90%前後と比較的高くなっています。



※【参考】全国調査は、内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和４年度）」の 15 歳～39 歳対象調査（以降も同様）

問１０　あなたが日常的にほっとできる、 居心地のよい場所はどこですか。(複数回答可)

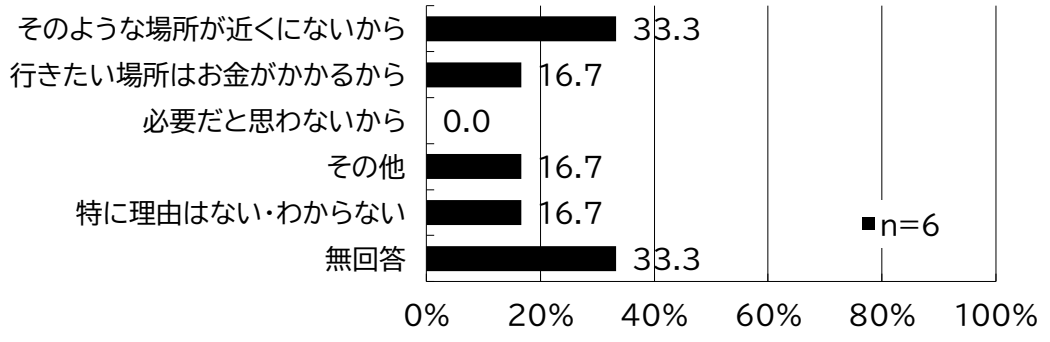
「自分の部屋」が 80.1%と最も高く、次いで「家庭（実家や親族の家を含む)」が 58.6%、「友だち・知人の家」が 22.5%、「学校（卒業した学校を含む)」が 20.4%と続いています。



「その他」：部活の場、フリースクール、トイレ　等

問１０－１　そのような場所がない理由は何ですか。(複数回答可)

「そのような場所が近くにないから」が 33.3%と最も高く、次いで「行きたい場所はお金がかかるから」、「その他」、「特に理由はない・わからない」が 16.7%と続いています。

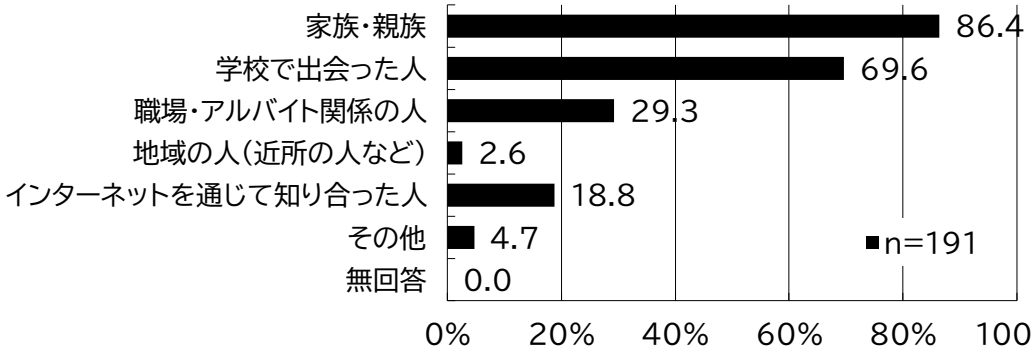


「その他」：家が苦痛

問１１　人との関わり・つながりはどのようなものですか。（複数回答可）

A　会話やメールなどをよくする相手の人

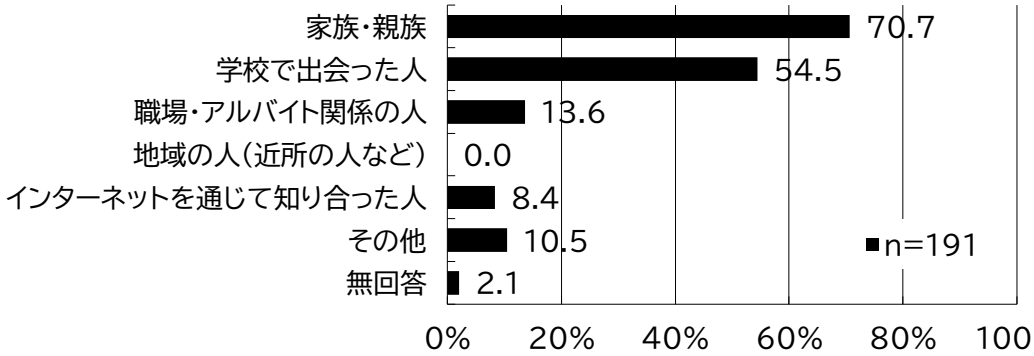
「家族・親族」が 86.4%と最も高く、次いで「学校で出会った人」が 69.6%、「職場・アルバイト関係の人」が 29.3%、「インターネットを通じて知り合った人」が 18.8%と続いています。



「その他」：友人、恋人、後輩

B　何でも悩みを相談できる人

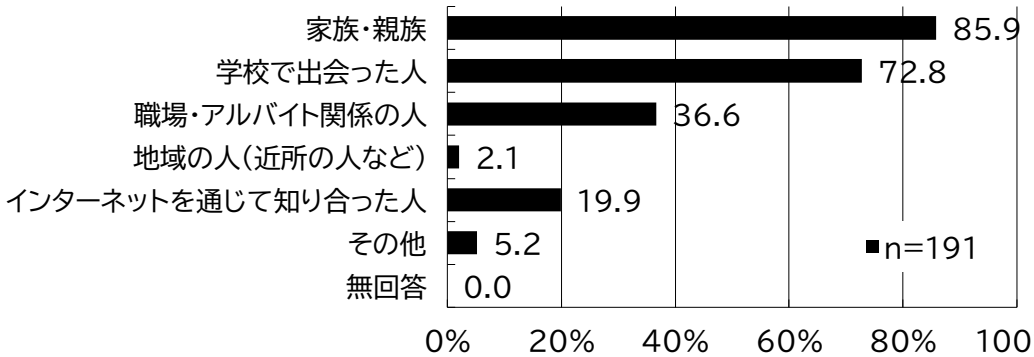
「家族・親族」が 70.7%と最も高く、次いで「学校で出会った人」が 54.5%、「職場・アルバイト関係の人」が 13.6%、「その他」が 10.5%と続いています。



「その他」：いない、恋人、友人、後輩

C　楽しく話せるときがある人

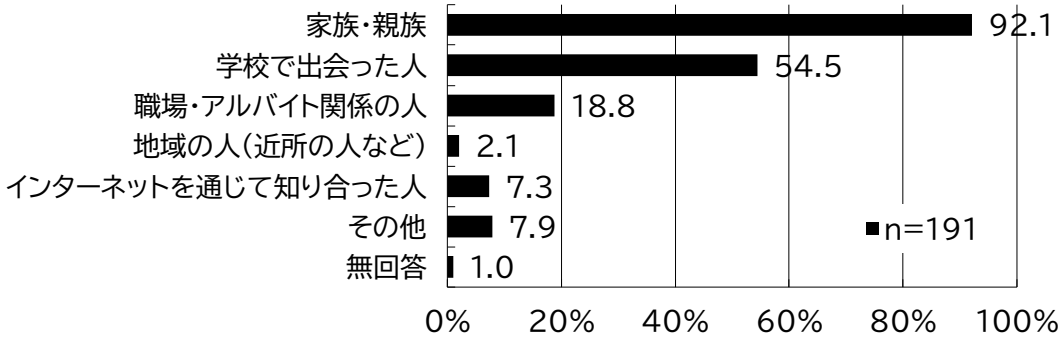
「家族・親族」が 85.9%と最も高く、次いで「学校で出会った人」が 72.8%、「職場・アルバイト関係の人」が 36.6%、「インターネットを通じて知り合った人」が 19.9%と続いています。



「その他」：友人、恋人、後輩

D　困ったときは助けてくれる人

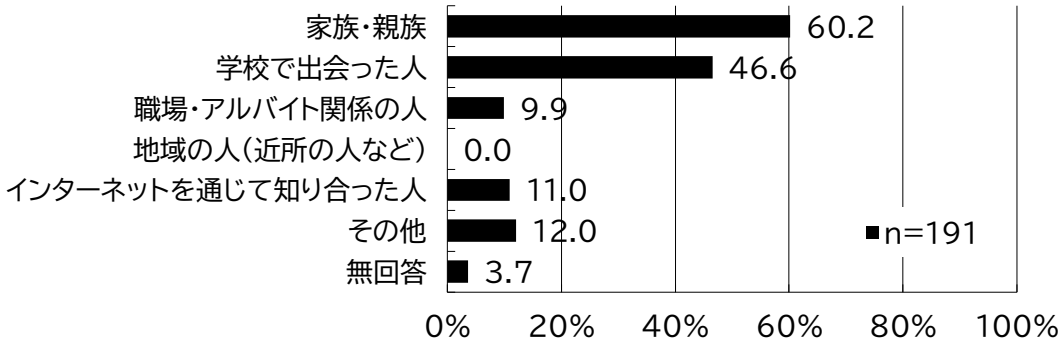
「家族・親族」が 92.1%と最も高く、次いで「学校で出会った人」が 54.5%、「職場・アルバイト関係の人」が 18.8%、「その他」が 7.9%と続いています。



「その他」：いない、恋人、友人

E　ほかの人には言えない本音を話すことができる人

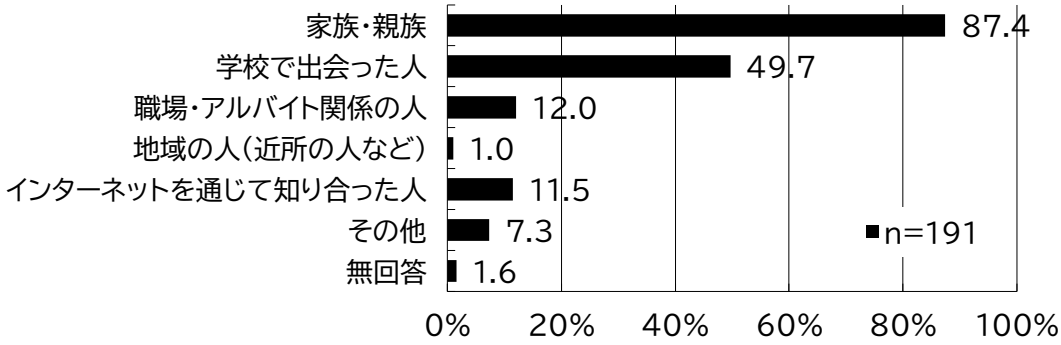
「家族・親族」が 60.2%と最も高く、次いで「学校で出会った人」が 46.6%、「その他」が 12.0%、「インターネットを通じて知り合った人」が 11.0%と続いています。



「その他」：友人、恋人、その時点で最も信用できる人、後輩

F　いつもつながりを感じている人

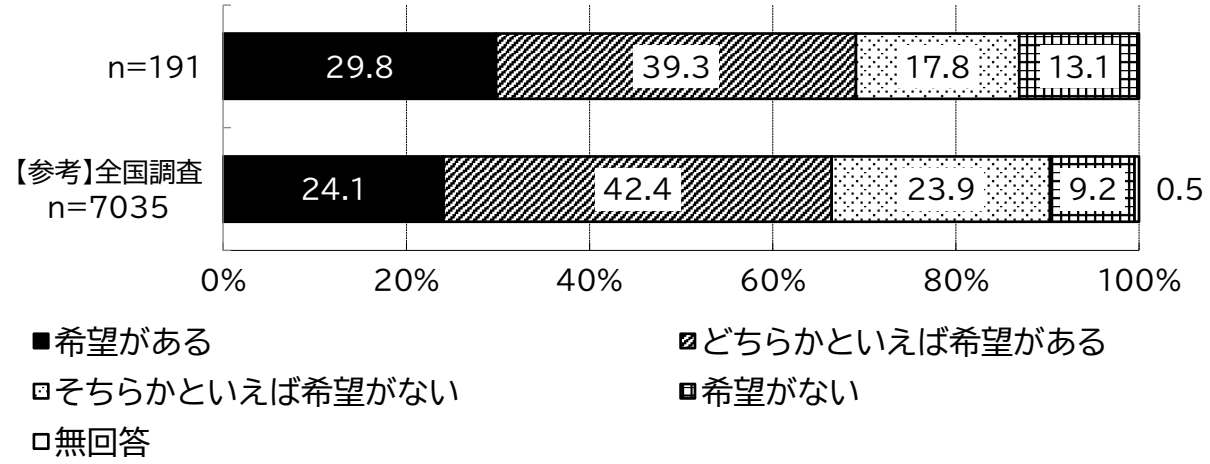
「家族・親族」が 87.4%と最も高く、次いで「学校で出会った人」が 49.7%、「職場・アルバイト関係の人」が 12.0%、「インターネットを通じて知り合った人」が 11.5%と続いています。



「その他」：いない、友人、恋人、後輩

問１２　あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。

「どちらかといえば希望がある」が 39.3%と最も高く、次いで「希望がある」が 29.8%、「そちらかといえば希望がない」が 17.8%、「希望がない」が 13.1%と続いています。



〈年齢区分別等〉

“希望がある”という割合（「希望がある」と「どちらかといえば希望がある」を合わせた割合）は、15～19 歳では 74.0%と、上の年齢よりも高くなっています。

“希望がある”という割合は、性別による大きな差は見られない一方、既婚の場合では同割合が 77.4%と、未婚と比べて高くなっています。

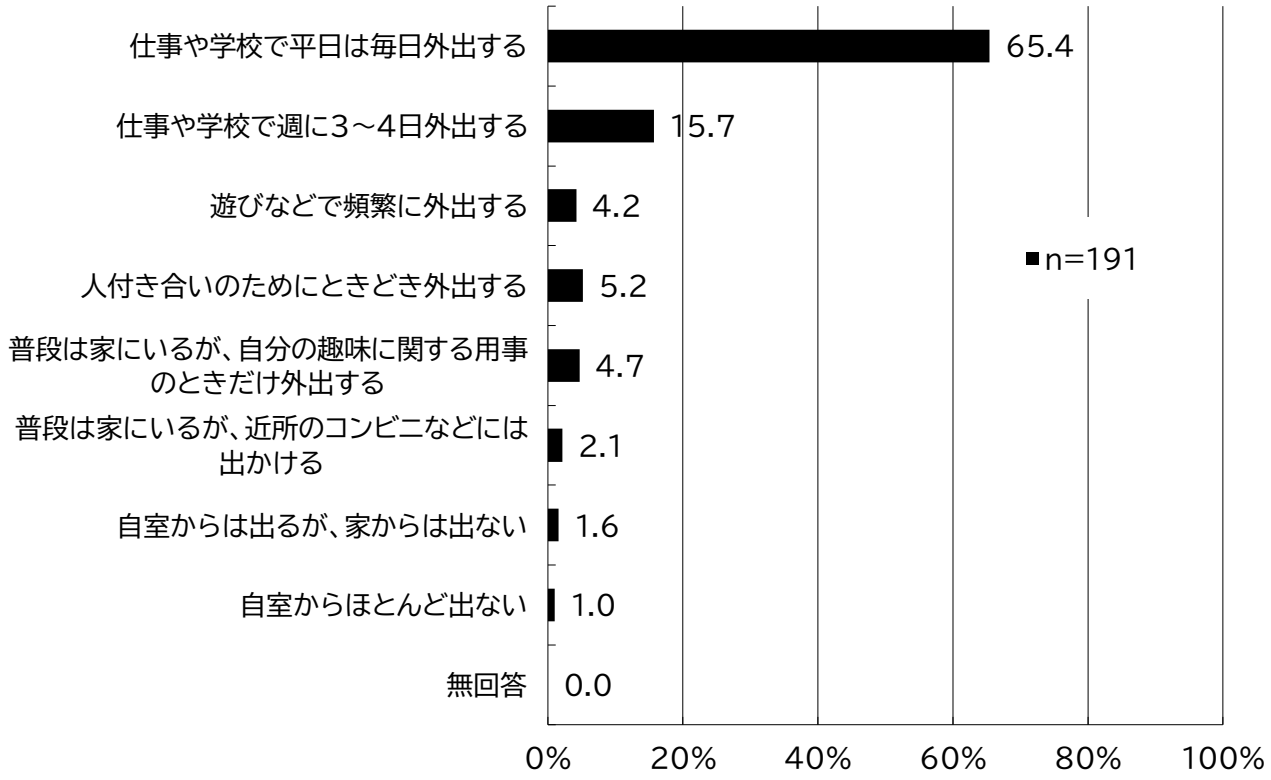
最終学歴が“中学校”の場合では、同割合が 64.5%と比較的低くなっています。

普段の外出頻度が低めの場合では、同割合が 44.4%と比較的低くなっています。

		回答者数	希望がある	どちらかといえば希望がある	そちらかといえば希望がない	希望がない	無回答
全体		191	29.8%	39.3%	17.8%	13.1%	0.0%
年齢３区分	15～19歳	73	35.6%	38.4%	13.7%	12.3%	0.0%
	20～24歳	48	18.8%	45.7%	18.8%	16.7%	0.0%
	25～29歳	69	31.9%	34.8%	21.7%	11.6%	0.0%
性別	男性	86	32.6%	37.2%	17.4%	12.8%	0.0%
	女性	103	28.2%	39.8%	18.4%	13.6%	0.0%
結婚	既婚	31	41.9%	35.5%	16.1%	6.5%	0.0%
	未婚	157	28.0%	40.2%	17.2%	14.6%	0.0%
最終学歴	中学校	31	35.5%	29.0%	22.6%	12.9%	0.0%
	高等学校	57	35.1%	35.1%	12.3%	17.5%	0.0%
	専修・専門学校、高等専門学校・短期大学	29	20.7%	44.9%	17.2%	17.2%	0.0%
	大学・大学院	69	27.5%	43.6%	21.7%	7.2%	0.0%
ふだんの外出頻度	外出頻度高め	173	32.4%	39.3%	15.6%	12.7%	0.0%
	外出頻度低め	18	5.6%	38.8%	38.9%	16.7%	0.0%

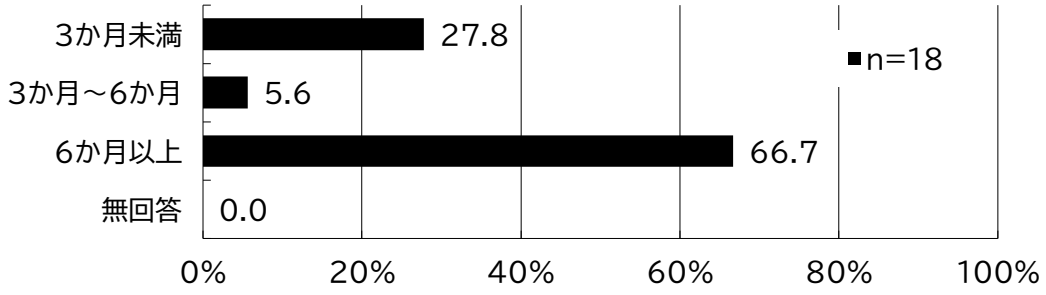
問１３　あなたは、普段どのくらい外出しますか。

「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 65.5%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に３～４日外出する」が 15.7%、「人付き合いのためにときどき外出する」が 5.2%、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が 4.7%と続いています。



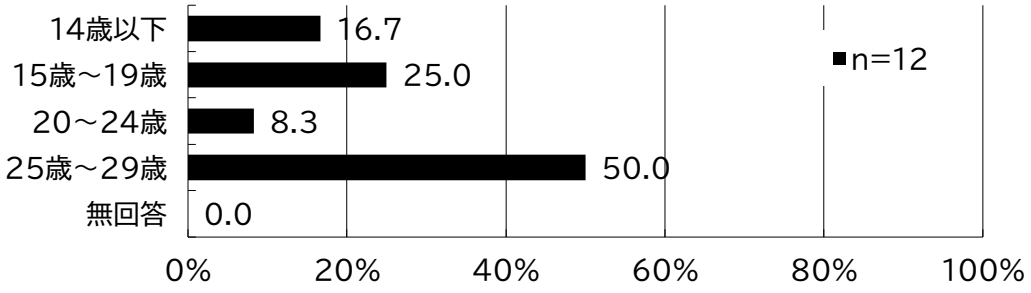
問１３－１　問１３で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」に○をつけた方にうかがいます。あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。

「６か月以上」が 66.6%と最も高く、次いで「３か月未満」が 27.8%、「３か月～６か月」が 5.6%と続いています。



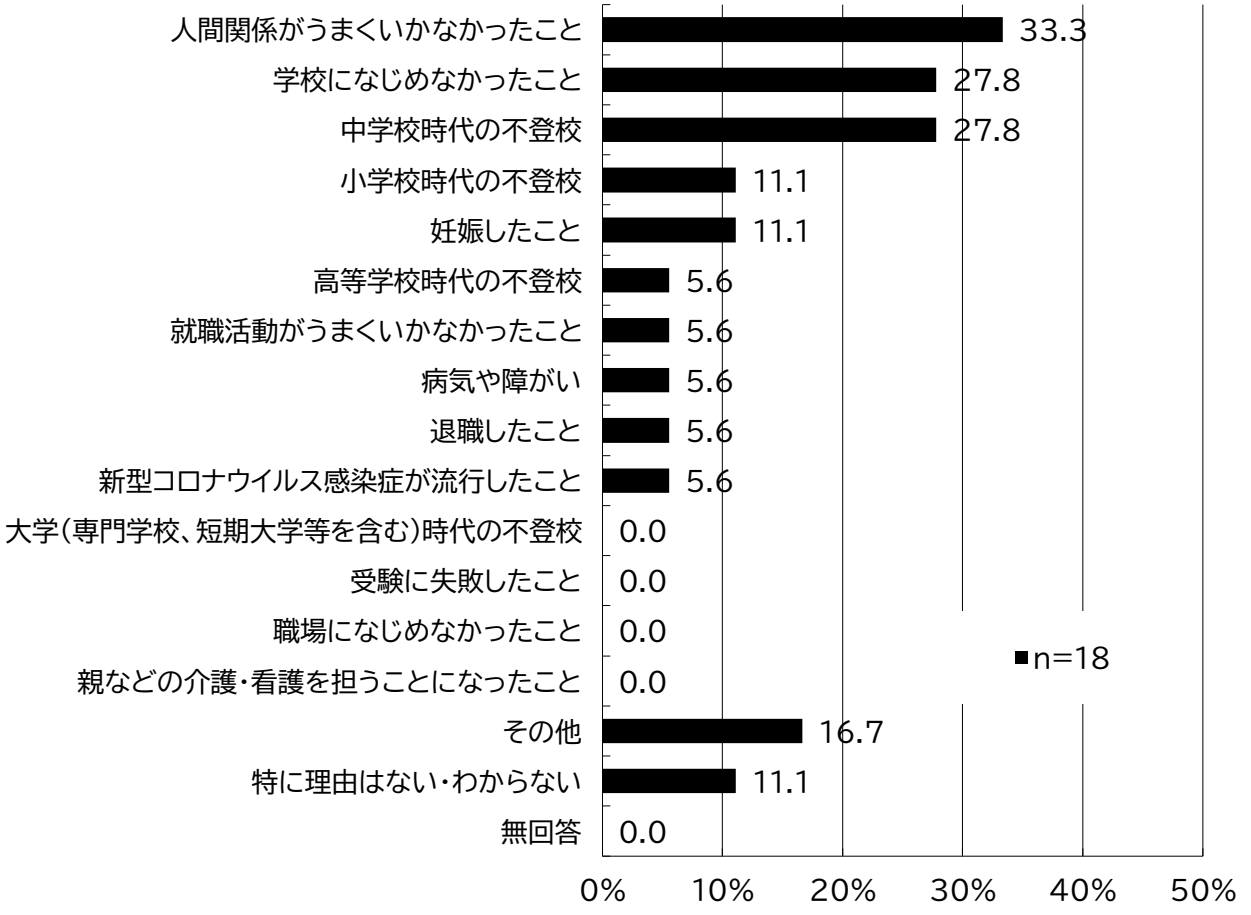
問１３－１－１　問１３－１で「６か月以上」に○をつけた方にうかがいます。あなたの外出状況が現在の状態となったのは、何歳のころですか。

「25 歳～29 歳」が 50.0%と最も高く、次いで「15 歳～19 歳」が 25.0%、「14 歳以下」が 16.7%、「20～24 歳」が 8.3%と続いています。



問１３－２　問１３で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」に○をつけた方にうかがいます。あなたの外出状況が現在の状態となった主な理由は何ですか。（複数回答可）

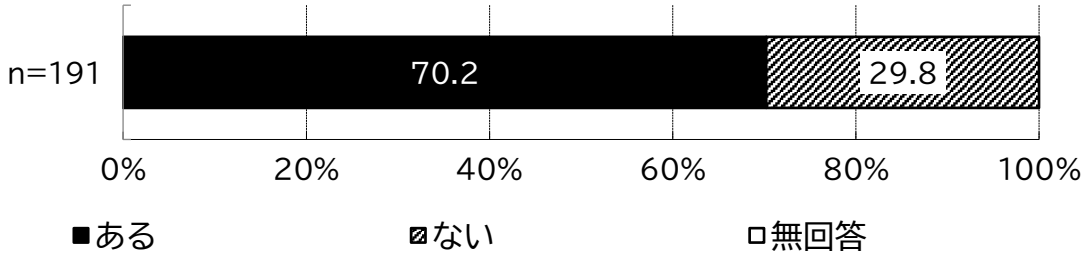
「人間関係がうまくいかなかったこと」が 33.3%と最も高く、次いで「学校になじめなかったこと」、「中学校時代の不登校」が 27.8%、「その他」が 16.7%と続いています。



「その他」：在宅ワークだから、もともとインドア派、学びたいことを学ぶため

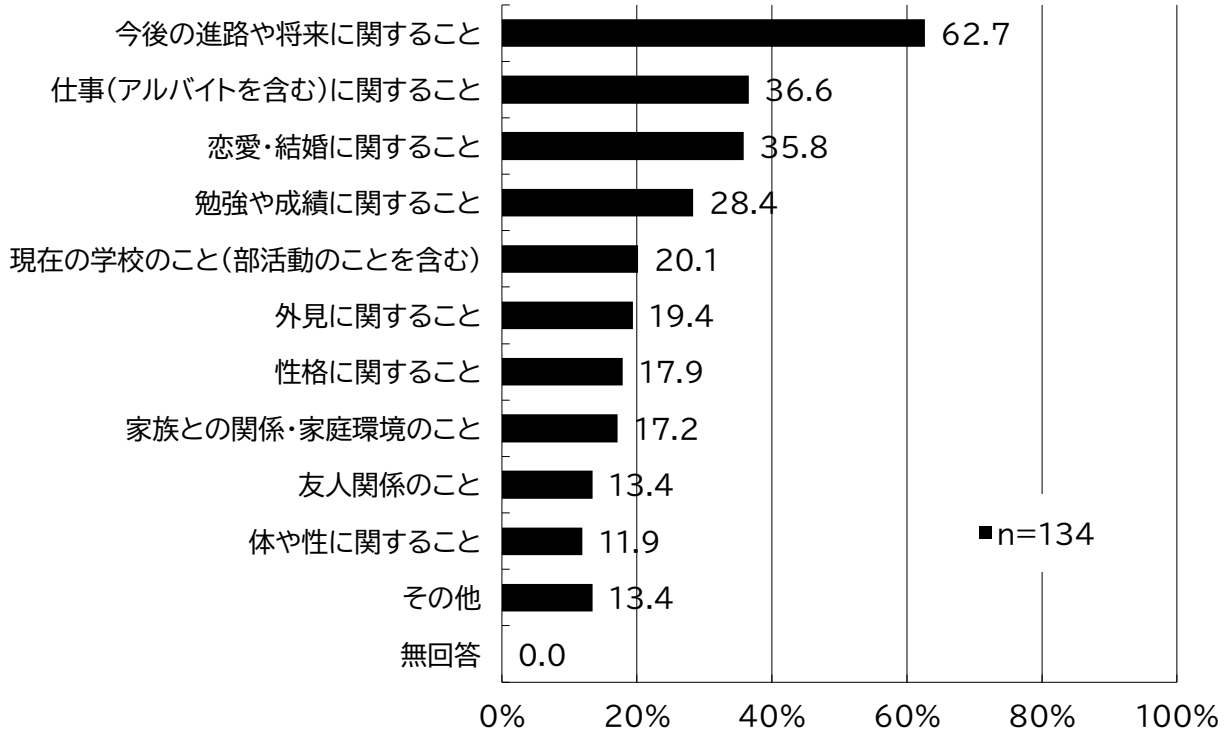
問１４　あなたは、現在悩みや困りごとがありますか。

「ある」が 70.2%、「ない」が 29.8%となっています。



問１４－１　問 14 で「ある」に○をつけた方にうかがいます。あなたが現在抱えている悩みや困りごとは何ですか。（複数回答可）

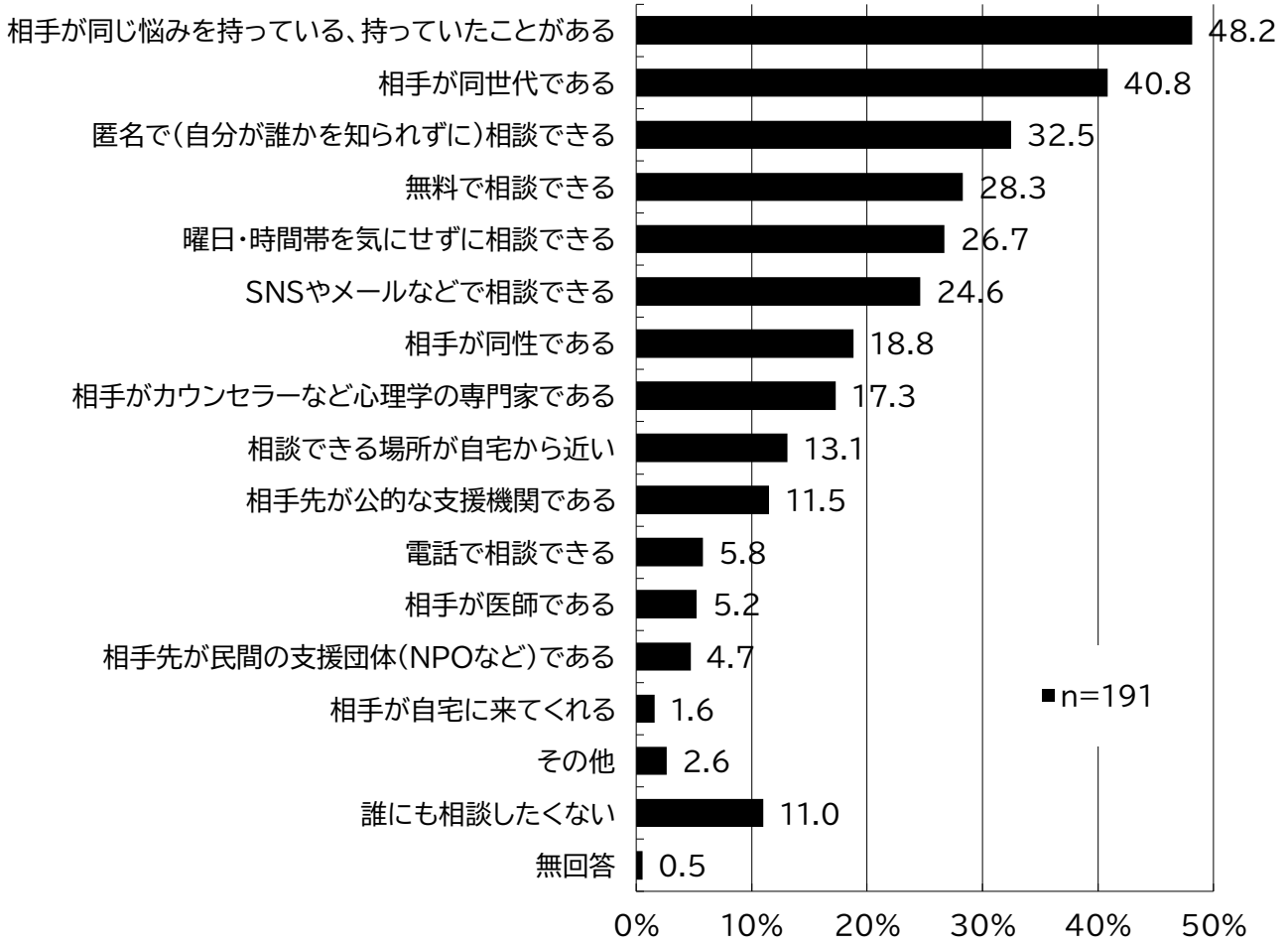
「今後の進路や将来に関すること」が 62.7%と最も高く、次いで「仕事（アルバイトを含む）に関すること」が 36.6%、「恋愛・結婚に関すること」が 35.8%、「勉強や成績に関すること」が 28.4%と続いています。



「その他」：お金のこと、出産、子育て、病気、政治のこと

問１５　家族や知り合い以外で、どのような相手や場所であれば、悩みや困りごとを相談したいですか。（複数回答可）

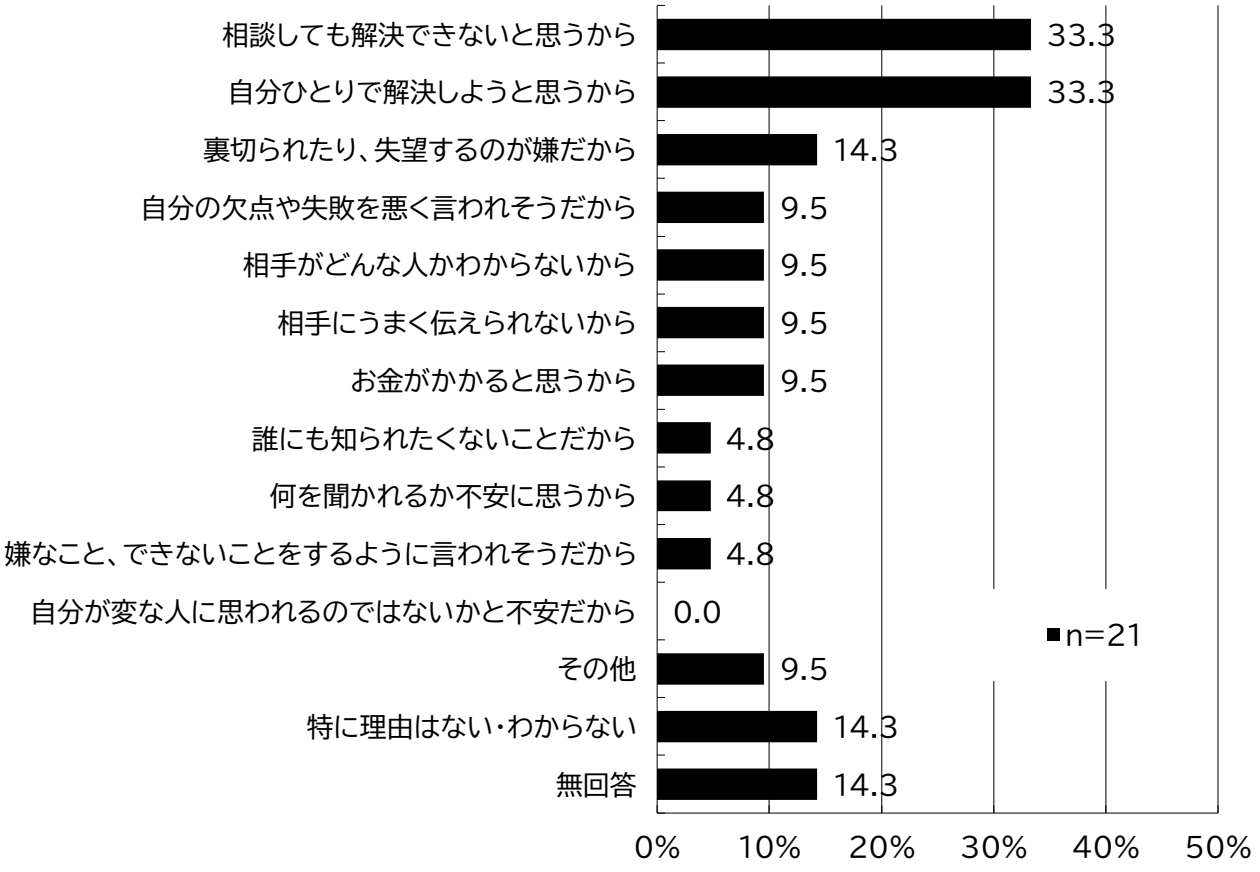
「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 48.2%と最も高く、次いで「相手が同世代である」が 40.8%、「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」が 32.5%、「無料で相談できる」が 28.3%と続いています。



「その他」：親しい友人、妻、相談内容による、フリースクール

問１５－１　問１５で「誰にも相談したくない」に○をつけた方にうかがいます。相談したくないと思う理由は何ですか。（複数回答可）

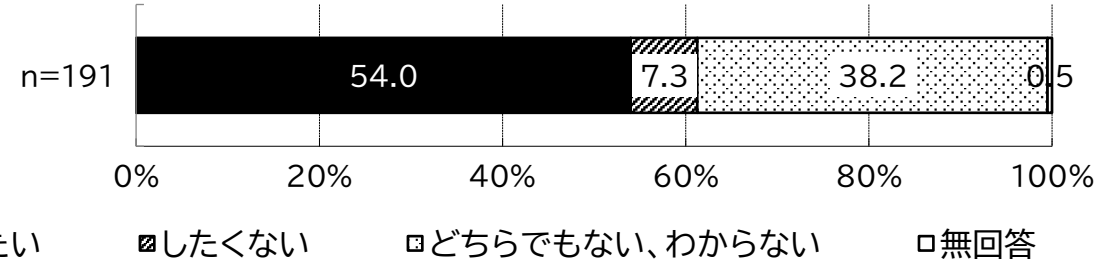
「相談しても解決できないと思うから」、「自分ひとりで解決しようと思うから」が 33.3%とこれらが上位２つで、次いで「裏切られたり、失望するのが嫌だから」、「特に理由はない・わからない」が 14.3%と続いています。



「その他」：家族・知り合い以外に相談しようと思わない、
解決しなくてもいいので自分で考えていたい問題だから

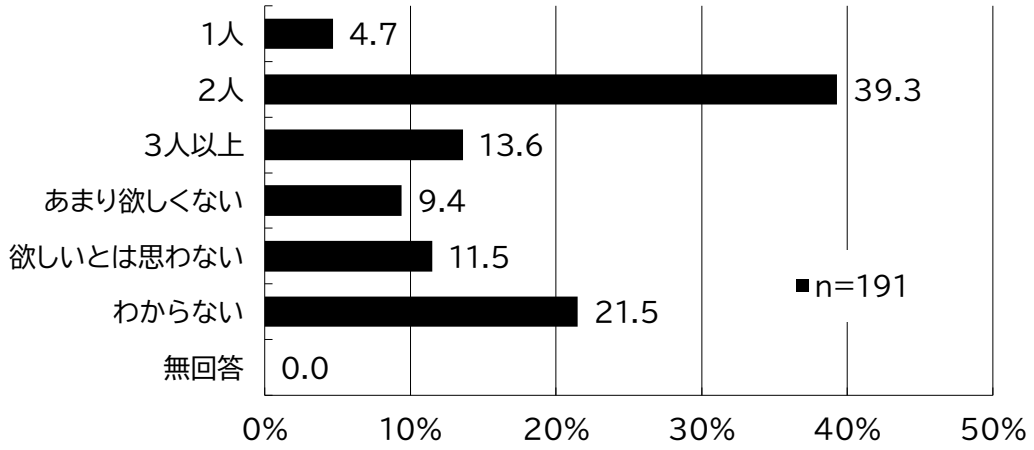
問１６　あなたは、結婚についてどう思いますか。

「したい」が 54.0%と最も高く、次いで「どちらでもない、わからない」が 38.2%、「したくない」が 7.3%と続いています。



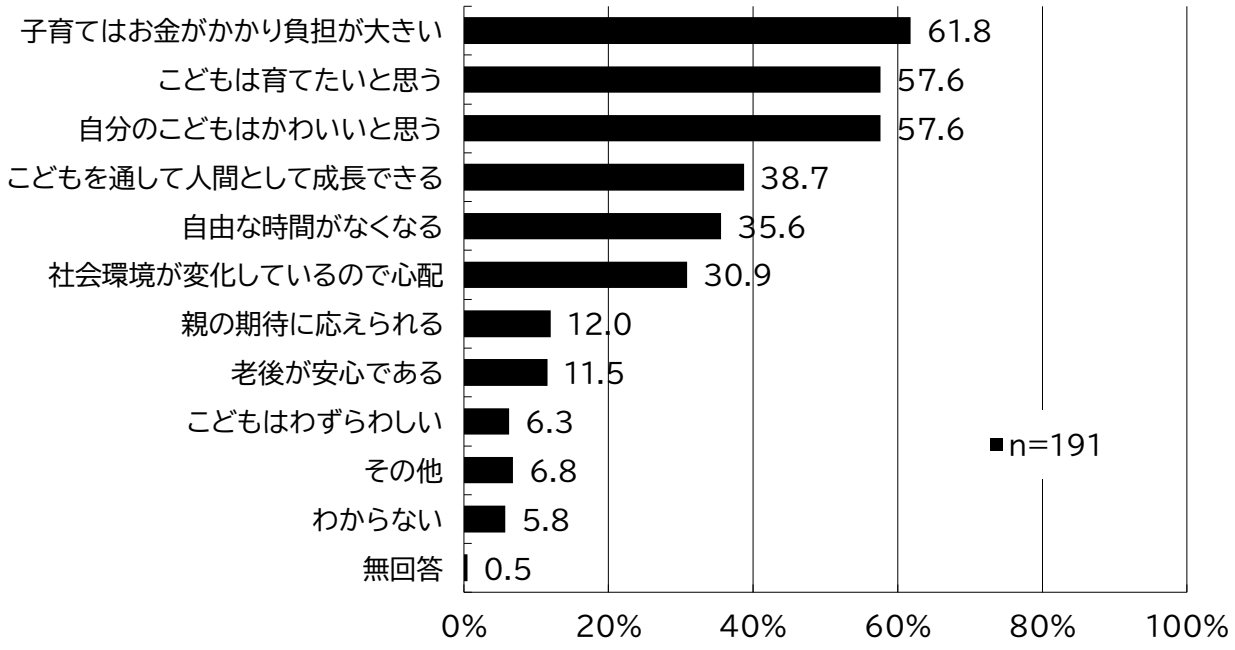
問１７　あなたは、欲しいこどもの人数は何人ですか。

「２人」が 39.3%と最も高く、次いで「わからない」が 21.5%、「３人以上」が 13.6%、「欲しいとは思わない」が 11.5%と続いています。



問１８　こどもを育てることのイメージについて、あなたの考えをお答えください。（複数回答可）

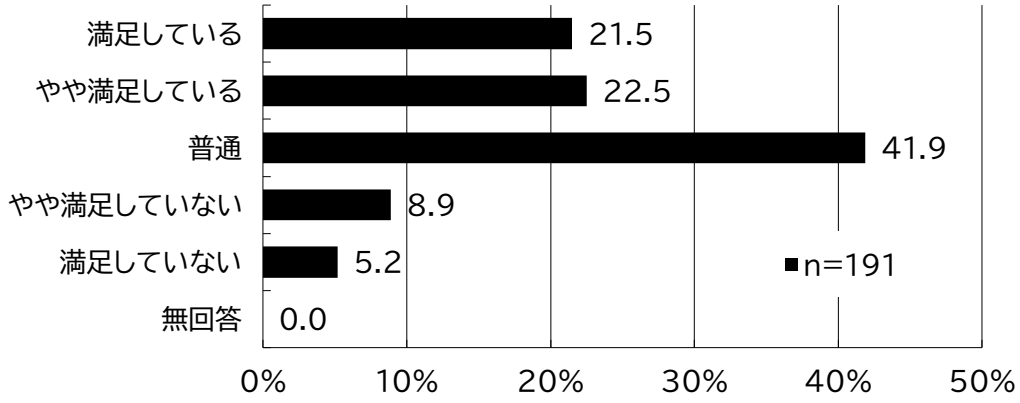
「子育てはお金がかかり負担が大きい」が 61.8%、「こどもは育てたいと思う」、「自分のこどもはかわいいと思う」が 57.6%とこれらが上位３つで、次いで、「こどもを通して人間として成長できる」が 38.7%と続いています。



「その他」：仕事と両立できるのか不安、子育て支援が不十分、こどもの将来が不安、子育てがしにくい社会

問１９　座間市での生活に満足していますか。

「普通」が 41.9%と最も高く、次いで「やや満足している」が 22.5%、「満足している」が 21.5%、「やや満足していない」が 8.9%と続いています。



〈年齢区分別〉

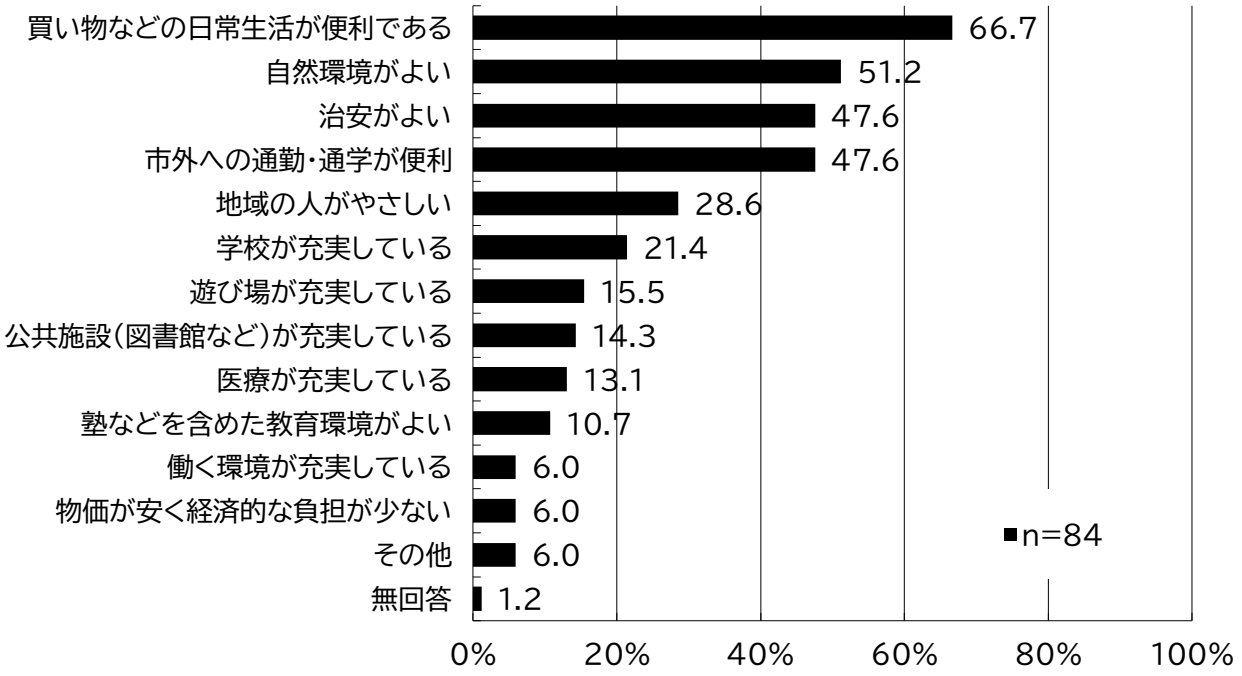
いずれの年齢区分も、肯定的な評価が否定的な評価を上回っています。

15～19 歳では肯定的な評価が 54.8%と、他の年齢区分と比べて高くなっています。

		回答者数	肯定的な評価（満足している・やや満足している）	普通	否定的な評価（やや満足していない・満足していない）	無回答
全体		191	44.0%	41.9%	14.1%	0.0%
年齢３区分	15～19歳	73	54.8%	32.9%	12.3%	0.0%
	20～24歳	48	33.4%	56.1%	10.5%	0.0%
	25～29歳	69	40.6%	40.6%	18.8%	0.0%

問１９－１　満足している理由は何ですか。（複数回答可）

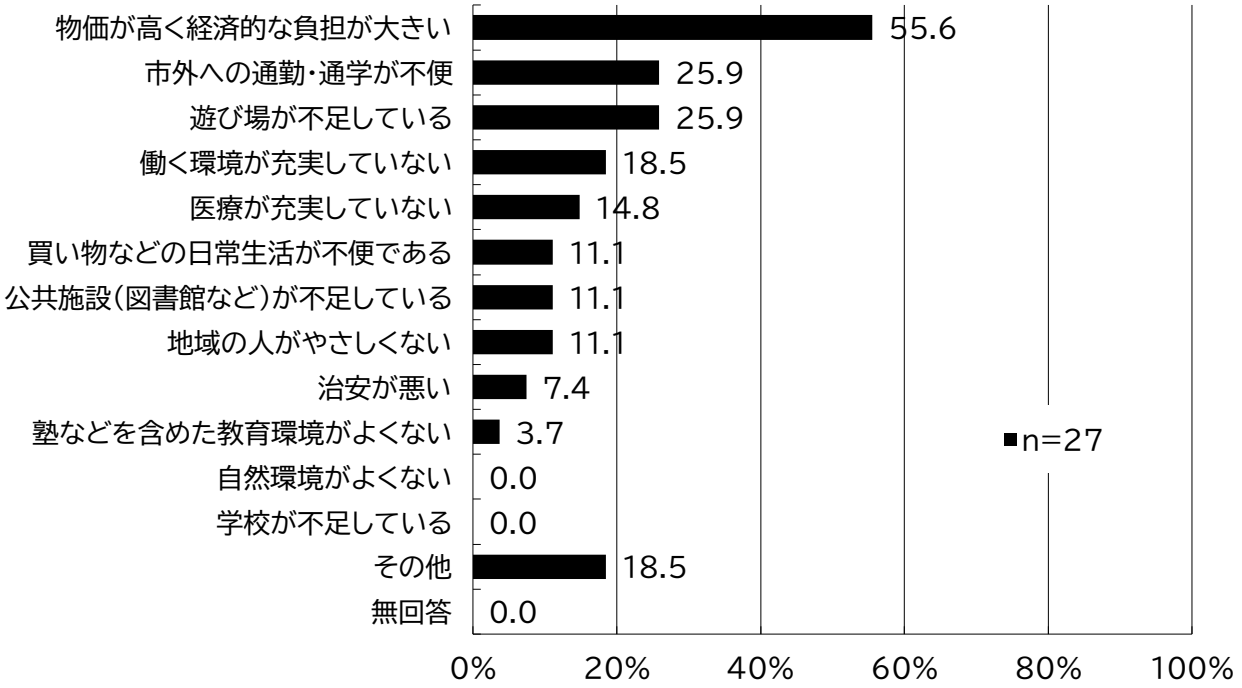
「買い物などの日常生活が便利である」が 66.7%と最も高く、次いで「自然環境がよい」が 51.2%、「治安がよい」、「市外への通勤・通学が便利」が 47.6%と続いています。



「その他」：公共交通機関を含めていろいろな場所にアクセスしやすい、家族・友達がいる、程よい田舎　等

問１９－２　満足していない理由は何ですか。（複数回答可）

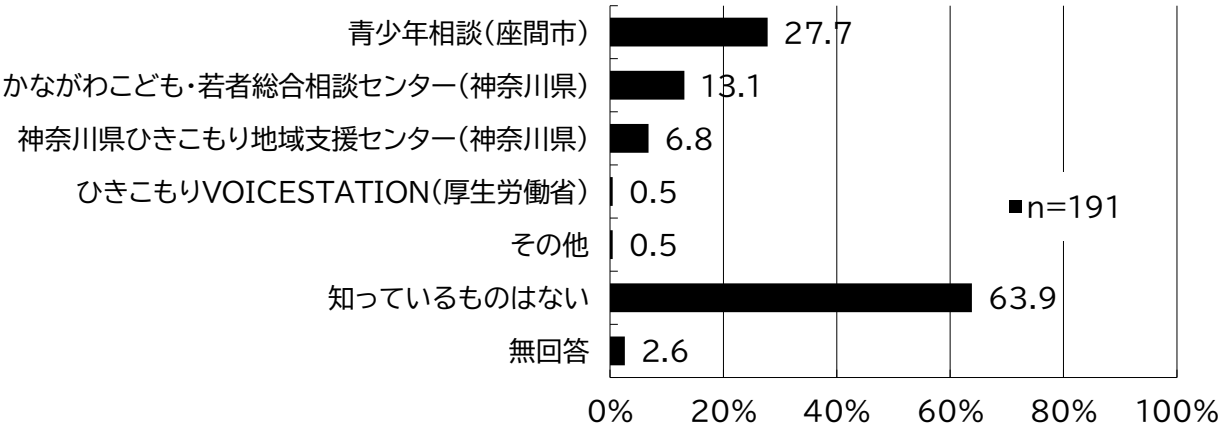
「物価が高く経済的な負担が大きい」が 55.6%と最も高く、次いで「市外への通勤･通学が不便」、「遊び場が不足している」、「その他」が 25.9%と続いています。



「その他」：手続きのデジタル化が進んでいない、歩道が整備されていない、坂が多く移動が大変、駅が栄えていない　等

問２０　座間市や近隣にあるこども・若者向けの次の相談事業や機関の中に、知っているものはありますか。（複数回答可）

「知っているものはない」が 63.9%と最も高く、次いで「青少年相談（座間市）」が 27.7%、「かながわ子ども・若者総合相談センター（神奈川県）」が 13.1%、「神奈川県ひきこもり地域支援センター（神奈川県）」が 6.8%と続いています。



「その他」：子育て支援センター

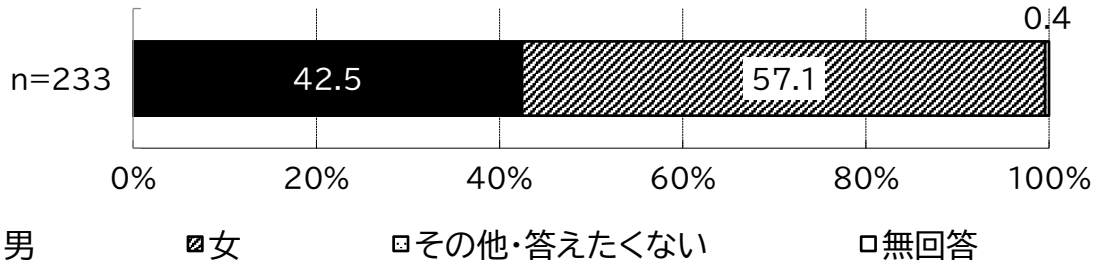
問２１　これまでの設問以外で、こども・若者への支援について思うこと感じることがあれば、お書きください。

主な意見要旨	件数
若者や子育てへの経済的支援の拡充	12 件
子育て支援の充実（大規模な支援センターの整備、オムツ補助、一時預かり等）	6 件
子育て支援や若者支援に関する情報提供の充実	6 件
学校教育への支援、教師の待遇改善	5 件
公園や遊び場、娯楽施設の整備	4 件
他市を参考にしてほしい	3 件
こども同士の交流機会の拡大	2 件
保育園の待機児童対策	2 件
行政手続きのデジタル化	1 件
メンタルヘルス対策の充実（学校への心理系資格者の配置）	1 件
健康づくりへの支援	1 件
公共交通機関の確保（バスの運行数等）	1 件
道路や公園の安全性への不安	1 件
市の施策への肯定的な評価（小児医療費助成）	1 件

４　小学５年生調査

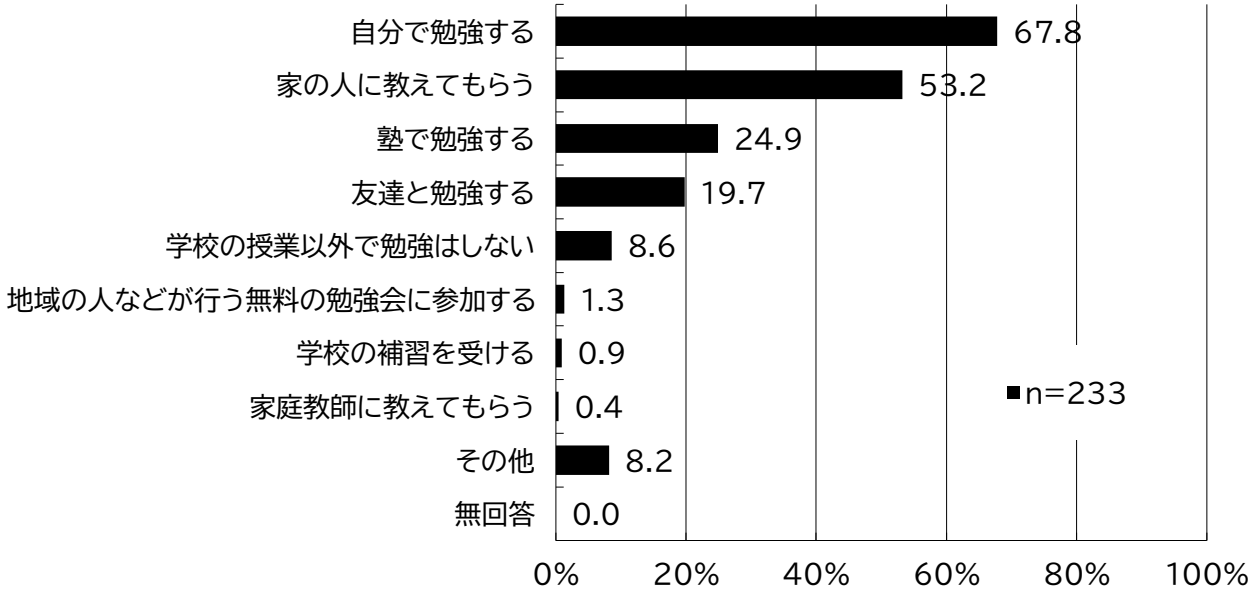
問１　あなたの性別を教えてください。

「女」が 57.1%と最も高く、次いで「男」が 42.5%、「その他・答えたくない」が 0.4%と続いています。



問２　あなたは、普段学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。（複数回答可）

「自分で勉強する」が 67.8%と最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」が 53.2%、「塾で勉強する」が 24.9%、「友達と勉強する」が 19.7%と続いています。



「その他」：タブレット、通信教材

〈貧困の状況別※〉

貧困線（163 万円）未満に該当する家庭や等価可処分所得の中央値（325 万円）未満に該当する家庭の児童については、非該当の家庭と比べて「塾で勉強する」との回答率が低くなっています。

		回答者数	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	学校の授業以外で勉強はしない	その他	無回答
全体		158	71.5%	23.4%	0.6%	0.6%	0.6%	53.8%	19.6%	8.2%	9.5%	0.0%
貧困線（163万円）未満に該当	該当	8	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%
	非該当	144	71.5%	25.0%	0.7%	0.7%	0.7%	54.9%	19.4%	7.6%	9.7%	0.0%
等価可処分所得の中央値（325万円）未満に該当	該当	66	74.2%	6.1%	1.5%	1.5%	1.5%	54.5%	21.2%	7.6%	9.1%	0.0%
	非該当	86	70.9%	37.2%	0.0%	0.0%	0.0%	54.7%	17.4%	7.0%	10.5%	0.0%

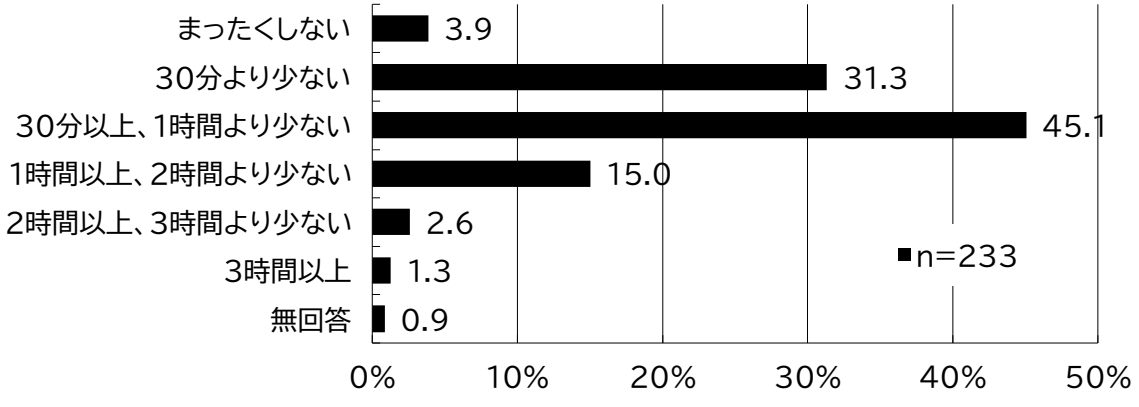
※等価可処分所得は、世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いた、いわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得のことで、325 万円が等価可処分所得の中央値。また、等価可処分所得の中央値の半分（163 万円）がいわゆる貧困線です。

※この表の回答者数は、小学５年生本人とその保護者の回答を紐付けできた者の数

問３　あなたは、普段学校の授業以外に、１日あたりどれくらい勉強をしますか。

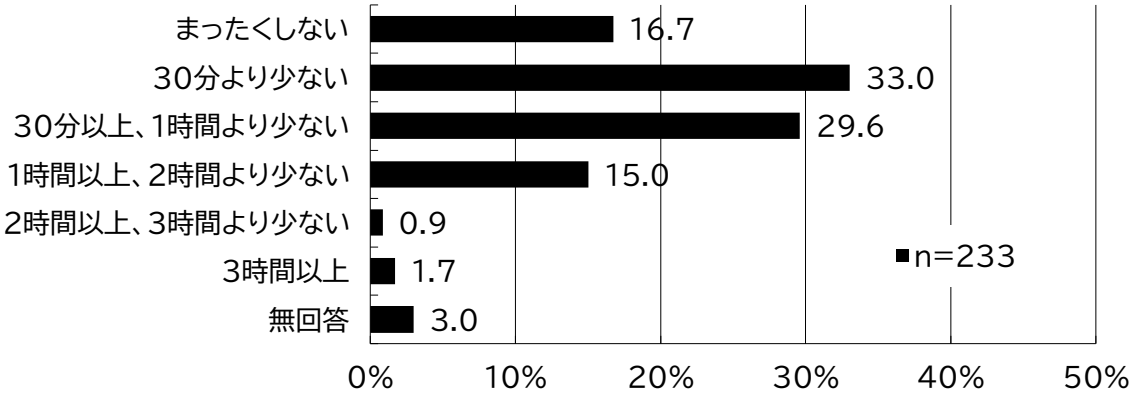
①学校がある日（月～金曜日）

「３０分以上、１時間より少ない」が 45.1%と最も高く、次いで「３０分より少ない」が 31.3%、「１時間以上、２時間より少ない」が 15.0%、「まったくしない」が 3.9%と続いています。



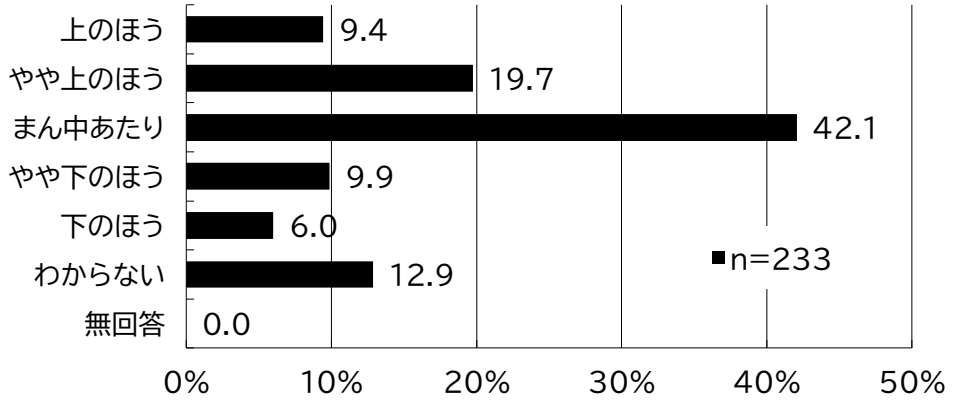
②学校がない日（土・日曜日・祝日）

「３０分より少ない」が 33.0%、「３０分以上、１時間より少ない」が 29.6%とこれらが上位２つで、次いで「まったくしない」が 16.7%、「１時間以上、２時間より少ない」が 15.0%と続いています。



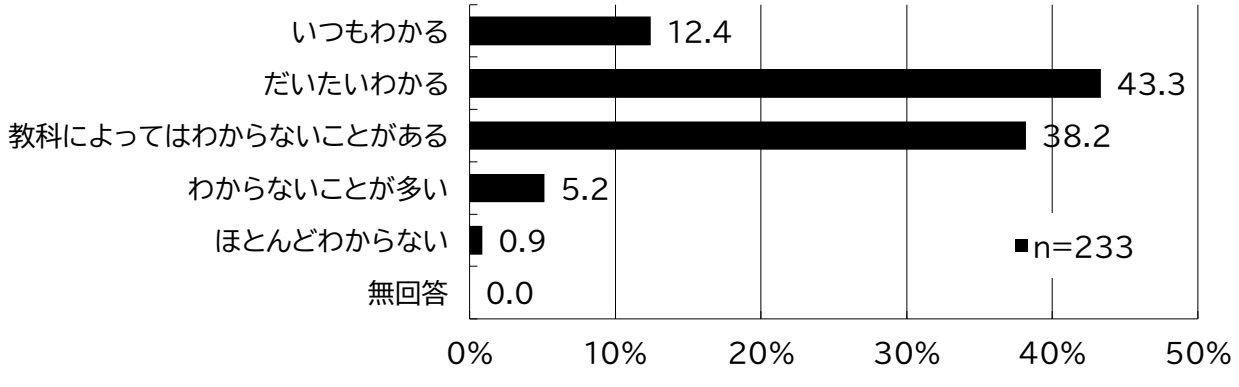
問４　あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

「まん中あたり」が 42.1%と最も高く、次いで「やや上のほう」が 19.7%、「わからない」が 12.9%、「やや下のほう」が 9.9%と続いています。



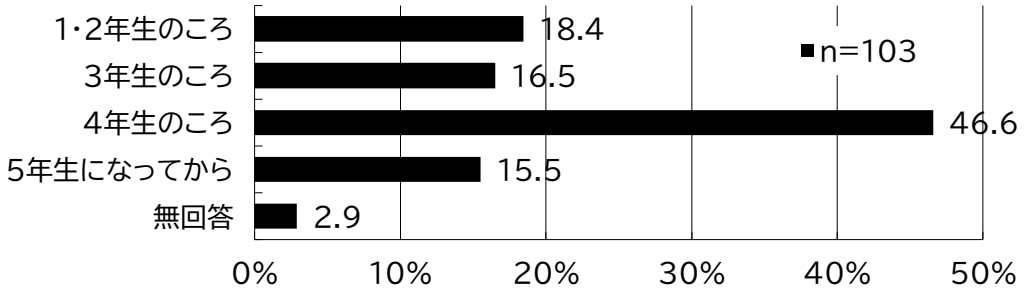
問５　あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

「だいたいわかる」が 43.3%と最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」が 38.2%、「いつもわかる」が 12.4%、「わからないことが多い」が 5.2%と続いています。



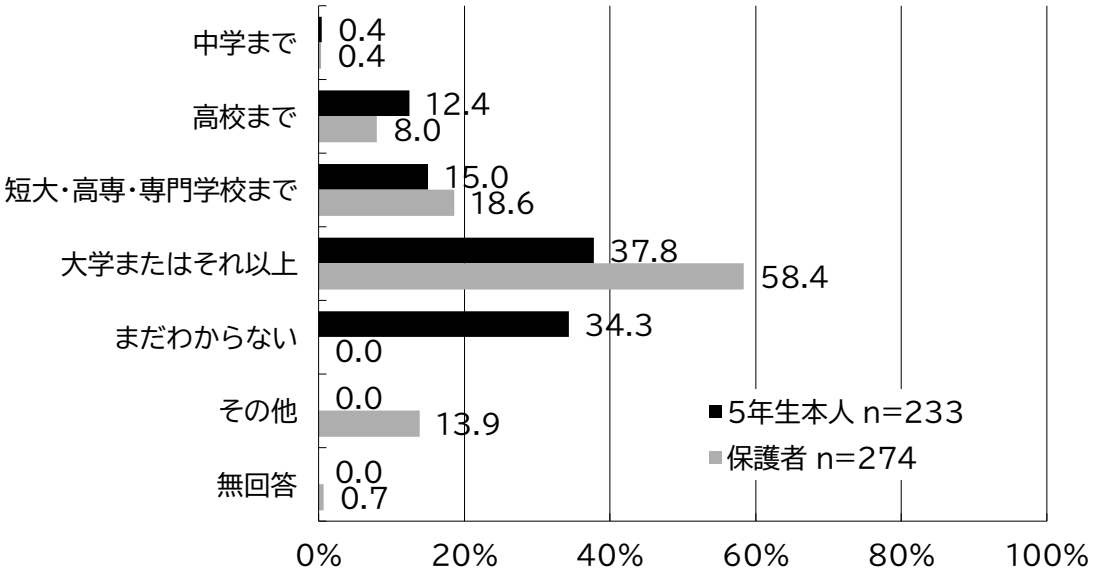
問６　問５で「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

「４年生のころ」が 46.6%と最も高く、次いで「１・２年生のころ」が 18.4%、「３年生のころ」が 16.5%、「５年生になってから」が 15.5%と続いています。



問７　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。

「大学またはそれ以上」が 37.8%、「まだわからない」が 34.3%とこれらが上位２つで、次いで「短大・高専・専門学校まで」が 15.0%、「高校まで」が 12.4%と続いています。



〈貧困の状況別※〉

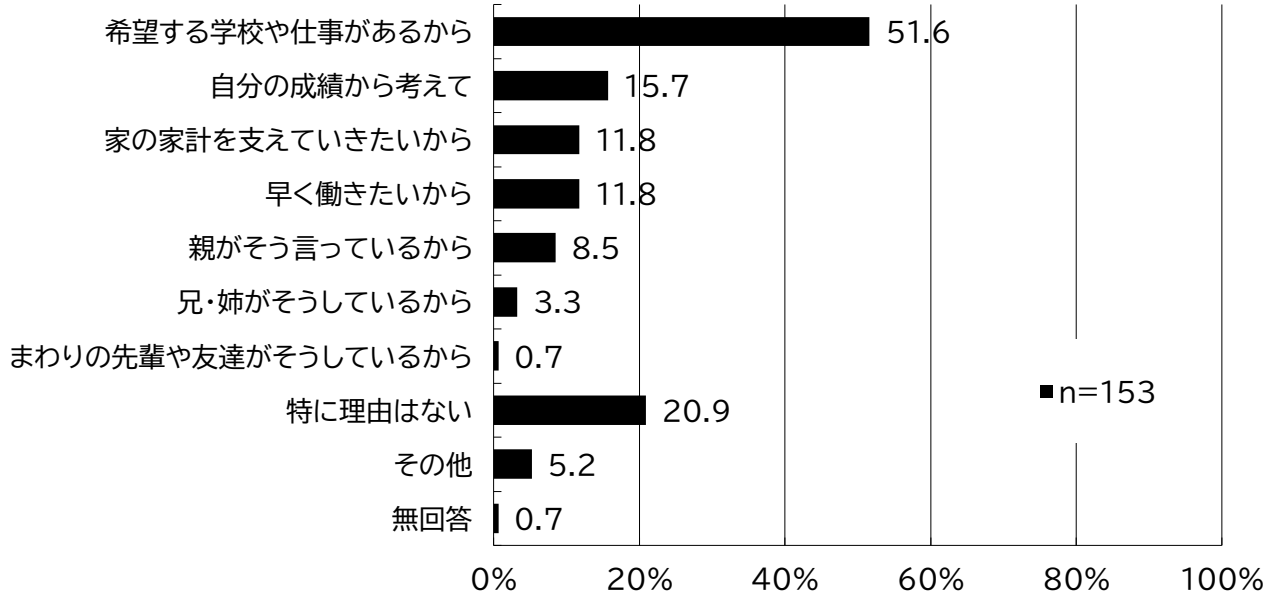
貧困線（163 万円）未満に該当する家庭や等価可処分所得の中央値（325 万円）未満に該当する家庭の児童については、非該当の家庭と比べて「大学またはそれ以上」との回答率が低くなっています。

		回答者数	中学まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	まだわからない	その他	無回答
	全体	158	0.6%	10.8%	13.9%	39.3%	35.4%	0.0%	0.0%
貧困線（163万円）未満に該当	該当	8	0.0%	37.5%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	非該当	144	0.7%	8.3%	14.6%	41.0%	35.4%	0.0%	0.0%
等価可処分所得の中央値（325万円）未満に該当	該当	66	1.5%	12.1%	13.6%	28.8%	44.0%	0.0%	0.0%
	非該当	86	0.0%	8.1%	15.1%	48.9%	27.9%	0.0%	0.0%

※この表の回答者数は、小学５年生本人とその保護者の回答を紐付けできた者の数

問８　問７で「中学まで」、「高校まで」、「短大・高専・専門学校まで」、「大学またはそれ以上」と答えた人にお聞きします。そう考えている理由は何ですか。（複数回答可）

「希望する学校や仕事があるから」が 51.6%と最も高く、次いで「特に理由はない」が 20.9%、「自分の成績から考えて」が 15.7%、「家の家計を支えていきたいから」が 11.8%と続いています。



「その他」：大学生活が楽しそうら、沢山勉強したいから、高い給料が欲しいから、留学したいから、大人になって仕事につきやすくするため

〈貧困の状況別※〉

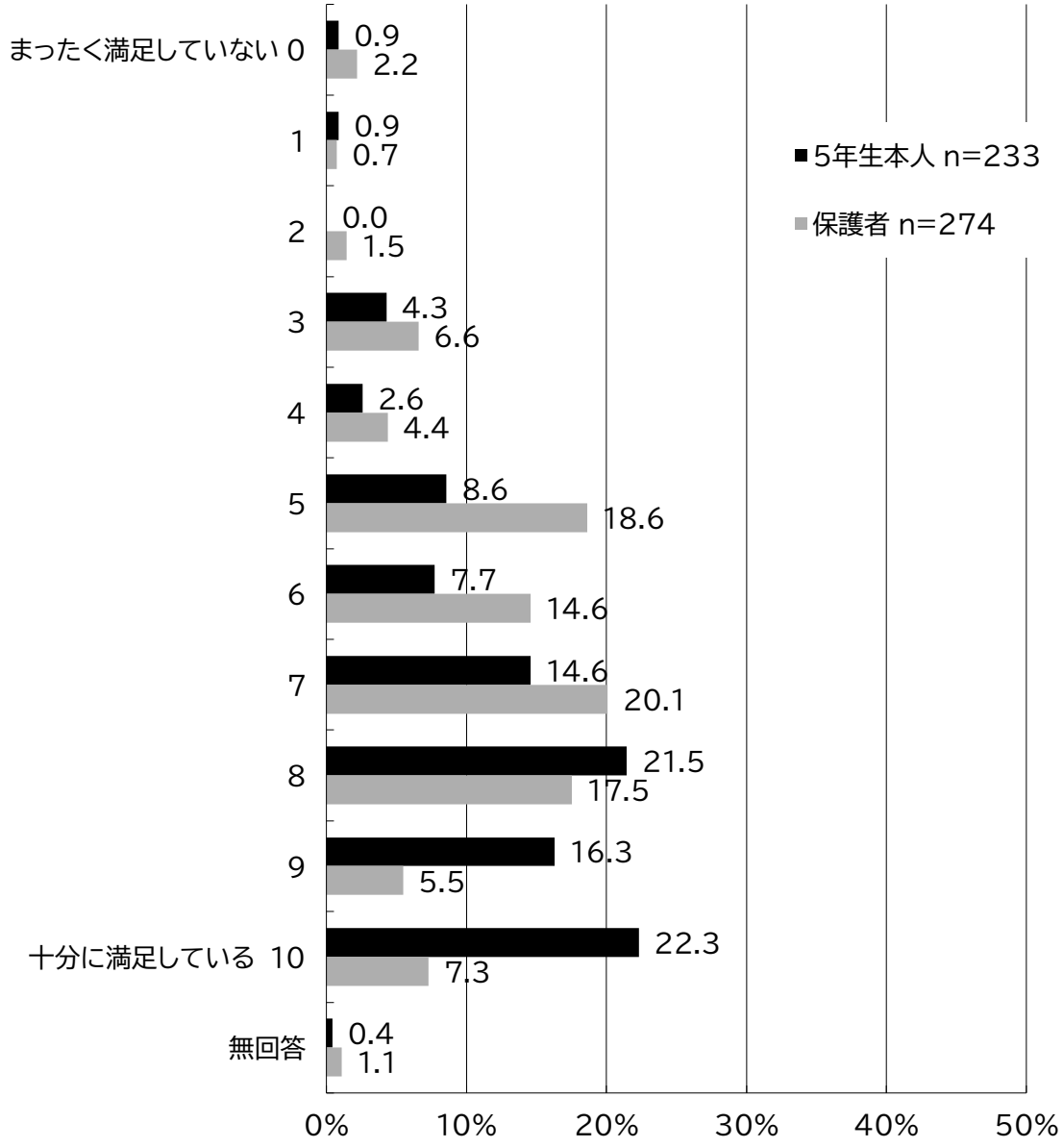
貧困の状況に関わらず、「希望する学校や仕事があるから」が最も高い一方、貧困線（163 万円）未満に該当する家庭や等価可処分所得の中央値（325 万円）未満に該当する家庭の児童については、非該当の家庭と比べて「家の家計を支えていきたいから」、「早く働きたいから」との回答率が高くなっています。

		回答者数	希望する学校や仕事があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家の家計を支えていきたいから	早く働きたいから	特に理由はない	その他	無回答
	全体	102	51.0%	14.7%	7.8%	3.9%	0.0%	14.7%	12.7%	21.6%	3.9%	1.0%
貧困線（163万円）未満に該当	該当	6	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	非該当	93	52.7%	15.1%	7.5%	4.3%	0.0%	14.0%	11.8%	21.5%	4.3%	1.1%
等価可処分所得の中央値（325万円）未満に該当	該当	37	40.5%	8.1%	2.7%	5.4%	0.0%	21.6%	18.9%	24.3%	5.4%	0.0%
	非該当	62	58.1%	17.7%	9.7%	3.2%	0.0%	11.3%	9.7%	21.0%	3.2%	1.6%

※この表の回答者数は、小学５年生本人とその保護者の回答を紐付けできた者の数

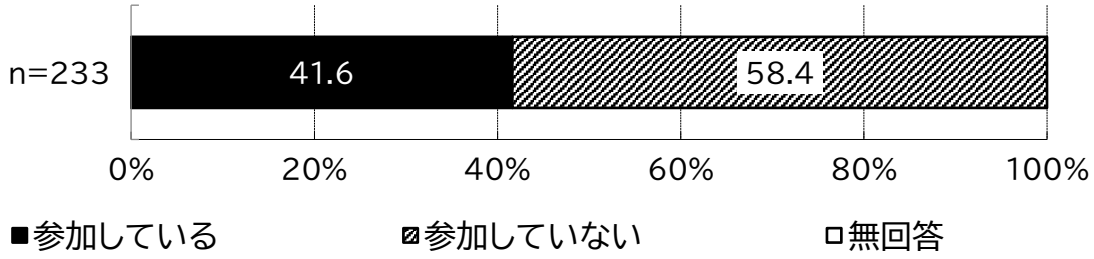
問９　全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

「10(十分に満足している)」が 22.3%、「8」が 21.5%とこれらが上位２つで、次いで「9」が 16.3%、「7」が 14.6%と続いています。



問１０　あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していますか。

「参加していない」が 58.4%、「参加している」が 41.6%となっています。



〈貧困の状況別※〉

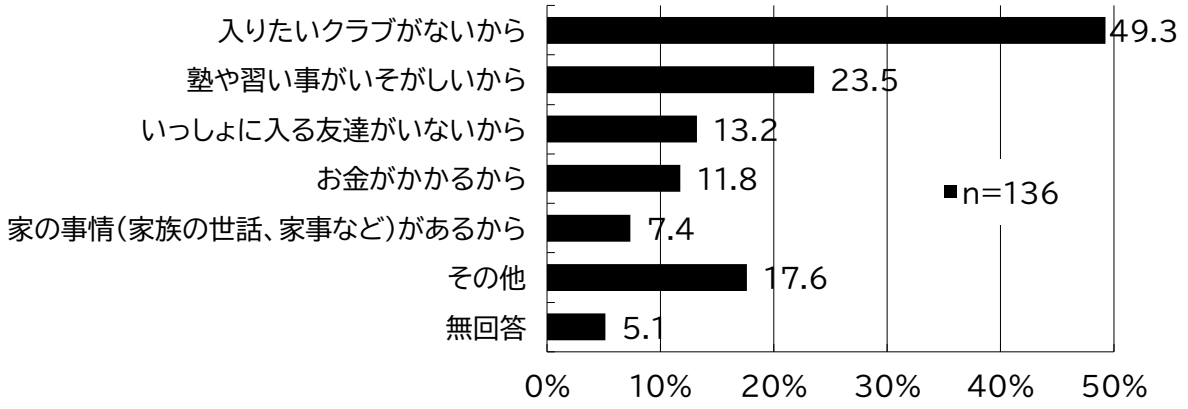
貧困の状況に関わらず、「参加していない」が高い一方、貧困線（163 万円）未満に該当する家庭や等価可処分所得の中央値（325 万円）未満に該当する家庭の児童については、非該当の家庭と比べて「参加している」との回答率が低くなっています。

		回答者数	参加している	参加していない	無回答
全体		158	41.1%	58.9%	0.0%
貧困線（163万円）未満に該当	該当	8	12.5%	87.5%	0.0%
	非該当	144	43.1%	56.9%	0.0%
等価可処分所得の中央値（325万円）未満に該当	該当	66	37.9%	62.1%	0.0%
	非該当	86	44.2%	55.8%	0.0%

※この表の回答者数は、小学５年生本人とその保護者の回答を紐付けできた者の数

問１１　問１０で「参加していない」に○をつけた人にお聞きします。地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していない理由は何ですか。（複数回答可）

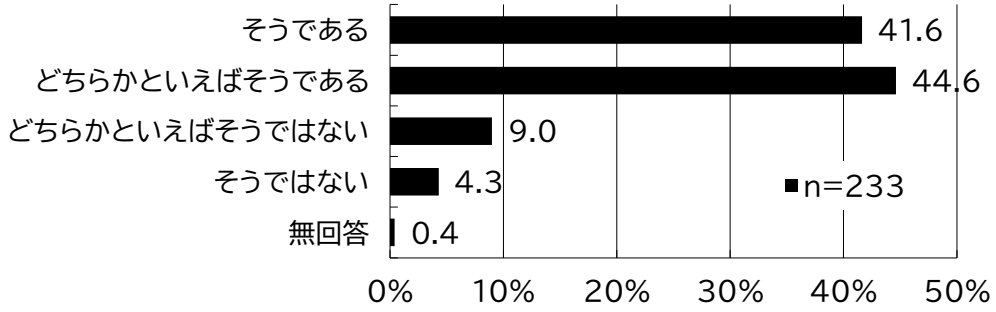
「入りたいクラブがないから」が 49.3%と最も高く、次いで「塾や習い事がいそがしいから」が 23.5%、「その他」が 17.6%、「いっしょに入る友達がいないから」が 13.2%と続いています。



「その他」：興味がないから、知らないから、他のところで習っているから、友だちと遊びたいから、面倒だから

問１２　あなたは、普段（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

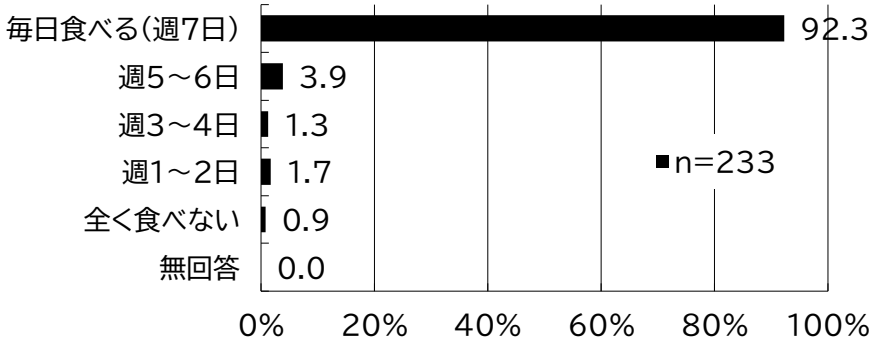
「どちらかといえばそうである」が 44.6%、「そうである」が 41.6%とこれらが上位２つで、次いで「どちらかといえばそうではない」が 9.0%、「そうではない」が 4.3%と続いています。



問１３　あなたは、一週間にどれくらい食事をしていますか。

①朝ごはん

「毎日食べる（週 7 日）」が 92.3%と最も高く、次いで「週 5～6 日」が 3.9%、「週 1～2 日」が 1.7%、「週 3～4 日」が 1.3%と続いています。

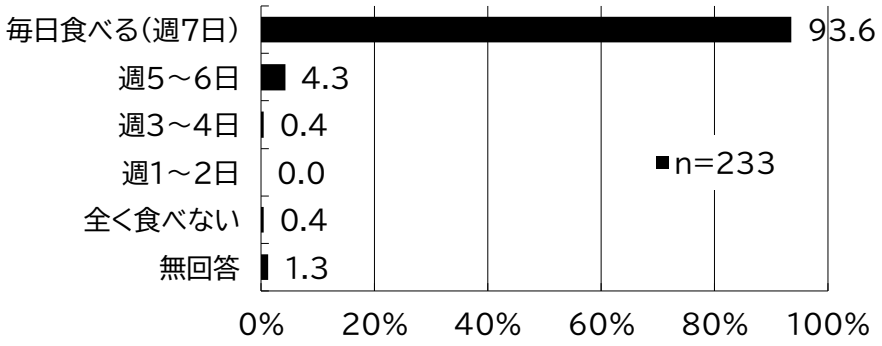


②夕ごはん

「毎日食べる（週 7 日）」が 96.6%と最も高く、次いで「週 5～6 日」が 1.7%、「全く食べない」が 0.4%と続いています。

③夏休みや冬休みなどの期間の昼ごはん

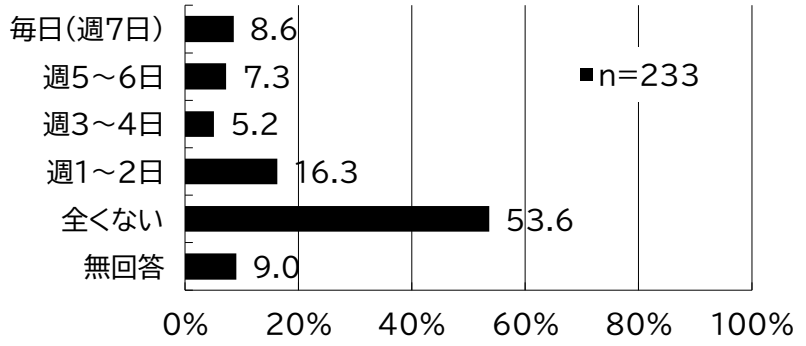
「毎日食べる（週７日）」が 93.6%と最も高く、次いで「週 5～6 日」が 4.3%、「週 3～4 日」、「全く食べない」が 0.4%と続いています。



問１４　あなたは、 朝ごはんや夕ごはんを一人で食べることがありますか。

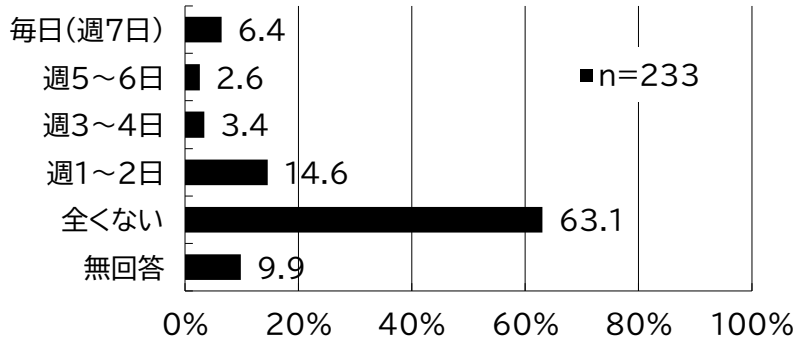
①朝ごはん

「全くない」が 53.6%と最も高く、次いで「週 1～2 日」が 16.3%、「毎日（週７日）」が 8.6%、「週 5～6 日」が 7.3%と続いています。



②夕ごはん

「全くない」が 63.1%と最も高く、次いで「週 1～2 日」が 14.6%、「毎日（週 7 日)」が 6.4%、「週 3～4 日」が 3.4%と続いています。



〈貧困の状況別※〉

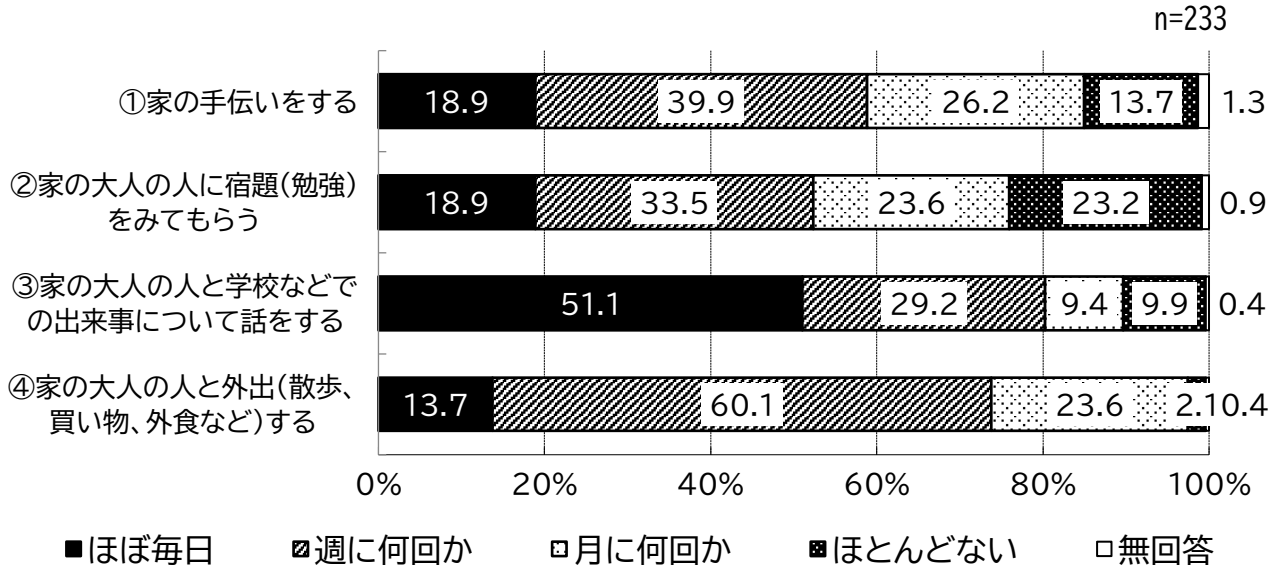
等価可処分所得の中央値（325 万円）未満に該当する家庭の児童については、非該当の家庭と比べて「毎日食べる（週 7 日)」との回答率が低くなっています。

		回答者数	毎日（週7日）	週5～6日	週3～4日	週1～2日	全くない	無回答
全体		158	5.1%	1.9%	1.9%	16.5%	65.7%	8.9%
貧困線（163万円）未満に該当	該当	8	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	50.0%	12.5%
	非該当	144	4.9%	1.4%	2.1%	16.0%	67.3%	8.3%
等価可処分所得の中央値（325万円）未満に該当	該当	66	7.6%	3.0%	3.0%	19.7%	53.1%	13.6%
	非該当	86	3.5%	1.2%	1.2%	12.8%	76.6%	4.7%

※この表の回答者数は、小学５年生本人とその保護者の回答を紐付けできた者の数

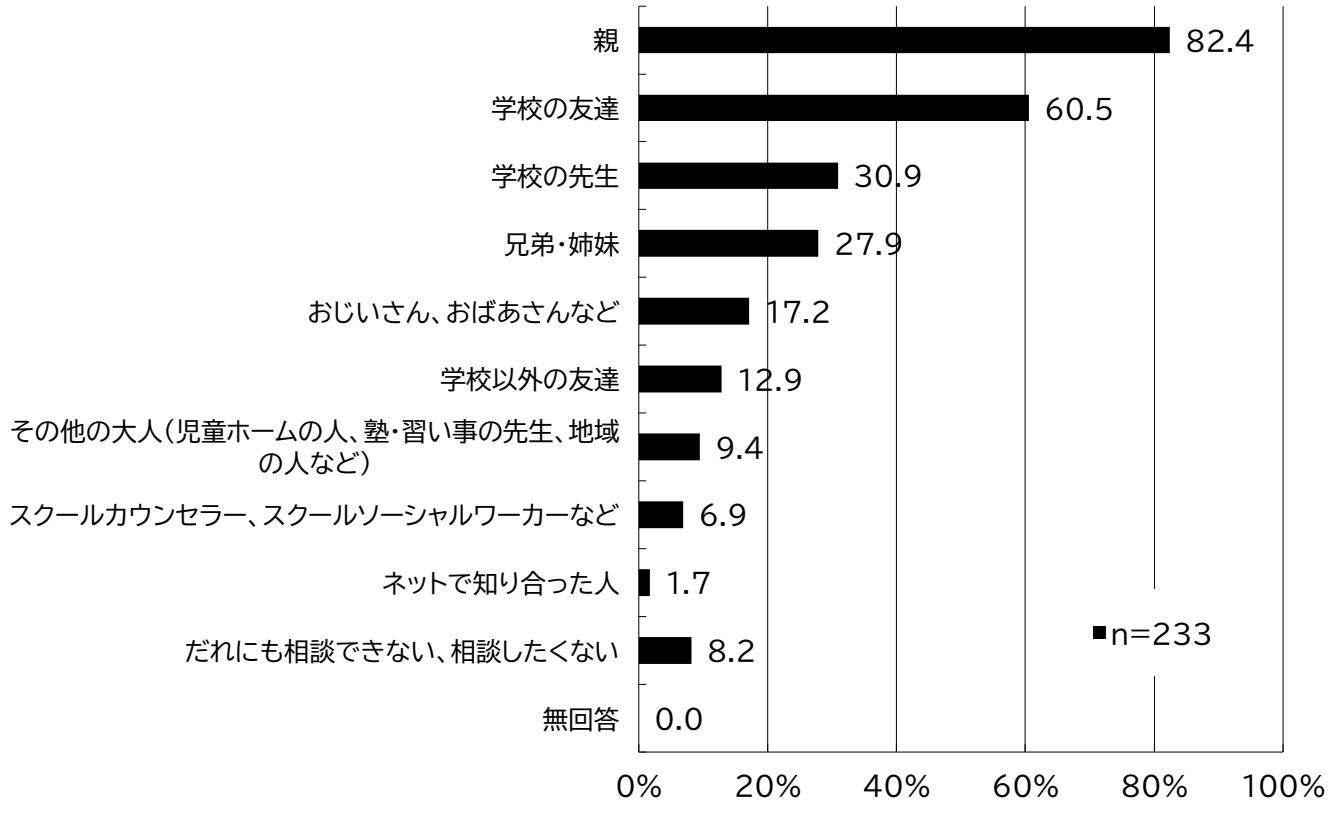
問１５　あなたは、普段家で①～④のことをどれくらいしていますか。

“③家の大人の人と学校などでの出来事について話をする”については、「ほぼ毎日」が 51.1%となっています。また、“③家の大人の人と学校などでの出来事について話をする”については、「ほとんどない」が 23.2%と比較的高くなっています。



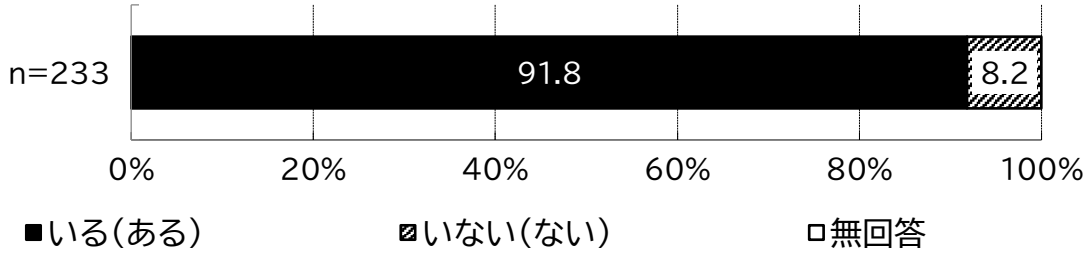
問１６　あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（複数回答可）

「親」が 82.4%と最も高く、次いで「学校の友達」が 60.5%、「学校の先生」が 30.9%、「兄弟・姉妹」が 27.9%と続いています。



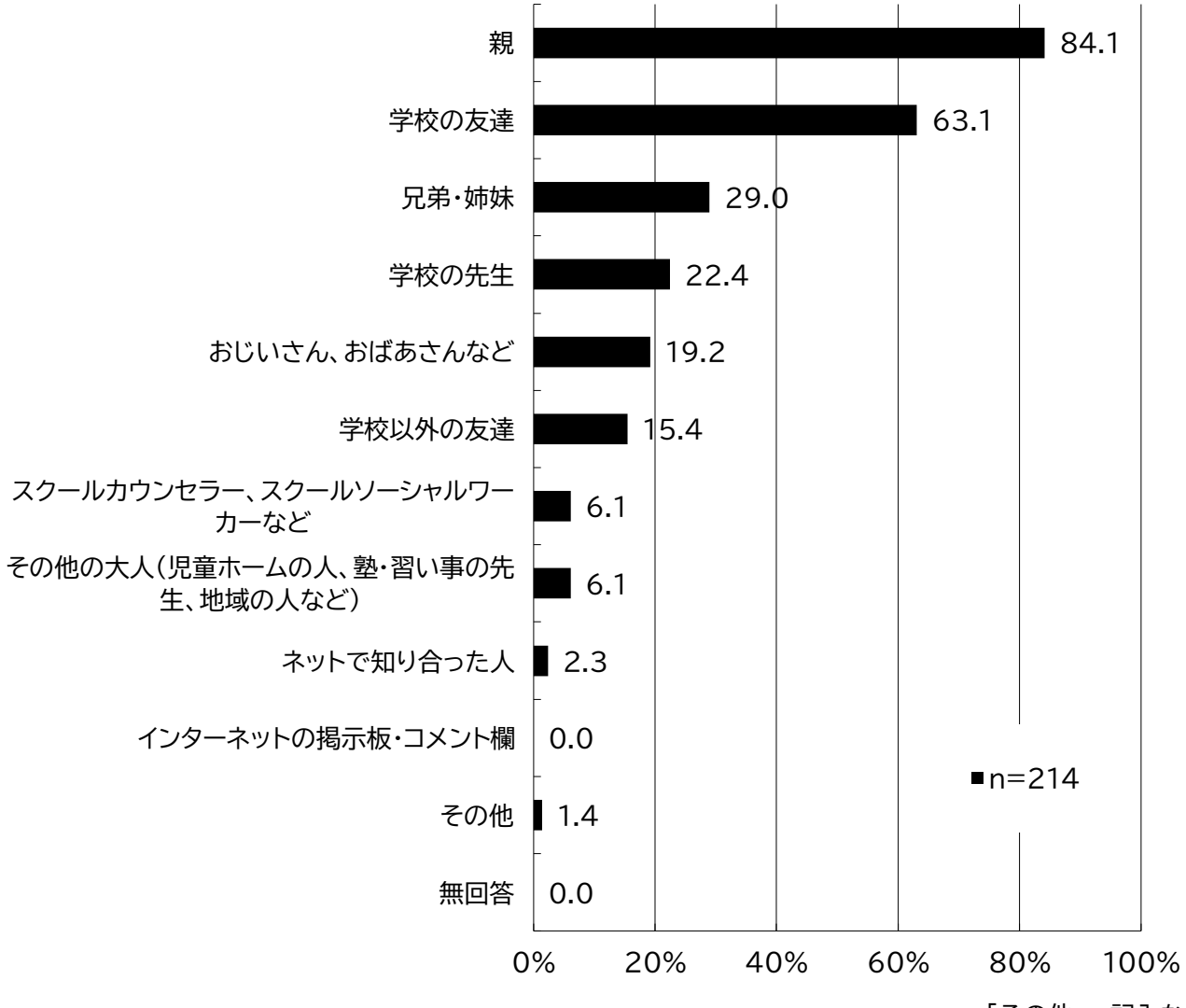
問１７　あなたは、自分の気持ちや考えをすなおに話すことができる相手はいますか（場所はありますか)。

「いる（ある)」が 91.8%、「いない（ない)」が 8.2%となっています。



問１８　問１７で「いる（ある)」と答えた人にお聞きします。あなたが自分の気持ちや考えをすなおに話すことができる相手は、だれ（どこ）ですか。(複数回答可)

「親」が 84.1%と最も高く、次いで「学校の友達」が 63.1%、「兄弟・姉妹」が 29.0%、「学校の先生」が 22.4%と続いています。

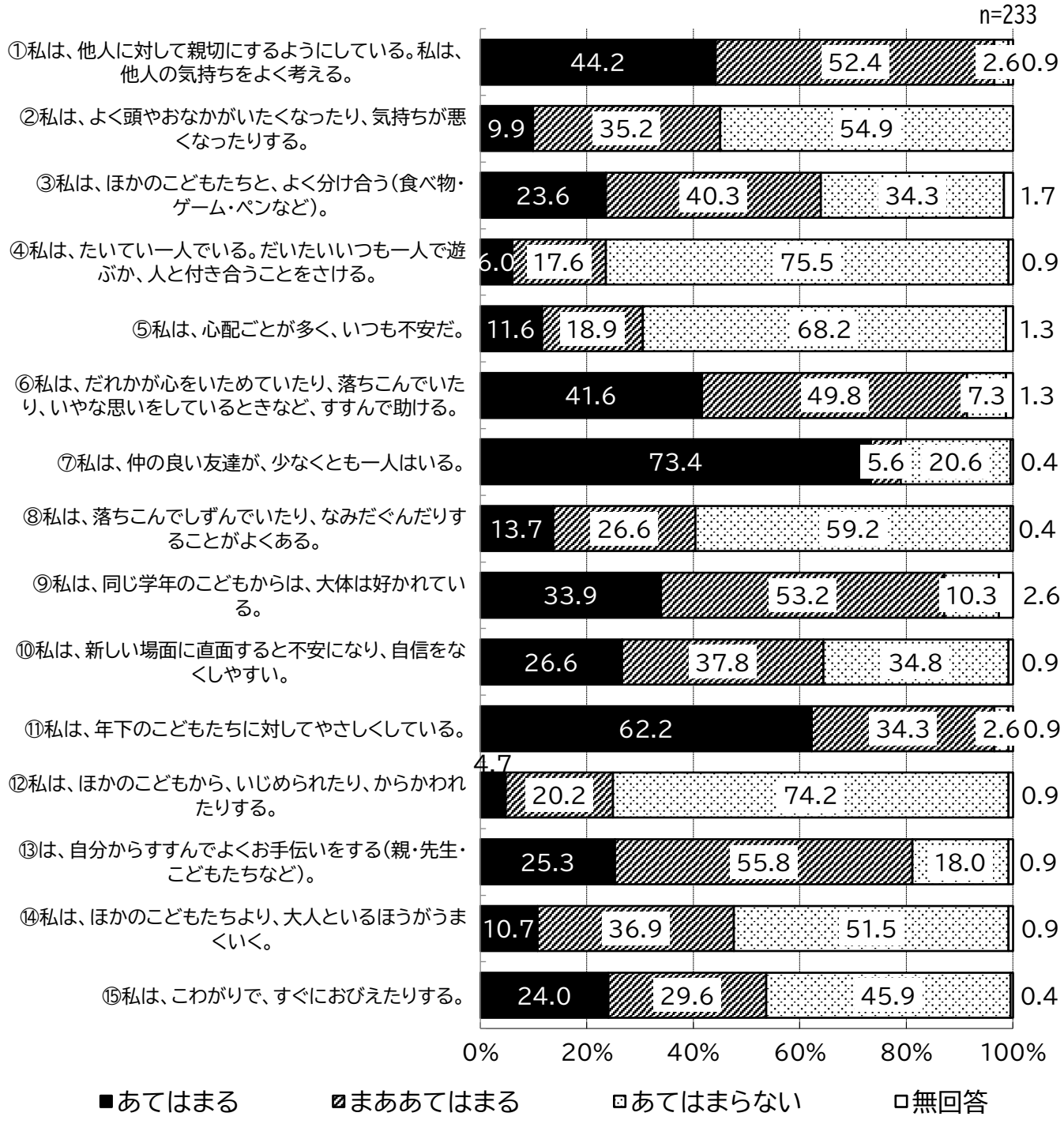


「その他」：記入なし

問１９　以下の①～⑮について、それぞれあてはまるものを回答してください。答えに自信がなくても、なるべくすべての問題に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。

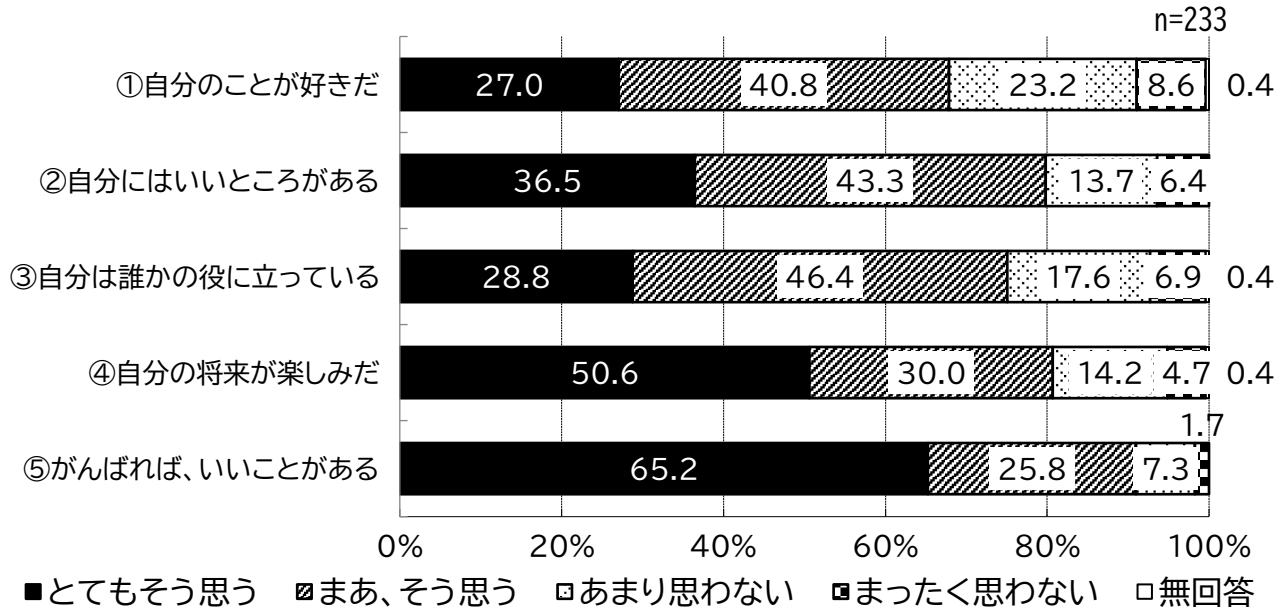
“⑦私は、仲の良い友達が、少なくとも一人はいる。”は、「あてはまる」が 73.4%、「あてはまらない」が 20.6%となっています。

“⑫私は、ほかのこどもから、いじめられたり、からかわれたりする。”は、「あてはまる」が 4.7%、「まああてはまる」が 20.2%となっています。



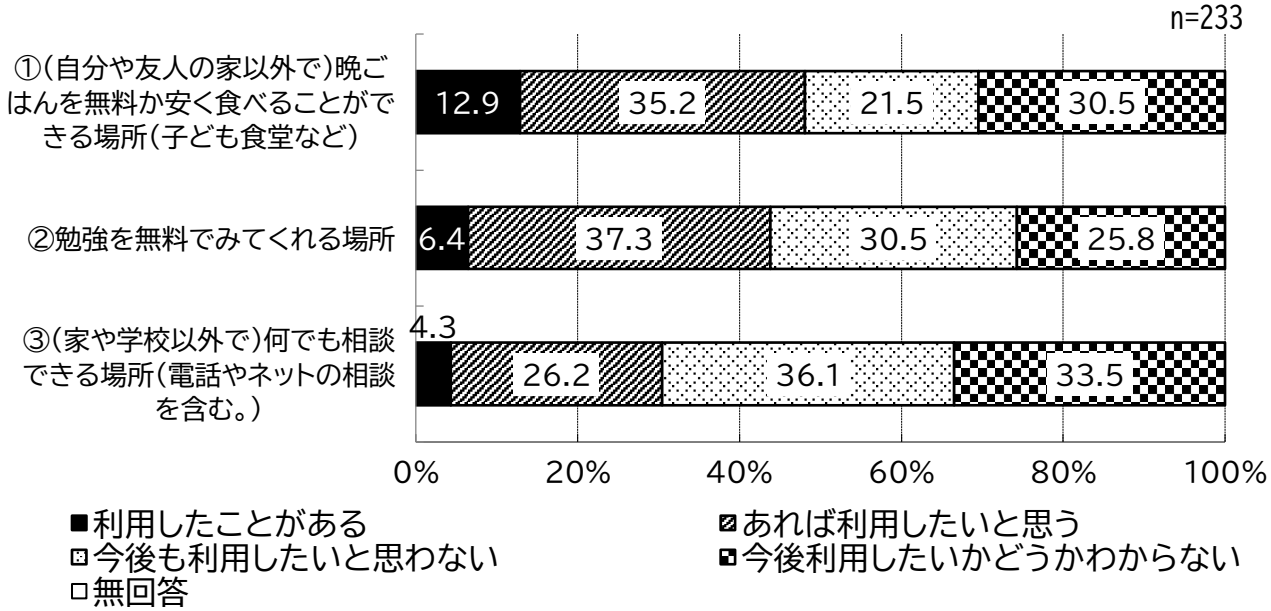
問２０　あなたは、自分自身について、以下のようなことをどう思いますか。

“⑤がんばれば、いいことがある”は、「とてもそう思う」が 65.2%と比較的高く、“①自分のことが好きだ”は同回答が 27.0%、“③自分は誰かの役に立っている”は 28.8%と比較的低くなっています。



問２１　あなたは、次の①～③のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

“①（自分や友人の家以外で）晩ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）”は、「利用したことがある」が 12.9%、“②勉強を無料でみてくれる場所”は同回答が 6.4%、“③（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）”は 4.3%となっています。



〈貧困の状況別※〉

①（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）

貧困線（163 万円）未満に該当する家庭等の児童と非該当の家庭の児童で、「あれば利用したいと思う」という利用希望率に所得による差は見られません。

		回答者数	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうかわからない	無回答
	全体	158	13.9%	35.4%	22.2%	28.5%	0.0%
貧困線（163万円）未満に該当	該当	8	37.5%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%
	非該当	144	13.2%	34.7%	23.6%	28.5%	0.0%
等価可処分所得の中央値（325万円）未満に該当	該当	66	12.1%	31.8%	25.8%	30.3%	0.0%
	非該当	86	16.3%	37.2%	20.9%	25.6%	0.0%

②勉強を無料でみてくれる場所

貧困線（163 万円）未満に該当する家庭や等価可処分所得の中央値（325 万円）未満に該当する家庭の児童については、非該当の家庭と比べて「あれば利用したいと思う」という利用希望率が高くなっています。

		回答者数	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうかわからない	無回答
	全体	158	7.0%	38.5%	32.3%	22.2%	0.0%
貧困線（163万円）未満に該当	該当	8	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%
	非該当	144	6.3%	37.5%	33.3%	22.9%	0.0%
等価可処分所得の中央値（325万円）未満に該当	該当	66	4.5%	45.5%	31.8%	18.2%	0.0%
	非該当	86	8.1%	32.6%	34.9%	24.4%	0.0%

③(家や学校以外で)何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）

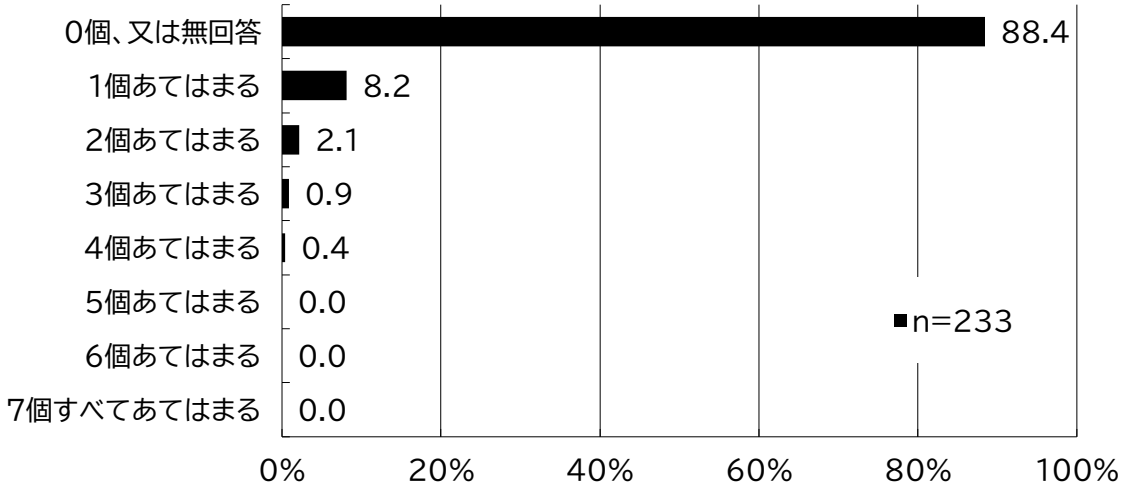
等価可処分所得の中央値（325 万円）未満に該当する家庭の児童については、非該当の家庭と比べて「あれば利用したいと思う」という利用希望率が高くなっています。

		回答者数	利用したことがある	あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうかわからない	無回答
	全体	158	5.7%	29.1%	34.8%	30.4%	0.0%
貧困線（163万円）未満に該当	該当	8	0.0%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%
	非該当	144	6.3%	29.2%	36.0%	28.5%	0.0%
等価可処分所得の中央値（325万円）未満に該当	該当	66	1.5%	34.9%	33.3%	30.3%	0.0%
	非該当	86	9.3%	24.4%	38.4%	27.9%	0.0%

※この表の回答者数は、小学５年生本人とその保護者の回答を紐付けできた者の数

問２２　あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。あてはまるものにチェックをしてください。

ａ～ｈの項目に関する該当状況を見ると、「1 個あてはまる」が 8.2%と最も高く、次いで「2 個あてはまる」が 2.1%、「3 個あてはまる」が 0.9%、「4 個あてはまる」が 0.4%と続いています。



ａ　一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言われる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるような振舞いをされることがよくある。

ｂ　一緒に住んでいる大人から、押される、掴まれる、叩かれる、物を投げつけられる、体を触られるなど嫌な思いをすることがよくある。または、ケガをするほど強く殴られたことが一度でもある。

ｃ　家族の誰からも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある。

ｄ　必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人は誰もいないと感じることがある。

ｅ　一緒に住んでいる家族が、誰かに押されたり、掴まれたり、蹴られたりしたことがよくある、または、繰返し殴られたり、刃物などで脅されたことが一度でもある。

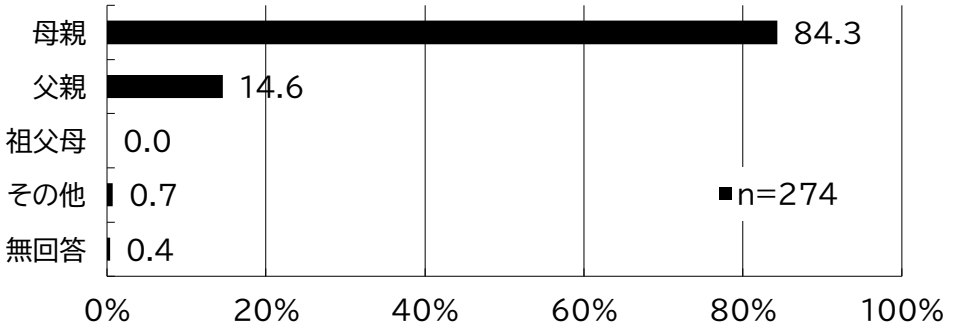
ｆ　一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり薬などで自身の生活や人間関係を損なうような振舞いをした人がいる。

ｇ　一緒に住んでいる人に、心の病気で元気のない人がいる。

５　小学５年生の保護者調査

問１　お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。

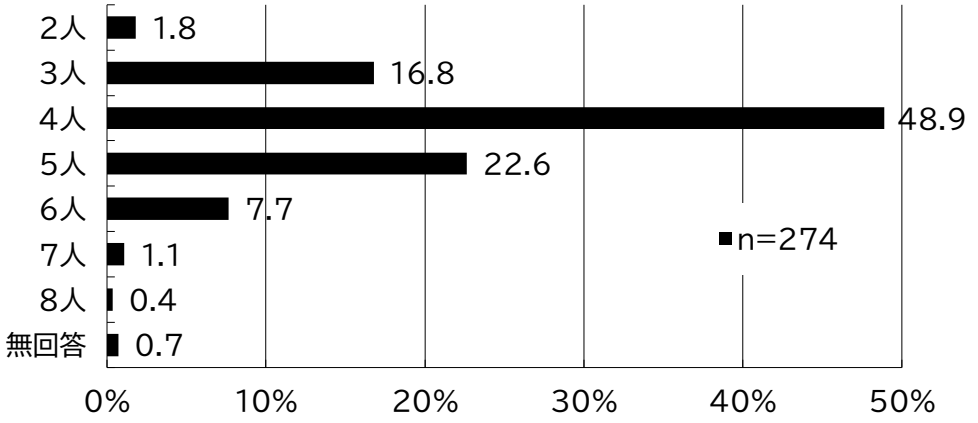
「母親」が 84.3%と最も高く、次いで「父親」が 14.6%、「その他」が 0.7%と続いています。



「その他」：施設職員

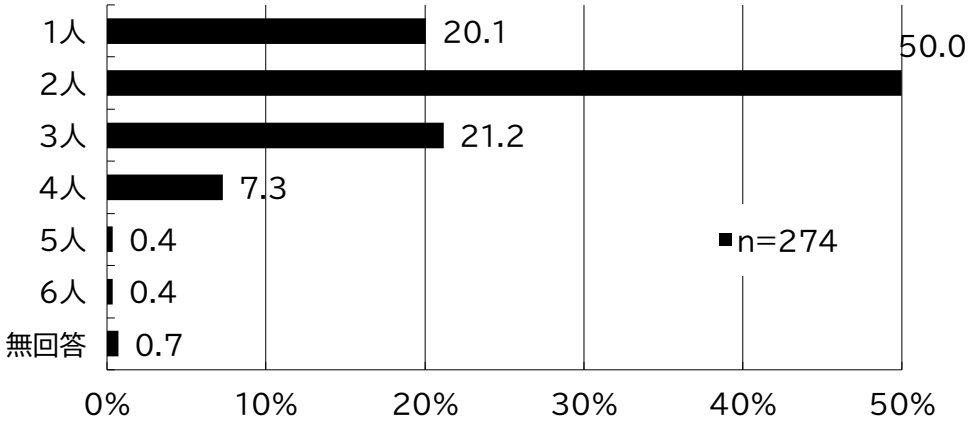
問２　お子さんと同居し、生計が同一の家族人数（あなたや小学５年生のお子さんを含む）をお答えください。

「4 人」が 48.9%と最も高く、次いで「5 人」が 22.6%、「3 人」が 16.8%、「6 人」が 7.7%と続いています。



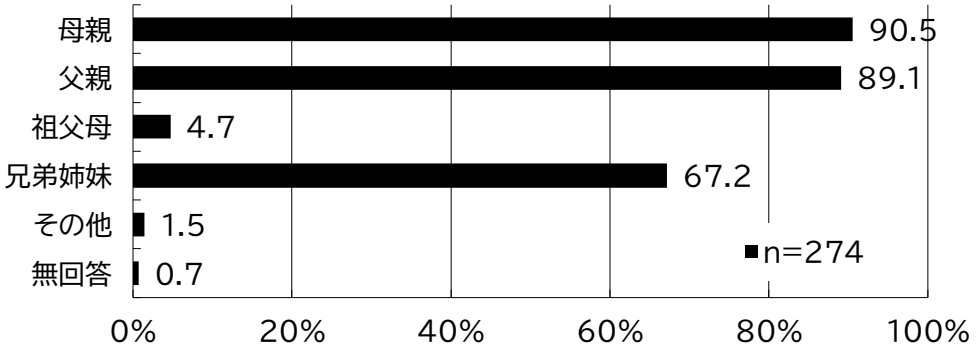
家族の中でこども（小学５年生のお子さんや兄弟姉妹を含む）は何人いますか。

「2 人」が 50%と最も高く、次いで「3 人」が 21.2%、「1 人」が 20.1%、「4 人」が 7.3%と続いています。



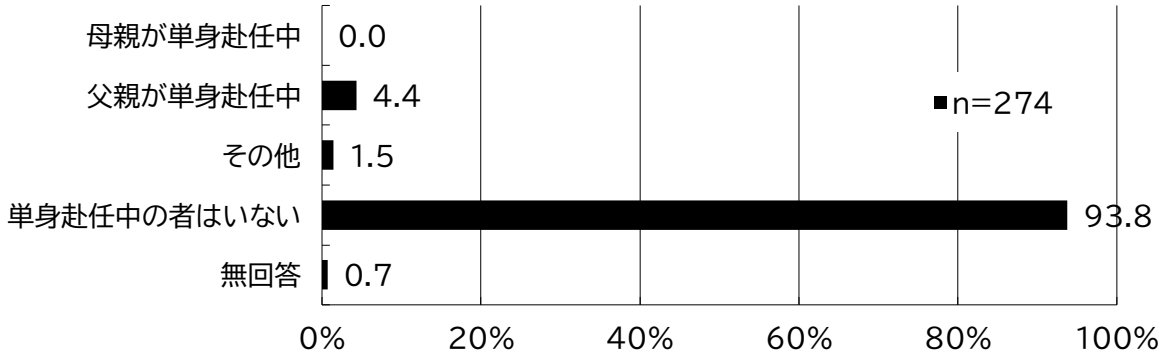
問３　問２で回答した「家族」には、お子さんからみてどの関係の方が含まれますか。

「母親」が 90.5%、「父親」が 89.1%とこれらが上位２つで、次いで「兄弟姉妹」が 67.2%、「祖父母」が 4.7%と続いています。



問４　お子さんの家族のうち、現在単身赴任中の方はいますか。

「単身赴任中の者はいない」が 93.8%と最も高く、次いで「父親が単身赴任中」が 4.4%、「その他」が 1.5%と続いています。

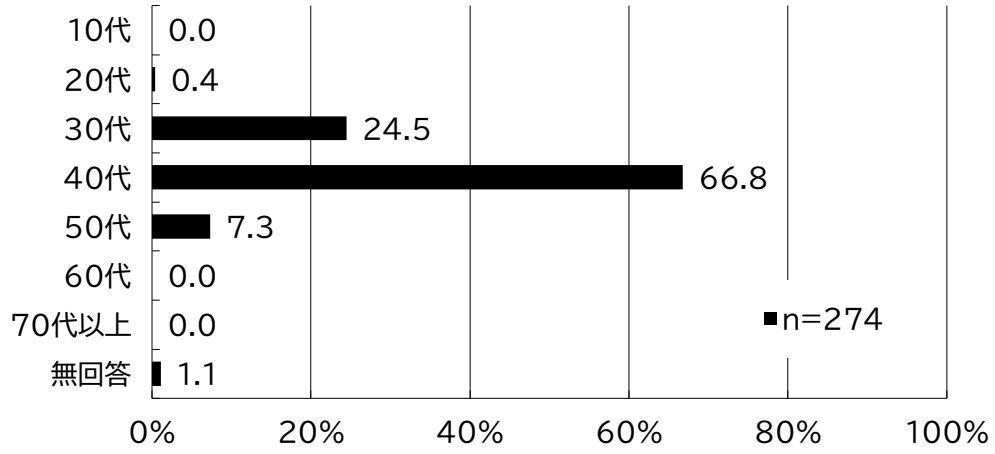


「その他」：別居中、長男、片親が平日のみ単身

問５　お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。

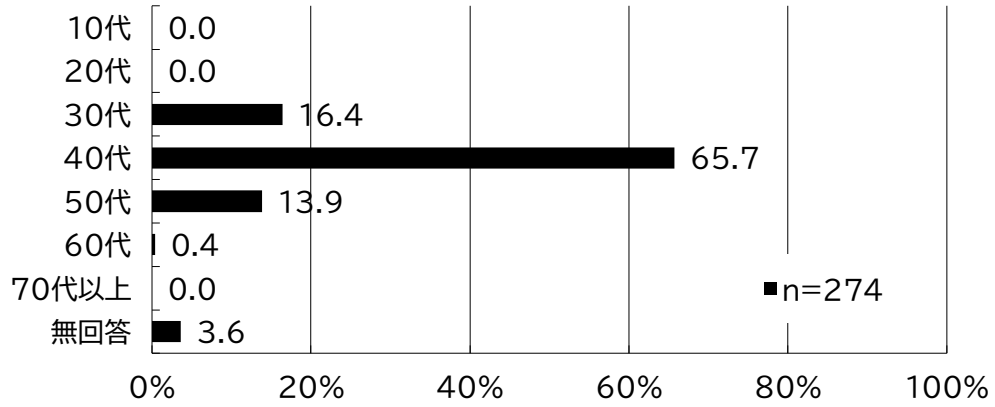
母親

「40 代」が 66.8%と最も高く、次いで「30 代」が 24.5%、「50 代」が 7.3%、「20 代」が 0.4%と続いています。



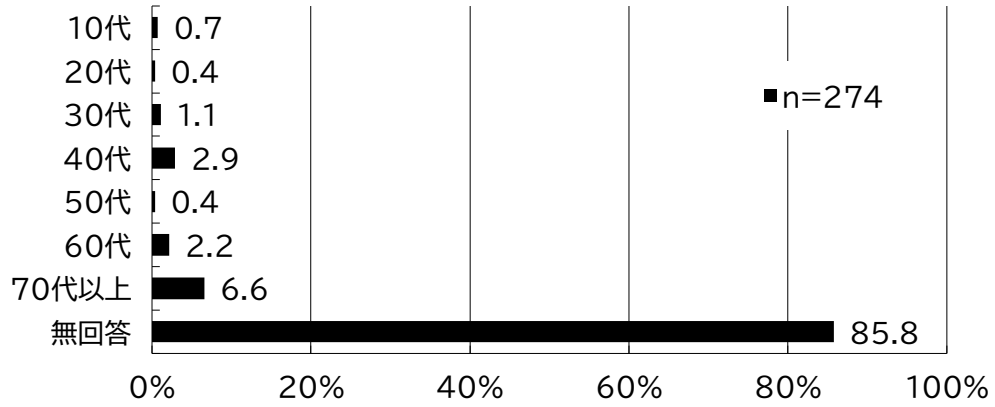
父親

「40 代」が 65.7%と最も高く、次いで「30 代」が 16.4%、「50 代」が 13.9%、「60 代」が 0.4%と続いています。



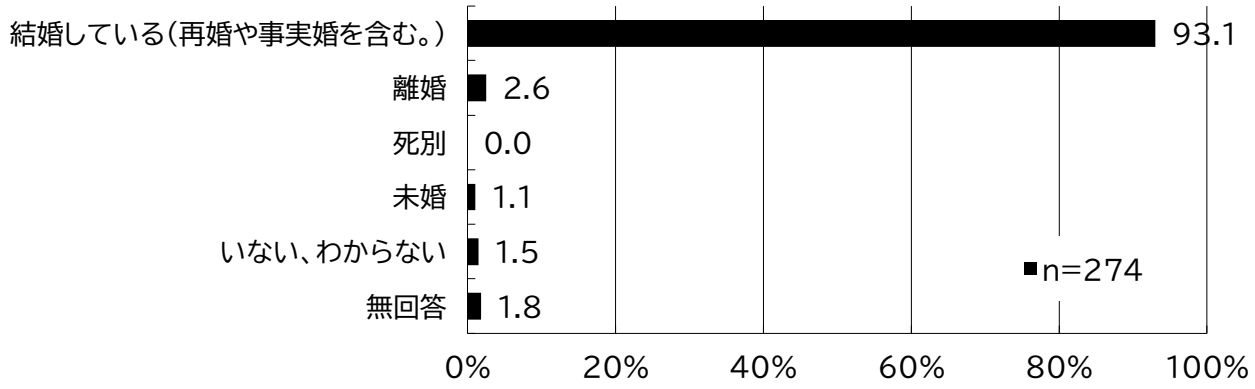
母親・父親にかわる保護者

「70 代以上」が 6.6%、「40 代」が 2.9%とこれらが上位２つで、次いで「60 代」が 2.2%、「30 代」が 1.1%と続いています。



問６　お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が 93.1%と最も高く、次いで「離婚」が 2.6%、「いない、わからない」が 1.5%、「未婚」が 1.1%と続いています。



〈貧困の状況別※〉

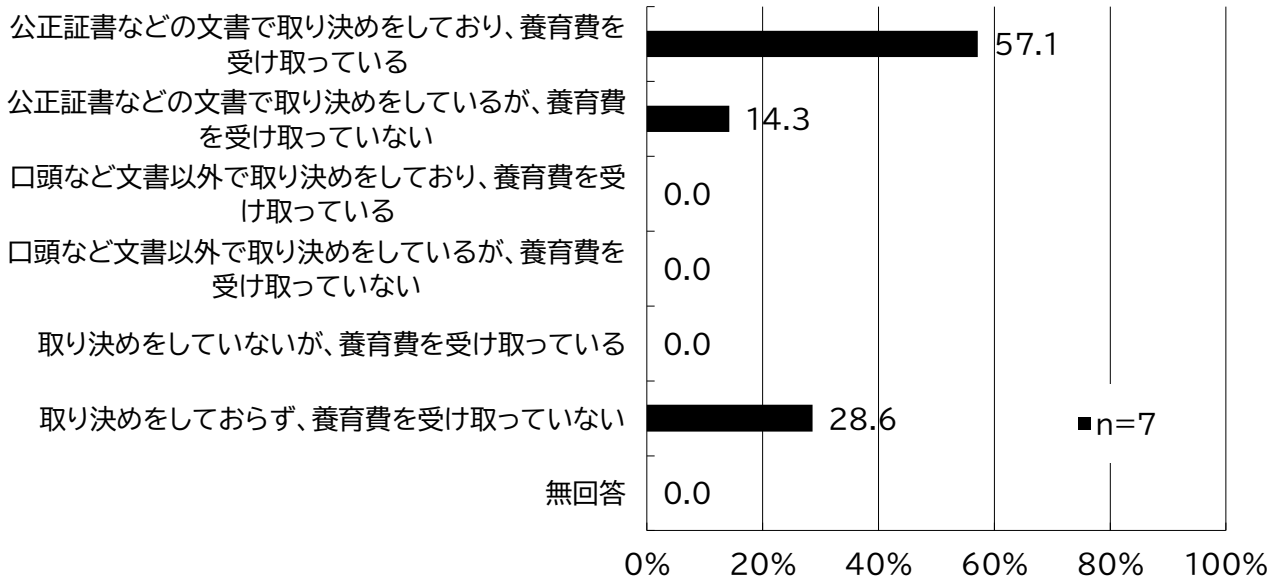
貧困線（188 万円）未満に該当する家庭の保護者では、「離婚」が 31.3%となっています。等価可処分所得の中央値（375 万円）未満に該当する家庭の保護者では、「離婚」が 4.2%、「未婚」が 2.1%、「いない、わからない」が 1.4%となっています。

		回答者数	結婚している（再婚や事実婚を含む。）	離婚	死別	未婚	いない、わからない	無回答
全体		274	93.1%	2.6%	0.0%	1.1%	1.5%	1.8%
等価可処分所得の中央値の半分（188万円）未満に該当	該当	16	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	非該当	245	95.9%	0.8%	0.0%	1.2%	1.2%	0.8%
等価可処分所得の中央値（375万円）未満に該当	該当	142	90.8%	4.2%	0.0%	2.1%	1.4%	1.4%
	非該当	119	98.3%	0.8%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%

※等価可処分所得は、世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いた、いわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得のことで、375 万円が等価可処分所得の中央値。また、等価可処分所得の中央値の半分（188 万円）がいわゆる貧困線です。

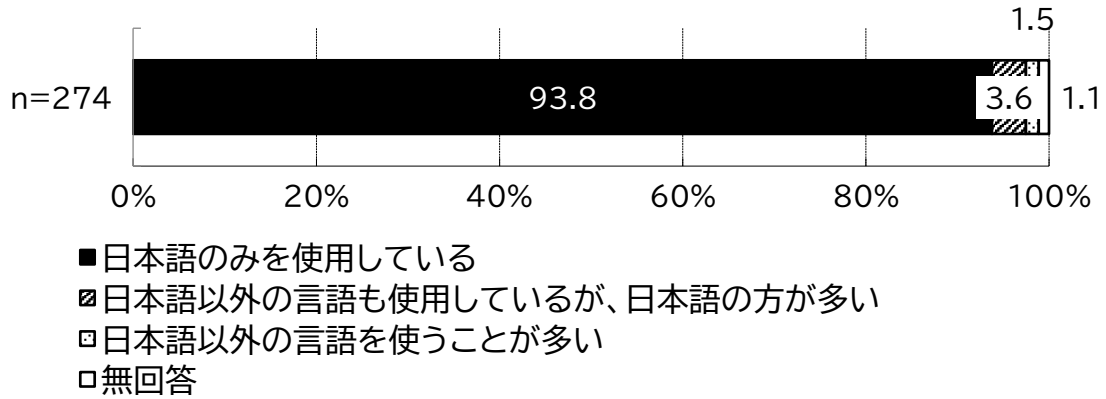
問７　離婚相手とこどもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。

「公正証書などの文書で取り決めをしており、養育費を受け取っている」が 57.1%と最も高く、次いで「取り決めをしておらず、養育費を受け取っていない」が 28.6%、「公正証書などの文書で取り決めをしているが、養育費を受け取っていない」が 14.3%と続いています。



問８　家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

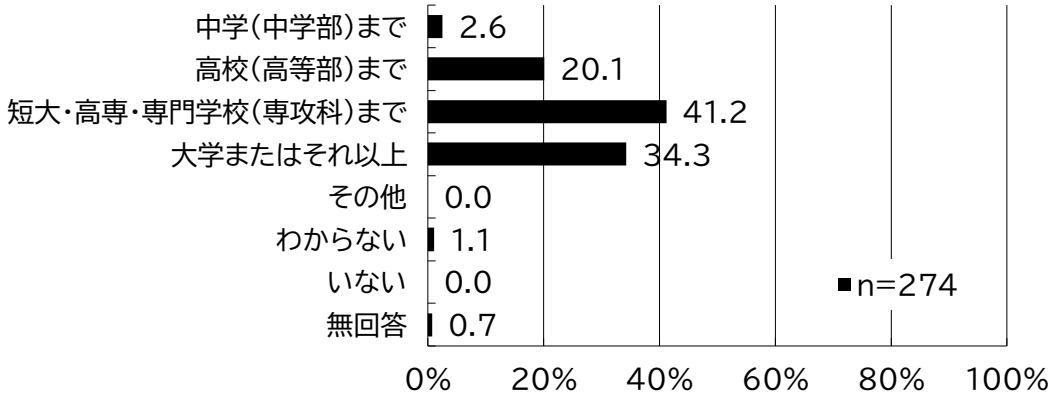
「日本語のみを使用している」が 93.8%と最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 3.6%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が 1.5%と続いています。



問９　お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。

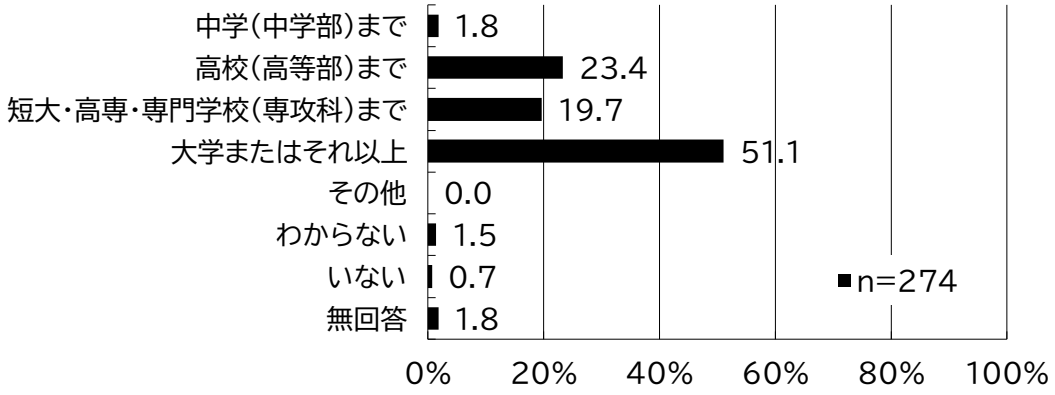
母親

「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が 41.2%と最も高く、次いで「大学またはそれ以上」が 34.3%、「高校（高等部）まで」が 20.1%、「中学（中学部）まで」が 2.6%と続いています。



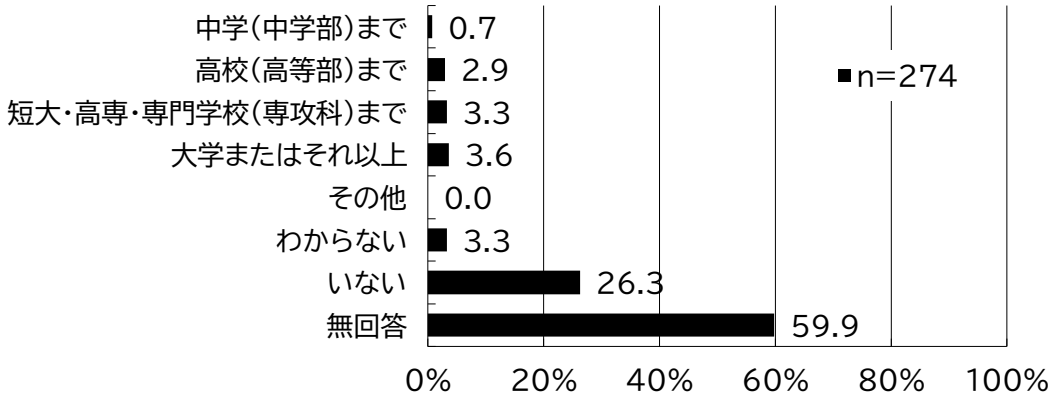
父親

「大学またはそれ以上」が 51.1%と最も高く、次いで「高校（高等部）まで」が 23.4%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が 19.7%、「中学（中学部）まで」が 1.8%と続いています。



母親・父親にかわる保護者

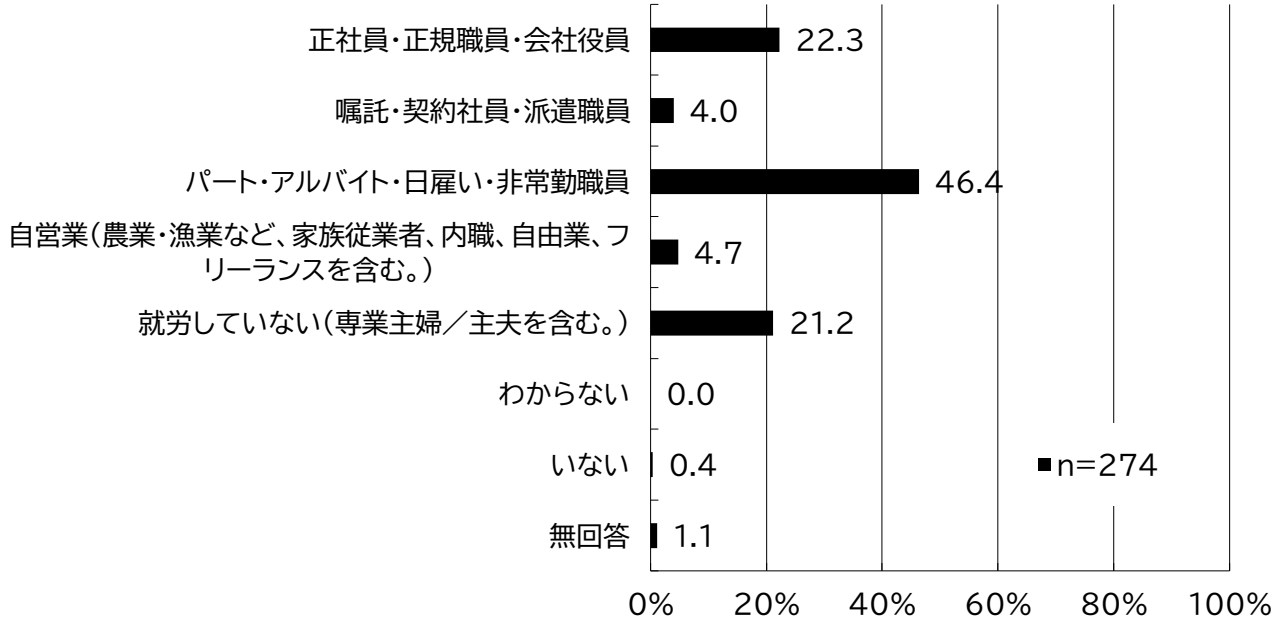
「いない」が 26.3%と最も高く、次いで「大学またはそれ以上」が 3.6%、「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」、「わからない」が 3.3%と続いています。



問１０　お子さんの親の就労状況についてお答えください。

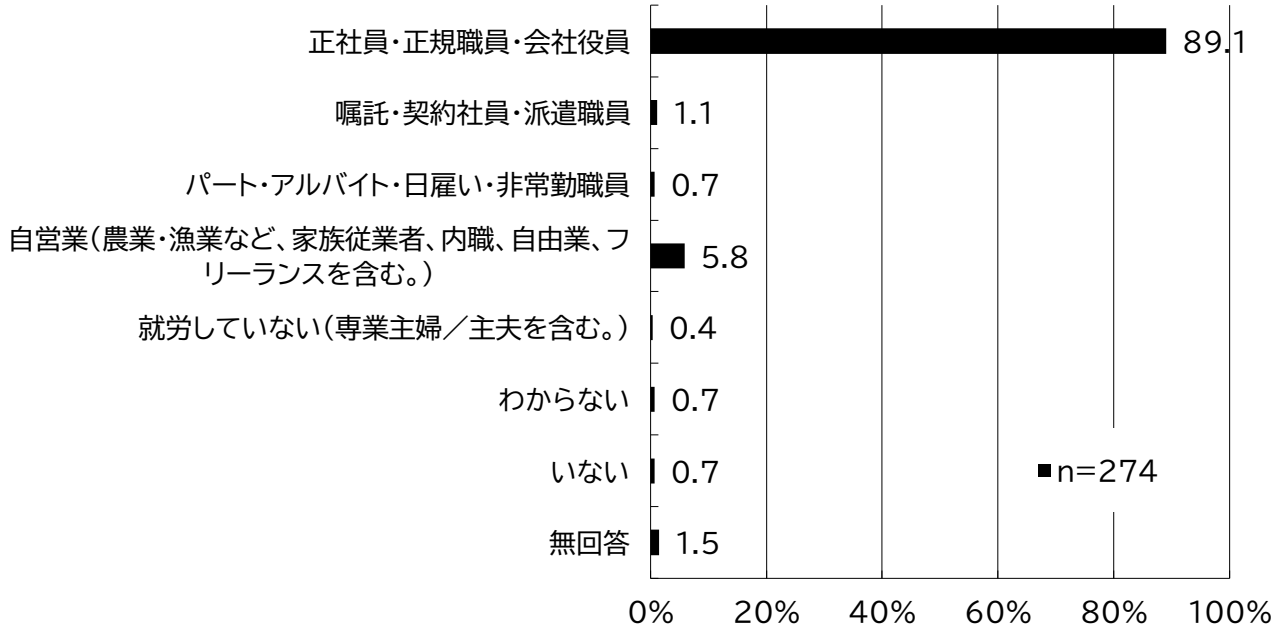
母親

「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 46.4%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が 22.3%、「就労していない（専業主婦／主夫を含む。）」が 21.2%、「自営業（農業・漁業など、家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が 4.7%と続いています。



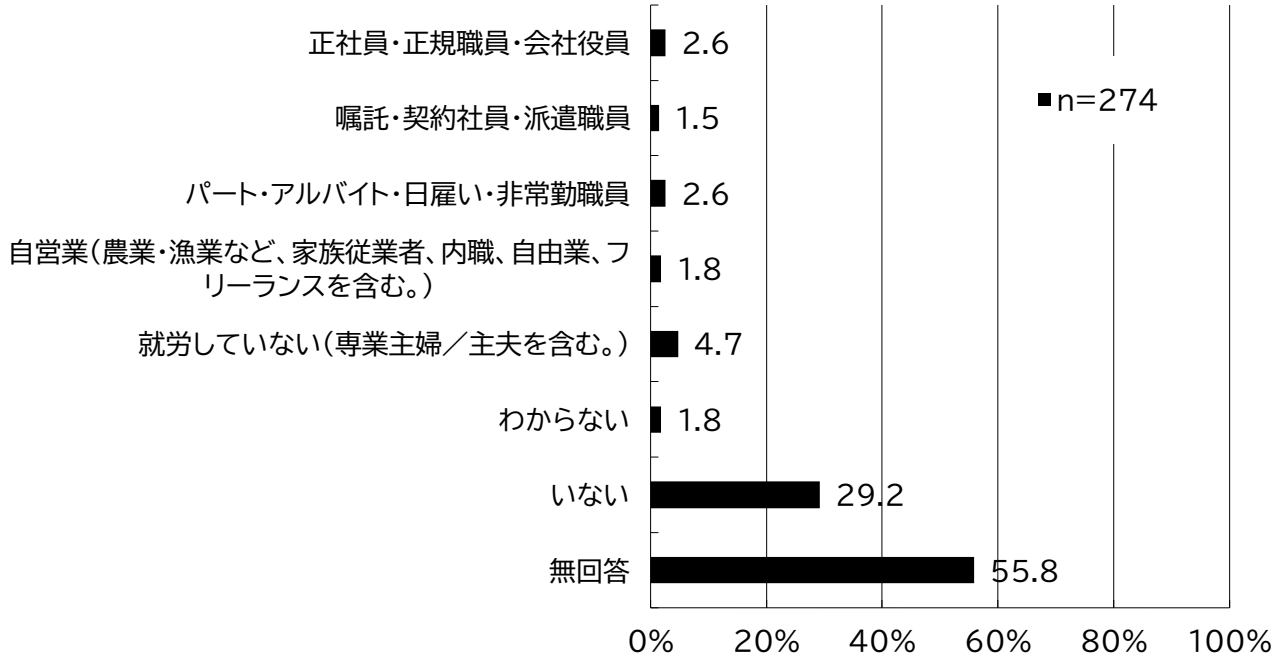
父親

「正社員・正規職員・会社役員」が 89.1%と最も高く、次いで「自営業（農業・漁業など、家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が 5.8%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が 1.1%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 0.7%と続いています。



母親・父親にかわる保護者

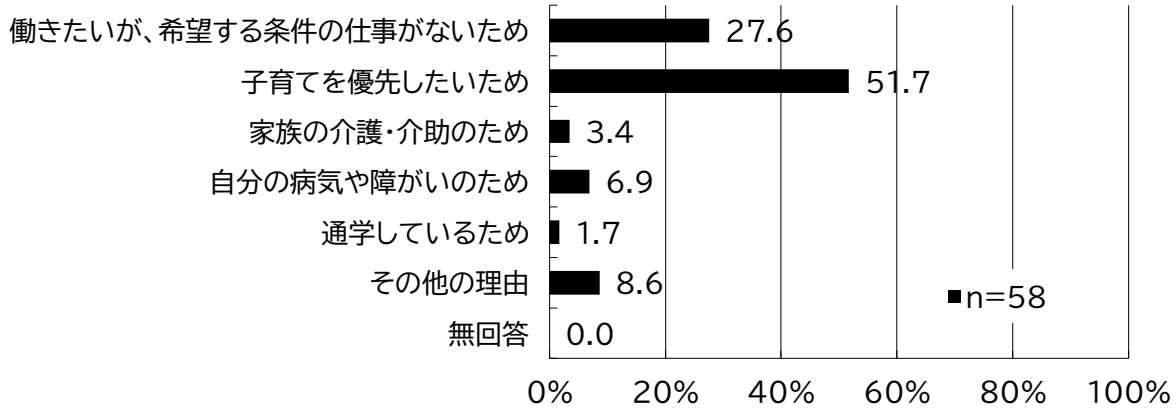
「いない」が 29.2%と最も高く、次いで「就労していない（専業主婦／主夫を含む。）」が 4.7%、「正社員・正規職員・会社役員」、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 2.6%と続いています。



問１１　現在、就労していない最も主な理由を教えてください。

母親

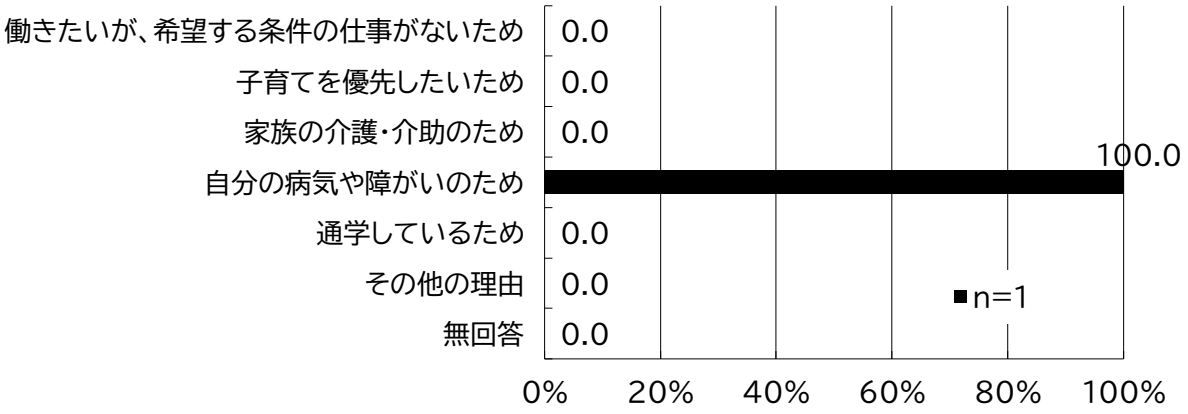
「子育てを優先したいため」が 51.7%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 27.6%、「その他の理由」が 8.6%、「自分の病気や障がいのため」が 6.9%と続いています。



「その他の理由」：記入なし

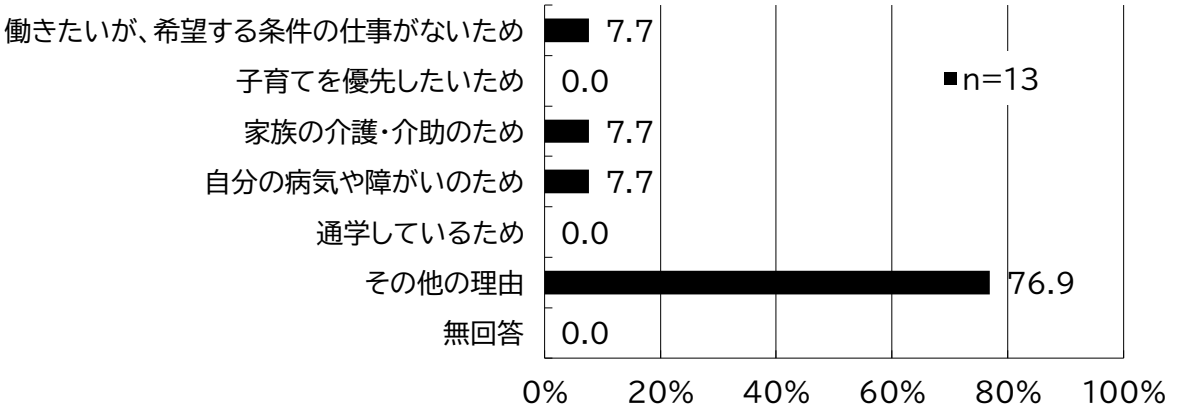
父親

「自分の病気や障がいのため」が 100.0%となっています。



母親・父親にかわる保護者

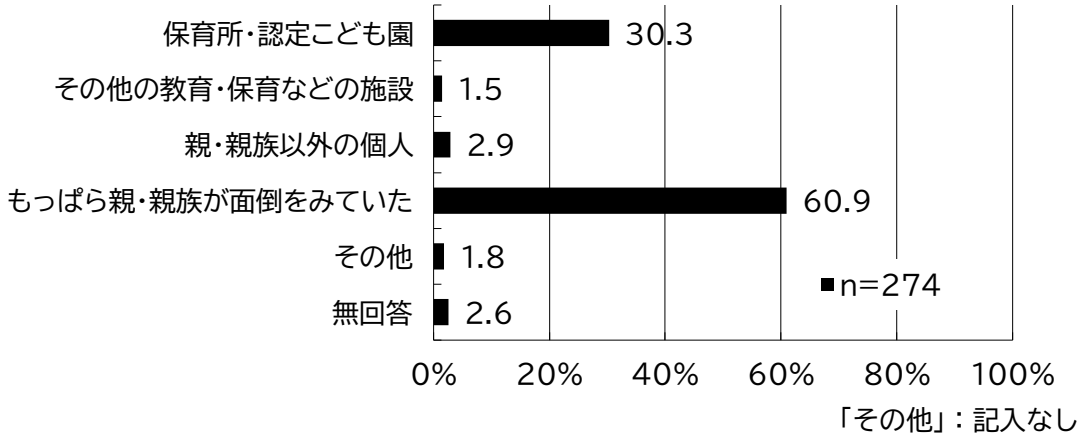
「その他の理由」が 76.9%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「家族の介護・介助のため」、「自分の病気や障がいのため」が 7.7%と続いています。



「その他の理由」：記入なし

問１２　お子さんが０歳から２歳の間に通っていた教育・保育施設をお答えください。

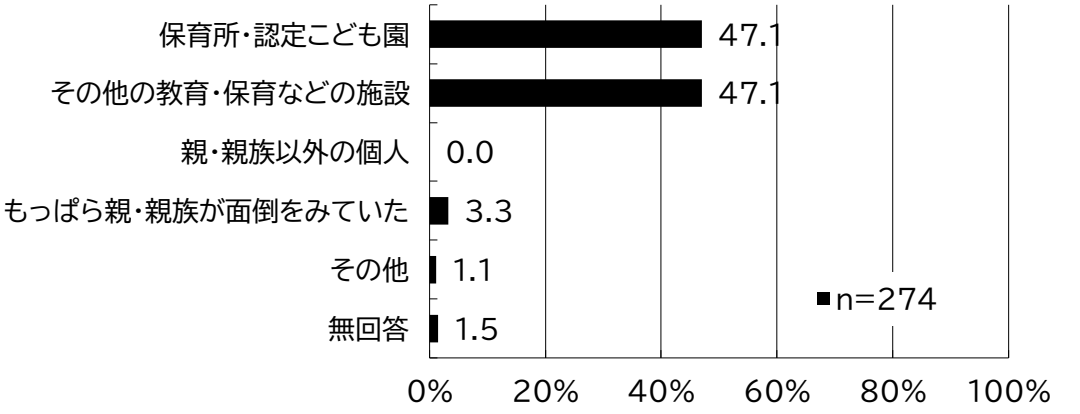
「もっぱら親・親族が面倒をみていた」が 60.9%と最も高く、次いで「保育所・認定こども園」が 30.3%、「親・親族以外の個人」が 2.9%、「その他」が 1.8%と続いています。



「その他」：記入なし

問１３　お子さんが３歳から５歳の間に通っていた教育・保育施設をお答えください。

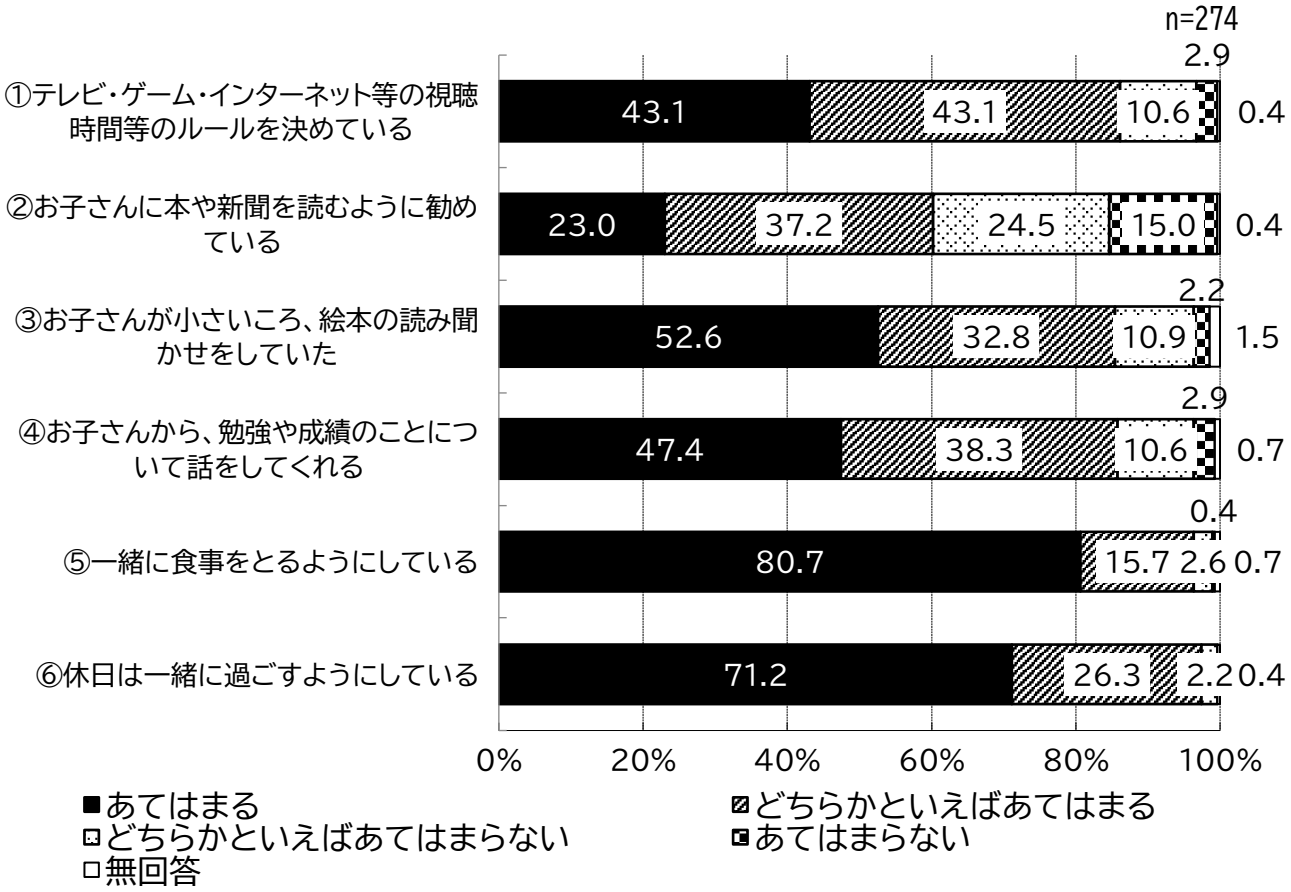
「保育所・認定こども園」、「その他の教育・保育などの施設」が 47.1%とこれらが上位２つで、次いで「もっぱら親・親族が面倒をみていた」が 3.3%、「その他」が 1.1%と続いています。



「その他」：記入なし

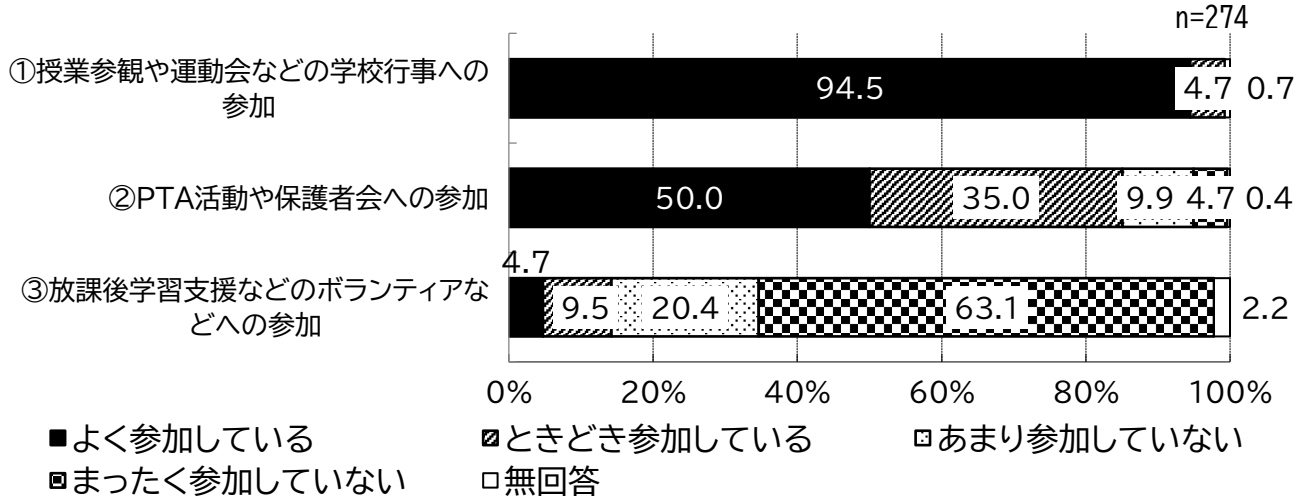
問１４　お子さんとの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

“⑤一緒に食事をとるようにしている”は、「あてはまる」が 80.7%、“⑥休日は一緒に過ごすようにしている”は同回答が 71.2%と比較的高く、“②お子さんに本や新聞を読むように勧めている”は同回答が 23.0%と比較的低くなっています。



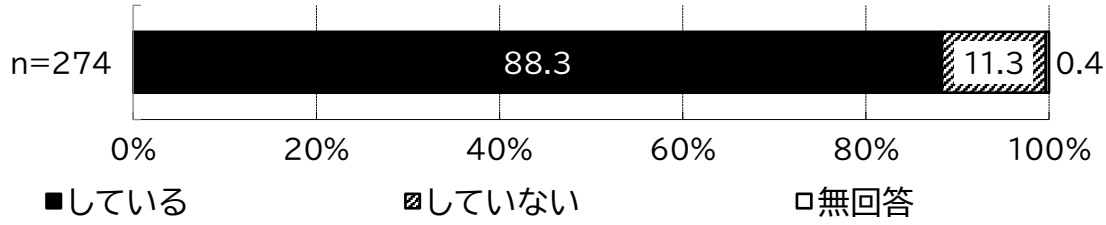
問１５　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

“①授業参観や運動会などの学校行事への参加”は、「よく参加している」が 94.5%、“②ＰＴＡ活動や保護者会への参加”は同回答が 50.0%となっており、“③放課後学習支援などのボランティアなどへの参加”は、「よく参加している」が 4.7%、「ときどき参加している」が 9.5%となっています。



問１６　お子さんは、習い事をしていますか。

「している」が 88.3%、「していない」が 11.3%となっています。



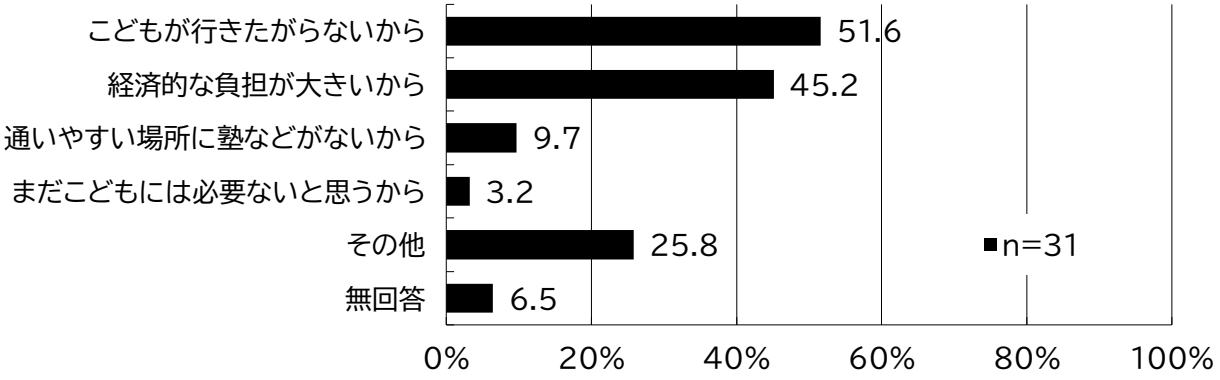
〈貧困の状況別〉

貧困線（188 万円）未満に該当する家庭や等価可処分所得の中央値（375 万円）未満に該当する家庭の児童は、非該当の家庭と比べて「していない」との回答率が高くなっています。

		回答者数	している	していない	無回答
全体		274	88.3%	11.3%	0.4%
等価可処分所得の中央値の半分（188万円）未満に該当	該当	16	68.8%	31.3%	0.0%
	非該当	245	91.0%	9.0%	0.0%
等価可処分所得の中央値（375万円）未満に該当	該当	142	83.8%	16.2%	0.0%
	非該当	119	96.6%	3.4%	0.0%

問１７　お子さんが習い事をしていない理由は何ですか。

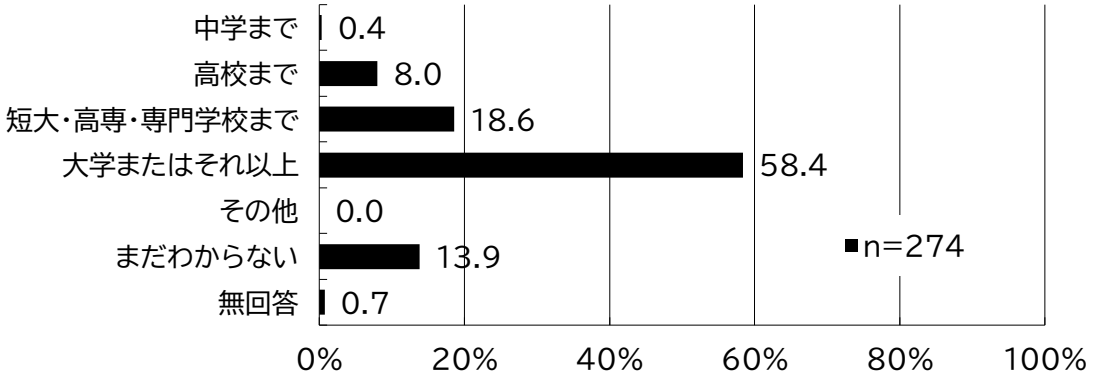
「こどもが行きたがらないから」が 51.6%と最も高く、次いで「経済的な負担が大きいから」が 45.2%、「その他」が 25.8%、「通いやすい場所に塾などがないから」が 9.7%と続いています。



「その他」：送迎が難しいから、本人にやりたいことが無いから、発達障がいで習い事が難しいから　等

問１８　お子さんは将来、現実的にみてどの段階まで進学すると思いますか。

「大学またはそれ以上」が 58.4%と最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が 18.6%、「まだわからない」が 13.9%、「高校まで」が 8.0%と続いています。



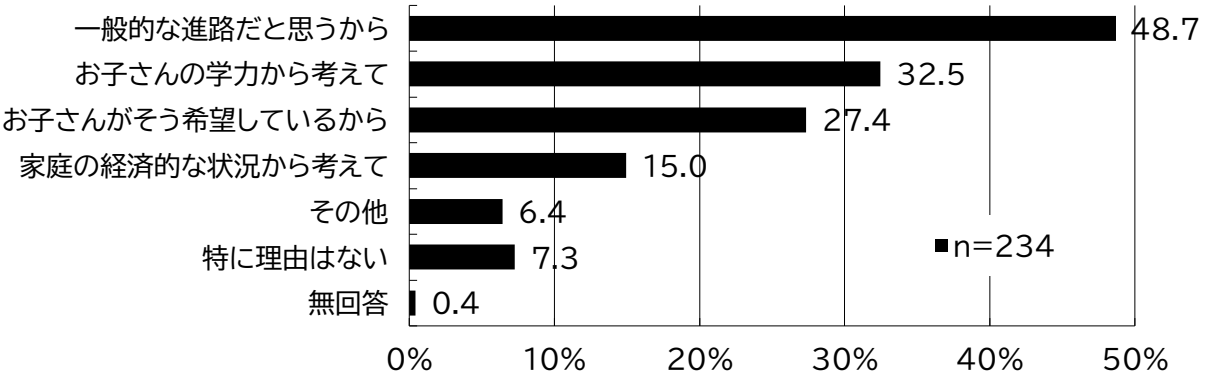
〈現在の暮らしの状況別等〉

現在の暮らしの状況が“苦しい”という家庭の保護者ほど、「大学またはそれ以上」との回答率が低く、貧困線（188 万円）未満に該当する家庭や等価可処分所得の中央値（375 万円）未満に該当する家庭の保護者では、非該当の家庭と比べて「大学またはそれ以上」との回答率が低くなっています。

		回答者数	中学まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	その他	まだわからない	無回答
全体		274	0.4%	8.0%	18.6%	58.4%	0.0%	13.9%	0.7%
現在の暮らしの状況	ゆとりがある	31	0.0%	3.2%	6.5%	83.9%	0.0%	6.5%	0.0%
	普通	165	0.6%	6.1%	20.0%	59.4%	0.0%	13.3%	0.6%
	苦しい	76	0.0%	14.5%	19.7%	47.4%	0.0%	18.4%	0.0%
等価可処分所得の中央値の半分（188万円）未満に該当	該当	16	0.0%	18.8%	37.5%	25.0%	0.0%	18.8%	0.0%
	非該当	245	0.4%	5.7%	17.6%	62.4%	0.0%	13.5%	0.4%
等価可処分所得の中央値（375万円）未満に該当	該当	142	0.7%	10.6%	20.4%	53.5%	0.0%	14.8%	0.0%
	非該当	119	0.0%	1.7%	16.8%	68.1%	0.0%	12.6%	0.8%

問１９　問１８で、その段階まで進学するとお答えいただいた理由は何ですか。（複数回答可）

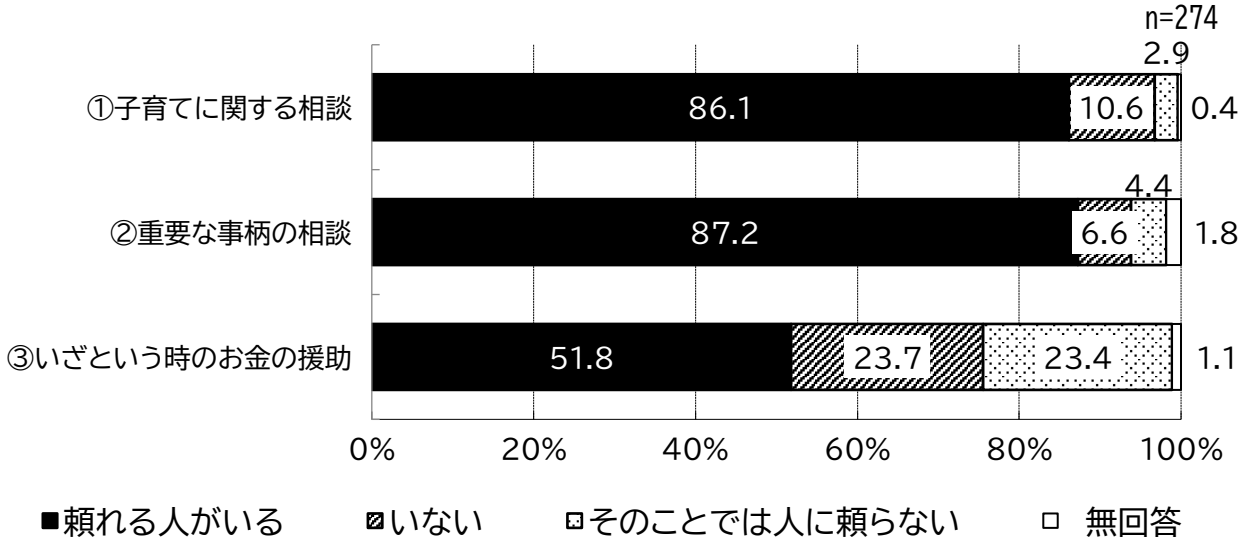
「一般的な進路だと思うから」が 48.7%と最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」が 32.5%、「お子さんがそう希望しているから」が 27.4%、「家庭の経済的な状況から考えて」が 15.0%と続いています。



「その他」：勉強も大切だが社会で生きていける力をつけてほしい、
なりたい職業から考えると大卒が最低ラインなため、
大学まで行った方が選択肢が増えると思う、
親が高卒で苦労したから　等

問２０　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

“①子育てに関する相談”は、「頼れる人がいる」が 86.1%、“②重要な事柄の相談”は同回答が 87.2%となっており、“③いざという時のお金の援助”は、「頼れる人がいる」が 51.8%、「いない」が 23.7%、「そのことでは人に頼らない」が 23.4%となっています。



〈③いざという時のお金の援助　現在の暮らしの状況別等〉

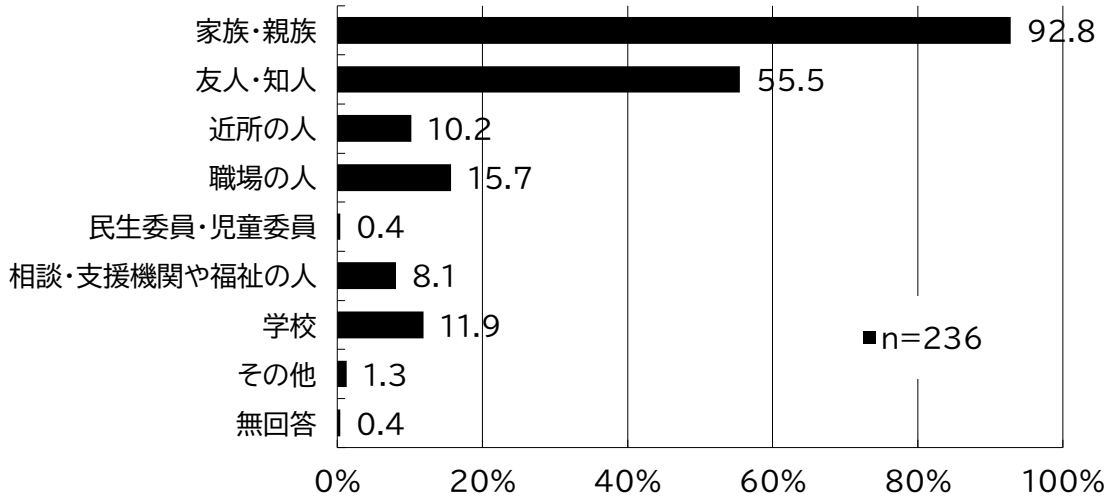
現在の暮らしの状況が“苦しい”という家庭の保護者では、「いない」との回答率が 43.4%と高く、貧困線（188 万円）未満に該当する家庭や等価可処分所得の中央値（375 万円）未満に該当する家庭の保護者では、非該当の家庭と比べて「いない」との回答率が高くなっています。

		回答者数	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体		274	51.8%	23.7%	23.4%	1.1%
現在の暮らしの状況	ゆとりがある	31	61.3%	9.7%	29.0%	0.0%
	普通	165	55.2%	17.6%	26.7%	0.6%
	苦しい	76	40.8%	43.4%	14.5%	1.3%
等価可処分所得の中央値の半分（188万円）未満に該当	該当	16	56.3%	31.3%	12.5%	0.0%
	非該当	245	53.1%	23.3%	22.9%	0.8%
等価可処分所得の中央値（375万円）未満に該当	該当	142	49.3%	28.2%	21.8%	0.7%
	非該当	119	58.0%	18.5%	22.7%	0.8%

問２１　頼れる相手はどなたですか。（複数回答可）

①子育てに関する相談

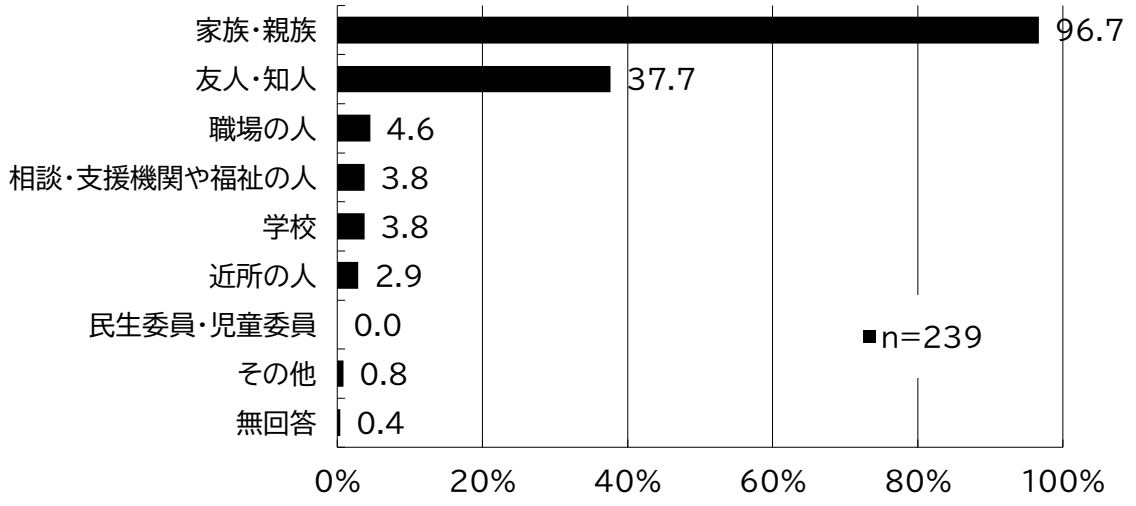
「家族・親族」が 92.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が 55.5%、「職場の人」が 15.7%、「学校」が 11.9%と続いています。



「その他」：記入なし

②重要な事柄の相談

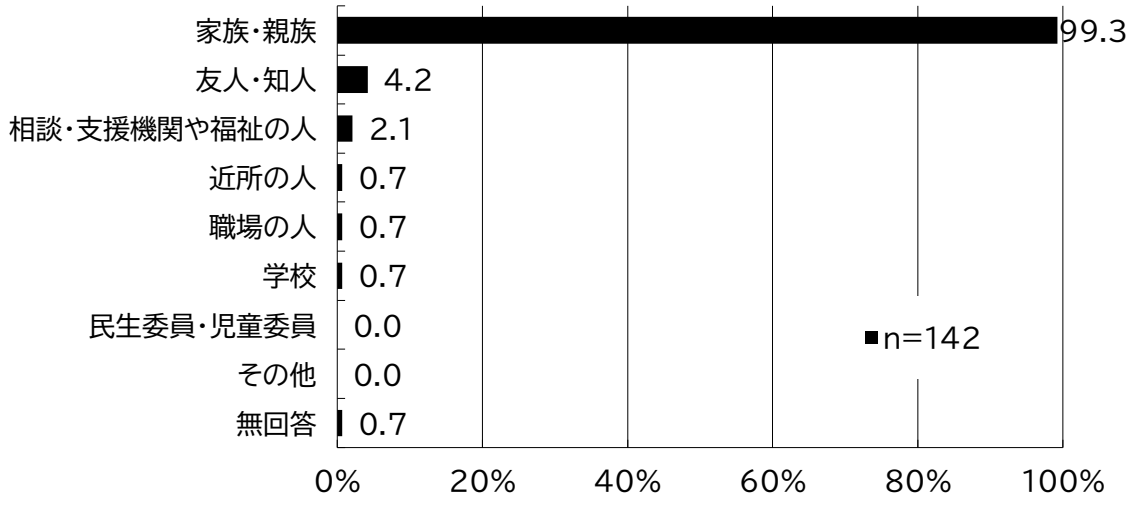
「家族・親族」が 96.7%と最も高く、次いで「友人・知人」が 37.7%、「職場の人」が 4.6%、「相談・支援機関や福祉の人」が 3.8%と続いています。



「その他」：記入なし

③いざという時のお金の援助

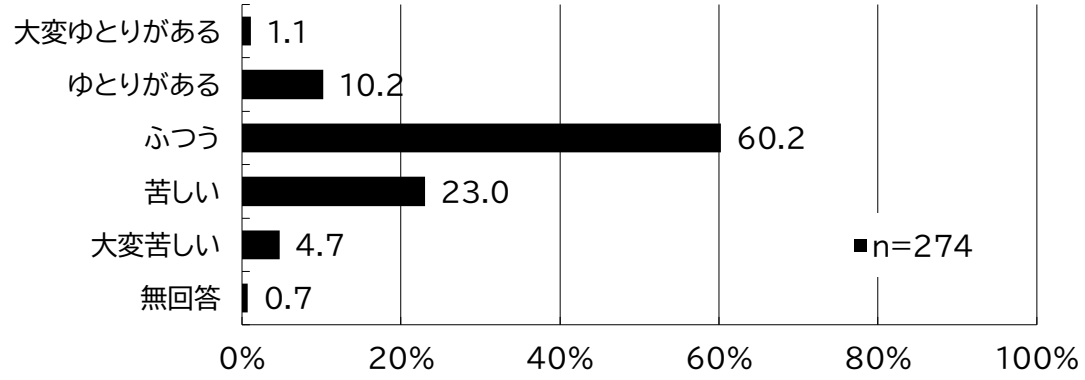
「家族・親族」が 99.3%と最も高く、次いで「友人・知人」が 4.2%、「相談・支援機関や福祉の人」が 2.1%、「近所の人」が 0.7%と続いています。



「その他」：記入なし

問２２　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

「ふつう」が 60.2%と最も高く、次いで「苦しい」が 23.0%、「ゆとりがある」が 10.2%、「大変苦しい」が 4.7%と続いています。



〈親の婚姻状況別等〉

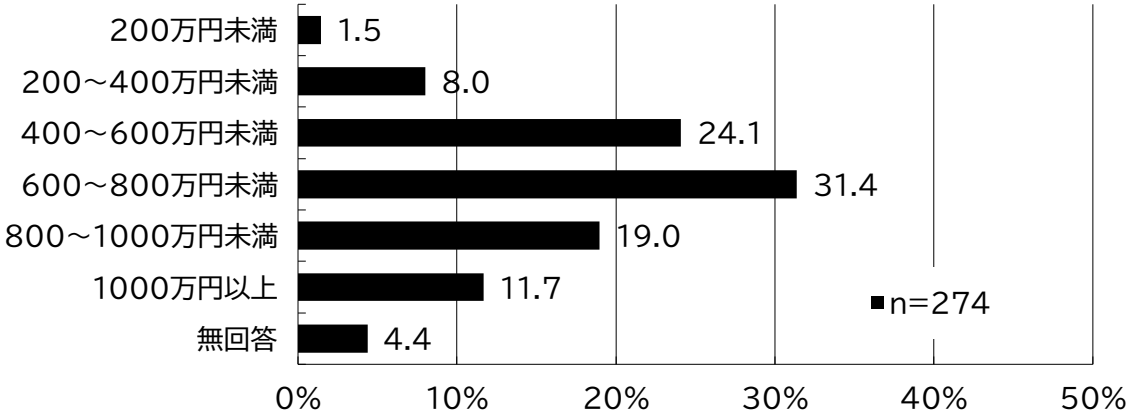
「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、離婚・死別・未婚等の家庭で 50.0%、貧困線（188 万円）未満に該当する家庭で 56.3%、等価可処分所得の中央値（375 万円）未満に該当する家庭で 40.1%となっています。

こどもの人数は３人以上の場合では、１人や２人の場合と比べて「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合が高くなっています。

		回答者数	大変ゆとりがある	ゆとりがある	ふつう	苦しい	大変苦しい	無回答
全体		274	1.1%	10.2%	60.2%	23.0%	4.7%	0.7%
親の婚姻状況	結婚している	255	1.2%	10.6%	62.0%	21.6%	4.7%	0.0%
	離婚・死別・未	14	0.0%	7.1%	42.9%	42.9%	7.1%	0.0%
等価可処分所得の中央値の半分（188万円）未満に該当	該当	16	0.0%	0.0%	43.8%	43.8%	12.5%	0.0%
	非該当	245	1.2%	11.4%	60.8%	21.6%	4.5%	0.4%
等価可処分所得の中央値（375万円）未満に該当	該当	142	0.7%	4.9%	53.5%	32.4%	7.7%	0.7%
	非該当	119	1.7%	17.6%	67.2%	11.8%	1.7%	0.0%
こどもの人数	１人	55	0.0%	14.5%	60.0%	20.0%	5.5%	0.0%
	２人	137	0.7%	11.7%	64.2%	19.0%	3.6%	0.7%
	３人以上	80	2.5%	5.0%	53.8%	32.5%	6.3%	0.0%

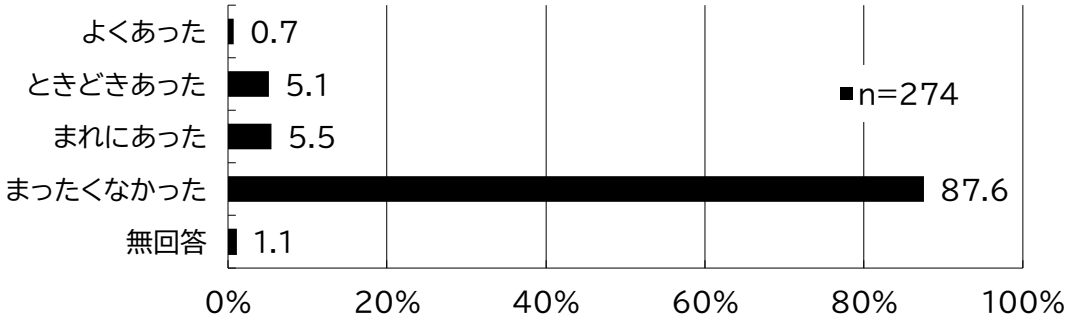
問２３　世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。

「600～800 万円」が 31.4%、「400～600 万円未満」が 24.1%、「800～1000 万円」が 19.0%となっています。



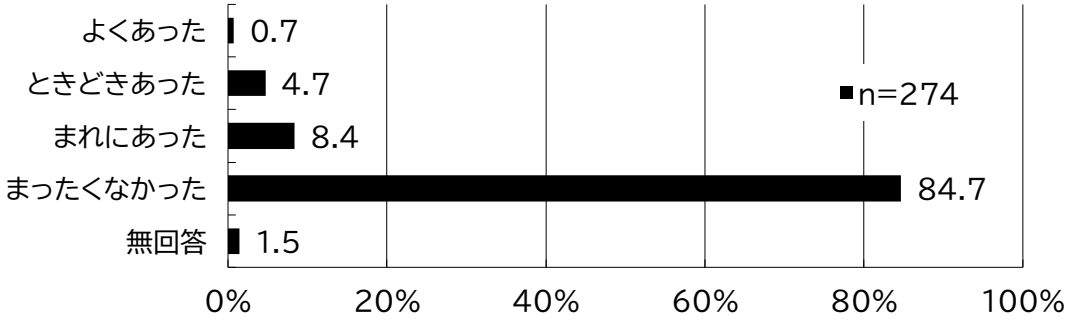
問２４　あなたの世帯で、過去１年の間に、お金が足りず家族で必要な食料が買えないことがありましたか。

「まったくなかった」が 87.6%と最も高く、次いで「まれにあった」が 5.5%、「ときどきあった」が 5.1%、「よくあった」が 0.7%と続いています。



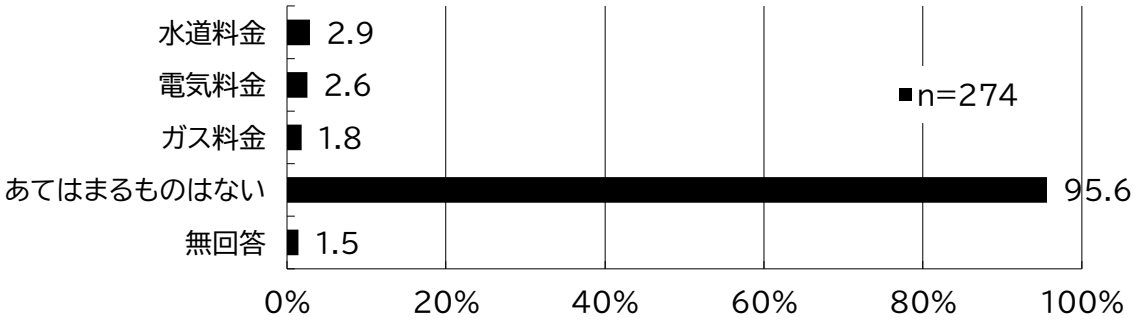
問２５　あなたの世帯で、過去１年の間に、お金が足りず家族で必要な衣服が買えないことがありましたか。

「まったくなかった」が 84.7%と最も高く、次いで「まれにあった」が 8.4%、「ときどきあった」が 4.7%、「よくあった」が 0.7%と続いています。



問２６　あなたの世帯で、過去１年の間に、以下の料金が経済的な理由で未払いになったことがありましたか。

「あてはまるものはない」が 95.6%と最も高く、次いで「水道料金」が 2.9%、「電気料金」が 2.6%、「ガス料金」が 1.8%と続いています。



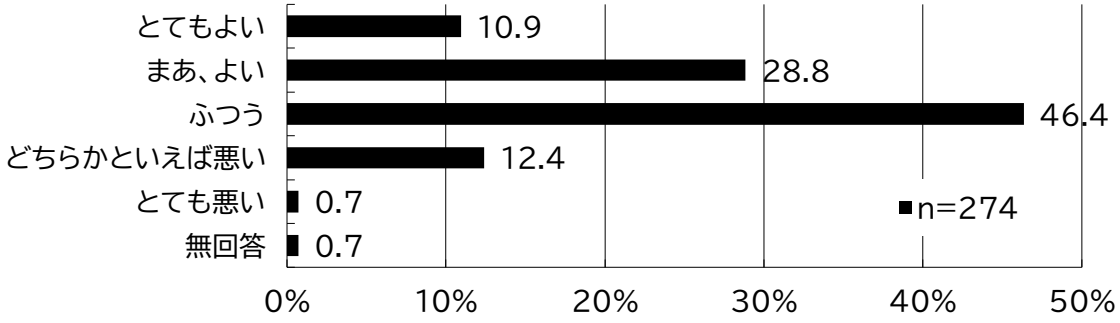
〈貧困の状況別〉

貧困線（188 万円）未満に該当する家庭では、「電気料金」、「水道料金」がいずれも 6.3%、等価可処分所得の中央値（375 万円）未満に該当する家庭では、「電気料金」が 4.2%、「ガス料金」が 2.8%、「水道料金」が 4.9%となっています。

		回答者数	電気料金	ガス料金	水道料金	あてはまるものはない	無回答
全体		274	2.6%	1.8%	2.9%	95.6%	1.5%
等価可処分所得の中央値の半分（188万円）未満に該当	該当	16	6.3%	0.0%	6.3%	93.8%	0.0%
	非該当	245	2.4%	2.0%	2.9%	95.9%	1.2%
等価可処分所得の中央値（375万円）未満に該当	該当	142	4.2%	2.8%	4.9%	93.7%	1.4%
	非該当	119	0.8%	0.8%	0.8%	98.3%	0.8%

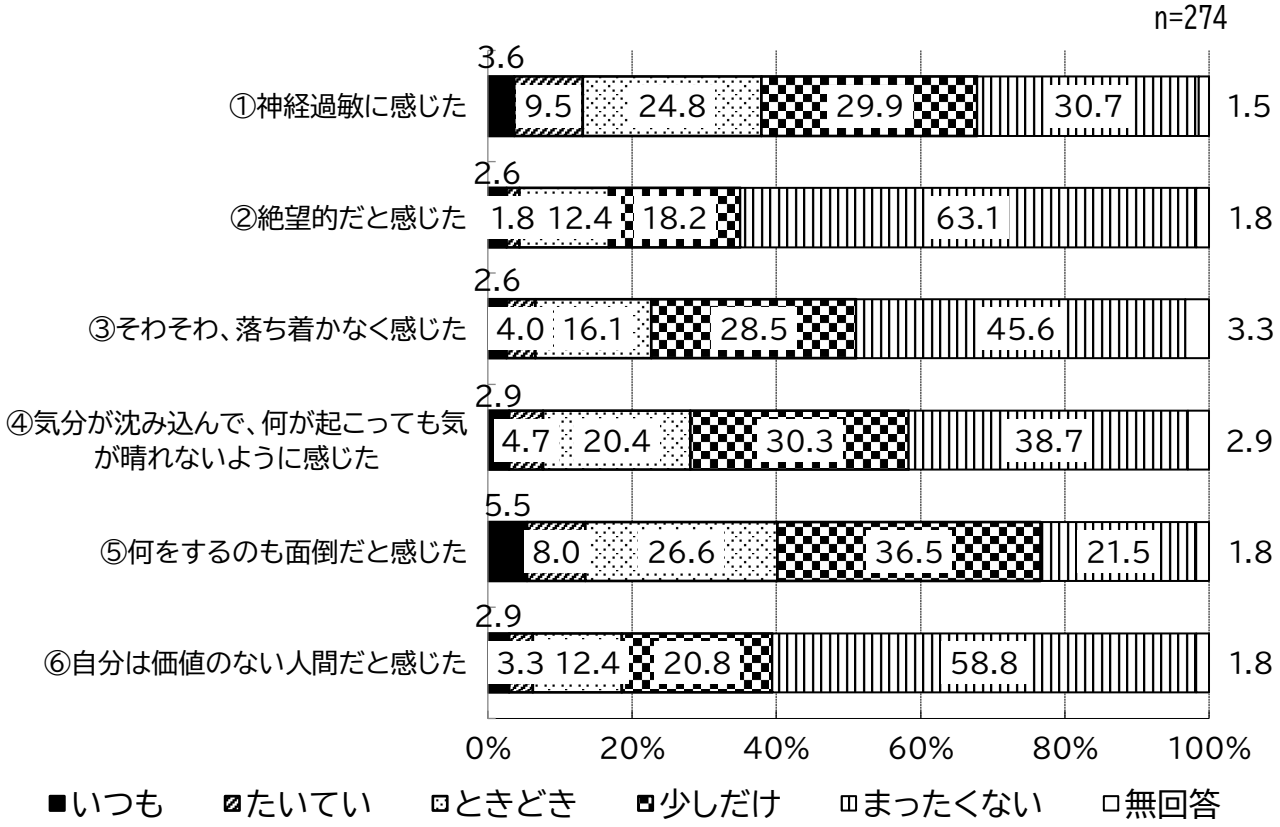
問２７　あなたの健康状態はいかがですか。

「ふつう」が 46.4%と最も高く、次いで「まあ、よい」が 28.8%、「どちらかといえば悪い」が 12.4%、「とてもよい」が 10.9%と続いています。



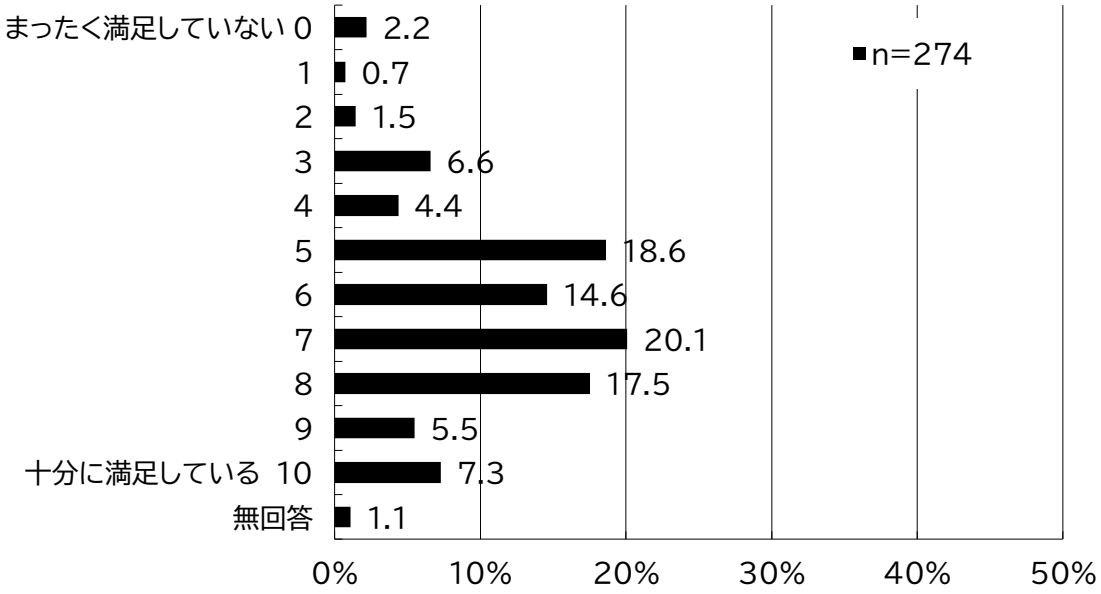
問２８　この１か月の間に以下の気持ちにどの程度なりましたか。

“①神経過敏に感じた”は、「いつも」と「たいてい」を合わせた割合が 13.1%、“⑤何をするのも面倒だと感じた”は同割合が 13.5%と比較的高くなっています。



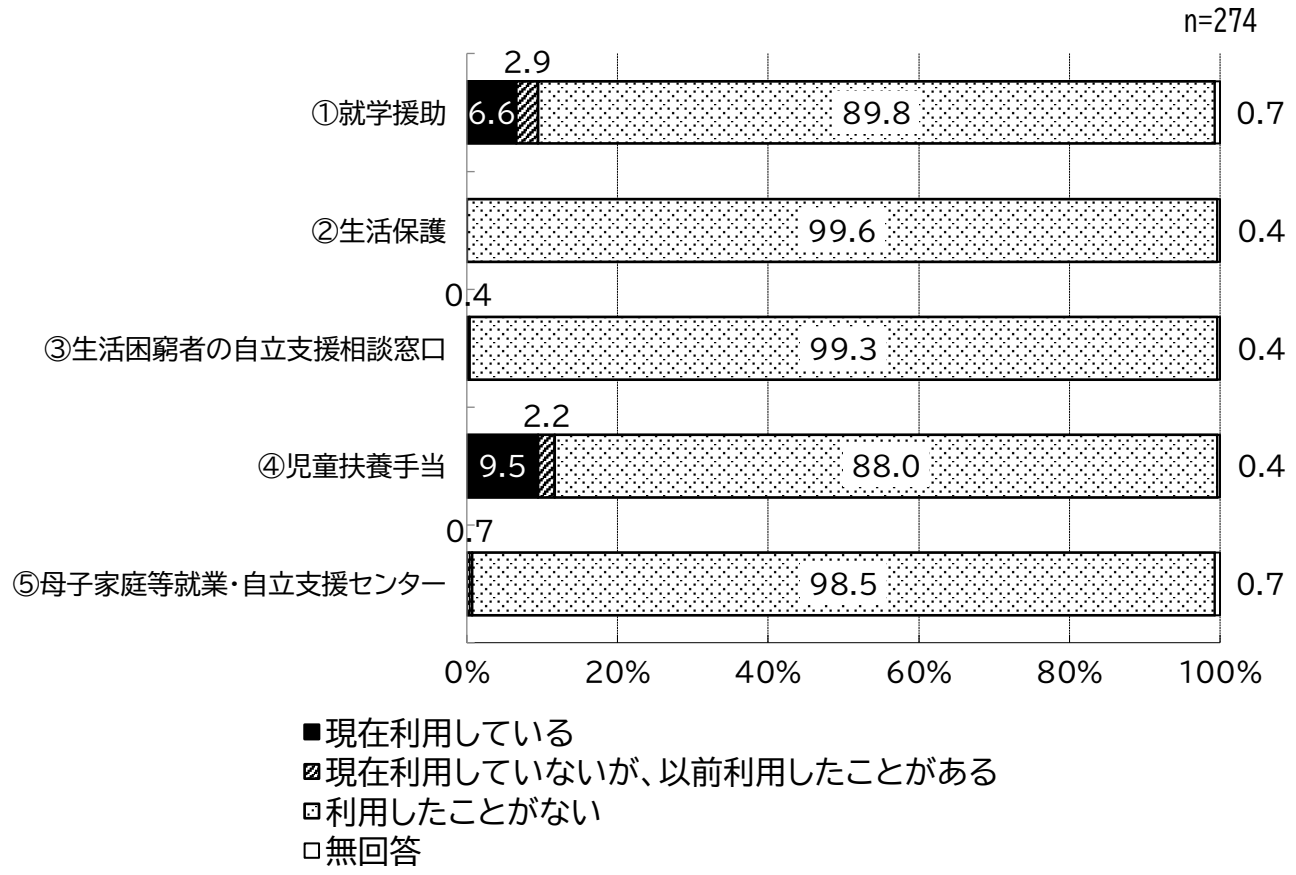
問２９　全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

「7」が 20.1%、「5」が 18.6%とこれらが上位２つで、次いで「8」が 17.5%、「6」が 14.6%と続いています。



問３０　あなたの家庭では、支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

“①就学援助”は、「現在利用している」が 6.6%、“④児童扶養手当”は同回答が 9.5%となっています。



〈①就学援助　貧困の状況別〉

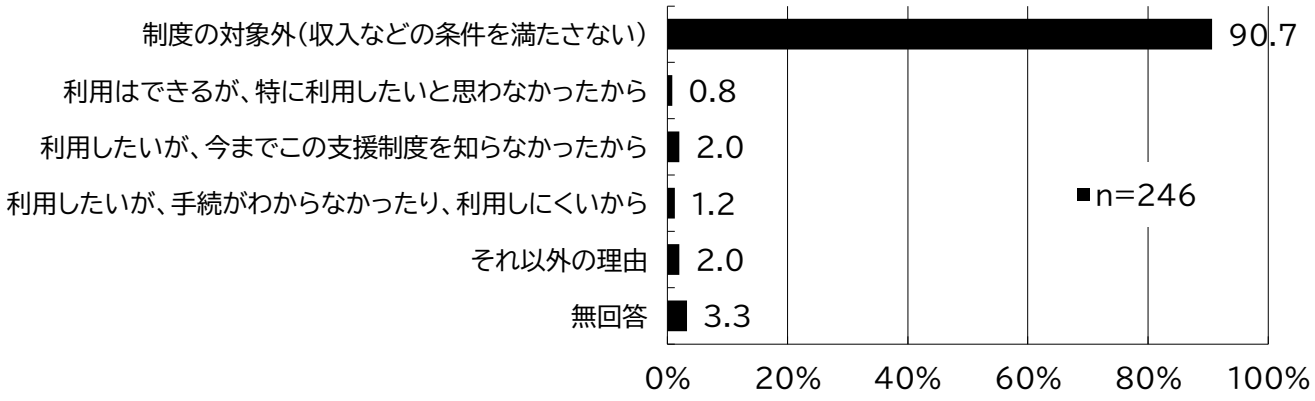
貧困線（188 万円）未満に該当する家庭では、「現在利用している」が 62.5%、等価可処分所得の中央値（375 万円）未満に該当する家庭では、同回答が 12.0%となっています。

		回答者数	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体		274	6.6%	2.9%	89.8%	0.7%
等価可処分所得の中央値の半分（188万円）未満に該当	該当	16	62.5%	0.0%	37.5%	0.0%
	非該当	245	2.9%	2.9%	93.9%	0.4%
等価可処分所得の中央値（375万円）未満に該当	該当	142	12.0%	3.5%	83.8%	0.7%
	非該当	119	0.0%	1.7%	98.3%	0.0%

問３１　問３０の支援制度を利用したことがない理由は何ですか。

①就学援助

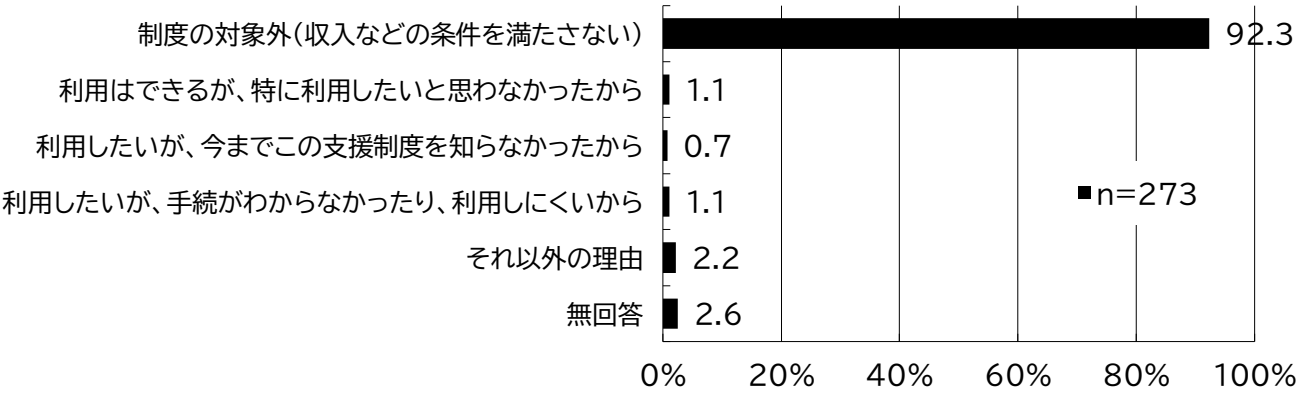
「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）」が 90.7%と最も高く、次いで「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」、「それ以外の理由」が 2.0%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が 1.2%と続いています。



「それ以外の理由」：記入なし

②生活保護

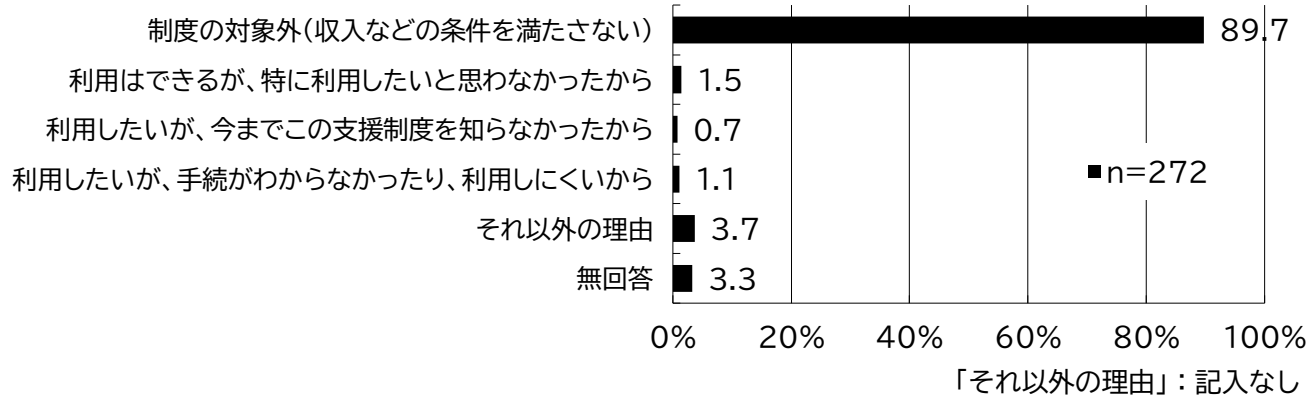
「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）」が 92.3%と最も高く、次いで「それ以外の理由」が 2.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が 1.1%と続いています。



「それ以外の理由」：記入なし

③生活困窮者の自立支援相談窓口

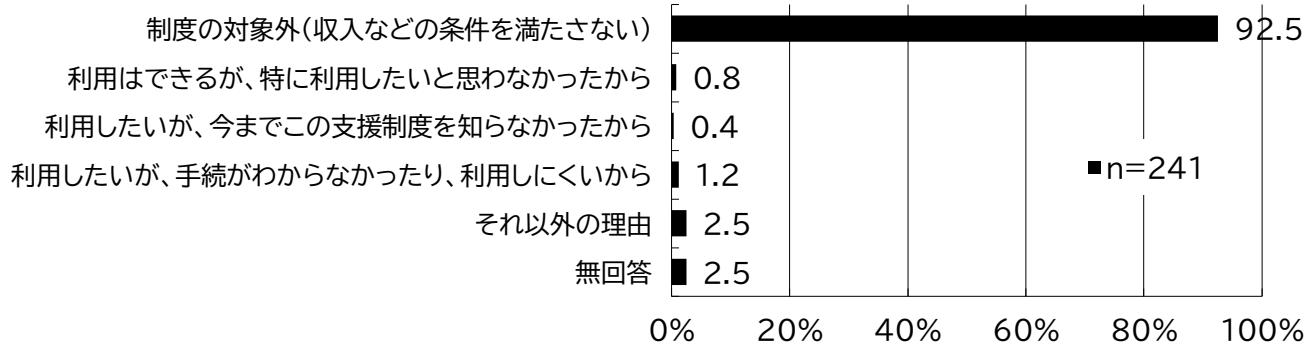
「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）」が 89.7%と最も高く、次いで「それ以外の理由」が 3.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が 1.5%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が 1.1%と続いています。



「それ以外の理由」：記入なし

④児童扶養手当

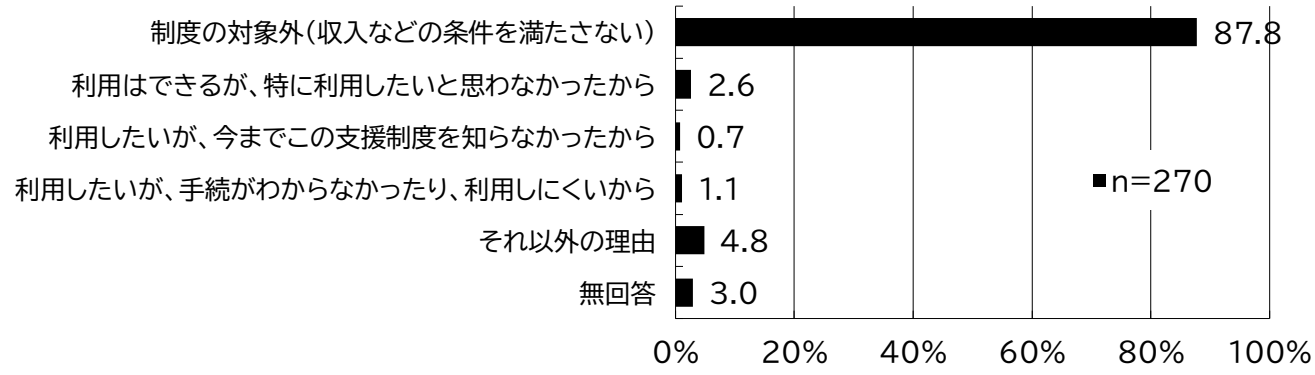
「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）」が 92.5%と最も高く、次いで「それ以外の理由」が 2.5%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が 1.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が 0.8%と続いています。



「それ以外の理由」：記入なし

⑤母子家庭等就業・自立支援センター

「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）」が 87.8%と最も高く、次いで「それ以外の理由」が 4.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が 2.6%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が 1.1%と続いています。



「それ以外の理由」：記入なし

座間市こども計画策定に係るニーズ調査結果報告書

令和７年３月

〒252-8566　座間市緑ケ丘一丁目１番１号
座間市こども未来部こども家庭課